RICOH

# IPSiO SP 8300

# 使用説明書

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

# 目次

## 3. 印刷する

## 4. 本機の設定と管理

## 5. こまったときには



## 6. 保守/仕様

# 1. 本機のセットアップ

プリンターのセットアップとオプションの接続について説明します。



## 本機の設置について

プリンターのセットアップは、以下の手順に沿って実施してください。

1. **プリンターの設置場所を確認します。**

   詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

2. **プリンターを開梱します。**

   - 保護材や固定テープをプリンターから取り外します。
   - 同梱品を確認します。

   詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

3. **オプションを装着します。**

   詳しくは P.16「オプションを装着する」を参照してください。

4. **用紙をセットします。**

   詳しくは P.119「用紙をセットする」を参照してください。

5. **電源コードを接続します。**

   詳しくは『かんたんセットアップ』を参照してください。

6. **テスト印刷を実行し、プリンターが正常に動作するか確認します。**

   詳しくは P.280「テスト印刷する」を参照してください。

7. **プリンターにインターフェースケーブルを接続します。**

   詳しくは P.55「パソコンに接続する」を参照してください。

8. **プリンターのネットワーク設定を設定します。**

   詳しくは P.230「ネットワークの設定」を参照してください。

9. **プリンタードライバーをインストールします。**

   詳しくは『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

### 設置場所の条件

**⚠警告**

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

### ⚠注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

### ⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

### ⚠注意

- 機械を移動したときは、キャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。

### ⚠注意

- 潮風、腐食性ガスをさけてください。また、化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。故障の原因になります。

### ⚠注意

- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。

次のような場所への移動は避けてください。不適切な場所へ移動すると正常にコピーができなくなったり、故障の原因になったりすることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所

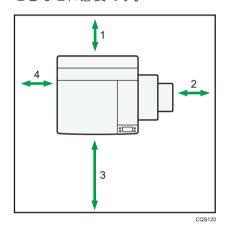
  使用できる環境の範囲は次のとおりです。

  - 温度：10〜32℃（ただし 32℃時は 54%）
  - 湿度：15〜80%（ただし 80%時は 27℃）
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具、冷房器具、加湿器に近い場所
- 振動の激しい場所
- 換気の悪い場所
- ほこりの多い場所
- 石油ストーブや、アンモニアを発生させる機器（ジアゾコピー機など）の近く
- 床や台が不安定な場所

- 水平な場所に設置してください。前後、左右共、高さの差が 5mm 以下になるようにしてください。
- しっかりした床の上に設置してください。台の上に設置するときは、機械の大きさよりも面積の広い、専用のテーブルのようなしっかりとしたものを選んでください。



## 設置に必要なスペース

本機の周囲には十分なスペースを設けてください。カスタマーエンジニアが作業をするときなどに必要です。

1. 奥行き：10cm 以上
2. 右：55cm 以上
3. 手前：75cm 以上
4. 左：10cm 以上

補足

- オプションを装着したときのスペースについてはカスタマーエンジニアに確認してください。

## アース線を接続する

### ⚠警告

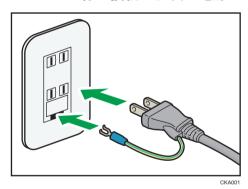
- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース線は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

**1. 主電源スイッチが「Stand by」になっていることを確認します。**

**2. アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。**

CKA001

## 電源についての注意事項

### ⚠警告

- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

### ⚠警告

- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠警告

- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

### ⚠警告

- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源プラグに焦げ跡がある
    - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

### ⚠警告

- 電源コードは年1回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
    - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
    - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
    - 電源コードの一部が熱くなる
    - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

### ⚠注意

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

### ⚠注意

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

### ⚠注意

| | |
|---|---|
|  | • 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。 |

### ⚠注意

| | |
|---|---|
|  | • お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。 |

- 使用電源

  電源コードは、100V、15A 以上、50/60Hz のコンセントに接続してください。

- 電源プラグは電源コンセントに直接、しっかりと接続してください。

# オプションを装着する

オプションを取り付けると、本体の性能をさらに高め、機能を拡張することができます。各オプションについては、P.415「関連商品一覧」を参照してください。

**⚠注意**

- オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

オプションの取り付けや取り外しをするときは、電源プラグをコンセントから抜いて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

## オプション取り付けの流れ

本体に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをおすすめします。

1. **1000 枚給紙テーブル／ 2000 枚給紙テーブル／専用テーブルを取り付ける。**

   1000 枚給紙テーブル、2000 枚給紙テーブル、専用テーブルのうち、どれか一つを取り付けられます。

2. **大量給紙トレイ（LCT）を取り付ける。**

   本体の横に取り付けます。本機を取り付けるには、本体に 1000 枚給紙テーブルか 2000 枚給紙テーブルが取り付けられている必要があります。

3. **小サイズカセットを取り付ける。**

   本体給紙トレイ、または 1000 枚給紙テーブルのトレイと入れ替えて使用します。

4. **SDRAM モジュールを取り付ける。**

   コントローラーボード内のスロットに SDRAM モジュールを取り付けます。

5. **拡張 HDD を取り付ける。**

   コントローラーボード内の装着スペースに拡張 HDD を取り付けます。

6. **拡張インターフェースボードを取り付ける。**

   拡張ギガビットイーサネットボード、拡張無線 LAN ボード、拡張 1284 ボード、拡張 USB プリントサーバーユニットを取り付けます。どれか一つを取り付けることができます。

7. **拡張 SD カードオプションを取り付ける。**

   コントローラーボードの拡張 SD カード用スロットに、拡張 SD カードオプションを差し込みます。

同一スロットで複数の拡張SDカードを使用する場合は、サービス実施店に連絡してください。

**8. 排紙中継ユニットを取り付ける。**

3000枚フィニッシャー、または3000枚一穴対応フィニッシャーを使用するときは、本体トレイを取り外してから排紙中継ユニットを取り付けます。

**9. 3000枚フィニッシャー／3000枚一穴対応フィニッシャーを取り付ける。**

排紙中継ユニットを取り付けてから、本体の左側面に取り付けます。本機を取り付けるには、本体に1000枚給紙テーブル、2000枚給紙テーブル、または専用テーブルが取り付けられている必要があります。

3000枚一穴対応フィニッシャーの取り付けについては、サービス実施店に連絡してください。

**10. 紙揃えユニットを取り付ける。**

3000枚フィニッシャー、または3000枚一穴対応フィニッシャーに取り付けます。

取り付けについては、サービス実施店に連絡してください。

**11. オペレーターコールライト**

紙づまりや用紙の補給など、印刷中にエラーが起こると、ブザー音とランプの点灯／点滅でお知らせします。

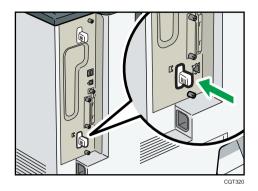
取り付けについては、サービス実施店に連絡してください。

## コントローラーボードを取り付けるときの注意

コントローラーボードの内部にオプションを装着するときは、引き抜いたコントローラーボードの取り付けに注意してください。

コントローラーボードを取り付けるときは、取っ手の部分（ボードの中央）を押し、確実に本体に押し込んでください。

★重要

- **コントローラーボードが確実に取り付けられていないと、次のような現象が起こる可能性があります。**
    - **操作部のランプがすべて点灯する**
    - **操作部のランプが一切点灯しない**
    - **操作部の画面に「サービスコール670」と表示される**

## 給紙テーブル、専用テーブルを取り付ける

給紙テーブルや専用テーブル、小サイズカセットの取り付け方法について説明します。

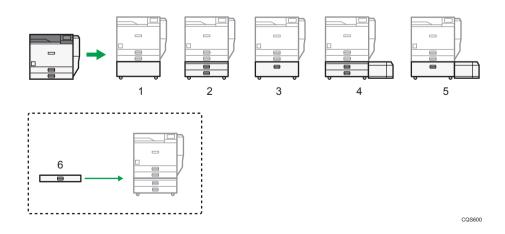
### ⚠注意

- プリンター本体は約 73kg あります。
- 機械を移動させるときは、両側面の取っ手を 4 人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

重要

- **複数のオプションを取り付けるときは、最初に給紙テーブル、または専用テーブルを取り付けてください。**

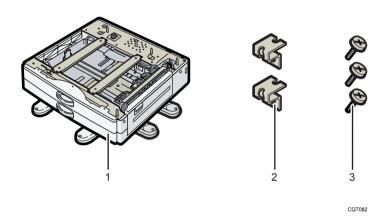
### オプションの組み合わせ

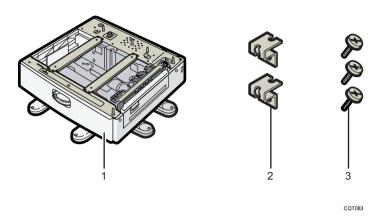
本体とそれぞれのオプションで可能な組み合わせは以下のとおりです。

1. **本体+専用テーブル**
2. **本体+1000 枚給紙テーブル**
3. **本体+2000 枚給紙テーブル**
4. **本体+1000 枚給紙テーブル+大量給紙トレイ（LCT）**
5. **本体+2000 枚給紙テーブル+大量給紙トレイ（LCT）**
6. **小サイズカセット**

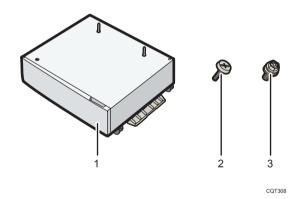
   取り付けについては、P.27「小サイズカセットを取り付ける」を参照してください。

ここでは 1000 枚給紙テーブルを例に説明します。

## 1. 同梱品を確認します。

- 1000 枚給紙テーブルの同梱品

1. 1000 枚給紙テーブル／ 2. 固定金具 2 個／ 3. 固定ねじ 3 本

- 2000 枚給紙テーブルの同梱品

1. 2000 枚給紙テーブル／ 2. 固定金具 2 個／ 3. 固定ねじ 3 本

- 専用テーブルの同梱品

1. 専用テーブル／ 2. 固定ねじ 1 本／ 3. サービス用ネジ（本機では使用しません）

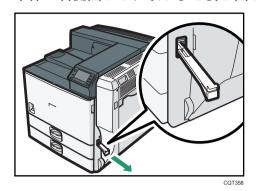
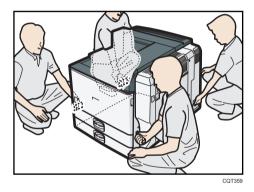
**2.** **本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

**3.** **1000 枚給紙テーブルから保護材を取り外します。**

4. 本体の右側面から、取っ手を引き出します。

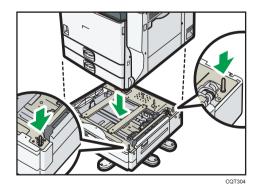
CQT358

5. 本体の両側面にある取っ手をつかみ、本体を持ち上げます。

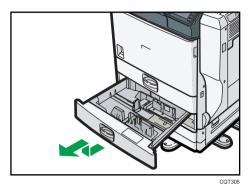
CQT359

本体の前後のバランスを保ち、必ず 4 人以上で持ち上げてください。

6. 本体の前面と 1000 枚給紙テーブルの前面を合わせて、垂直にゆっくりと降ろします。

垂直ピンでしっかりと固定されるようにセットしてください。

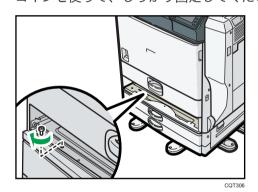
CQT304

7. 本体から引き出した取っ手を元の位置に戻します。

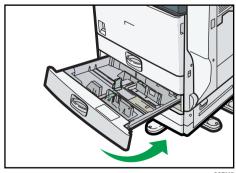
**8.** **本体給紙トレイ［トレイ 2］を止まるまでゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて給紙トレイを引き抜きます。**

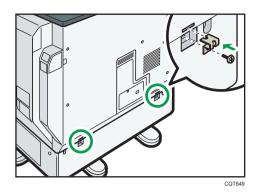
CQT305

引き抜いたトレイは水平な場所においてください。

**9.** **左側にある穴 1 箇所に、固定ねじで固定します。**

コインを使って、しっかり固定してください。

CQT306

**10.** **前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。**

CQT307

**11.** **本体背面の左右 2 箇所を、固定金具と固定ねじで固定します。**

コインを使って、しっかり固定してください。

専用テーブルのみを本体に取り付ける場合は、この手順は必要ありません。

**12. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。**

**13. システム設定リストを印刷して、給紙テーブルが正しく取り付けられたことを確認します。**

補足

- 給紙テーブルが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して、「システム構成情報」の「接続機器」の欄を確認します。
    - 500 枚増設トレイ：「1 段バンク」
    - 1000 枚給紙テーブル：「2 段バンク」
    - 2000 枚給紙テーブル：「トレイ 3（大量給紙トレイ）」
- システム設定リストの印刷方法は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に連絡してください。
- 印刷位置が正しくない場合は、印刷位置を調整します。印刷位置の調整について詳しくは、P.354「印刷位置がおかしいとき」を参照してください。
- 取り付けた給紙テーブルを使用するには、プリンタードライバーの［オプション構成］で、オプションの設定をしてください。詳しくは、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

## 大量給紙トレイ（LCT）を取り付ける

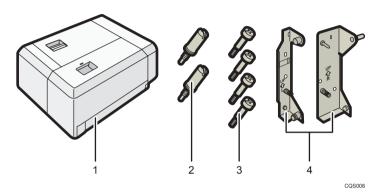
### ⚠注意

- 大量給紙トレイ（LCT）は約 14kg あります。
- 大量給紙トレイ（LCT）を移動させるときは、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

1

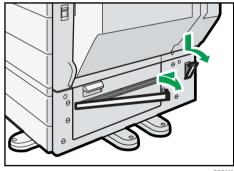
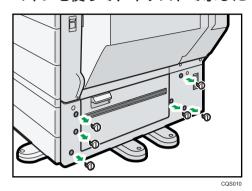
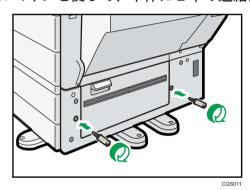
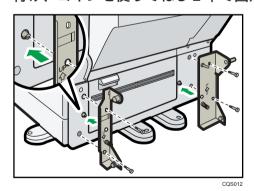
重要

- 大量給紙トレイ（LCT）を取り付けるときは、先に 1000 枚給紙テーブル、または 2000 枚給紙
- テーブルを取り付けてください。

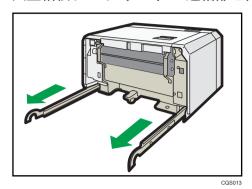
**1.** 同梱品を確認します。

1. 大量給紙トレイ（LCT）／ 2. 装着用基準ピン 2 個／ 3. ねじ 4 本／ 4. ブラケット 2 個（L：左用、R：右用各 1 個）

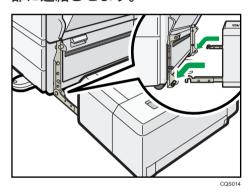
**2.** 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

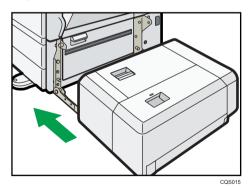
**3.** 固定用テープと固定材を取り外します。

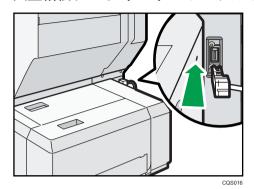
**4.** イラストで示した 2 箇所のカバーを取り外します。

5. コインを使って、イラストで示した 6 箇所のねじを外します。

6. コインを使って、本体に 2 本の連結基準ピンを取り付けます。

7. 「L」の刻印があるブラケットを左に、「R」の刻印があるブラケットを右に取り付けます。ブラケットは、中央の穴に連結基準ピンを合わせて本体に取り付け、コインを使ってねじ 2 本で固定します。

「UP」の刻印を上方向にして取り付けてください。

8. 大量給紙トレイ（LCT）の連結部を伸ばします。

CQS013

9. 大量給紙トレイ（LCT）を少し持ち上げ、本体に取り付けたブラケットの連結部に連結させます。

CQS014

10. 大量給紙トレイ（LCT）を、カチッと音がするまで押して本体に取り付けます。

CQS015

**11. 大量給紙トレイ（LCT）のケーブルを、本体のコネクターに接続します。**

CQS016

**12. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。**

**13. システム設定リストを印刷して、大量給紙トレイ（LCT）が正しく取り付けられたことを確認します。**

補足

- 給紙テーブルが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して、「システム構成情報」の「接続機器」の欄を確認します。正しく取り付けられているときは「大量給紙トレイ」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 取り付けた大量給紙トレイ（LCT）を使用するには、プリンタードライバーの［オプション構成］で、オプションの設定をしてください。『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。
- 印刷位置が正しくない場合は、印刷位置を調整します。印刷位置の調整について詳しくは、P.354「印刷位置がおかしいとき」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などの取り扱いについては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、『はじめにお読みください』「使用済み製品の回収とリサイクル」を参照してください。

## 小サイズカセットを取り付ける

小サイズカセットは以下のトレイと入れ替えて使用します。

- トレイ 1、2
- トレイ 3、4（1000 枚給紙テーブル装着時）

小サイズカセットの取り付け方法については、小サイズカセットに同梱されている設置手順書を参照してください。

## 拡張メモリーユニットを取り付ける

SDRAM モジュール、拡張 HDD の取り付け方法について説明します。

### ⚠注意

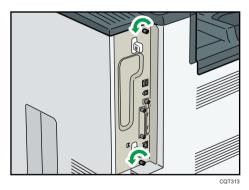
- コントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

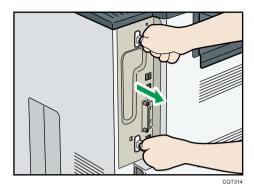
重要

- **SDRAM モジュール、拡張 HDD に触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により破損する恐れがあります。**
- **SDRAM モジュール、拡張 HDD に物理的衝撃を与えないでください。**

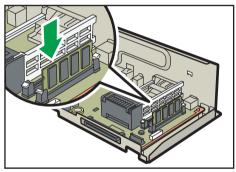
### SDRAM モジュールを取り付ける

本体の搭載メモリーは 512MB です。最大 1GB まで増設できます。

1. **本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**
2. **コントローラーボードを固定しているコインねじを取り外します。**

取り外したコインねじはコントローラーボードを固定するときに使用します。

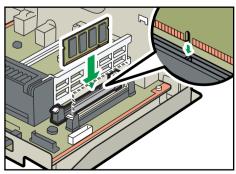
3. 取っ手をつかみ、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

CQT314

両手でコントローラーボードをつかみ最後まで引き抜き、机などの平らな場所に置きます。

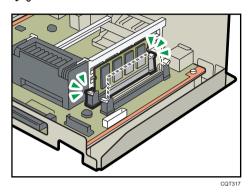
4. SDRAM モジュールは以下のイラストに示したスロットに設置します。

CQT315

外側のスロットには、512MB の SDRAM モジュールがセットされています。SDRAM モジュールを増設する場合は、内側の空いているスロットに取り付けてください。

もし拡張 HDD が取り付けられている場合は、P.31「拡張 HDD を取り付ける」を参照して拡張 HDD を取り外してください。

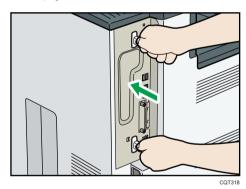
5. SDRAM モジュールの切り欠きを差し込み口の凸部分に合わせ、垂直に差し込みます。

CQT316

6. カチッと音がするまで、SDRAM モジュールをしっかり真上から押し込みます。

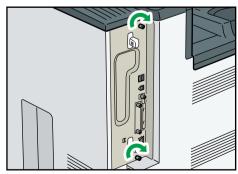
CQT317

7. 拡張 HDD を取り付ける場合は、コントローラーボードをセットしないで、拡張 HDD の取り付け手順に進んでください。

拡張 HDD の取り付けは、P.31「拡張 HDD を取り付ける」を参照してください。

8. コントローラーボードを本体に差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

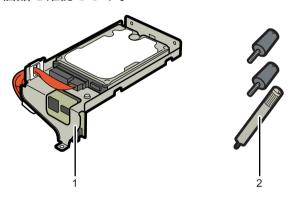
CQT318

取っ手を押し、確実に本体に押し込んでください。コントローラーボードがきちんとセットされていないと正しく動作しません。

9. コインねじを締めてコントローラーボードを固定します。

CQT319

補足

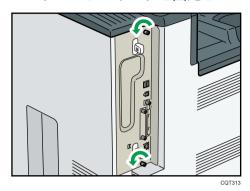
- SDRAM モジュールが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「搭載メモリ」の欄に搭載しているメモリーの合計値が記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- コントローラーボードの取り付けに注意が必要です。詳しくは、P.17「コントローラーボードを取り付けるときの注意」を参照してください。
- 取り付けた SDRAM モジュールを使用するには、プリンタードライバーの［オプション構成］で、オプションの設定をしてください。詳しくは、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

## 拡張 HDD を取り付ける

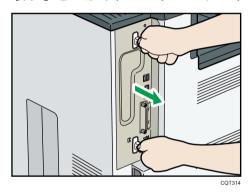
**1. 同梱品を確認します。**

1. 拡張 HDD ／ 2.コインねじ 3 本

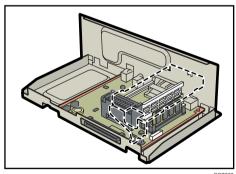
**2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

**3.** **コントローラーボードを固定しているコインねじを取り外します。**

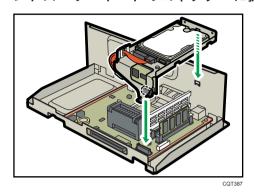
CQT313

取り外したコインねじはコントローラーボードを固定するときに使用します。

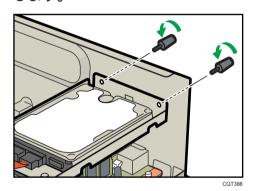
**4.** **取っ手をつかみ、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。**

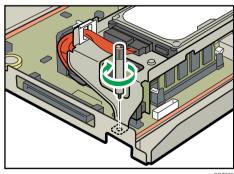
CQT314

両手でコントローラーボードをつかみ最後まで引き抜き、机などの平らな場所に置きます。

**5.** **拡張 HDD は以下のイラストに示した場所に設置します。**

CQT386

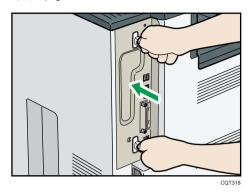
拡張 HDD を取り付ける際に、SDRAM モジュールに接触しないように注意してください。SDRAM モジュールを破損する恐れがあります。

6. コントローラーボードのパネル面のつめに、拡張 HDD の金具を引っ掛け、コントローラーボードのコネクターに拡張 HDD を取り付けます。

CQT387

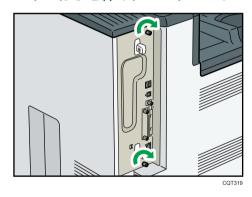
7. 拡張 HDD とコントローラーボードを、パネル面の外側からコインねじで固定します。

CQT388

8. 拡張 HDD とコントローラーボードをコインねじで固定します。

CQT389

**9. コントローラーボードを本体に差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。**

CQT318

取っ手を押し、確実に本体に押し込んでください。コントローラーボードがきちんとセットされていないと正しく動作しません。

**10. コインねじを締め、コントローラーボードを固定します。**

CQT319

プリンターの電源を入れると、拡張 HDD の初期化（フォーマット）が自動的に開始されます。

補足

- 拡張 HDD が正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「ハードディスク」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- コントローラーボードの取り付けに注意が必要です。詳しくは、P.17「コントローラーボードを取り付けるときの注意」を参照してください。
- 取り付けた拡張 HDD を使用するには、プリンタードライバーの［オプション構成］で、オプションの設定をしてください。詳しくは、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

## インターフェースユニットを取り付ける

インターフェースユニットの取り付け方法を説明します。

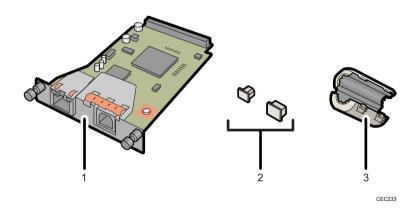
重要

- 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気によりインターフェースユニットが破損するおそれがあります。
- インターフェースユニットに物理的衝撃を与えないでください。

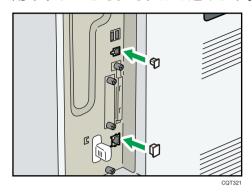
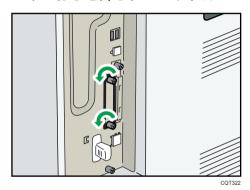
### 拡張ギガビットイーサネットボードを取り付ける

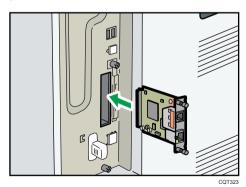
重要

- 拡張ギガビットイーサネットボードを装着すると、本体標準のイーサネットポートとUSB ポートは使用できなくなります。拡張ギガビットイーサネットボードのイーサネットポートと USB ポートをご利用ください。

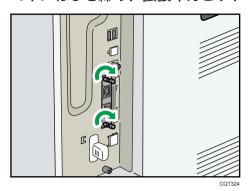
**1. 同梱品を確認します。**

1. 拡張ギガビットイーサネットボード／ 2. 接続防止用キャップ 2 個（イーサネットポート用、USB ポート用 各 1 個）／ 3. フェライトコア 1 個（本体にイーサネットケーブルを取り付けるときに使用します）

**2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

3. 本体標準のイーサネットポートとUSBポートからケーブルを抜き、接続防止用キャップをそれぞれはめ込みます。

4. コインねじを外し、スロットカバーを取り外します。

取り外したカバーは使用しません。

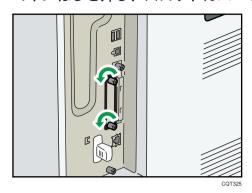
5. 拡張ギガビットイーサネットボードを奥まで差し込みます。

拡張ギガビットイーサネットボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

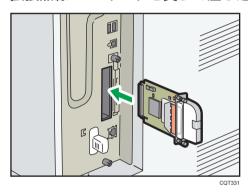
6. コインねじを締め、拡張ギガビットイーサネットボードを固定します。

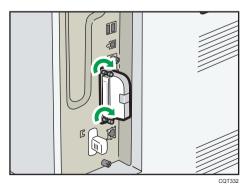
補足

- 拡張ギガビットイーサネットボードが正しく取り付けられたかどうかは、「システム設定リスト」を印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「ギガビットイーサネットボード&USB 2.0」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張ギガビットイーサネットボードを使用する前に、本体の操作部でネットワークの設定をしてください。詳しくは、P.230「イーサネットを使用する」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などの取り扱いについては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、『はじめにお読みください』「使用済み製品の回収とリサイクル」を参照してください。

## 拡張無線 LAN ボードを取り付ける

1. 同梱品を確認します。
2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

### 3. コインねじを外し、スロットカバーを取り外します。

取り外したカバーは使用しません。

### 4. 拡張無線 LAN ボードを奥まで差し込みます。

拡張無線 LAN ボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

### 5. コインねじを締め、拡張無線 LAN ボードを固定します。

補足

- 拡張無線 LAN ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接

続デバイス」の欄に「無線 LAN」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。

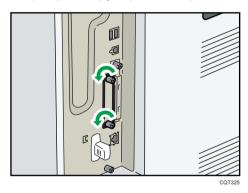
- 正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張無線 LAN ボードをお使いになる前に、本体の操作部で設定してください。詳しくは、P.232「拡張無線 LAN を使用する」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などの取り扱いについては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、『はじめにお読みください』「使用済み製品の回収とリサイクル」を参照してください。

## 拡張 1284 ボードを取り付ける

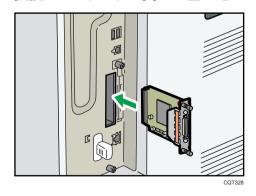
**1. 同梱品を確認します。**

**2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

**3. コインねじを外し、スロットカバーを取り外します。**

CQT325

取り外したカバーは使用しません。

**4. 拡張 1284 ボードを奥まで差し込みます。**

CQT328

拡張 1284 ボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

**5. コインねじを締め、拡張 1284 ボードを固定します。**

補足

- 拡張 1284 ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続デバイス」の欄に「パラレルインターフェース」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 取り外した部品の廃棄などの取り扱いについては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、『はじめにお読みください』「使用済み製品の回収とリサイクル」を参照してください。

## 拡張 USB プリントサーバーユニットを取り付ける

オプションの拡張 USB プリントサーバーユニットは、イーサネットポートを増設するためのインターフェースボードです。拡張 USB プリントサーバーユニットを取り付けると、プリンター本体のイーサネットポートと、拡張 USB プリントサーバーユニットのイーサネットポートを使用して、2 本のイーサネットケーブルを同時に接続できます。それぞれのイーサネットポートに IP アドレスを割り当てることができるため、1 台のプリンターで異なるネットワークセグメントから印刷することができます。

拡張 USB プリントサーバーユニットの取り付け方法については、拡張 USB プリントサーバーユニットに同梱されているセットアップガイドを参照してください。

重要

- 拡張 USB プリントサーバーユニットを使用するときは、本機が省エネモードに移行しないように、システム初期設定で［プリントサーバー使用不可な省エネモード］を［移行を禁止する］に設定してください。省エネモードに移行すると、拡張 USB プリントサーバーユニットが通信できなくなり、本機に印刷ジョブを送っても印刷を実行できません。

**1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。**

［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. ［プリントサーバー使用不可な省エネモード］を押します。**

**3. ［移行を禁止する］を押します。**

**4. ［初期設定］キーを押します。**

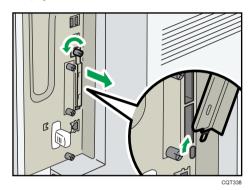
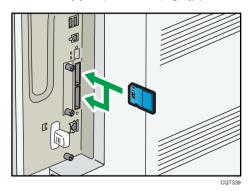
## 拡張 SD カードを取り付ける

### ⚠注意

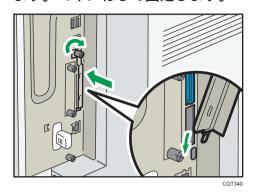
- SD カードは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カードを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

重要

- 拡張 SD カードに物理的衝撃を与えないでください。

1. 同梱品を確認します。
2. 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. コインねじを外し、拡張 SD カード用のスロットカバーを傾けながら取り外します。

4. カチッと音がするまで、拡張 SD カードをスロットに差し込みます。

- スロット 1（上）：エミュレーションカード、マルチエミュレーションカード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カード、BMLinkS モジュール
- スロット 2（下）： VM カード

1

**5. スロットカバーをスロット下部の穴に差し込み、スロットカバーを取り付けます。コインねじで固定します。**

補足

- 使用中は装着した拡張 SD カードに触れないでください。少し押しただけで外れてしまうことがあります。必ずスロットカバーを取り付けてください。
- 装着した拡張 SD カードが正しく取り付けられたかどうかは、装着した拡張 SD カードによって確認方法が異なります。
    - マルチエミュレーションカード、PS3 カード、PDF ダイレクトプリントカード、PCL カード、BMLinkS モジュール：[プリンター初期設定] にある [システム設定] の [優先エミュレーション/ プログラム] に装着したエミュレーションカードの名称が表示されます。
- 正しく取り付けられない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に連絡してください。

## フィニッシャーを取り付ける

フィニッシャーを本機に取り付けることにより、ステープルやパンチを使用できます。

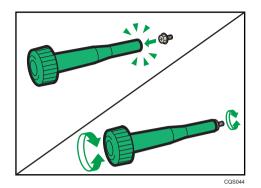
重要

- **フィニッシャーや排紙中継ユニットを取り付ける前に、先に 1000 枚給紙テーブルか 2000 枚給紙テーブル、または専用テーブルを取り付けてください。**
- **コントローラーボードにオプションを装着する場合は、フィニッシャーや排紙中継ユニットを取り付ける前に装着してください。**
- **フィニッシャーを取り付ける前に排紙中継ユニットを取り付けてください。**

**専用ねじ回しの使いかた**

排紙中継ユニットとフィニッシャーの取り付けには、専用のねじ回しが必要です。専用のねじ回しは 3000 枚フィニッシャーに同梱されています。

専用ねじ回しを、ねじに差し込んで回します。

CQS044

補足

- フィニッシャーを取り付けた後も、専用ねじ回しをなくさないように保管してください。

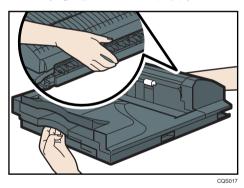
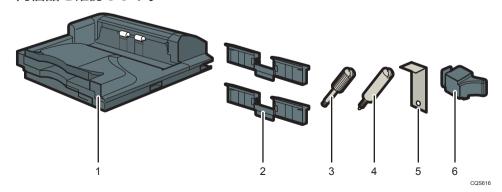
## 排紙中継ユニットを取り付ける

重要

- 排紙中継ユニット部の排紙部やローラー部を持たないでください。曲がる恐れがあります。移動するときは、以下のイラストに示した部分を持ってください。

CQS017

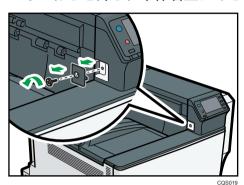
**1.** 同梱品を確認します。

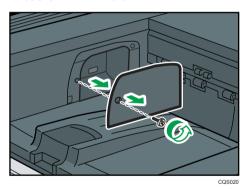
CQS616

1. 中継ユニット／ 2. ガイドプレート 2 個／ 3. コインねじ（短） 1 本／ 4. コインねじ（長） 1 本／ 5. L 字連結ブラケット／ 6. フレームカバー

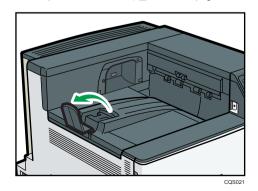
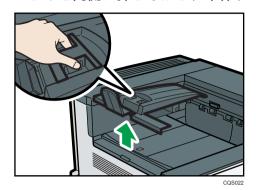


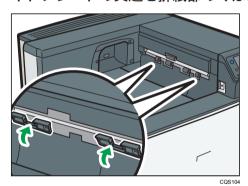
**2.** **本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

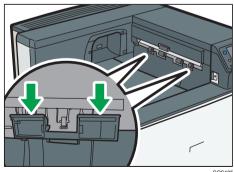
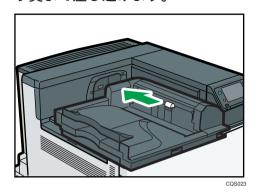
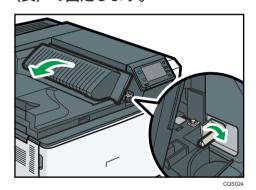
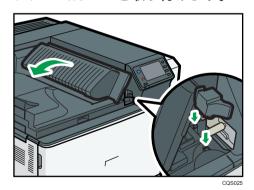
**3.** **固定用テープと固定材を取り外します。**

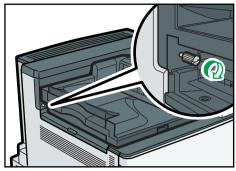
**4.** **コインねじを外し、本体右上にあるカバーキャップを取り外します。**

取り外した部品は使用しません。

**5.** **本体奥カバーを固定しているコインねじを外し、カバーを取り外します。**

取り外した部品は使用しません。

**6.** **エンドフェンスを起こします。**

7. つまみを内側に押しながら、本体トレイを取り外します。

取り外した部品は使用しません。

8. 本体の排紙部の奥側と手前側 2 箇所に、ガイドプレートを取り付けます。ガイドプレートの突起を排紙部のくぼみに差し込んで、本体にはめ込みます。

ガイドプレートと排紙部のくぼみにすき間ができている、またはガイドプレートが傾いて装着されている場合、ガイドプレートを上から押し込んですき間や傾きをなくしてください。

ガイドプレートが正確に取り付けていない場合、用紙の耳折れ、曲がりなどが発生する場合があります。

9. 排紙中継ユニットの凸部を、本体奥カバーの凹部に合わせて、水平にゆっくり奥まで差し込みます。

10. 排紙中継ユニットの右カバーを開け、排紙中継ユニットを本体にコインねじ（長）で固定します。

11. フレームカバーを取り付けます。

12. 排紙中継ユニットの右カバーを閉めます。

**13.** 排紙中継ユニットを本体にコインねじ（短）で固定します。

CQS026

これで中継ユニットの取り付けは完了です。

次にフィニッシャーの取り付けに進みます。P.47「3000 枚フィニッシャーを取り付ける」を参照してください。

L 字連結ブラケットはフィニッシャーの取り付けに使用します。

補足

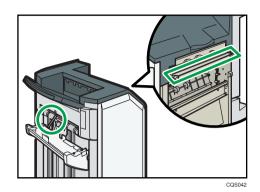
- 取り外した部品の廃棄などの取り扱いについては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、『はじめにお読みください』「使用済み製品の回収とリサイクル」を参照してください。

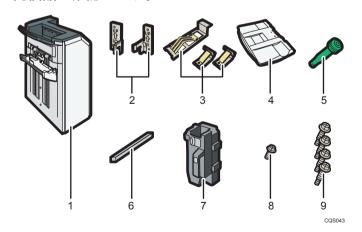
## 3000 枚フィニッシャーを取り付ける

### ⚠注意

- 3000 枚フィニッシャーは約 56kg あります。
- 3000 枚フィニッシャーを移動させるときは、両側面の中央部分を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

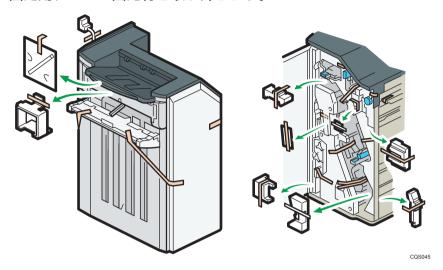
重要

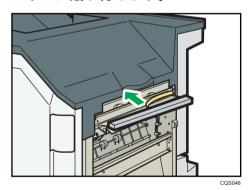
- 同梱されている、装着用金具とアース金具の板バネには触らないでください。板バネを変形させるとアースが不確実になり、電波障害を起こす原因になります。
- 3000 枚フィニッシャーの取り付けには、中継ユニットに同梱されている L 字連結ブラケットが必要です。
- 3000 枚フィニッシャーを取り付けるとき、または移動するときに、以下のイラストで示した 2 箇所を持たないでください。変形する恐れがあります。

- ねじの取り付けや取り外しには、同梱している専用ねじ回しを使用してください。
- フィニッシャーを取り付けたあとは、以下の設定、確認をしてください。
    - プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、必ずプリンタードライバーでオプションの設定をしてください。
    - ステープルや、パンチを使用するときには、必ずプリンタードライバーで原稿サイズと原稿方向を設定してください。詳しくは、P.155「印刷した用紙をステープラーでとじる」、P.158「印刷した用紙にパンチで穴をあける」を参照してください。
    - プリンタードライバーでソートを設定するとき、アプリケーションの［部単位で印刷］にチェックが入っていると、意図しない印刷結果になることがあります。チェックをはずして印刷してください。

**1.** 同梱品を確認します。

1. 3000 枚フィニッシャー／ 2. 装着金具 2 個（L：左用、R：右用）／ 3. アース金具 3 個／ 4. トレイ／ 5. 専用ねじ回し／ 6. スポンジクッション／ 7. パンチくず入れ／8. 短ねじ 1 本／ 9. 長ねじ 4 本

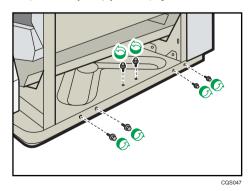
**2.** 本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

**3.** 固定用テープと固定材を取り外します。

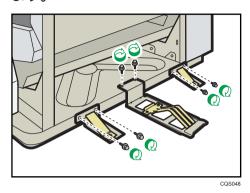
CQS045

**4.** スポンジクッションの両面テープからシールをはがし、3000 枚フィニッシャーに貼り付けます。

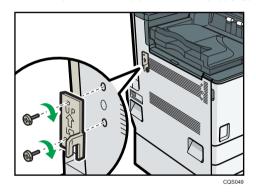
CQS046

カバー、または側板端部から 0〜1mm 上の位置に貼り付けます。

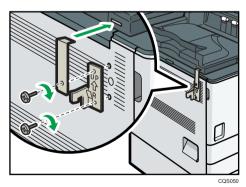
**5.** 短ねじ 6 本を外します。

CQS047

取り外した短ねじは、アース金具を取り付けるときに使用します。

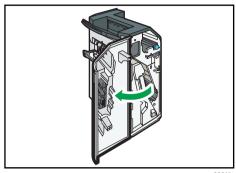
6. 3000 枚フィニッシャーの底部にアース金具 3 個を短ねじ 2 本ずつで固定します。

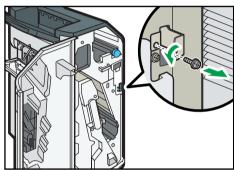
CQS048

7. L の刻印がある装着用金具を本体奥側に長ねじ 2 本で固定します。

CQS049

「UP」の刻印を上方向にして取り付けてください。

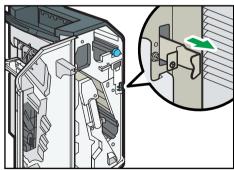
8. R の刻印がある装着用金具（中継ユニットの同梱品）と L 字連結ブラケットを、本体手前側に長ねじ 2 本で固定します。

CQS050

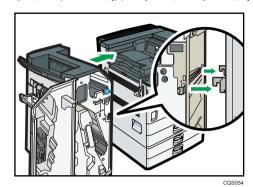
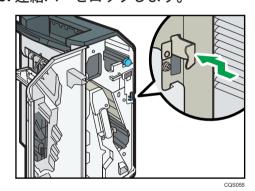
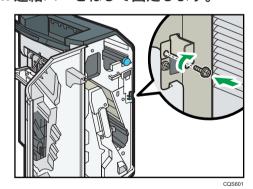
装着用金具は、「UP」の刻印を上方向にし、L 字連結ブラケットは、中継ユニットに差し込んで取り付けてください。

9. 3000 枚フィニッシャーの前カバーを開けます。

CQS051

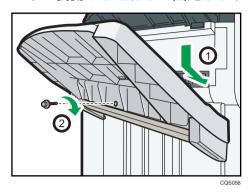
10. 連結レバーを固定しているねじを外します。

CQS052

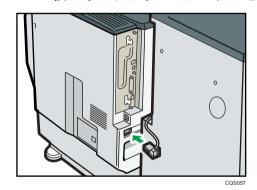
取り外したねじは、連結バーを再度固定するときに使用します。

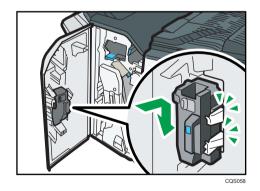
11. 連結バーを手前に引き、ロックを外します。

CQS053

12. 3000 枚フィニッシャーの連結バーが、本体に取り付けた装着金具にかみ合うように、3000 枚フィニッシャーを本体へまっすぐに押し込みます。

13. 連結バーをロックします。

14. 連結バーをねじで固定します。

15. 3000 枚フィニッシャーの前カバーを閉めます。

16. 3000 枚フィニッシャーにトレイを差し込み（1)、専用ねじ回しを使って、トレイの裏側から短ねじで固定します（2)。

CQS056

17. 3000 枚フィニッシャーのケーブルを、本体側面のコネクターに接続します。

CQS057

18. 前カバーを開き、前カバーの裏側にパンチくず入れを取り付けます。

CQS058

補足

- 3000 枚フィニッシャーが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。正しく取り付けられているときは、「システム構成情報」の「接続機器」の欄に「フィニッシャー C830」と記載されます。システム設定リストの印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。

- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 取り付けた3000枚フィニッシャーを使用するには、プリンタードライバーの［オプション構成］で、オプションの設定をしてください。詳しくは、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。
- 取り外した部品の廃棄などの取り扱いについては、販売店またはサービス実施店にご連絡ください。詳しくは、『はじめにお読みください』「使用済み製品の回収とリサイクル」を参照してください。

# パソコンに接続する

ネットワークやパソコンとの接続方法について説明します。



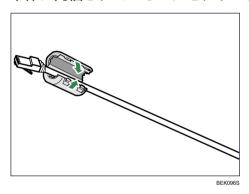
## イーサネットインターフェースに接続する

イーサネットインターフェースには、10BASE-T または 100BASE-TX のケーブルを接続します。

重要

- 電源スイッチが入っているときは、切ってください。

1. 本体に同梱されているコアを、イーサネットケーブルの根元に取り付けます。

BEK096S

2. 本機の電源スイッチが切れていることを確認します。
3. イーサネットケーブルを、本機のイーサネットインターフェースに接続します。

CQT341

4. イーサネットケーブルのもう一方をネットワーク接続用の Hub などに接続します。

1

**5. 本機の主電源スイッチを入れます。**

1. **100BASE-TX 動作時は LED が橙色に点灯します。ネットワークに接続していないとき、あるいは 10BASE-T 動作時は消灯します。**
2. **10BASE-T 動作時は LED が緑色に点灯します。ネットワークに接続していないとき、あるいは 100BASE-TX 動作時は消灯します。**

補足

- イーサネット速度に対応したイーサネットケーブルを使用してください。また、［イーサネット速度］で［自動選択］を選択した場合は、100BASE-TX に対応したイーサネットケーブルを使用してください。
- プラグの形状を見て接続してください。
- ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
- プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できない場合があります。
- 電源スイッチの入れかた、切りかたについては、P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
- プリンタードライバーのインストール方法は、『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

## GigaBit イーサネットインターフェースに接続する

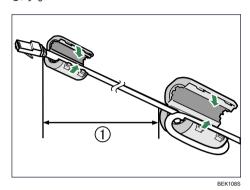
GigaBit イーサネットインターフェースには、1000BASE-T、100BASE-TX または 10BASE-T ケーブルを接続します。

重要

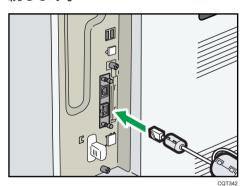
- **電源スイッチが入っているときは、切ってください。**

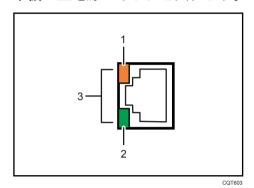
1. **本体に同梱されているコアと、拡張ギガビットイーサネットボードに同梱されているコアをイーサネットケーブルに取り付けます。**

   コネクターの根元に本体に同梱されているコアを取り付け、根元から10cm（①）離したところに拡張ギガビットイーサネットボードに同梱されているコアを取り付けます。

BEK108S

2. **本機の主電源スイッチが切れていることを確認します。**

3. **イーサネットケーブルを、本機のGigaBitイーサネットインターフェースに接続します。**

CQT342

4. **イーサネットケーブルのもう一方をネットワーク接続用のHubなどに接続します。**

**5. 本機の主電源スイッチを入れます。**

1. 100BASE-TX 動作時は LED が橙色に点灯します。ネットワークに接続していないとき、あるいは 10BASE-T 動作時は消灯します。
2. 10BASE-T 動作時は LED が緑色に点灯します。ネットワークに接続していないとき、あるいは 100BASE-TX 動作時は消灯します。
3. 1000BASE-T 動作時は LED が両方点灯します。

補足

- イーサネット速度に対応したイーサネットケーブルを使用してください。また、[イーサネット速度]で[自動選択]を選択した場合は、1000BASE-T に対応したイーサネットケーブルを使用してください。
- プラグの形状を見て接続してください。
- ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
- プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できない場合があります。
- 主電源スイッチの入れかた、切りかたについては、P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
- プリンタードライバーのインストール方法は、『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

## USB（B コネクター）インターフェースに接続する

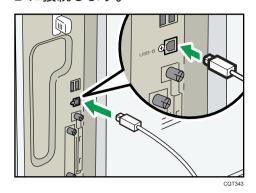
本機を USB プリンターとしてパソコンから使用するときは、USB（B コネクター）インターフェースにケーブルを接続します。

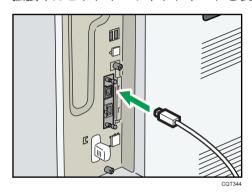
重要

- **電源スイッチが入っているときは、切ってください。**

1

### 1. USB 2.0 用（B コネクター）インターフェースケーブルを本機の USB ポート B に接続します。

CQT343

拡張ギガビットイーサネットボードを装着している場合：

CQT344

### 2. パソコンに USB 2.0 用インターフェースケーブルを接続します。

補足

- USB 2.0 用（B コネクター）インターフェースケーブルは、ご使用になるコンピューターやコネクターの形状に合わせて別途お買い求めください。
- USB 2.0 用（B コネクター）インターフェースに対応した 5m 以下のケーブルを使用してください。
- プラグの形状を見て接続してください。
- ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
- プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できない場合があります。
- Macintosh で使用する場合、本機に PS3 カードが装着されている必要があります。Mac OS X 10.3.3 以降のサポート速度は USB 2.0 相当です。
- プリンタードライバーのインストール方法は、『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

1

## USB ホストインターフェースに接続する

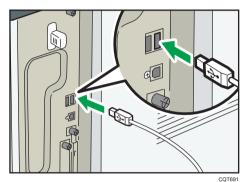
IC カード認証を接続するときは、USB ホストインターフェースにケーブルを接続します。

重要

- **電源スイッチが入っているときは、切ってください。**

**1. USB インターフェース機器を本機の USB ポート A に接続します。**

USB インターフェースケーブルのもう一方を IC カード認証装置などに接続します。

CQT691

補足

- USB ホストインターフェースケーブルは、ご使用になるコンピューターやコネクターの形状に合わせて別途お買い求めください。
- USB ホストインターフェースに対応した 5m 以下のケーブルを使用してください。
- プラグの形状を見て接続してください。
- ケーブルを接続した状態で無理に引っ張らないでください。また、ケーブルが足などに引っかかって抜けないように接続してください。
- プラグが特殊な形状のものや、変換コネクターなどを使用したケーブルは接続できない場合があります。

## IEEE1284 インターフェースに接続する

拡張 1284 ボードには、IEEE 1284 用インターフェースケーブルを接続します。

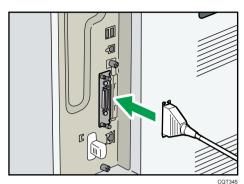
重要

- **拡張 1284 ボードへの接続には、ハーフピッチ 36 ピンまたはフルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルを使用してください。フルピッチ 36 ピンのインターフェースケーブルの場合は、変換コネクターを使用します。**
- **電源スイッチが入っているときは、切ってください。**

**1. パソコンの電源を切ります。**

2. **本機の主電源スイッチが切れていることを確認します。**

3. **IEEE 1284 用インターフェースケーブルを本機の IEEE 1284 インターフェースに接続します。**

CQT345

IEEE 1284 用インターフェースケーブルと本機の IEEE 1284 インターフェースの接続には、変換アダプターが必要になる場合があります。

4. **パソコンに IEEE 1284 用インターフェースケーブルを差し込み、固定します。**

パソコンに接続するコネクターの形状をよく確かめ、確実に固定してください。

5. **本機の主電源スイッチを入れます。**

6. **パソコンの電源を入れます。**

Windows をご利用の場合、パソコンの電源をいれたときにプリンタードライバーのインストール画面が表示されることがあります。この場合は画面上の［キャンセル］をクリックしてください。

補足

- 本機には IEEE1284 用インターフェースケーブルが付属されていません。インターフェースケーブルは、ご使用になる機器やコネクターの形状に合わせて別途お買い求めください。
- 本機を使用する環境、ケーブルによっては、電波障害が発生するおそれがあります。
- ホストコンピューターでの動作が保障された 5m 以下の IEEE1284 用インターフェースケーブルを使用してください。
- 主電源スイッチの入れかた、切りかたについては、P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。
- プリンタードライバーのインストール方法は、『ドライバーインストールガイド』を参照してください。

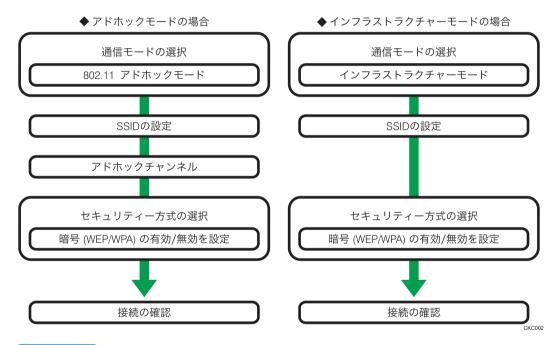
## 無線 LAN インターフェースの接続を確認する

無線 LAN インターフェースの接続を確認します。

補足

- 本機の IPv4 アドレスとサブネットマスク、または IPv6 アドレスの設定を確認してください。
- 本機の操作部から IPv4 アドレスとサブネットマスクを設定する方法は、P.290「インターフェース設定」を参照してください。
- 無線 LAN で本機をネットワークに接続するには、[ネットワークインターフェース選択] で [無線 LAN] を選択してください。

## セットアップの流れ

無線 LAN のセットアップは、[システム初期設定] の [インターフェース設定] で [無線 LAN] を選択して、次の流れで行います。

補足

- Windows XP 標準のドライバーかユーティリティーを使用して Windows XP の無線 LAN クライアントと通信する場合、通信モードは「802.11 アドホックモード」に設定してください。
- 通信モードで「802.11 アドホックモード」を選択したときは、「アドホックチャンネル」でチャンネルを設定してください。使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを設定してください。設定方法についての詳細は、P.290「インターフェース設定」を参照してください。

- セキュリティー方式は、「WEP」または「WPA」から設定します。「WPA」を設定するには、通信モードを「インフラストラクチャーモード」に設定する必要があります。設定方法の詳細は、P.290「インターフェース設定」を参照してください。
- セキュリティー方式で「WPA」を選択した場合は、「WPA」、「WPA2」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、の中から選択します。また、「WPA-PSK」「WPA2-PSK」を選択した場合は PSK を入力します。「WPA」「WPA2」を選択した場合は認証方式や機器証明書の導入などの設定が必要です。設定方法についての詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 本体操作部での設定方法、設定項目についての詳細は、P.290「インターフェース設定」を参照してください。
- 本体操作部以外からの設定方法は、P.239「Web Image Monitor の設定項目一覧」を参照してください。
- システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認できます。システム設定リストの印刷方法については、P.280「テスト印刷する」を参照してください。

## 電波状態を確認する

インフラストラクチャーモードを使用しているとき、本機の操作部で電波状態を確認することができます。

**1. [システム初期設定]のメニュー画面で[インターフェース設定]を押します。**

[システム初期設定]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. [無線 LAN]を押します。**

**3. [電波状態]を押します。**

電波状態が表示されます。

**4. 確認が終了したら[閉じる]を押します。**

**5. [初期設定]キーを押します。**

# プリントサーバーを使用する

プリントサーバーの設定について説明します。

## Windows ネットワークプリンターを設定する

Windows でネットワークプリンターを設定する方法の説明です。クライアントからネットワークプリンターを使用するために共有設定をします。
ここでは Windows 7 を例に説明します。Windows Server2003/2003 R2 をご使用の場合も、手順は同じです。

重要

- ここでは Windows プリントサーバーについて説明しています。オプションの拡張 USB プリントサーバーユニットの使用方法ではありません。
- ［プリンタ］または［プリンタと FAX］ウィンドウでプリンタープロパティを変更するには、以下のアクセス権が必要です。
    - Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 を使用している場合：「プリンタの管理」
    - Windows Vista/7 を使用している場合：「フルコントロール」
- ［プリンタ］または［プリンタと FAX］ウィンドウでプリンタープロパティを変更するには、Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. **プリンターのプロパティ画面を開きます。**

   プロパティ画面の開きかたについては、P.113「Windows でドライバー設定画面を開く」を参照してください。

2. **［共有］タブをクリックし、［このプリンターを共有する］にチェックを付けます。**

3. **プリンターをほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、［追加ドライバー］をクリックします。**

   プリンタードライバーをインストールしたときに、「共有」にチェックを付けて代替ドライバーをインストールした場合、この操作は必要ありません。

4. **［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

## Ridoc IO Navi 経由で印刷通知をする

Ridoc IO Navi の印刷通知機能を設定する方法の説明です。

## プリントサーバーの設定をする

重要

- プリントサーバーの設定を変更するには、Windows XP Professional、Windows Server 2003 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows Vista/7 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。



**1. [スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] - [RICOH Ridoc Desk Navigator] - [Ridoc IO Navi] の順にポイントして、[プリントサーバー設定] をクリックします。**

プリントサーバー設定ダイアログが表示されます。

**2.「クライアントに印刷通知をする」をチェックして、[OK] をクリックします。**

プリントサーバーの設定によって、ダイアログが表示されます。記載内容を確認して [OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、処理を中断します。

**3. 各クライアントへの設定についてダイアログが表示されます。[OK] をクリックします。**

これでプリントサーバーの設定は終了です。各クライアントで、印刷通知の設定が必要です。

補足

- 印刷中のジョブはスプーラー時停止後に最初から再印刷されます。
- 拡張機能を使用していない場合、自動的に拡張機能を有効に設定します。
- Administrators アカウント以外でログインした場合、クライアントに通知できない場合があります。

## クライアントの設定をする

**1. [スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] - [RICOH Ridoc Desk Navigator] - [Ridoc IO Navi] の順にポイントして、[拡張機能設定] をクリックします。**

拡張機能設定ダイアログが表示されます。

**2.「拡張機能設定を使用する」にチェックを付けます。**

**3.「印刷通知」の「プリントサーバーを利用する場合に通知します。」にチェックを付けます。**

**4. [OK] をクリックします。**

印刷通知設定ダイアログが閉じます。

- プリンタードライバーでも印刷通知の設定をしてください。印刷通知の詳しい設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

# 2. 本機のご利用にあたって

使用説明書の読みかたや各部の名称とはたらき、操作部の使用方法やログイン方法などについて説明します。

## お使いになる前に



このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

株式会社リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

### 正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

### 使用説明書の読みかた

#### 使われているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

### おことわり

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスした場合、あるいは本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用により生じた損害について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

### 本書についてのご注意

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

### IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

## 本書で使用しているオプションの表記

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

| 商品名 | 略称 |
| --- | --- |
| IPSiO 1000 枚給紙テーブル C830 | 1000 枚給紙テーブル |
| IPSiO 2000 枚給紙テーブル C830 | 2000 枚給紙テーブル |
| IPSiO 1200 枚増設トレイ C830 | 大量給紙トレイ（LCT） |
| IPSiO 小サイズ用紙対応カセット C830 | 小サイズカセット |
| IPSiO 専用テーブル C830 | 専用テーブル |
| IPSiO 排紙中継ユニット C830 | 排紙中継ユニット |

| 商品名 | 略称 |
|---|---|
| IPSiO 3000 枚フィニッシャー C830 | 3000 枚フィニッシャー |
| IPSiO 3000 枚一穴対応フィニッシャー 8300 | 3000 枚一穴対応フィニッシャー |
| IPSiO 紙揃えユニット C830 | 紙揃えユニット |
| オペレーターコールライト 9100 | オペレーターコールライト |
| IPSiO SDRAM モジュール XI 512MB | SDRAM モジュール |
| IPSiO 拡張 HDD タイプ T | 拡張 HDD |
| 1Giga イーサネットボード タイプ B | 拡張ギガビットイーサネットボード |
| IPSiO 拡張無線 LAN ボード タイプ A | 拡張無線 LAN ボード |
| 拡張 1284 ボード タイプ A | 拡張 1284 ボード |
| IPSiO 拡張 USB プリントサーバー タイプ A | 拡張 USB プリントサーバーユニット |
| IPSiO エミュレーションカード タイプ 8300 | エミュレーションカード |
| IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ 8300 | マルチエミュレーションカード |
| IPSiO PS3 カード タイプ 8300 | PS3 カード |
| IPSiO PCL カード タイプ 8300 | PCL カード |
| IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ 8300 | PDF ダイレクトプリントカード |
| IPSiO BMLinkS カード タイプ E | BMLinkS カード |
| IPSiO VM カード タイプ H | VM カード |

# 各部の名称とはたらき

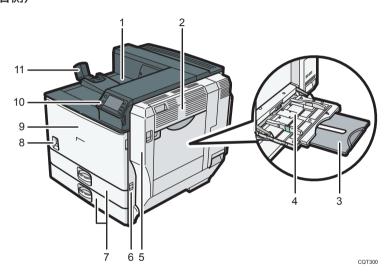
各部の名称とはたらきについて説明します。

## 本体各部の名称とはたらき

2

**重要**

- **通風孔に物を置いたり、立てかけたりして通風孔をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。**

### 本体前面（右側）

1. **本体トレイ**

   印刷した用紙が、印刷面を下にして排出されます。

2. **右上カバー**

   つまった用紙を取り除くときに開けます。

3. **延長トレイ**

   A4▱よりも大きい用紙を手差しトレイにセットするときに、この延長トレイを引き出します。

4. **手差しトレイ**

   用紙をセットします。普通紙で最大 100 枚までセットできます。

5. **右カバー**

   つまった用紙を取り除くときに開けます。

6. **取っ手**

   本体を持ち上げるときに引き出します。

7. **給紙トレイ［トレイ 1］、［トレイ 2］**

   用紙をセットします。それぞれ、普通紙で最大 580 枚までセットできます。

   本文中では、トレイ 1、トレイ 2、オプションの 1000 枚給紙トレイ（トレイ 3、トレイ 4）を合わせて 500 枚給紙トレイと呼びます。

8. **電源スイッチ**

   本機を使用するときは、電源スイッチを「On」にします。P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。

9. **前カバー**

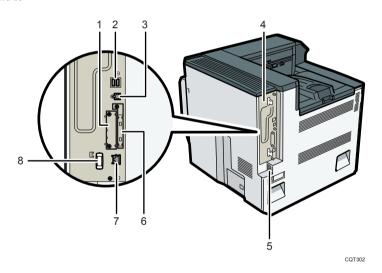
   トナーやドラムユニットを交換するときに開けます。

10. **操作部**

    P.76「操作部の名称とはたらき」を参照してください。

11. **エンドフェンス**

    A3▭より大きなサイズの用紙に印刷するときに起こします。

## 本体背面（左側）

1. **拡張インターフェースボード取り付け部**

   拡張ギガビットイーサネットボード、拡張無線 LAN ボード、拡張 1284 ボード、拡張 USB プリントサーバーユニットを取り付けることができます。

2. **USB ポート A**

   IC カード認証を取り付けます。詳細は、IC カード認証の使用説明書を参照してください。

3. **USB ポート B**

   本体とパソコンを USB で接続するときや、拡張 USB プリントサーバーユニットを設置するときは、このポートに USB ケーブルを接続します。

4. **コントローラーボード**

   SDRAM モジュールや拡張 HDD を取り付けるときに、このボードを引き出します。

**5. 本体電源コネクター**

本体の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルの片方は、コンセントに差し込みます。

**6. 拡張 SD カード用スロット**

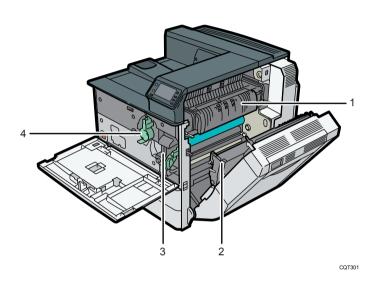
SD カードを取り付けます。

**7. イーサネットポート**

本体とネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

**8. 取っ手**

コントローラーボードを引き出すときに使います。

## 本体内部

**1. 定着ユニット**

「定期メンテナンス時期」、または「サービスにご連絡ください。」のメッセージが表示されたら定着ユニットの点検が必要です。サービス実施店に連絡してください。

**2. 転写ローラー**

「定期メンテナンス時期」、または「サービスにご連絡ください。」のメッセージが表示されたら転写ローラーの点検が必要です。サービス実施店に連絡してください。

**3. ドラムユニット**

以下のメッセージが表示されたら、ドラムユニットを交換します。

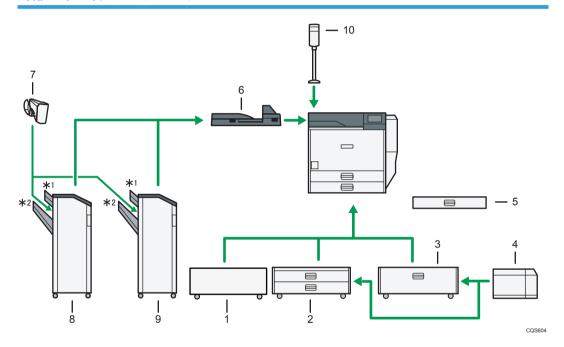
- 「ドラムユニットもうすぐ交換」
- 「新しいドラムユニットが必要です。」
- 「購入窓口にご連絡ください。」
- 「ドラムユニットの交換時期です。」
- 「ドラムユニット交換してください。」
- 「ドラムユニット交換時期」

4. トナー

操作部に「トナーがなくなりました」、または「トナー補給」のメッセージが表示されたら交換します。

# おもなオプションのはたらき



## 外部に取り付けるオプション

1. **専用テーブル**

   キャスター付きの土台で、用紙などを収納できます。

   取り付け方法については、P.18「給紙テーブル、専用テーブルを取り付ける」を参照してください。

2. **1000 枚給紙テーブル**

   普通紙を最大 1,160 枚（580 枚 2 段）セットできます。

   取り付け方法については、P.18「給紙テーブル、専用テーブルを取り付ける」を参照してください。

3. **2000 枚給紙テーブル**

   普通紙を最大 2,500 枚セットできます。

   取り付け方法については、P.18「給紙テーブル、専用テーブルを取り付ける」を参照してください。

4. **大量給紙トレイ（LCT）**

   普通紙を最大 1,500 枚の用紙をセットできます。

取り付け方法については、P.18「給紙テーブル、専用テーブルを取り付ける」を参照してください。

**5. 小サイズカセット**

郵便ハガキなど、小さなサイズの用紙に印刷できるようになります。

取り付け方法については、P.18「給紙テーブル、専用テーブルを取り付ける」を参照してください。



**6. 排紙中継ユニット**

フィニッシャーに出力紙を送ります。

取り付け方法については、P.42「フィニッシャーを取り付ける」を参照してください。

**7. 紙揃えユニット**

3000 枚フィニッシャー、3000 枚一穴対応フィニッシャーに取り付けるユニットです。フィニッシャー・シフトトレイに排紙された用紙をそろえます。

取り付けに関しては、サービス実施店にお問い合わせください。

**8. 3000 枚フィニッシャー**

複数の出力紙を仕分けたり、ステープラーでとじたりします。パンチ穴（二穴）をあけることもできます。3000 枚フィニッシャーを装着するには、1000 枚給紙テーブル、2000 枚給紙テーブル、または専用テーブルが必要です。

3000 枚フィニッシャーは、次のトレイで構成されています。

- ※1：フィニッシャー・上トレイ
- ※2：フィニッシャー・シフトトレイ

取り付け方法については、P.42「フィニッシャーを取り付ける」を参照してください。

**9. 3000 枚一穴対応フィニッシャー**

複数の出力紙を仕分けたり、ステープラーでとじたりします。パンチ穴（一穴）をあけることもできます。3000 枚一穴対応フィニッシャーを装着するには、1000 枚給紙テーブル、2000 枚給紙テーブル、または専用テーブルが必要です。

3000 枚一穴対応フィニッシャーは、次のトレイで構成されています。

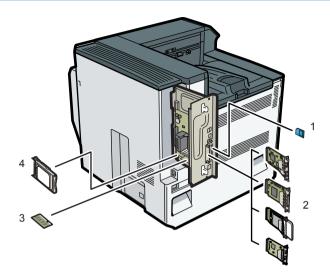
- ※1：フィニッシャー・上トレイ
- ※2：フィニッシャー・シフトトレイ

取り付けに関しては、サービス実施店にお問い合わせください。

**10. オペレーターコールライト**

紙づまりや用紙の補給など、印刷中にエラーが起こると、ブザー音とランプの点灯／点滅で警告を発するユニットです。

取り付けに関しては、サービス実施店にお問い合わせください。

## 内部に取り付けるオプション

**1. 拡張 SD カード**

- エミュレーションカード

  R16、R55、R98、RTIFF、RPDL が含まれたエミュレーションカードです。

- マルチエミュレーションカード

  R16、R55、R98、RTIFF、RPDL、RP-GL/2 が含まれたマルチエミュレーションカードです。

- PS3 カード

  PostScript 3 による印刷ができます。

- PCL カード

  PCL 6、PCL 5e による印刷ができます。

- PDF ダイレクトプリントカード

  プリンタードライバーを使わず、Adobe 純正 PDF ファイルをダイレクトに印刷できます。

- BMLinkS モジュール

  BMLinkS カードを取り付けることにより、BMLinkS 対応のプリンターになります。

- VM カード

  Embedded Software Architecture アプリケーションを使用するためのカードです。

取り付け方法については、P.41「拡張 SD カードを取り付ける」を参照してください。

**2. 拡張インターフェースボード**

- 拡張ギガビットイーサネットボード

  1000BASE-T で通信できます。

- 拡張無線 LAN ボード

  無線 LAN でネットワークに接続できます。

- 拡張 1284 ボード

IEEE1284 ケーブルで接続できます。

- 拡張 USB プリントサーバーユニット

  イーサネットインターフェースを増設して、2 つの IP アドレスを同時に使用できます。

取り付け方法については、P.35「インターフェースユニットを取り付ける」を参照してください。



**3. SDRAM モジュール**

メモリー容量を 1GB（標準 512MB）に増設できます。

取り付け方法については、P.28「拡張メモリーユニットを取り付ける」を参照してください。

**4. 拡張 HDD**

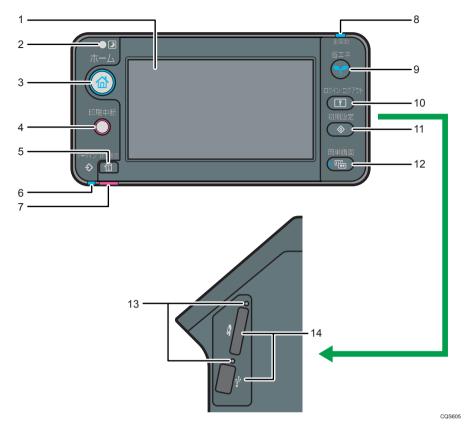
文書を蓄積して印刷できます。

取り付け方法については、P.28「拡張メモリーユニットを取り付ける」を参照してください。

補足

- 拡張ギガビットイーサネットボード、拡張無線 LAN ボード、拡張 1284 ボード、拡張 USB プリントサーバーユニットは、いずれか 1 つしか装着できません。
- 同一スロットで複数の拡張 SD カードを使用したい場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

## 操作部の名称とはたらき

操作部の各部の名称とはたらきについて説明します。

**1. 画面**

本機を操作するためのキーが表示されます。また、操作の状態やメッセージを表示します。P.81「ホーム画面の見かた」、P.83「操作画面の見かた」を参照してください。

**2. ECO ナイトセンサー**

［明るさ検知オフ設定］機能を使用する場合に、室内の明るさを検知するセンサーです。

**3.［ホーム］キー**

ホーム画面を表示するときに押します。P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

**4.［印刷中断］キー**

印刷中のデータを一時停止するときに押します。一時停止中はランプが点灯します。

**5.［状態確認］キー**

本機の状態、実行中ジョブの状態を確認できます。ジョブ履歴や本機の保守情報を確認することもできます。

**6. データインランプ**

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

**7. 状態確認ランプ**

エラーが発生したときに、点灯または点滅します。

赤点灯したときは、印刷ができません。

黄点滅したときは、印刷はできますが、消耗品の交換が間近のためきれいな印刷結果が得られない場合があります。

画面でエラーの内容を確認して対処してください。

**8. 電源ランプ**

電源スイッチが「On」のときに点灯します。電源スイッチが「Stand by」のときや、本機が省エネモードのときは消灯します。



**9. ［省エネ］キー**

スリープモードの状態になります。もう 1 度押すと、スリープモードが解除されます。P.109「節電」を参照してください。スリープモード時は、［省エネ］キーがゆっくり明るくなったり暗くなったりします

**10. ［ログイン／ログアウト］キー**

ログインまたはログアウトするときに押します。

**11. ［初期設定］キー**

使用条件に合わせて、初期設定値や操作条件を変更します。詳しくは、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

機械の修理やトナーの発注の連絡先も確認できます。連絡先を出力することもできます。P. 441「初期設定から問い合わせ情報を確認する」を参照してください。

**12. ［簡単画面］キー**

画面を簡単画面に切り替えます。P.85「画面パターンを切り替える」を参照してください。

**13. メディアアクセスランプ**

メディアスロットに携帯用の記憶装置（SD カード、USB メモリー）が差し込まれたとき、または記憶装置のデータを読み取るときに光ります。

**14. メディアスロット**

記憶装置を差し込みます。

## 外部メディアを取り付ける／取り外す

重要

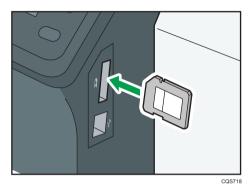
- **データ書き込み中には、本体の主電源スイッチを切らないでください。書き込み中のデータが破損することがあります。データ書き込み中にやむをえず本体の電源が切れてしまったときは、お使いのメディア内のデータを確認してください。**
- **使用できる SD カードの容量は 32GB までです。**

補足

- 外部メディアを差し込んでもメディアアクセスランプが点灯しないときは、次のように対処してください。
    - 外部メディアをセットし直してください。

- 外部メディアが壊れている可能性があります。SD カードのお買い上げ店などに相談してください。

## SD カードを取り付ける

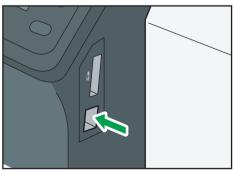
**1. SD カードの向きを確認し、メディアスロットにカチッと音がするまでまっすぐ差し込みます。**

CQS718

正しくセットできると、メディアアクセスランプが点灯します。

## USB メモリーを取り付ける

重要

- USB メモリーの種類によっては、使用できないことがあります。
- USB メモリーを取り付けるときは、延長ケーブルを使用しないで、メディアスロットに直接取り付けてください。

**1. USB メモリーの向きを確認し、メディアスロットの奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。**

CQS719

正しくセットできると、メディアアクセスランプが点灯します。

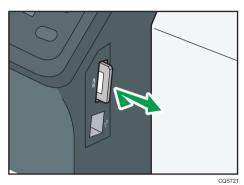
補足

- USB メモリーが取り付けられていると、メディアアクセスランプが点灯を続けます。

## SD カードを取り外す

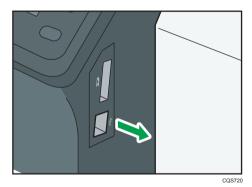


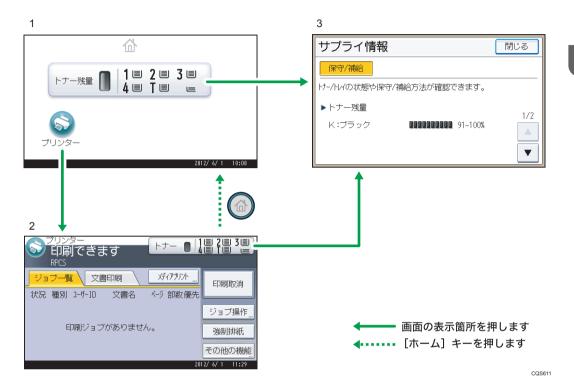
1. メディアアクセスランプが点灯していないことを確認します。
2. SD カードを軽く押してから離します。

CQS721

3. SD カードをつまんで、ゆっくり引き抜きます。

## USB メモリーを取り外す

1. USB メモリーをゆっくり引き抜きます。

CQS720

# 操作画面を使用する

操作画面の使いかたについて説明します。

1. **ホーム画面**

   プリンター機能やアプリケーションのショートカットアイコンが表示されます。P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

2. **プリンター画面**

   プリンターを操作する画面です。プリンターの状態、メッセージ、機能のメニューが表示されます。P.83「操作画面の見かた」を参照してください。

3. **消耗品情報画面**

   トナーや用紙の残量などが確認できます。

補足

- 工場出荷時の設定では、電源を入れたときにホーム画面が表示されます。

## ホーム画面の見かた

ホーム画面には、いつも使用するアプリケーションをショートカットアイコンとして登録できます。ワンタッチで機能を起動できます。

ホーム画面を表示するには、操作部の［ホーム］キーを押します。

重要

- 画面に強い衝撃や力を加えないでください。破損の原因になります。約 30N（約 3kgf）が限界です。（N はニュートンです。kgf は重量キログラムです。1kgf は約 9.8N です。）

1. **消耗品情報アイコン**

   アイコンを押すと、消耗品情報画面が表示されます。トナーや用紙の残量などが確認できます。

2. **［プリンター］**

   アイコンを押すと、プリンター画面が表示されます。プリンターの操作や設定を変更するときに押します。

3. **ショートカットアイコン**

   アプリケーションのショートカットをホーム画面に登録できます。アイコンの登録や並び順の変更、削除については、P.94「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。

4. **お好みの画像**

   企業ロゴなど、お好みの画像を表示できます。画像を変更するときは、P.98「ホーム画面に画像を表示する」を参照してください。

5. **▲／▼**

   アイコンの一覧がすべて表示できないときに表示されます。表示するページを切り替えることができます。

補足

- Embedded Software Architecture アプリケーションを本機にインストールすると、アプリケーション固有のアイコンが表示されます。

## システムリセット

一定時間何も操作しないと、［優先機能設定］で設定した機能の画面に自動的に切り替えます。これを「システムリセット」といいます。

システムリセットされるまでの時間を［優先機能設定］で設定できます。

［優先機能設定］の設定方法は、P.284「システム初期設定」を参照してください。

## 操作画面の見かた

画面には、操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

表示されているそれぞれの機能項目は、軽く押すことによって、項目を選んだり指定したりすることができます。

機能項目が選択、または指定されたとき、変更のように反転表示されます。機能項目が選択、または指定できないときは、変更のようにうすく表示されます。



重要

- **画面に強い衝撃や力を加えないでください。破損の原因になります。約 30N（約 3kgf）が限界です。（N はニュートンです。kgf は重量キログラムです。1kgf は約 9.8N です。）**

工場出荷時の設定では、電源を入れたときにホーム画面が表示されます。

1. **メッセージ表示部**

   操作の状態やメッセージが表示されます。

   印刷中はジョブ情報（ユーザー ID および文書名）が表示されます。

2. **［文書印刷］**

   パソコンから指定した通常印刷や、試し印刷文書/機密印刷文書/保留印刷文書/保存文書を印刷する画面に切り替えます。

3. **消耗品情報アイコン**

   アイコンを押すと、消耗品情報画面が表示されます。トナーや用紙の残量などが確認できます。

4. **［メディアプリント］**

   メディアプリント機能で印刷する画面に切り替えます。

5. **［印刷取消］**

   印刷している文書の受信データを消去し、印刷を中止します。

   ヘキサダンプに設定しているときに押すと、ヘキサダンプを解除します。

**6. [ジョブ操作]**

印刷中のジョブを一時停止します。ジョブの詳細を確認したり、ジョブを削除したりできます。

**7. [強制排紙]**

印刷されずに本機内に残っているデータを、強制的に印刷して排紙します。

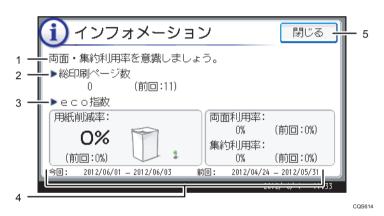
**8. [その他の機能]**

スプールされたジョブの一覧やエラー履歴を表示する画面に切り替えます。



## 「インフォメーション」画面の見かた

エコ意識を高めるために、用紙の節約状況を画面に表示できます。

認証機能を設定しているときは、ログインしたときに表示されます。認証機能を設定していないときは、スリープモードから復帰したとき、またはシステムリセットが実行されたときに表示されます。認証機能の設定にかかわらず、電源を入れたときにも表示されます。

**1. メッセージ**

管理者からのメッセージが表示されます。

**2. 総印刷ページ数**

集計期間内に出力した総ページ数と、前回の集計期間内に出力した総ページ数が表示されます。

**3. eco 指数**

- 用紙削減率：

  両面印刷、または集約印刷を利用して削減できた用紙の割合を表示します。

  削減するほど、画面の紙の量が減り、芽が成長します。削減率が 76%以上になると花が咲きます。

- 両面利用率：

  出力した総ページ数のうち、両面機能を使用した割合を表示します。

  利用率が上がるほど、葉が増えます。

- 集約利用率：

  出力した総ページ数のうち、集約機能を使用した割合を表示します。

利用率が上がるほど、葉が増えます。

4. **集計期間**

現在の集計期間と前回の集計期間が表示されます。

5. **[閉じる]**

「インフォメーション」画面を閉じて、操作に戻ります。



補足

- 本機の設定によっては「インフォメーション」画面は表示されません。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 利用状況を Web Image Monitor から確認することもできます。確認方法は Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- システム初期設定の「eco 指数カウンター集計期間／管理者メッセージ設定」で、「集計期間」、「管理者メッセージ」、「インフォメーション画面表示」、「表示のタイミング」を確認できます。また、設定は管理者だけが変更できます。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

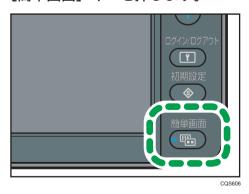
## 画面パターンを切り替える

簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。

[簡単画面] キーを押すと、各機能の初期画面から簡単画面に切り替わります。

簡単画面とは、主な機能だけを表示した画面です。

文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作することができます。

### 1. [簡単画面] キーを押します。

画面はプリンター画面を簡単画面に切り替えたものです。

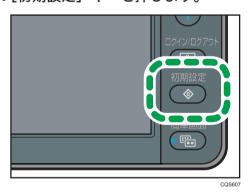
2

補足

- 初期画面に戻すときは、再度［簡単画面］キーを押します。
- 簡単画面では表示されないキーがあります。

## 表示言語を切り替える

画面に表示する言語として日本語または英語を選択します。工場出荷時の設定は日本語です。日本語から英語に切り替える例を示します。

1. ［初期設定］キーを押します。

2. ［English］を押します。
3. ［初期設定］キーを押します。

補足

- 日本語表示に切り替えるときは、手順 2 で［日本語］を押します。

## 文字入力のしかた

本機で文字を入力する方法について説明します。

## 文字入力画面の見かた

入力画面とキーについて説明します。

**[入力切替]**

入力形式を切り替えます。選択できる入力形式は以下のとおりです。

- [かな]

  ひらがなの入力モードになります。

- [カナ]

  カタカナの入力モードになります。

- [英字(QWERTY 配列)]

  英字（QWERTY 配列）の入力モードになります。

- [数字]

  数字の入力モードになります。

- [記号]

  記号（記述・学術・一般・文字）の入力モードになります。

- [区点コード]

  区点入力モードになります。読みがわからず漢字を見つけられないときや、JIS 第二水準の漢字を入力するときは、その漢字の区点コードを入力します。

- [定型文]

  登録した定型文を入力できます。

**[半角／全角]**

全角と半角を切り替えます。入力形式が［英字(QW.)］、［数字］、または［記号］のときに表示されます。全角のときは「全」、半角のときは「半」が入力エリアに表示されます。

**[Shift]**

アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。また、QWERTY 型の配列でひらがな、カタカナのよう音を入力するときに押します。

2

**[←][→]**

カーソルを左右に移動します。カーソルを移動して文字を入力すると、カーソルの前に文字が挿入されます。

**[後退]**

カーソルの前の文字を 1 つ消去します。



**[全消去]**

入力した文字をすべて消去します。

**[変換]**

入力したひらがなを漢字に変換します。入力形式が［かな］のときに表示されます。

**[無変換]**

入力したひらがなを、そのままひらがなとして確定します。入力形式が［かな］のときに表示されます。

**[空白]**

空白を入れます。入力形式が、[かな]、[カナ]、または［英字(QW.)］のときに表示されます。

## 入力できる文字

入力できる文字について説明します。

重要

- **複雑な文字を表示したり、印字するとき、文字の一部を簡略化することがあります。**

文字は、カーソルの個所に入力されます。カーソルの上に文字があるときは、その文字の前に挿入されます。入力できる文字は次のとおりです。

- カタカナ
- ひらがな
- 漢字

  JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字
- アルファベット
- 記号
- 数字

  0123456789

### 入力できる文字の一覧

<table>
<tr><td colspan="2">ひらがな（全角）</td><td>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよ<br>らりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼぱぴぷぺぽ゜゛。、ー</td></tr>
<tr><td colspan="2">ひらがな（小）</td><td>ぁぃぅぇぉっゃゅょ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カタカナ（大：全角）</td><td>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨ<br>ラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ゜゛。、ーヴ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カタカナ（小：全角）</td><td>ァィゥェォヵヶッャュョ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カタカナ（大：半角）</td><td>ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜﾝ｡､ｦｰﾟﾞ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カタカナ（小：半角）</td><td>ｧｨｩｪｫｯｬｭｮ</td></tr>
<tr><td colspan="2">英　数（大：全角半角共通）</td><td>A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z<br>0 1 2 3 4 5 6 7 8 9</td></tr>
<tr><td colspan="2">英　数（小：全角半角共通）</td><td>a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z<br>0 1 2 3 4 5 6 7 8 9</td></tr>
<tr><td rowspan="7">記号</td><td>記述（全角）</td><td>、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”（）<br>〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】ゎゐゑヮヰヱヴヵヶ一十百千万億壱弐参伍拾廿阡萬兆京</td></tr>
<tr><td>記述（半角）</td><td>!"'(),./:;?[]^_`{|}~｡｢｣､･ｰ</td></tr>
<tr><td>学術（全角）</td><td>＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔<br>∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰</td></tr>
<tr><td>学術（半角）</td><td>$% +- 〈=〉 ¥</td></tr>
<tr><td>一般（全角）</td><td>＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝♯♭♪†‡¶◯<br>─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂</td></tr>
<tr><td>一般（半角）</td><td>#&*@</td></tr>
<tr><td>文字</td><td>Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω<br>α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω<br>А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я<br>а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я</td></tr>
</table>

CJR035

補足

- 漢字に変換するとき、一度に入力できる文字数は 10 文字までです。

## 入力のしかた

具体的な入力のしかたを説明します。

**ひらがな/カタカナ**

ひらがなを入力するときは、[入力切替] 画面で [かな] を選択します。

カタカナを入力するときは、[入力切替] 画面で [カナ] を選択します。

入力方法はローマ字入力です。

ひらがなは入力したあと、[無変換] を押します。

全角カタカナと半角カタカナを切り替えるときは [半角／全角] を押します。

**漢字**

漢字を入力するときは、ひらがなを入力し、[変換] を押します。画面に同じ読みの漢字が表示されるので、入力する漢字を選択します。

表示されていない漢字を見るときは、[▼] または [▲] を押します。

変換をやめたいときは、[取消] を押します。

漢字の読みがわからないときは、区点で入力します。

**区点**

区点を入力するときは、[入力切替] 画面で [区点コード] を押し、入力する漢字の区点コードを入力します。区点コードは「JIS 漢字コード表」で調べます。

例：「亜」を入力するときは、[1] [6] [0] [1] を押します。

**アルファベット**

アルファベットを入力するときは、[入力切替] 画面で [英字（QWERTY 配列）] を選択します。

[Shift] を押すと大文字または小文字に切り替えることができます。

[半角／全角] を押すと全角または半角のアルファベットに切り替えることができます。

**数字**

数字を入力するときは、[入力切替] 画面で [数字] を選択します。

[半/全] を押すと全角または半角の数字に切り替えることができます。

**記号**

記号を入力するときは、[記号] を押します。「記号」には次の見出しがあり、見出しを押すと、画面が切り替わります。

- 記述
- 学術
- 一般
- 文字

[記述] [学術] [一般] では全角と半角を切り替えることができます。全角記号と半角記号を切り替えるときは [半角／全角] を押します。

見出しに含まれる文字については P.88「入力できる文字」を参照してください。

補足

- ひらがなと漢字は半角では入力できません。
- 本機に市販の USB キーボードを接続し、使用することができます。USB キーボードを使用するときは、サービス実施店に連絡してください。

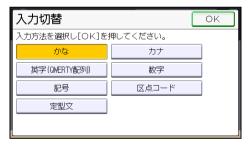


## 実際に入力する

文字の入力のしかたを実際の手順に沿って説明します。

例：「縦のＡ 4」という名称を付ける（「Ａ」は全角、「4」は半角で入力）

1. ［入力切替］を押します。

2. ［かな］を選択して［OK］を押します。

3. ［t］［a］［t］［e］を押します。
4. ［変換］を押します。
5. ［縦］を押します。
6. ［n］［o］を押します。
7. ［無変換］を押します。
8. ［入力切替］を押します。
9. ［英字(QWERTY 配列)］を選択して［OK］を押します。
10. ［Shift］を押します。
11. ［半角／全角］を押します。

**12.** [A] を押します。

**13.** [入力切替] を押します。

**14.** [数字] を選択して [OK] を押します。

**15.** [4] を押します。

**16.** [OK] を押します。

「縦のＡ 4」という名称が入力されます。

## 定型文字列を呼び出す

「定型文字列登録／変更／消去」で登録した文字列を呼び出して使用できます。

「定型文字列登録／変更／消去」の設定方法は P.284「基本設定」を参照してください。

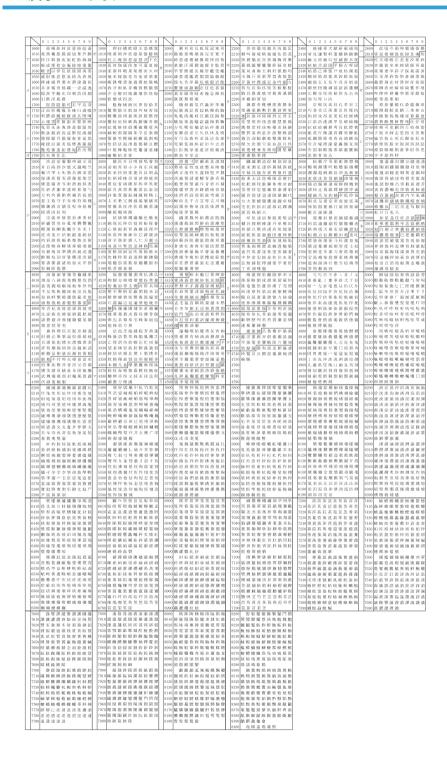
**1.** [入力切替] を押します。

**2.** [定型文] を押して、[OK] を押します。

**3.** 呼び出す文字列を選択します。

**4.** [OK] を押します。

# JIS 漢字コード表

CJR041

## ホーム画面をカスタマイズする

ショートカットアイコンのホーム画面への登録や、アイコンを使用しやすいように並び替える、または不要なアイコンを削除するなど、ホーム画面のカスタマイズについて説明します。

ホーム画面の見かたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

認証機能の設定によって、ホーム画面には次の 2 種類があります。

**デフォルトホーム画面**

認証機能を設定していないとき、または認証機能を設定しているときに管理者でログインしたときのホーム画面です。デフォルトホーム画面は、ユーザー別ホーム画面の初期画面になります。デフォルトホーム画面をカスタマイズしたときは、ユーザー別ホーム画面の初期画面も変更されます。

**ユーザー別ホーム画面**

ユーザーごとのホーム画面です。ユーザー別ホーム画面を使用するには、認証機能の設定が必要です。ユーザー別ホーム画面の使用を制限できます。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

ホーム画面は、使用しやすいようにカスタマイズできます。デフォルトホーム画面、およびユーザー別ホーム画面を個別にカスタマイズできます。デフォルトホーム画面は、初期設定メニューまたは Web Image Monitor からカスタマイズします。ユーザー別ホーム画面は Web Image Monitor からカスタマイズします。カスタマイズできる内容は下記のとおりです。

**アイコンの追加**

P.95「アイコンをホーム画面に追加する」を参照してください。

**アイコンの並べ替え**

P.96「ホーム画面のアイコンを並べ替える」を参照してください。

**画像の登録**

ホーム画面の右上にお好みの画像を表示できます。詳しくは、P.98「ホーム画面に画像を表示する」を参照してください。

補足

- 本機の設定によっては、ユーザー別ホーム画面を使用できません。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- ユーザー別ホーム画面をカスタマイズしても、デフォルトホーム画面は変更されません。
- ユーザー別ホーム画面を作成したあと、デフォルトホーム画面をカスタマイズしても、すでに登録したユーザー別ホーム画面の設定は変更されません。



## アイコンをホーム画面に追加する

ホーム画面から削除した機能や Embedded Software アプリケーションのアイコンなども再表示できます。

補足

- ショートカットの名称は、通常画面で全角 16 文字（半角 32 文字）まで表示できます。全角 17 文字（半角 33 文字）以上のときは、16 文字目（32 文字目）が「...」で表示されます。簡単画面では全角 15 文字（半角 30 文字）まで表示できます。全角 16 文字（半角 31 文字）以上のときは、15 文字目（30 文字目）が「...」で表示されます。
- 機能アイコンとショートカットアイコンは合計して 72 個まで登録できます。登録数が上限に達しているときは、不要なアイコンを消去してください。詳しくは、P.97「ホーム画面のアイコンを消去する」を参照してください。
- アイコンの位置を変更できます。詳しくは、P.96「ホーム画面のアイコンを並べ替える」を参照してください。

ここでは、アプリケーションのアイコンをホーム画面に登録する方法を例に説明します。

### Web Image Monitor で追加する

1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

   ログイン方法は、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。
2. **[機器の管理] をポイントし、[機器のホーム画面の管理] をクリックします。**
3. **[アイコンの編集] をクリックします。**
4. **追加する位置の [+アイコンを追加できます。] をポイントし、[+追加] をクリックします。**
5. **追加する機能アイコン、またはショートカットアイコンを選択し、[OK] をクリックします。**
6. **[確定] をクリックします。**
7. **[OK] を 2 回クリックします。**

### 初期設定メニューで追加する

1. [ホーム編集] 画面で [アイコンの追加] を押します。

   [ホーム編集] 画面の表示方法は、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [アプリケーション] タブを押します。
3. 追加するアプリケーションを選択します。
4. [空白] が表示されている位置を選択します。
5. [OK] を押します。
6. [初期設定] キーを押します。



補足

- 簡単画面でのアイコンの位置を確認するときは、画面右上の[…]を押してください。

## ホーム画面のアイコンを並べ替える

ホーム画面の機能アイコンやショートカットアイコンを使用しやすいように並べ替えられます。

補足

- 1 ページに表示できるアイコンの数は画面によって異なります。簡単画面では 3 個、通常画面では 6 個のアイコンを表示できます。
- アイコンの並び順は、通常画面と簡単画面で同じです。通常画面で 1 ページ目の右下に表示されているアイコンは、簡単画面では 2 ページ目の右上に表示されます。
- アイコンの移動画面には、装着していないアプリケーションのアイコンも表示されます。それらのアイコンを並べ替えることはできますが、ホーム画面には表示されません。

### Web Image Monitor で並び替える

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

   ログイン方法は、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. [機器の管理] をポイントし、[機器のホーム画面の管理] をクリックします。
3. [アイコンの編集] をクリックします。
4. 移動させるアイコンをドラッグし、移動先の上で離します。

   移動先に別のアイコンがすでに登録されているときは、アイコンの位置が入れ替わります。

アイコンを別のページに移動させるときは、画面右側に表示されているサムネール上の移動先ページにアイコンをドラッグします。ページが切り替わったら、移動先の上でアイコンを離します。

5. [確定] をクリックします。

6. [OK] を 2 回クリックします。

### 初期設定メニューで並び替える

1. [ホーム編集] 画面で [アイコンの移動] を押します。

   [ホーム編集] 画面の表示方法は、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [移動するアイコンの選択] を押します。

3. 移動させるアイコンを選択します。

4. [空白] が表示されている位置を選択します。

   移動先に別のアイコンがすでに登録されているときは、アイコンの位置が入れ替わります。

5. [閉じる] を押します。

6. [初期設定] キーを押します。

2

補足

- 簡単画面でのアイコンの位置を確認するときは、画面右上の[…]を押してください。

## ホーム画面のアイコンを消去する

不要な機能アイコンやショートカットアイコンを削除し、使用するアイコンだけを表示できます。

補足

- ホーム画面からアイコンを消去しても、機能やアプリケーション自体は消去されません。

### Web Image Monitor で削除する

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

   ログイン方法は、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. [機器の管理] をポイントし、[機器のホーム画面の管理] をクリックします。

3. [アイコンの編集] をクリックします。

4. 消去するアイコンをドラッグし、画面左側に表示されているゴミ箱の上で離します。

5. [確定] をクリックします。
6. [OK] を 2 回クリックします。

### 初期設定メニューで削除する

1. [ホーム編集] 画面で [アイコンの消去] を押します。

   [ホーム編集] 画面の表示方法は、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. 消去するアイコンを選択します。
3. [実行] を押します。
4. [初期設定] キーを押します。



## ホーム画面に画像を表示する

ホーム画面に企業ロゴなどの画像を表示できます。

画像は次のフォーマットで保存してください。

**ファイル形式**

JPEG

**画素数**

180 × 40 pixel

**ファイル上限サイズ**

15 KB

初期設定から画像を表示するときは、SD カードからダウンロードします。パスとファイル名を次のように設定してください。

**ファイル格納場所**

(root):¥custom_ui¥image

**ファイル名**

insert

- デフォルトホーム画面で設定した画像は、すべてのユーザー別ホーム画面でも表示されます。ユーザー別ホーム画面では、画像を変更できません。

### Web Image Monitor で画像を登録する

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

   ログイン方法は、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. [機器の管理] をポイントし、[機器のホーム画面の管理] をクリックします。

**3.［ホーム画面設定］をクリックします。**

**4.［画像の設定］ボックスで、［表示する］を選択します。**

画像を変更するときは、［他の画像を選択する］をクリックし、別の画像を選択します。

画像を消去するときは、［消去する］をクリックします。

**5.［参照］をクリックし、ファイルを選択します。**

**6.［OK］をクリックします。**



### 初期設定メニューで画像を登録する

**1. 本体操作部の SD スロットに SD カードをセットします。**

SD カードをセットする方法については、P.79「SD カードを取り付ける」を参照してください。

**2.［ホーム編集］画面で［ホーム画像の設定］を押します。**

［ホーム編集］画面の表示方法は、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**3.［ホーム画像を表示］を押します。**

画像を消去するときは、［ホーム画像を消去］を押します。

**4.［実行］を押します。**

**5.［初期設定］キーを押します。**

**6. SD カードを取り外します。**

SD カードを取り外す方法については、P.80「SD カードを取り外す」を参照してください。

## ホーム画面を初期状態に戻す

デフォルトホーム画面を初期状態に戻すときは、本体操作部で操作します。デフォルトホーム画面を初期化すると、工場出荷時の状態に戻ります。

ユーザー別ホーム画面を初期状態に戻すときは、Web Image Monitor から操作します。ユーザー別ホームを初期化すると、デフォルトホーム画面の状態に戻ります。

補足

- Embedded Software Architecture アプリケーションをインストールしているときは、初期状態に戻しても、アプリケーションアイコンは消去されません。

### Web Image Monitor で初期状態に戻す

**1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

ログイン方法は、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. ［機器の管理］をポイントし、［機器のホーム画面の管理］をクリックします。
3. ［アイコンを初期値に戻す］をクリックします。
4. ［OK］を2回クリックします。

### 初期設定メニューで初期状態に戻す



1. ［ホーム編集］［画面で］［アイコンを初期値に戻す］［を押します。］

   ［ホーム編集］画面の表示方法は、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。
2. ［実行］を押します。
3. ［初期設定］キーを押します。

2

# 本機にログインする

本機にログインする方法について説明します。

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証が設定されているときは、画面に認証画面が表示されます。個人ごとに設定されたログインユーザー名とログインパスワードを入力しないと、本機を操作できません。またユーザーコード認証が設定されているときは、ユーザーコードを入力しないと、本機を操作できません。

本機を操作できる状態になることをログインといいます。また、操作できる状態を解除することをログアウトといいます。ログインして操作したあとは、他の利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。

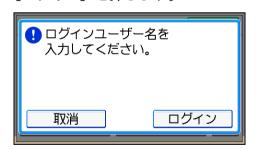
重要

- **ログインユーザー名、ログインパスワード、ユーザーコードは、ユーザー管理者に確認してください。ユーザー認証についての詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。**
- **ユーザーコード認証のときに、ユーザーコードとして入力するのはアドレス帳に「ユーザーコード」として登録されている数字です。**

## 操作部からのユーザーコード認証のしかた

操作部からのユーザーコード認証のしかたについて説明します。

ユーザーコード認証を設定しているときは、ユーザーコードの入力を求める画面が表示されます。

**1. [ログイン] を押します。**

**2. ユーザーコード（1 桁から 8 桁の任意の数字）を入力して、[実行] を押します。**

補足

- ログアウトするには、ジョブが終了したあとに [ログイン/ログアウト] キーを押します。

## ドライバーからのユーザーコード認証のしかた

ユーザーコード認証が設定されているときは、各ドライバーのプロパティ画面でユーザーコードを設定します。

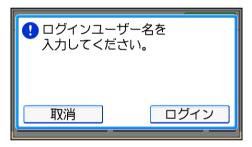
各ドライバーの操作については、各ドライバーのヘルプを参照してください。



- PCL プリンタードライバーは、ユーザーコード認証に対応していません。
- ユーザーコード認証のときは、ログアウトする必要はありません。

## 操作部からのログインのしかた

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証のいずれかが設定されているときにログインします。

**1.［ログイン］を押します。**

**2. ログインユーザー名を入力して、［OK］を押します。**

**3. ログインパスワードを入力して、［OK］を押します。**

認証に成功したときは各機能の画面が表示されます。

補足

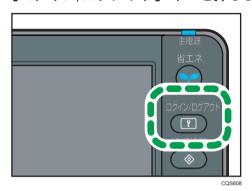
- 認証に失敗したときは、「認証に失敗しました。」と表示されます。ログインユーザー名またはログインパスワードを確認してください。
- ユーザーコード認証が設定されているときは異なる画面が表示されます。P.101「操作部からのユーザーコード認証のしかた」を参照してください。

## 操作部からのログアウトのしかた

ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証のいずれかが設定されているときにログアウトします。

重要

- ログインして操作したあとは、他の利用者が不正に使用できないよう必ずログアウトしてください。

1. ［ログイン/ログアウト］キーを押します。

2. ［ログアウトする］を押します。

## プリンタードライバーからのログインのしかた

本機に設定されているログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。初回だけ入力が必要です。

ここでは Windows 7 を例に手順を説明します。

1. プリンターのプロパティを開き、［応用設定］タブをクリックします。

   プロパティ画面の開きかたについては、P.113「Windows でドライバー設定画面を開く」を参照してください。

2. ［ユーザー認証］にチェックを付けます。

3. パスワードを暗号化して送信するときは、［ドライバー暗号鍵］をクリックします。

   パスワードを暗号化しないときは、手順 5 に進みます。

4. 「ドライバー暗号鍵」と「ドライバー暗号鍵の確認用入力」に、本体で設定された暗号鍵を入力します。

5. ［OK］を 2 回クリックしてプロパティを閉じます。

6. ［デバイスとプリンター］ウィンドウから印刷設定の設定画面を開きます。

   印刷設定の開きかたについては、P.113「［スタート］から印刷設定画面を開く」を参照してください。

7. ［項目別設定］タブをクリックします。

8. 「メニュー項目」の［印刷方法/認証］をクリックします。

9. ［認証］をクリックします。

10. 「ログインパスワード」と「ログインパスワードの確認用入力」に、本体やサーバーで設定したユーザー認証用のログインユーザー名とログインパスワードを入力します。

必ず本体またはサーバーで登録したものと同じログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。

本体やサーバーで設定したログインユーザー名とログインパスワードが正しく入力されないと、印刷されません。

11. ［OK］を 2 回クリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。

補足

- アプリケーションによっては、本手順で設定した初期値が反映されないことがあります。
- ドライバーからログインしたときは、ログアウトする必要はありません。

## Web Image Monitor からのログインのしかた

ユーザー認証が設定されているときに Web Image Monitor からログインします。

ログイン方法は、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

補足

- 使用するブラウザーの設定により、ログイン名、パスワードがブラウザーに保存されることがあります。保存されないようにするには、ブラウザーの設定を変更してください。
- ユーザーコード認証のときは、ログインユーザー名にユーザーコードを入力して、［ログイン］をクリックします。
- ご使用の Web ブラウザーにより操作は異なります。

## Web Image Monitor からのログアウトのしかた

ユーザー認証が設定されているときに Web Image Monitor からログアウトします。

1. ［ログアウト］をクリックします。

補足

- ログアウト後は、Web ブラウザーのキャッシュを削除してください。

## ロックアウト機能

本機にはロックアウト機能が設定されています。

ログイン時に管理者が設定した回数以上にパスワードを連続して間違えて入力すると、ロックアウト機能が働き、そのユーザー名でのログインが禁止されます。

ロックアウトされたユーザーは、正しいパスワードを入力しても認証に失敗し、本機を利用できなくなります。

ロックアウトされたときは、解除が必要です。詳しくは、『セキュリティーガイド』を参照してください。

## ログインパスワードを変更する

ログインパスワードに登録できる文字は、アルファベット、数字、記号です。

登録できる文字数は、半角で最大 128 文字です。

アルファベットは、大文字、小文字を区別して正しく登録してください。

重要

- **パスワードは、第三者に教えないでください。またパスワードを紙に書いて人目につくところに貼らないでください。**
- **パスワードは、定期的に変更してください。**
- **推測されにくいパスワードにしてください。**

**パスワードポリシーについて**

本機にはパスワードポリシーが設定されています。

パスワードの複雑度と使用できる最小文字数が設定されていますので、条件を満たすパスワードだけが設定できます。条件については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

パスワードで使用する文字は、以下の文字から選ぶことをお勧めします。

- 英大文字：[A-Z]（26 文字）
- 英小文字：[a-z]（26 文字）
- 数字：[0-9]（10 文字）
- 記号：（スペース）! " ＃ ＄ ％ ＆ ' ( ) * ＋ , - . / : ; ＜ ＝ ＞ ？ ＠ [ （バックスラッシュ）] ^ _ ` { | } ～（33 文字）

機器の操作部や PC のキーボードですべてのコード列パターンを入力できるわけではありません。

## 操作部からログインパスワードを変更する

1. [ログイン/ログアウト] キーを押します。
2. [ログイン] を押します
3. ログインユーザー名を入力して、[OK] を押します。
4. ログインパスワードを入力して、[OK] を押します。
5. [アドレス帳管理] を押します。
6. [変更] を押します。
7. [全て表示] を押します。
8. ユーザーを選択します。
9. [認証情報] を押します。
10. [ログイン用認証情報] を押します。
11. 「ログインパスワード」の [変更] を押します。
12. ログインパスワードを入力し、[OK] を押します。
13. ログインパスワードを再入力し、[OK] を押します。
14. [設定] を押します。
15. [初期設定] キーを押します。

## Web Image Monitor からパスワードを変更する

1. Web Image Monitor にログインします。

   ログイン方法は、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。
2. [機器の管理] をポイントし、[アドレス帳] をクリックします。
3. ユーザーまたはグループを選択します。
4. [変更] をクリックします。
5. 「認証管理」の [ユーザー認証] にチェックを付けます。
6. [次へ] をクリックします。
7. 「ログインパスワード変更」の [する] にチェックを付けます。
8. 新しいパスワードと確認用のパスワードを入力します。
9. [次へ] をクリックします。
10. [確定] をクリックします。
11. [ログアウト] をクリックします。

## プリンタードライバーのログインパスワードを変更する

1. **プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

   印刷設定画面の開きかたについては、P.113「Windows でドライバー設定画面を開く」を参照してください。

2. **［項目別設定］タブをクリックします。**
3. **「メニュー項目」の［印刷方法/認証］をクリックします。**
4. **［認証］をクリックします。**
5. **「ログインパスワード」と「ログインパスワードの確認用入力」に、本体やサーバーで設定したユーザー認証用のログインパスワードを入力します。**

   必ず本体またはサーバーで登録したものと同じログインパスワードを入力してください。

   本体やサーバーで設定したログインパスワードが正しく入力されないと、印刷されません。

6. **［OK］を 2 回クリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。**

# 電源の入れかた、切りかた

本機の電源の入れかた、切りかたについて説明します。

補足

- 本機は電源「On」の状態で一定時間使用しないと、自動的にスリープモードの状態になる機能を搭載しています。スリープモードに入る時間は［スリープモード移行時間設定］で設定できます。P.288「時刻タイマー設定」を参照してください。



## 電源の入れかた

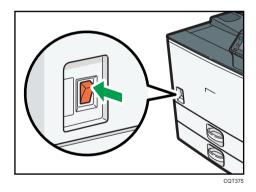
重要

- **電源スイッチを「On」にした直後に「Stand by」にしないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。**

**1. 電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認します。**

**2. 電源スイッチを「On」にします。**

操作部の電源ランプが点灯します。

CQT375

補足

- 電源スイッチを「On」にしたあとに、自動再起動の処理中の画面が表示されることがあります。機械内部で自動処理をするので、その間、電源スイッチを触らないでください。再起動できるまでには約2分間かかります。

## 電源の切りかた

### ⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



重要

- 電源スイッチを「Stand by」にした直後に「On」にしないでください。「Turn main Power Switch off」が表示されたときは、電源スイッチを「Stand by」にし、10 秒以上待ってから「On」にしてください。
- 電源スイッチを「Stand by」にし、電源ランプが消灯してから、電源プラグを抜いてください。
- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。

1. **電源スイッチを「Stand by」にします。**

   電源ランプが消灯します。

## 節電

本機は節電のために、以下のような省エネ機能を持っています。

**スリープモード**

一定時間何も操作しなかったときに、消費電力を抑えるスリープモードに入ります。また、次のいずれかの操作や設定によってもスリープモードに移行します。

- [省エネ] キーを押したとき
- [スリープモード移行時間設定] で設定した時間が経過したとき
- [ウィークリータイマー] で指定した時刻と曜日になったとき
- 屋内が暗くなったのを ECO ナイトセンサーが検知したとき

[スリープモード移行時間設定] や [ウィークリータイマー]、[明るさ検知オフ設定] については、P.288「時刻タイマー設定」、P.301「管理者用設定」を参照してください。

スリープモードから復帰するには、次のいずれかの操作をしてください。

- [省エネ] キーを押す
- [状態確認] キーを押す

**ウィークリータイマーによるスリープモードへの移行**

指定した時刻と曜日になると、自動的にスリープモードに移行、またはスリープモードから復帰します。ウィークリータイマーの設定については、P.288「時刻タイマー設定」を参照してください。

**ECO ナイトセンサーによる電源オフやスリープモードへの移行**

夜間などに周囲の明るさを検知して自動的にスリープモードに移行、または電源を切ります。[明るさ検知オフ設定] については、P.301「管理者用設定」を参照してください。



補足

- スリープモード時は、[省エネ] キーがゆっくり明るくなったり暗くなったりします。
- 次のようなときは、省エネ機能がはたらきません。
    - 外部の機器と通信中のとき
    - ハードディスクが動作しているとき
    - 警告画面が表示されているとき
    - サービスコールが点灯しているとき
    - 用紙がつまっているとき
    - トナー補給が表示されているとき
    - トナー補給中のとき
    - 「初期設定」画面が表示されているとき
    - リモートサービス通報画面が表示されているとき
    - 定着ウォームアップ中のとき
    - データ処理中のとき
    - 印刷途中で動作が中断中のとき
    - データインランプが点灯・点滅しているとき
    - 試し印刷/機密印刷/保留印刷/保存文書印刷の画面が表示されているとき
    - 文書印刷画面が表示されているとき
- スリープモード中は電力をほとんど消費しませんが、印刷が始まるまで多少時間がかかります。
- 省エネ機能に関する設定を複数している場合は、最初に条件を満たしたものから省エネ機能が有効となります。

# 設定画面を開く

本機の設定画面を開く方法について説明します。

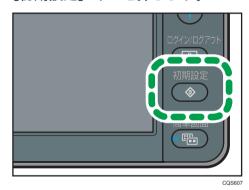
## 本機の初期設定画面を開く

初期設定画面の開きかたについて説明します。初期設定画面では、各種設定項目の初期値が変更できます。

重要

- 管理者認証が設定されているときは、管理者に確認してください。

1. [初期設定] キーを押します。

CQS607

2. 設定する項目を選択します。

[▼] または [▲] を押して表示する画面を切り替えます。

3. 画面の表示にしたがって初期設定値を変更し、[設定] を押します。
4. [初期設定] キーを押します。

初期設定のメニュー画面の [終了] を押しても終了できます。

操作後は、通常の画面に戻してください。

補足

- 設定／変更した内容は、設定し直さないかぎり有効です。電源スイッチを切ったり、［省エネ］キーを押しても取り消されません。
- 初期設定値の変更を中止して通常の画面に戻したいときは、［初期設定］キーを押します。
- システム初期設定の各設定項目については、P.284「システム初期設定」を参照してください。
- 言語切り替えについては、P.86「表示言語を切り替える」を参照してください。
- 連絡先の確認については、P.441「問い合わせ情報」を参照してください。

## Web ブラウザーで設定画面を開く

Web Image Monitor には、ゲストモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。

また、お使いのオプションにより表示される項目が異なる場合があります。

**ゲストモード**

ログインせずに使用するモードです。

ゲストモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。

**管理者モード**

管理者としてログインして使用するモードです。

管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

重要

- **IPv4 アドレスを入力する場合は、各セグメントの先頭につく「0」は入力しないでください。例えば「192.168.001.010」の場合は、「192.168.1.10」と入力します。「192.168.001.010」と入力すると、本機に接続できません。**

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。**

   Web Image Monitor のトップページが表示されます。

   DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

   サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしている場合は、「https://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」と入力します。

3. 管理者モードでアクセスする場合は、Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4. ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者に確認してください。

お使いのブラウザーの設定により、ログイン名、パスワードがブラウザーに保存される場合があります。これを防ぐためにはブラウザーでログイン名、パスワードを保存しないように設定してください。



## Windows でドライバー設定画面を開く

プリンタードライバーの開きかたについて、Windows 7 を例に説明します。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

重要

- プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定はユーザーごとに変更できません。プリンターのプロパティの設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの設定です。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。
3. [プリンターのプロパティ] をクリックします。

### [スタート] から印刷設定画面を開く

重要

- プリントサーバーから配布されたドライバーを使用するときは、プリントサーバーで設定された [標準の設定] の内容が初期値として表示されます。
- 印刷設定はユーザーごとに変更できません。印刷設定画面の設定内容が、このプリンタードライバーを使用して印刷するすべてのユーザーの初期値です。

1. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックします。

**3. [印刷設定] をクリックします。**

## アプリケーションから印刷設定画面を開く

印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバーの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。

アプリケーションから印刷設定画面を開くと、[デバイスとプリンター] ウィンドウから表示される印刷設定の内容が初期値として表示されます。アプリケーションから印刷するときは、必要な項目を変更して印刷します。

画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。ここでは Windows 7 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

**1. 画面左上のワードパッドメニューボタンをクリックし、[印刷] をクリックします。**

**2.「プリンターの選択」から印刷で使用するプリンターを選択します。**

**3. [詳細設定] をクリックします。**

補足

- 実際の表示の方法はアプリケーションによって異なります。詳しくは、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

## かんたん設定を使用する

よく使用する印刷機能の一部は、[かんたん設定] タブの「かんたん設定一覧：」に登録されています。メニューから設定名を選択するだけで、印刷方法を指定できます。

「かんたん設定」を使用するには、「かんたん設定一覧：」から、適用したい設定名をクリックします。設定名を選択するだけで登録されている設定内容が反映されるため、印刷するときに何箇所も設定を変更したり、誤って設定して無駄な印刷をしたりすることを防止できます。

「かんたん設定」は任意に追加、変更、削除することができます。また、複数のメンバーで同じかんたん設定を共有して使用することもできます。プリンタードライバーに関する特別な知識がなくても、登録した「かんたん設定」を使うだけで、さまざまな機能を活用することができます。

「かんたん設定」を登録するときは、以下の手順で操作してください。

**1. 印刷設定画面を開きます。**

**2. 印刷の設定を必要に応じて指定します。**

**3. [かんたん設定に登録... ] をクリックします。**

**4. 設定の名前とコメントを入力して [OK] をクリックします。**

**5. [OK] をクリックします。**

補足

- 「かんたん設定」の変更や削除について、詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

### ヘルプを表示する



**ヘルプのトピックを表示する**

プリンタードライバーの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると、表示しているタブに対応する内容のトピックが表示されます。

**プリンタードライバーの設定画面の表示項目についての説明を表示する**

プリンタードライバーの設定画面右上にある？マークのボタンをクリックすると、ポインターの横に？マークが表示されます。

説明を見たい項目をクリックすると、対応する内容のトピックが表示されます。

## Mac OS X でドライバー設定画面を開く

プリンタードライバーの開きかたについて、Mac OS X 10.6 に付属の「テキストエディット」を例に説明します。手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なることがあります。

1. **システム環境設定を開きます。**
2. **［プリントとファクス］をクリックします。**
3. **使用するプリンターのアイコンをクリックします。**

### アプリケーションからプリント画面を開く

印刷で使用するアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンタードライバーの印刷設定画面をアプリケーションから表示させて設定します。

1. **［ファイル］メニューから［プリント］をクリックします。**
2. **［プリンタ：］で使用するプリンターを選択します。**

補足

- プリント画面は、お使いの機種や使用するアプリケーションによって異なります。印刷に関する一般的な機能については、Macintosh の使用説明書またはヘルプを参照してください。

# ソフトウェアのダウンロードについて

本機と連携して使用できるソフトウェアについて説明します。

## Ridoc IO Analyzer でできること



Ridoc IO Analyzer について説明します。

- **Ridoc IO Admin がインストール済みの環境では、Ridoc IO Analyzer は Ridoc IO Admin に対する上書きアップデートとしてインストールされます。**

Ridoc IO Analyzer はネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターを管理できます。ネットワーク管理者の方が使用することをお勧めします。

Ridoc IO Analyzer は、リコーのホームページからダウンロードできます。

(http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/related_goods/analyzer/)

補足

- Ridoc IO Analyzer については、Ridoc IO Analyzer の取扱説明書を参照してください。

## Ridoc Desk Navigator Lt でできること

Ridoc Desk Navigator について説明します。

アプリケーションで作成したファイル、スキャナーで読み取った画像データ、既存のイメージファイルなど、多様なデータを 1 つの文書として管理・印刷することができます。

Ridoc Desk Navigator は、リコーのホームページからダウンロードできます。

(http://support.ricoh.com/bbv2/html/dr_ut_d/doc_sol/index.htm)

補足

- Ridoc Desk Navigator について詳しくは、Ridoc Desk Navigator のヘルプを参照してください。
- Ridoc Desk Navigator には本機では使用できない印刷機能があります。使用できない印刷機能については、リコーホームページを参照してください。

## Ridoc IO Navi でできること

Ridoc IO Navi について説明します。

ネットワークプリンターの環境を簡単に構築できます。また、ネットワーク上のリコー製プリンターの稼働状態を、パソコンから簡単に確認できます。

Ridoc IO Navi は、リコーのホームページからダウンロードできます。

（http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/utility/ionavi/）

- Ridoc IO Navi について詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

# 3. 印刷する

本機の給紙トレイに用紙をセットする方法、事前に設定すると便利な機能、印刷方法などについて説明します。プリンタードライバーから印刷する方法は、Windows 7 および Mac OS X 10.6 を例に説明しています。

**Windows**

- PCL プリンタードライバーを使用するには、オプションのマルチエミュレーションカードまたは PCL カードが必要です。PCL プリンタードライバーの使用方法は、『エミュレーション』を参照してください。
- PostScript 3 プリンタードライバーを使用するには、オプションの PS3 カードが必要です。PostScript 3 プリンタードライバーの使用方法は、特に説明がないかぎり、RPCS プリンタードライバーと同じです。

**Mac OS X**

- Mac OS X でプリンターを使用するには、オプションの PS3 カードが必要です。

3

# 用紙をセットする

給紙トレイに用紙をセットする方法について説明します。

## 用紙をセットするときの注意事項

### ⚠注意

- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

重要

- **セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。**

補足

- 用紙のサイズを変更したときは、［用紙設定］でサイズ表示と初期設定値を正しく変更してください。用紙がつまることがあります。詳細については、P.286「用紙設定」を参照してください。
- 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- トレイに少量の用紙が残っている状態で用紙を補給すると、重送を起こすことがあります。トレイ内の用紙を一度取り出して、補給する用紙とともに、パラパラとほぐしてからセットし直してください（重送とは紙が重なって送られることです）。

- カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- トレイにセットできる用紙サイズ、種類については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。
- 使用する環境により、まれに用紙のこすれによる異音が発生することがありますが、本機の故障ではありません。

## 使用できない用紙

3

### ⚠注意

- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

重要

- 以下のような表面が加工された用紙は使用しないでください。故障の原因になります。
    - インクジェット用紙/ジェルジェット用紙
    - 感熱紙
    - アート紙
    - 銀紙
    - カーボン紙
    - 導電性の用紙
    - ミシンがけ用紙
    - ふちどり用紙
    - カラー用 OHP 用紙
    - 窓付き封筒
- 印刷するときに、用紙の二重通しはしないでください。故障の原因になります。（二重通しとは、一度印刷した用紙の印刷面に、再度印刷することです。）

補足

- 以下の用紙はセットしないでください。紙づまりが発生することがあります。
    - そり、折れ、しわのある用紙
    - 穴があいている用紙
    - ツルツルすべる用紙
    - 破れのある用紙
    - すべりにくい用紙

- 薄くてやわらかい用紙
    - 表面に紙粉が多い用紙
- 推奨用紙を使用したときでも、用紙の状態によっては、紙づまりが発生することがあります（用紙の保管状態によって、紙づまりなどが発生することもあります）。
- 目の粗いまたは凹凸のある用紙に印刷すると画像がかすれることがあります。
- 本機以外で一度印字された用紙は再使用しないでください。
- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなることがあります。



## 用紙の保管

用紙の保管には、以下の注意を守ってください。

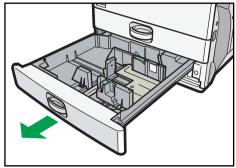
- 直射日光の当たらないところに置いてください。
- 乾燥したところ（湿度 70%以下）に置いてください。
- 平らなところに置いてください。
- 用紙は立てかけないでください。
- 一度開封した用紙は湿気を吸わないようにポリ袋に入れてください。

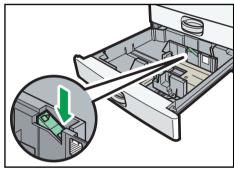
## 給紙トレイに用紙をセットする

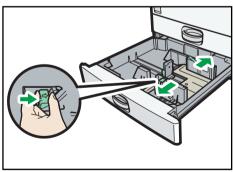
ここでは、トレイ 2 に用紙をセットする方法を例に説明します。

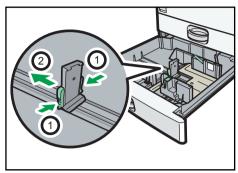
★重要

- **用紙の先端が右側にそろっていることを確認してください。**
- **サイドフェンスを用紙幅にすき間なく押し当てた状態で、ロックボタンを押してサイドフェンスを固定してください。用紙とサイドフェンスの間にすき間があると、画像がずれたり、薄紙を使用したときにしわになったりすることがあります。**
- **用紙を少数枚セットしたときは、サイドフェンスを寄せすぎないでください。サイドフェンスを寄せすぎると、端が折れたり、用紙がつまったり、薄紙を使用したときにしわになることがあります。**
- **給紙トレイを戻すときに勢いよく押し込むと、トレイのサイドフェンスの位置がずれることがあります。**

1. 給紙トレイをゆっくりと引き出します。

CQT346

2. サイドフェンスのロックを解除します。

CQT349

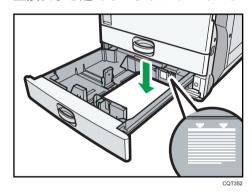
3. 解除レバーを押しながらサイドフェンスを広げます。

CQT350

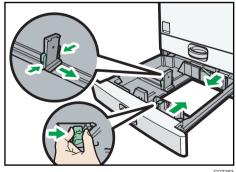
4. エンドフェンスを広げます。

CQT351

1. エンドフェンスの両脇をつまむ。

2. エンドフェンスを広げる。

5. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

上限表示を超えないようにしてください。

CQT352

6. 解除レバーを押さえながら、サイドフェンスとエンドフェンスをセットした用紙サイズに合わせます。

CQT353

7. サイドフェンスをロックします。

8. 給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。

### 9. 操作部で用紙サイズを確認します。

補足

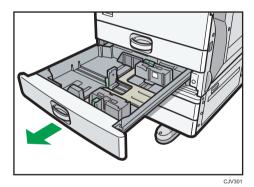
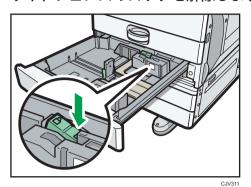
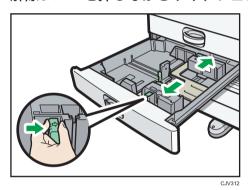
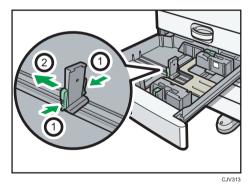
- トレイ 1～4 には、はがきや封筒をセットできます。セットするときは、正しい向きでセットしてください。はがきのセットについては、P.131「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセットについては、P.133「封筒をセットする」を参照してください。

## 小サイズカセットに用紙をセットする



重要

- 用紙の先端が右側にそろっていることを確認してください。
- サイドフェンスを用紙幅にすき間なく押し当てた状態で、ロックボタンを押してサイドフェンスを固定してください。用紙とサイドフェンスの間にすき間があると、画像がずれたり、薄紙を使用したときにしわになったりすることがあります。
- 用紙を少数枚セットしたときは、サイドフェンスを寄せすぎないでください。用紙がたるんでいると、きちんと用紙が送られないことがあります。
- 小サイズカセットを戻すときに勢いよく押し込むと、小サイズカセットのサイドフェンスの位置がずれることがあります。

### 1. 小サイズカセットをゆっくりと引き出します。

CJV301

2. サイドフェンスのロックを解除します。

CJV311

3. 解除レバーを押しながらサイドフェンスを広げます。

CJV312

4. エンドフェンスを広げます。

CJV313

1. エンドフェンスの両脇をつまむ。
2. エンドフェンスを広げる。

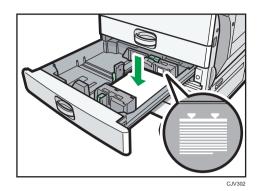
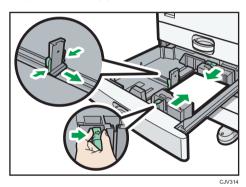
5. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

上限表示を超えないようにしてください。

CJV302

3

6. 解除レバーを押さえながら、サイドフェンスとエンドフェンスをセットした用紙サイズに合わせます。

CJV314

7. サイドフェンスをロックします。

8. 小サイズカセットをゆっくりと奥まで押し込みます。

9. 操作部で用紙サイズを確認します。

補足

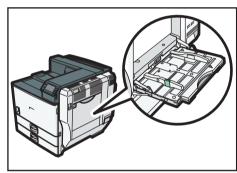
- 小サイズカセットを取り付ける方法は、P.27「小サイズカセットを取り付ける」を参照してください。
- 小サイズカセットで印刷するときは、［システム初期設定］の［小サイズ紙用トレイ設定］で［使用する］を選択してください。［小サイズ紙用トレイ設定］についてはP.284「基本設定」を参照してください。
- 小サイズカセットには用紙サイズの自動検知機能がありません。操作パネルで用紙サイズを設定してください。用紙サイズの設定方法は、P.225「自動検知されない用紙サイズを設定する」を参照してください。
- 小サイズカセットには、はがきや封筒をセットできます。セットするときは、正しい向きでセットしてください。はがきのセットについては、P.131「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセットについては、P.133「封筒をセットする」を参照してください。

## 手差しトレイに用紙をセットする

給紙トレイにセットできないサイズの用紙や、はがき、OHP フィルム、ラベル紙（ハクリ紙）などをセットできます。

重要

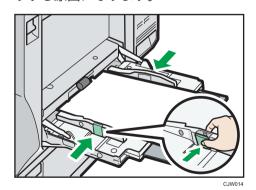
- 手差しトレイにセットできる枚数は用紙の種類によって異なります。用紙は、用紙ガイド板の間に挿入できる量をセットしてください。上限を超えてセットすると、斜めに印刷されたり、用紙がつまったりする原因となります。用紙種類ごとのセットできる上限枚数については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

1. 手差しトレイを開きます。

CQT676

2. 印刷する面を下にし、「ピッ」というブザー音が鳴るまで用紙を軽く差し込みます。

3. 解除レバーを押さえながら、用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めに印刷されたり、用紙がつまったりする原因になります。

CJW014

補足

- 手差しトレイにセットするときは、なるべく▱方向にセットしてください。

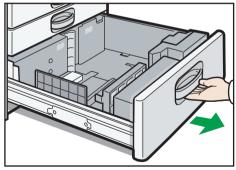
- 用紙の種類によっては手差しトレイに用紙がセットされていても、用紙がセットされていない表示になることがあります。そのときは用紙をセットしなおしてください。
- A4▭、8 1/2×11▭よりも大きいサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します。
- [基本設定] の [ブザー音] を [OFF] にすると、手差しトレイに用紙を差し込んだときに「ピッ」というブザー音が鳴りません。詳細については、P.284「基本設定」を参照してください。
- 印刷中に、セットした用紙が検知されなくなったときは、用紙をセットし直してください。
- レターヘッド紙をセットするときは、セット方向に注意が必要です。詳細については、P.130「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。
- 手差しトレイには、はがきや封筒をセットできます。はがきのセットについては、P.131「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセットについては、P.133「封筒をセットする」を参照してください。



## トレイ 3（LCT）に用紙をセットする

重要

- トレイ 3（LCT）は右側の用紙がなくなると、左側の用紙が自動的に右側に移動します。トレイ 3（LCT）で用紙が移動する音がしているときは、トレイ 3（LCT）を引き出さないでください。
- 右の用紙は右側によせて、左の用紙は左側によせてください。

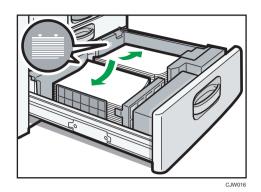
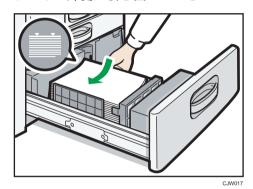
**1. トレイ 3（LCT）を引き出します。**

**2. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。**

上限表示を超えないようにしてください。

- トレイの両側が引き出せたとき

CJW016

- トレイの片側が引き出せたとき

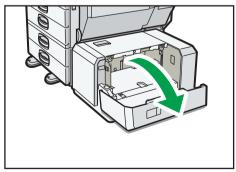
CJW017

**3. トレイ3（LCT）をゆっくりと奥まで押し込みます。**

補足

- トレイ3（LCT）から給紙しているときでも、用紙を補給することができます。給紙中のときは、トレイの左半分が引き出せます。

## 大量給紙トレイ（LCT）に用紙をセットする

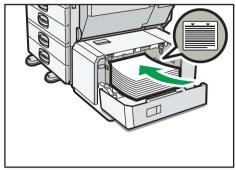
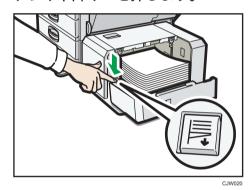
**1. 大量給紙トレイ（LCT）のカバーを開けます。**

CJW018

2. 印刷する面を下にして、用紙をトレイの左側に突き当てるようにセットします。

上限表示を超えないようにしてください。

CJW019

3. トレイ下降キーを押します。

CJW020

4. 手順 2、3 を繰り返して用紙をセットします。

5. 大量給紙トレイ（LCT）のカバーを閉めます。

## 天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）

レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しく印刷されないことがあります。使用する機能に合わせて、初期設定を変更してください。また、用紙を正しくセットしてください。

### 初期設定の設定

［プリンター初期設定］の［システム設定］で、［レターヘッド紙使用設定］を［使用する（自動判定）］または［使用する（常時）］に設定してください。［レターヘッド紙使用設定］については、P.313「システム設定」を参照してください。

### 用紙のセット方向

使用しているアイコンの意味は次のとおりです。

| アイコン | 意味 |
| --- | --- |
|  | 印刷する面を上にセットしてください。 |
|  | 印刷する面を下にセットしてください。 |

| 印刷面 | トレイ 3（LCT） | トレイ 1～4<br>小サイズカセット | 大量給紙トレイ（LCT） | 手差しトレイ |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 片面時 |  |  |  |  |
| 両面時 |  |  |  |  |



補足

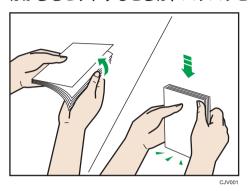
- レターヘッド紙印刷設定を［使用する（自動判定)］に設定したときは、プリンタードライバーの用紙種類が［レターヘッド付き用紙］の場合にレターヘッド紙として印刷します。
- 印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったときは、1 部目と 2 部目以降で片面印刷の印刷面が異なる場合があります。印刷面を同一にしたいときは、片面印刷のページと両面印刷のページで給紙するトレイを分けて、片面印刷を給紙するトレイは両面印刷不可の設定をしてください。
- 両面印刷の方法については、P.148「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

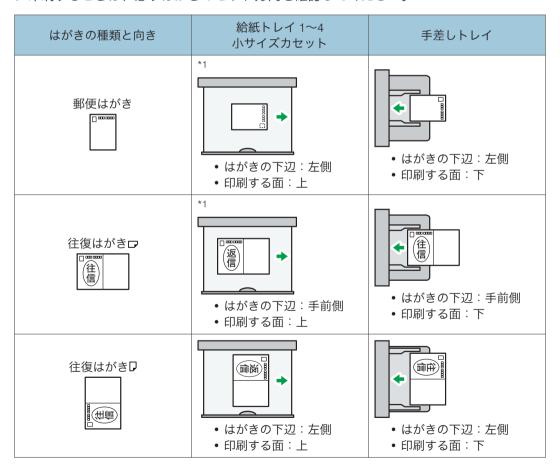
## はがきをセットする

はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- **市販の郵便はがきがセットできます。**
- **往復はがきは折り目のないものを使用してください。**

- 用紙がカールしていると、紙づまりの原因になったり、印刷品質に影響が出たりします。カールを直してから用紙をセットしてください。
- はがきをセットするときは、パラパラとほぐしてから端をそろえてください。

はがきの種類やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。はがきに印刷するときは、必ずはがきのセット方向を確認してください。

| はがきの種類と向き | 給紙トレイ 1〜4<br>小サイズカセット | 手差しトレイ |
| --- | --- | --- |
| 郵便はがき | *1<br>• はがきの下辺：左側<br>• 印刷する面：上 | • はがきの下辺：左側<br>• 印刷する面：下 |
| 往復はがき | *1<br>• はがきの下辺：手前側<br>• 印刷する面：上 | • はがきの下辺：手前側<br>• 印刷する面：下 |
| 往復はがき | • はがきの下辺：左側<br>• 印刷する面：上 | • はがきの下辺：左側<br>• 印刷する面：下 |

*1 小サイズカセットのとき

補足

- 往復はがきには両面印刷できません。
- 両面印刷できる用紙紙厚を超えるため、市販の郵便はがきには両面印刷できません。
- はがきに印刷するときは、普通紙に印刷するときより印刷速度が遅くなります。
- 郵便はがきの厚紙の種類は［厚紙 2］をお勧めします。使用するはがきの用紙厚さに合わせて設定を変更してください。それぞれの設定の用紙厚さについては、P.425「用紙厚さについて」を参照してください。



## 封筒をセットする

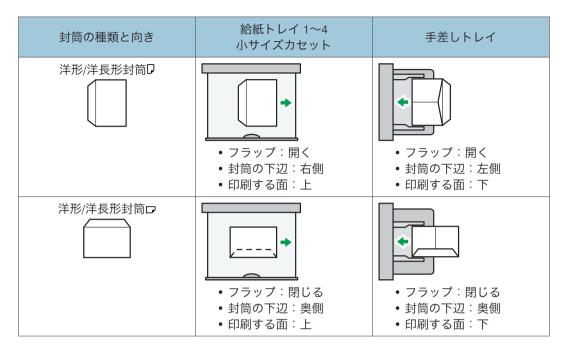
封筒をセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- 窓付き封筒は使用しないでください。
- 本体トレイに排紙された封筒が後から排紙された封筒によって押し出され、落下することがあります。そのときは、本体トレイから封筒を取り除いてください。
- のり付き封筒は、のりで封筒同士が貼りつくことがあります。さばいてからセットしてください。封筒同士が貼りつくときは、1 枚ずつセットしてください。
- 封筒のフラップ（ふた）の長さや形状によっては紙づまりが起こることがあります。
- 封筒のフラップ（ふた）を開いてセットするときは、フラップ（ふた）を広げたときの幅が 148mm 以上になる封筒を使用してください。また、用紙が正しく送られるように、封筒のフラップ（ふた）を完全に開いた状態でセットしてください。
- 洋形 2 号、洋長 3 号は方向にセットすると、しわが目立つことがあります。なるべく方向でセットしてください。
- 封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒がそっていたり曲がっているときは、鉛筆や定規でまっすぐに直してからセットしてください。

封筒の形やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。封筒に印刷するときは、必ず封筒のセット方向を確認してください。

| 封筒の種類と向き | 給紙トレイ 1～4<br>小サイズカセット | 手差しトレイ |
|---|---|---|
| 角形/長形封筒 | • フラップ：開く<br>• 封筒の下辺：右側<br>• 印刷する面：上 | • フラップ：開く<br>• 封筒の下辺：左側<br>• 印刷する面：下 |

| 封筒の種類と向き | 給紙トレイ 1～4<br>小サイズカセット | 手差しトレイ |
|---|---|---|
| 洋形/洋長形封筒 | • フラップ：開く<br>• 封筒の下辺：右側<br>• 印刷する面：上 | • フラップ：開く<br>• 封筒の下辺：左側<br>• 印刷する面：下 |
| 洋形/洋長形封筒 | • フラップ：閉じる<br>• 封筒の下辺：奥側<br>• 印刷する面：上 | • フラップ：閉じる<br>• 封筒の下辺：奥側<br>• 印刷する面：下 |

封筒をセットしたあと、プリンタードライバーと操作部の両方で、用紙の種類を「封筒」に設定してください。また、用紙の厚さを設定してください。詳細については、P.189「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。

洋形封筒や洋長形封筒をヨコ長にして印刷するときは、プリンタードライバーの［項目別設定］タブにある［基本］メニューで、［180 度回転］にチェックを入れて印刷してください。

### 使用できる封筒

使用できる封筒については、リコーホームページ（http://www.ricoh.co.jp）を確認するか、販売店・サービス実施店に問い合わせてください。

トレイによってセットできる封筒サイズが異なります。詳細については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

補足

- 一度にセットする封筒は、同じサイズ、同じ用紙種類の封筒にしてください。
- 封筒には両面印刷できません。
- 出力品質を保つため、上下左右の余白はそれぞれ 15mm 以上になるようにしてください。
- 周囲と異なる厚みの部分があると、均一に印刷できないことがあります。2、3 枚通紙して、印刷結果を確認してください。
- 本体トレイ以外を排紙先に指定していても、本体トレイに排紙されます。
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 湿気を吸った封筒は使用しないでください。

- 高温になるところや湿気の多いところで印刷すると、うまく印刷されなかったり封筒にしわができたりすることがあります。
- 推奨封筒または推奨封筒以外でも、環境によってはしわが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。
- 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されることがあります。また黒くベタ刷りするときに、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。



## 用紙の種類ごとの注意

用紙の種類ごとの注意事項と推奨条件について説明します。

操作部やプリンタードライバーでお使いの用紙種類に応じた設定を行ってください。設定方法については、P.226「用紙の種類を設定する」を参照してください。

重要

- **湿気を吸ったそりのある用紙を使用すると、ステープラーの針がつまったり、紙づまりを起こすことがあります。**
- **インクジェット専用紙、ジェルジェット専用紙はセットしないでください。故障の原因となります。**

**用紙をセットするとき**

- 用紙の種類によっては用紙をさばく音が発生することがありますが品質には影響ありません。(音の発生しやすい用紙：ツルツルすべる用紙、OHP フィルム、トレーシングペーパー（第二原図用紙)、郵便はがきなど)
- 用紙をセットするときは、上限表示を超えないようにしてください。紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。
- 重送が発生したときは、用紙をさばいてセットするか、手差しトレイに 1 枚ずつセットしてください。
- カールやそりがあるときは矯正してからセットしてください。
- 用紙はできるだけ当社製品を使用してください。用紙の厚さが適当であれば市販されているものを使用できます。「マイペーパー」程度のものが最適です。
- カールやそりがあるときは矯正してからセットしてください。
- はがき・封筒をセットするときは、P.131「はがきをセットする」、P.133「封筒をセットする」、P.189「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。

**印刷ジョブを送信するとき**

- 印刷結果がにじむなど、きれいに印刷されない場合は、操作部で用紙厚さの設定を変更してください。設定方法については、P.226「用紙の種類を設定する」を参照してください。

- 本機ではWeb Image Monitorを使って用紙種類に独自の名前を付けて登録できます。 詳しくは、P.226「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。

### レターヘッド紙に印刷するとき

レターヘッド紙を使用するときは、機能によって用紙のセット方向や向きが異なります。P.130「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。

### OHPフィルムをセットするとき

- さばいてからセットしてください。トレイにセットしたまま放置していると密着して用紙送りを妨げる原因になります。
- 出てきた出力紙は1枚ずつ取り除いてください。
- 印刷速度が遅くなることがあります。
- OHPフィルムをセットするときは、表裏を誤らないように注意してください。故障の原因となります。

### トレーシングペーパー（第二原図用紙）をセットするとき

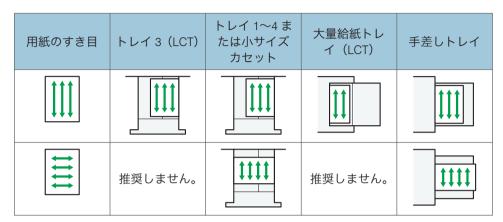
- 出てきた出力紙は1枚ずつ取り除いてください。
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）のセット枚数は、「リコーPPC用紙 タイプTA」使用時のものです。
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）は、縦目通紙で使用してください。用紙には繊維の流れる方向（すき目）によって、縦目（T目）と横目（Y目）があります。用紙は推奨すき目にしたがってセットします。
- 吸湿によりカールしやすいため、カールが大きいときは矯正してからセットしてください。

### 厚紙をセットするとき

以下の推奨条件で使用してください。推奨条件以外で使用すると、紙づまりの原因になったり、印刷品質に影響が出ることがあります。

- 推奨室内環境：温度20〜25℃、湿度30〜65%の室内環境で、同一環境で保管された用紙を使用してください。
- 本体給紙トレイ、給紙テーブル、または小サイズカセットに厚紙をセットするときは、20枚以上をセットしてください。また、用紙をセットしたあと、サイドフェンスを用紙へ軽く突き当て直してください。
- 表面が滑らかな厚紙を使用するときは、印刷のたびに用紙をさばいてからセットしてください。紙づまりや重送が発生することがあります。用紙をさばいてからセットしても重送や紙づまりが発生するときは、1枚ずつ用紙をセットしてください。
- 印刷速度が遅くなることがあります。
- 推奨条件で使用したときでも、用紙によっては正常な動作および品質の保証ができないことがあります。

- 用紙に縦スジ（折れ癖）が目立つことがあります。
- 印刷後のカールが大きいことがあります。そのときは矯正してください。
- 用紙の推奨すき目：用紙には繊維の流れる方向（すき目）によって、縦目（T 目）と横目（Y 目）があります。用紙は推奨すき目にしたがって次のようにセットしてください。

| 用紙のすき目 | トレイ 3（LCT） | トレイ 1～4 または小サイズカセット | 大量給紙トレイ（LCT） | 手差しトレイ |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
|  | 推奨しません。 |  | 推奨しません。 |  |

# 印刷するための準備

本機を使用する前に設定しておくと便利な機能について説明します。

## 優先する用紙設定を選択する



本機が印刷データを受信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるかトレイごとに指定できます。

［ドライバー/コマンド優先］を選択したときは、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。

［機器側設定優先］を選択したときは、本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

**1. ［プリンター初期設定］のメニュー画面で［システム設定］を押します。**

［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. ［トレイ設定選択］が表示されるまで、［▼］を押します。**

**3. ［トレイ設定選択］を押します。**

**4. 設定する給紙トレイを選択します。**

**5. 優先させる設定を選択します。**

プリンタードライバーまたはコマンドからの設定を優先させるときは［ドライバー/コマンド優先］を選択します。

本機の操作部での設定を優先するときは、［機器側設定優先］を選択します。

**6. ［設定］を押します。**

**7. ［初期設定］キーを押します。**

補足

- 設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。
- ［手差しトレイ］を選択したときは、［全紙種許可］も設定できます。詳細については、P.139「用紙設定の不一致によるエラーを防止する」を参照してください。

## 文書の放置を防止する

印刷をともなう文書を送信したときに、印刷をしないで本機に強制的に自動蓄積するか印刷を取り消すかを設定します。本機に自動蓄積したときは、文書の種類にかかわらず操作部から印刷するので、文書の放置を防止できます。

印刷をともなう文書には、通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書があります。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.192「文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

1. [プリンター初期設定］のメニュー画面で［システム設定］を押します。

   ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [印刷をともなうジョブの制限］が表示されるまで、[▼］を押します。
3. [印刷をともなうジョブの制限］を押します。
4. [自動蓄積］または［印刷取消］を選択します。
5. [設定］を押します。
6. [初期設定］キーを押します。

補足

- 設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。
- ［自動蓄積］を選択したときは、指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。
  - プリンタードライバーで［通常印刷］を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。
  - プリンタードライバーで［試し印刷］を指定した文書は、確認用の 1 ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。
  - プリンタードライバーで［保存して印刷］を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。
- 本機に自動蓄積された文書の印刷方法については、P.195「蓄積文書を印刷する」を参照してください。

## 用紙設定の不一致によるエラーを防止する

プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズと用紙種類の両方が本機の用紙設定と一致しないときは、エラーが発生し、印刷できません。用紙種類の指定が不要なときは、本機の操作部で手差しトレイを［全紙種許可］に設定すると、用紙サイズだけ一致していれば、用紙種類にかかわらず印刷できます。

この機能を使用するには、以下の設定が必要です。

- ［システム初期設定］の［用紙設定］にある［用紙種類設定：手差しトレイ］で、「自動用紙選択の対象」を［対象］に指定します。詳細については、P.286「用紙設定」を参照してください。
- プリンタードライバーで給紙トレイを［自動トレイ選択］に指定します。

1. [プリンター初期設定] のメニュー画面で [システム設定] を押します。

   [プリンター初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [トレイ設定選択] が表示されるまで、[▼] を押します。
3. [トレイ設定選択] を押します。
4. [手差しトレイ] を選択します。
5. [全紙種許可] を押します。
6. [設定] を押します。
7. [初期設定] キーを押します。



補足

- 設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。
- [全紙種許可] を設定できるのは手差しトレイだけです。
- [手差しトレイ用紙確認] を [表示する] に設定すると、手差しトレイから給紙するときに、用紙のサイズ・種類・セット方向が表示されるので、印刷設定を確認してから印刷できます。

## エラー発生時の動作を指定する

印刷設定に関するエラーが発生したときの本機の動作を指定します。

### 用紙設定が一致しないときに強制印刷する

プリンタードライバーから指示した給紙トレイに、条件の合う用紙サイズや用紙種類がセットされていないとき、用紙がセットされている給紙トレイから強制印刷し、本機をエラーから開放します。強制印刷できない機能を指定して印刷したときは、印刷を中止します。

1. [プリンター初期設定] のメニュー画面で [システム設定] を押します。

   [プリンター初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [エラースキップ] を押します。
3. 強制印刷または印刷を中止するまでの時間を指定します。
4. [設定] を押します。
5. [初期設定] キーを押します。

補足

- 設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。

## エラーが発生した文書の印刷を自動的にキャンセルする

印刷エラーが発生したときに、印刷エラーが発生したジョブと、エラーが発生する前に本機が受信していたジョブの印刷を中止するかしないかを設定します。

重要

- 印刷に使用するプリンター言語が RPCS、PCL、PostScript 3、PDF のとき、この機能は有効です。
- 以下の条件のとき、この機能は無効になります。
    - RHPP、RGate を使用して印刷したとき
    - スプール印刷が有効に設定されているとき
    - USB 接続など、ジョブの区切りが検知できないプロトコルを使用して印刷したとき
    - メディアプリント、蓄積文書印刷、レポート印刷、拡張機能からの印刷でエラーが発生したとき

1. **[プリンター初期設定]のメニュー画面で[システム設定]を押します。**

   [プリンター初期設定]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **[エラー発生時のジョブ自動取消]が表示されるまで、[▼]を押します。**
3. **[エラー発生時のジョブ自動取消]を押します。**
4. **[する]を選択します。**
5. **[設定]を押します。**
6. **[初期設定]キーを押します。**

補足

- 設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。

## エラーで印刷が中止された文書を蓄積する

エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.192「文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.199「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

重要

- 以下のような印刷設定に関するエラーで印刷が中止されたときに、文書が自動的に蓄積されます。
    - 印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類の用紙がなくなったとき
    - 印刷時に指定した給紙トレイが本機にセットされていないとき
    - プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙サイズ、用紙種類が本機のどの給紙トレイとも一致しないとき
    - ステープルの針がなくなったとき
    - ステープルくずが満杯になったとき
    - パンチくずが満杯になったとき
- 総ページ数が 1,000 ページまでの文書を 200 件まで自動で蓄積できます。

**1. ［プリンター初期設定］のメニュー画面で［システム設定］を押します。**

［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. ［エラージョブ蓄積・追い越し］を押します。**

**3. ［する］を押します。**

**4. 必要に応じて、本機がエラーを検知するページ数を指定します。**

**5. ［設定］を押します。**

**6. ［初期設定］キーを押します。**

補足

- 設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。
- 指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。
    - プリンタードライバーで［通常印刷］を指定した文書は、保留印刷文書として蓄積されます。
    - プリンタードライバーで［試し印刷］を指定した文書は、確認用の 1 ページ目も含めて試し印刷文書として蓄積されます。
    - プリンタードライバーで［保存して印刷］を指定した文書は、保存文書として蓄積されます。
- 本機に自動蓄積された文書の印刷方法については、P.195「蓄積文書を印刷する」を参照してください。

## スプール印刷を設定する

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのとき、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

重要

- この機能を使用するには、オプションの拡張 HDD が必要です。
- スプール印刷中は本機のハードディスクにアクセスするので、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損することがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。
- BMLinkS、diprint、LPR、IPP、ftp、sftp、SMB（TCP/IP（IPv4））、WSD（Printer）以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。

1. **［プリンター初期設定］のメニュー画面で［システム設定］を押します。**

   ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **［スプール印刷］が表示されるまで、［▼］を押します。**
3. **［スプール印刷］を押します。**
4. **［する］を押します。**
5. **［設定］を押します。**
6. **［初期設定］キーを押します。**

補足

- スプール印刷は Web Image Monitor でも設定できます。Web Image Monitor については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

### スプール中のジョブ一覧を表示する

スプール印刷が設定されているときは、スプール中のジョブ一覧を本機の操作部の画面に表示できます。

1. **ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。**

   ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

2. **［その他の機能］を押します。**
3. **［ジョブスプール一覧］を押します。**

3

4. スプールされているジョブの一覧が表示されます。スプール中のジョブを削除するときは、削除する文書を押し、［消去］を押します。

# 基本的な印刷のしかた

## Windows で印刷する

重要

- 本機がスリープモードのときに USB 2.0 経由で印刷すると、印刷できていても、印刷失敗のメッセージがパソコン上に表示されることがあります。正しく印刷されているかどうかを確認してください。



**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

**2.「印刷方法：」プルダウンメニューから［通常印刷］を選択します。**

**3.「原稿サイズ：」プルダウンメニューから印刷する文書のサイズを選択します。**

**4.「原稿方向：」プルダウンメニューから文書の印刷方向を選択します。**

**5.「給紙トレイ：」プルダウンメニューから用紙がセットされている給紙トレイを選択します。**

［自動トレイ選択］を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動的に選択されます。

**6.「用紙種類：」プルダウンメニューから給紙トレイにセットされている用紙の種類を選択します。**

**7. 複数の部数を印刷するときは、「部数：」ボックスに部数を入力します。**

**8. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。**

プリンタードライバーの［項目別設定］タブから便利な印刷機能を設定できます。詳細は、P.148「便利な印刷機能の紹介」を参照してください。

9. ［OK］をクリックします。

10. アプリケーションから印刷の指示をします。

## Mac OS X で印刷する

Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーで印刷する方法を説明します。

3

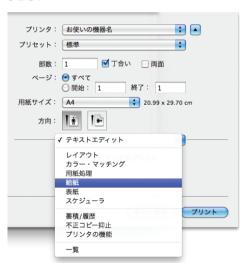
1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。

   プリント画面の開きかたについては、P.115「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

2. 「用紙サイズ：」メニューから印刷する文書のサイズを選択します。

3. 「方向：」メニューから文書の印刷方向を選択します。

4. ポップアップメニューから［給紙］を選択します。

   使用する Mac OS X のバージョンによっては、［給紙方法］と表示されます。

5. 用紙がセットされている給紙トレイを選択します。

   ［自動選択］を選択したときは、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動的に選択されます。プリンタードライバーで指定した用紙サイズが機器にセットされていないときは、本体の設定にしたがって印刷されます。

6. ポップアップメニューから［プリンタの機能］を選択します。

7. 「機能セット：」を切り替えて、「用紙の種類：」メニューを表示します。

8. 「用紙の種類：」メニューから給紙トレイにセットされている用紙の種類を選択します。

9. 複数の部数を印刷するときは、「部数：」ボックスに部数を入力します。

10. ソートするときは、[丁合い] チェックボックスにチェックを入れます。

使用する Mac OS X のバージョンによっては、ポップアップメニューから［用紙処理］または［印刷部数と印刷ページ］を選択し、[丁合い] チェックボックスにチェックを入れます。

11. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

プリンタードライバーのメニューから便利な印刷機能を設定できます。詳細は、P. 148「便利な印刷機能の紹介」を参照してください。

12. 印刷の指示をします。

- ソートについては、P.153「部単位で印刷する(ソート)」を参照してください。
- ソートするときは、アプリケーション側のソートの設定を解除してください。

# 便利な印刷機能の紹介

表紙用の用紙への印刷、合紙の挿入、ステープル、パンチ、ソートなどの、便利な印刷機能について説明します。

## 用紙の両面に印刷する

プリンタードライバーで用紙の両面に印刷する方法について説明します。

### 両面印刷の種類

用紙の一辺でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

| 原稿方向 | 左開き | 上開き | 右開き |
| --- | --- | --- | --- |
| タテ | | | |
| ヨコ | | | |

### 両面印刷の注意

- 両面印刷を設定できる用紙種類は以下のとおりです。

  普通紙（60 から 81g/m2)、再生紙、特殊紙、特殊紙 2、特殊紙 3、中厚口（82 から 105g/$m^2$)、厚紙 1（106 から 160g/$m^2$)、色紙、レターヘッド付き用紙

- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるときは、そのページの前で改ページすることがあります。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.176「編集」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.181「レイアウト」を参照してください。

## 複数のページを集約して印刷する

プリンタードライバーで集約印刷する方法について説明します。集約を設定すると、複数のページを縮小して 1 ページにまとめて印刷ができます。

### 集約印刷の種類

集約印刷で 1 ページにまとめることができるのは、2 ページ、4 ページ、9 ページ、16 ページです。4 ページ以上を 1 ページにまとめるときは、4 つのパターンからページの並べかたを選択できます。

ここでは 2 ページを 1 ページにまとめるときと、4 ページを 1 ページにまとめるときを例に説明します。

- 2 ページを 1 ページに集約

| 原稿方向 | 左から右／上から下 | 右から左／上から下 |
|---|---|---|
| タテ | 3 4 / 1 2 | 4 3 / 2 1 |
| ヨコ | 3 / 1 / 4 / 2 | 3 / 1 / 4 / 2 |

- 4 ページを 1 ページに集約

| 左上→右上→左下→右下 | 左上→左下→右上→右下 | 右上→左上→右下→左下 | 右上→右下→左上→左下 |
|---|---|---|---|
| 1 2 / 3 4 | 1 3 / 2 4 | 2 1 / 4 3 | 3 1 / 4 2 |

### 集約印刷の注意

- 1 つの文書内に原稿方向の異なるページがあるときは、そのページの前で改ページします。
- 同じ機能を設定できるアプリケーションから印刷するときは、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。
- 集約印刷と製本印刷を組み合わせると、複数枚の原稿を 1 ページに集約してから冊子になるよう印刷できます。製本印刷については、P.151「製本印刷する」を参照してください。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.176「編集」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.181「レイアウト」を参照してください。

## 1 ページを複数枚に分けて印刷する(拡大連写)

1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作ることができます。用紙の端から 15 mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15 mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

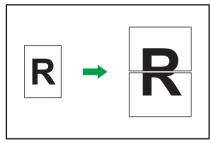
この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

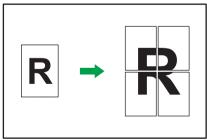


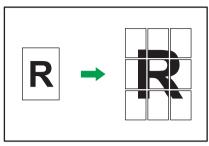
### 拡大連写の種類

拡大連写で設定できる用紙の分けかたは以下のとおりです。ここでは原稿の向きがのときを例に説明します。

- 2 枚に分けて印刷

  上下 2 枚に分割します。

- 4 枚に分けて印刷

  縦 2 枚、横 2 枚に分割します。

- 9 枚に分けて印刷

  縦 3 枚、横 3 枚に分割します。

### 集約印刷の注意

- 拡大率は、指定した用紙のサイズと分割枚数に応じて決まります。
- 拡大連写で印刷するとき、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することがあります。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.176「編集」を参照してください。

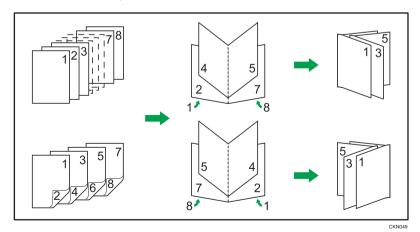
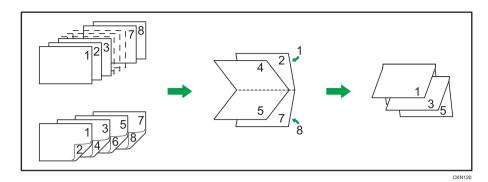
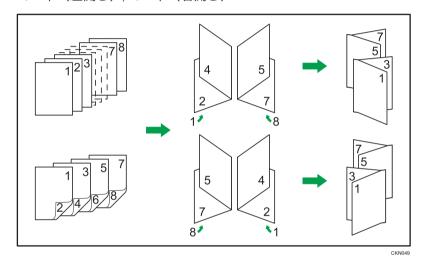
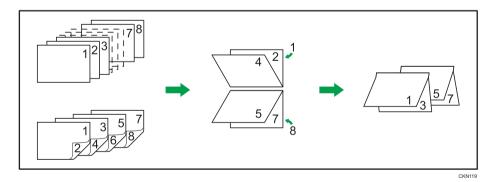
## 製本印刷する

プリンタードライバーで用紙の中央でとじて印刷する方法について説明します。

この機能は RPCS プリンタードライバー、Windows OS 用の PostScript 3 プリンタードライバーで使用できます。

### 製本印刷の種類

用紙の中央でとじる形態で、用紙の開きかたを設定できます。

- 週刊誌（左開き）/週刊誌（右開き）

- 週刊誌（上開き）

- ミニ本（左開き）/ミニ本（右開き）

- ミニ本（上開き）

## 製本印刷の注意

- 製本印刷を設定できる用紙種類は以下のとおりです。

  普通紙（60 から 81g/m2）、再生紙、特殊紙、特殊紙 2、特殊紙 3、中厚口（82 から 105g/$m^2$）、厚紙 1（106 から 160g/$m^2$）、色紙、レターヘッド付き用紙

- 原稿方向が［タテ］のときに、左開きと右開きを指定できます。

- 原稿方向が［ヨコ］のときに、上開きを指定できます。
- PostScript 3 プリンタードライバーを使用するときは、原稿方向が［タテ］の場合に、週刊誌（下開き）を指定できます。
- 1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがあるとき、そのページの前で改ページすることがあります。
- 製本印刷と集約印刷を組み合わせると、複数枚の原稿を 1 ページに集約してから冊子になるよう印刷できます。集約印刷については、P.148「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。



補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.176「編集」を参照してください。

## 部単位で印刷する(ソート)

会議資料など複数部数の印刷をするとき、ページ順に仕分けして印刷できます。パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込み、ソートします。

重要

- **最大 1,000 ページまでの文書を 999 部までソートできます。**
- **エラーが発生した印刷ジョブを［エラースキップ］により強制印刷したときは、ソートが解除されます。［エラースキップ］については、P.140「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。**

### ソートの種類

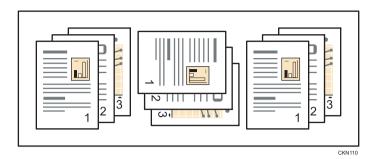
- ソート

  1 部ずつそろえて印刷します。

- 回転ソート

  1 部ずつ交互に向きを変えて印刷します。

  同じ用紙サイズで、同じ用紙種の用紙を異なる方向（）にセットした 2 段の給紙トレイが必要です。

3

- シフトソート

  シフトソートするには、フィニッシャーまたはシフトトレイが必要です。

  1 部または各動作ごとの印刷が排出されるたびに、次の印刷をずらして排出するので、部や動作の区切りがわかります。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.177「仕上げ」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.146「Mac OS X で印刷する」を参照してください。

## ソートの注意

ソートが解除される条件について説明します。

**回転ソートが解除されるとき**

以下の条件で回転ソートが解除され、シフトソートになります。

- ステープルが指定されたとき
- パンチが指定されたとき
- 用紙サイズが混在しているとき
- 給紙トレイが指定されたとき
- おもて表紙/うら表紙が指定されたとき
- 合紙が指定されたとき

- 章分けページが指定されたとき
- 不定形サイズが指定されたとき
- 排紙先にシフト機能があるとき

**シフトソートが解除されるとき**

- 排紙先にシフト機能がないとき
- 印刷結果が 1 枚のとき

補足

- プリンタードライバーでソートまたは回転の設定をするときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。
- オプションが正しく設定されていないとき、フィニッシャーまたはシフトトレイを接続しているのにシフトソートの設定ができないことがあります。プリンタードライバーのプロパティ画面の［オプション構成］タブでオプションを正しく設定してください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
- 各オプションのソート、回転ソート、シフトソートを設定できる用紙のサイズと枚数については、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」を参照してください。



## 印刷した用紙をステープラーでとじる

フィニッシャーを本機に取り付けることで、印刷物を 1 部ずつステープラーでとじることができます。

重要

- **本機とパソコンが双方向通信していないときは、プリンターのプロパティから必ずオプションの設定をしてください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。**
- **ステープルをするときは、プリンタードライバーで原稿サイズと原稿方向を必ず設定してください。**
- **ステープルを設定できる用紙のサイズや枚数については、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」を参照してください。**
- **印刷方向と用紙のセット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。**
- **集約や両面を組み合わせた印刷をするときは、意図しない位置にステープルされることがあります。ステープルの設定をしたあと、プリンタードライバーのプレビューアイコンに表示されているステープル位置を確認してください。**

### ステープルの位置

印刷方向と用紙のセット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。ステープルできる位置は次のとおりです。

| 本機の用紙方向 | 印刷データの方向 | 仕上がり |
|---|---|---|
| | | 3000 枚一穴対応フィニッシャー/<br>3000 枚フィニッシャー |
| | タテ | R R R R R |
| | ヨコ | R R R R |
| | タテ | R R R R |
| | ヨコ | R R R R R |

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.177「仕上げ」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.185「プリンタの機能」を参照してください。

## ステープルの注意

印刷物のページ数がステープルを設定できる枚数を超えているときは、ステープルを設定できる枚数で一度とじてから、残りの枚数を別にとじます。印刷物のページ数がステープルを設定できる枚数を超えているときに、ステープルを自動で解除したい場合は、販売店またはサービス実施店に連絡してください。ステープルを設定できる枚数については、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」を参照してください。

### ステープルが解除されるとき

以下の条件でステープルが解除されます。ソートが同時に指定されているときは、ソートされます。

- ステープルを設定できない用紙サイズ、用紙種類を選択したとき
- 混在できない用紙サイズを組み合わせて印刷したとき
- ステープルを設定できる箇所以外のステープル位置を指定したとき
- 両面印刷時に、両面とじ方向とステープル印刷のとじ位置に矛盾があるとき
- レターヘッドモードの画像の向きとステープル印刷のとじ位置に矛盾があるとき
- 手差しトレイから給紙したとき
- 印刷結果が 1 枚のとき
- ソートを設定できる条件を満たしていないとき
- ソート用記録領域がジョブの途中でオーバーフローしたとき
- エラーレポートが印刷されているとき
- 給紙トレイに指定したトレイが、操作部の［プリンター初期設定］にある［システム設定］の［トレイ設定選択］で［ドライバー/コマンド優先］に設定されているとき



補足

- エラースキップを無効にしたときにステープルの針がなくなると、メッセージが表示されます。ステープルを解除すると、印刷が継続されます。
- フィニッシャーを装着しているときは、ステープルまたはシフトソートを選択すると、排紙先の設定に関係なく「フィニッシャー・シフトトレイ」に排紙されます。
- 本機でレターヘッド紙を使用する設定がされているとき、指定された位置へステープルできないことがあります。
- 両面の指定をしているときは、ステープル位置ととじ方向を合わせてください。
- 使用するアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでステープルを設定するときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。
- 紙づまりが発生したとき、紙づまりの位置によって、エラー対処後の印刷再開動作は異なります。
    - フィニッシャーで紙づまりが発生したとき：紙づまりの位置によって、印刷中のデータの先頭ページまたは紙づまりが発生したページから印刷を再開します。
    - 本機側で紙づまりが発生したとき：印刷中のデータの紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

## 印刷した用紙にパンチで穴をあける

2 穴パンチユニットを装着した 3000 枚フィニッシャーまたは 3000 枚一穴対応フィニッシャーを本機に取り付けることで、印刷物にパンチ穴をあけることができます。

重要

- **本機とパソコンが双方向通信していないときは、必ずプリンタードライバーでオプションの設定をしてください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。**
- **パンチをするときは、プリンタードライバーで原稿サイズと原稿方向を必ず設定してください。**
- **パンチを設定できる用紙のサイズ、紙厚については、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」を参照してください。**
- **印刷 1 枚ごとにパンチ穴を開けるため、パンチ穴の位置に多少のばらつきが生じます。**

**パンチの位置**

印刷方向、用紙セット方向によって、指定できるパンチ位置が異なります。パンチできる位置は次のとおりです。

- 3000 枚フィニッシャー

| 本機の用紙方向 | 印刷データの方向 | 仕上がり |
|---|---|---|
|  | タテ | R R |
|  | ヨコ | R |
|  | タテ | R |
|  | ヨコ | R R |

- 3000 枚一穴対応フィニッシャー

| 本機の用紙方向 | 印刷データの方向 | 仕上がり |
|---|---|---|
|  | タテ | R |

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.177「仕上げ」を参照してください。

- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.185「プリンタの機能」を参照してください。

## パンチの注意

### パンチが解除されるとき

以下の条件でパンチが解除されます。

- パンチできない用紙サイズ、用紙種類が選択されたとき
- 両面印刷時に両面とじ方向とパンチ位置に矛盾があるとき
- レターヘッドモードの画像の向きとパンチ位置に矛盾があるとき
- 手差しトレイから給紙したとき
- ステープルと同時に指定するときに、ステープル位置とパンチ位置に矛盾があるとき
- 給紙トレイに指定したトレイが、操作部の［プリンター初期設定］にある［システム設定］の［トレイ設定選択］で［ドライバー/コマンド優先］に設定されているとき

補足

- エラースキップを無効にしたときにパンチくずがいっぱいになると、メッセージが表示されます。パンチを解除すると、印刷が継続されます。
- 本機でレターヘッド紙を使用する設定がされているとき、指定された位置へパンチができないことがあります。
- オプションが正しく設定されていないとき、パンチできるオプションを接続しているのにパンチを設定できないことがあります。プリンタードライバーのプロパティ画面の［オプション構成］タブでオプションを正しく設定してください。詳細は、『ドライバーインストールガイド』「オプション構成や用紙の設定をする」
- 両面の指定をしているときは、パンチ位置ととじ方向を合わせてください。
- ステープルと同時に指定するときは、ステープルと同じ側にパンチを指定してください。
- 使用するアプリケーションによっては印刷時の設定が有効にならず、意図しない印刷結果になることがあります。
- プリンタードライバーでパンチを設定するときに、するときに、［アプリケーションのソート］を指定していると、意図しない印刷結果になることがあります。［プリンターのソート］を指定して印刷してください。
- 紙づまりが発生したとき、紙づまりの位置によって、エラー対処後の印刷再開動作は異なります。
    - フィニッシャーで紙づまりが発生したとき：紙づまりの位置によって、印刷中のデータの先頭ページまたは紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

- 本機側で紙づまりが発生したとき：印刷中のデータの紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

# トナーを節約して印刷する

## トナーセーブ機能を使用する

トナーセーブ機能を使用すると、通常よりも薄い色で印刷されるため、トナーを節約できます。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.178「印刷品質」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.185「プリンタの機能」を参照してください。

# 原稿に文字やイメージをスタンプする

プリンタードライバーでスタンプを設定すると、作成した文書に文字やイメージデータを重ねて印刷できます。

スタンプには、文字データを使用する「スタンプ印字」と、ビットマップファイル（.bmp）を使用する「イメージスタンプ」があります。スタンプ印字とイメージスタンプは同時に指定できません。

**スタンプの種類**

プリンタードライバーにはいくつかのスタンプ印字があらかじめ登録されています。利用できるスタンプ印字の種類は次のとおりです。

スタンプ印字は RPCS プリンタードライバー、Windows OS 用の PostScript 3 プリンタードライバーで使用できます。

| CONFIDENTIAL | マル秘 | DRAFT | 社外秘 | COPY |
|---|---|---|---|---|
| A CONFIDENTIAL | A マル秘 | A DRAFT | A 社外秘 | A COPY |

**イメージスタンプの注意**

- イメージスタンプは RPCS プリンタードライバーで設定できます。
- イメージスタンプを設定するときは、印刷するイメージデータが必要です。詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.179「効果」を参照してください。

## 複製できない文書を印刷する

本機では、不正コピー抑止用の文字列とマスクパターンを埋め込んで印刷できます。不正コピー抑止には、「不正コピー抑止地紋」と「不正コピーガード」があります。

3

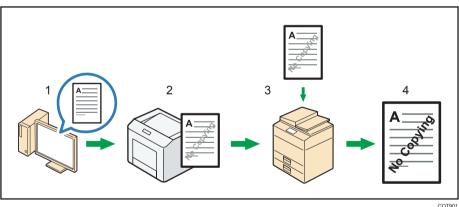
重要

- **不正コピー抑止は、必ずしも情報漏洩を防止するものではありません。**

補足

- 不正コピー抑止が［機器側設定優先］に設定されているときは、本体の設定が優先されます。操作部での設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。Web Image Monitor での設定については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

### 不正コピー抑止地紋を設定する

#### 不正コピー抑止地紋を設定した文書を印刷すると

1. 不正コピー抑止地紋を設定し、文書を印刷します。
2. 印刷した文書に、設定した不正コピー抑止文字列およびマスクパターンが埋め込まれます。
3. 複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。
4. コピーした文書に、不正コピー抑止文字列が浮き上がります。

#### 不正コピー抑止地紋の注意

- 印刷するデータに、部分的に地紋と文字列を埋め込むことはできません。

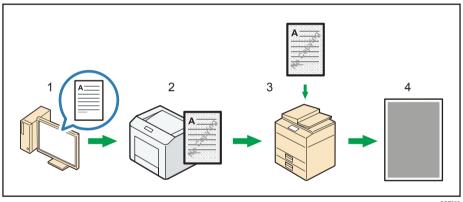
- 地紋効果は、コピー、スキャン、ドキュメントボックスへの蓄積結果をすべて保証しているものではありません。また蓄積結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。
- 地紋効果は、コピーするときの原稿種類設定により、画質の一部に濃淡が発生することがあります。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.179「効果」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.182「不正コピー抑止」を参照してください。

3

## 不正コピーガードを設定する

### 不正コピーガードを設定した文書を印刷すると

1. **不正コピーガードを設定し、文書を印刷します。**
2. **印刷した文書に、不正コピーガード用の地紋および不正コピー抑止文字列が埋め込まれます。**
3. **当社の不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機を使用して、印刷した文書をコピーします。**
4. **コピーした文書の文字や画像がグレー地に変換されます。**

### 不正コピーガードの注意

- 不正コピーガードでグレー地に印刷するには、本機側での設定もあわせて必要です。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 印刷するデータに、部分的な地紋の埋め込みはできません。
- 普通紙、または白色度 70%以上の再生紙で、B5 サイズ以上の用紙を使用してください。

- 両面印刷するとき、裏面の文字や模様が透けることにより、機能が正常に動作しないことがあります。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.179「効果」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.182「不正コピー抑止」を参照してください。

## おことわり

- 当社は、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種および設定条件などによっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が有効に機能しないことがあります。この点をご理解のうえ、ご使用ください。
- 不正コピー抑止地紋および不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことにより生じた損害について、当社は一切その責任をおいかねます。あらかじめご了承ください。

## 表紙に印刷する

表紙用の用紙に印刷します。または、1 ページ目の前に表紙用の用紙を、最後のページにうら表紙用の用紙を挿入します。

この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

重要

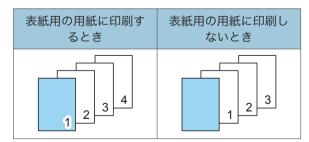
- **ソートの設定が必要です。ただし、回転ソートの設定はできません。**

**おもて表紙**

原稿の 1 ページ目を、表紙用の用紙に印刷します。

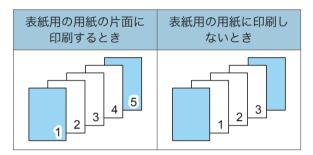
- 片面印刷

- 両面印刷

| 表紙用の用紙の両面に印刷するとき | 表紙用の用紙の片面に印刷するとき | 表紙用の用紙に印刷しないとき |
|---|---|---|

### おもて表紙/うら表紙

1 ページ目の原稿と最終ページの原稿を表紙用の用紙に印刷します。うら表紙は、おもて表紙が設定されているときに指定できます。

- 片面印刷

| 表紙用の用紙の片面に印刷するとき | 表紙用の用紙に印刷しないとき |
|---|---|

- 両面印刷

| | おもて表紙用の用紙の両面に印刷するとき | おもて表紙用の用紙の片面に印刷するとき | 表紙用の用紙に印刷しないとき |
|---|---|---|---|
| 奇数ページ | | | |
| 偶数ページ | | | |

### 表紙の注意

- おもて表紙/うら表紙は印刷する用紙と同じサイズのものを同じ方向にセットします。
- おもて表紙/うら表紙をトレイにセットしたあとは、当該の用紙サイズを設定してください。
- 合紙が指定されているときは、おもて表紙/うら表紙の指定はできません。
- 表紙の両面に印刷するときは、両面印刷を指定してください。両面印刷の方法については、P.148「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.174「用紙」を参照してください。

## 章を分けて印刷する

指定したページの前に用紙を挿入します。または、指定したページを常に 1 ページ目と同じ面に印刷します。ページ（章）はプリンタードライバーから 20 箇所まで指定できます。

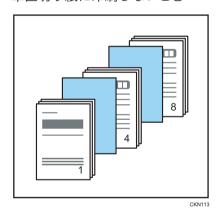
この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。集約印刷と同時に指定できます。

重要

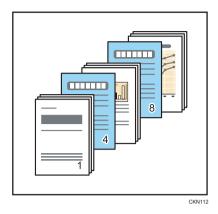
- **章区切り紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、異なるトレイにセットしてください。**

**章を区切って印刷する**

指定したページの前に用紙を挿入します。

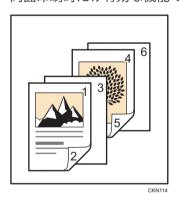
- 章区切り紙に印刷しないとき

- 章区切り紙に印刷するとき

  章区切り紙は両面印刷も指定できます。

CKN112

**指定したページを 1 ページ目と同じ面に印刷する**

両面印刷時だけ有効な機能です。

CKN114

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.174「用紙」を参照してください。

## 合紙を挿入する

ページごとに合紙を挿入します。

この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

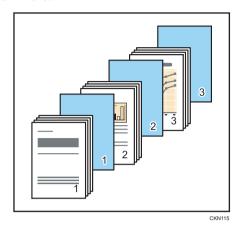
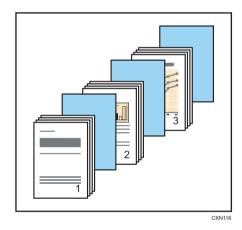
重要

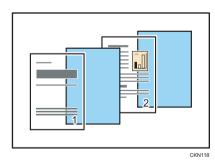
- 合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、異なるトレイにセットしてください。
- 合紙用の用紙と本文印刷用の用紙は、同じサイズで同じ方向にセットしてください。

### 合紙に印刷するとき

CKN115

### 合紙に印刷しないとき

CKN116

合紙を挿入すると、OHP フィルムの付着を防止できます。

CKN118

### 合紙の注意

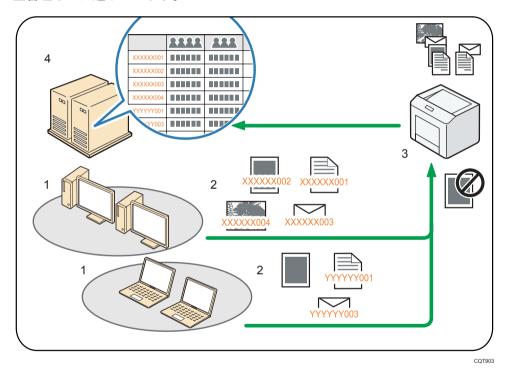
- 表紙が指定されているときは、合紙の挿入はできません。
- 試し印刷を指定しているときは、 1 部を印刷して蓄積しません。
- 合紙を設定すると、両面印刷、製本印刷は解除されます。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.174「用紙」を参照してください。

## 分類コードを使用する

分類コードを登録しておくと、分類コードごとの印刷枚数が本機に記録されます。

この機能を使い、たとえば利用目的や個人ごとに分類コードを設定しておくと、印刷枚数を利用目的や個人ごとに確認ができます。勘定科目ごとの収集やクライアントごとの課金管理などに適しています。

1. **管理する部や課、プロジェクトチーム、ユーザーなど**
2. **利用目的に応じて、分類コードをプリントジョブに入力します。**

   詳細は、P.169「分類コードを入力して印刷する」を参照してください。
3. **印刷します。**

   印刷時に分類コードの入力を必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。詳細は、P.169「分類コードを設定する」を参照してください。
4. **外部ログ管理システムで分類コードを収集し、管理します。**

## 分類コードを設定する

プリントジョブに分類コードを必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。

重要

- 分類コードを［必須］に設定したとき、分類コードが付与されていないプリントジョブは印刷できません。
- 分類コードを［必須］に設定したときでも、システム設定リストは印刷できます。
- 初期状態は［任意］に設定されています。



**1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

**2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**

**3.「機器」カテゴリーの中の［ログ］をクリックします。**

**4.「共通設定」カテゴリーの中の「分類コード」の［必須］か［任意］をクリックします。**

**5.［OK］をクリックします。**

**6.［ログアウト］をクリックします。**

**7. Web Image Monitor を終了します。**

## 分類コードを入力して印刷する

分類コードが必須の環境で印刷するときは、プリントジョブに分類コードを指定して印刷します。

この機能は RPCS プリンタードライバーで使用できます。

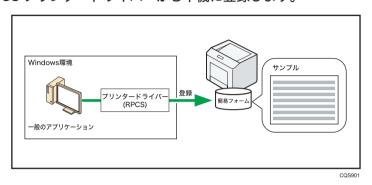
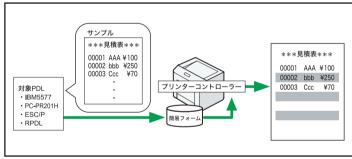
- 分類コードの注意
    - 入力した分類コードはプリンタードライバーに保存されます。
    - 複数の分類コードを切り替えたいときは、プリンタードライバーを別の名前で複数インストールし、それぞれに個別の分類コードを設定します。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.173「印刷方法/認証」を参照してください。

## 登録したフォームで印刷する(イメージオーバーレイ)

本機に登録したフォームデータと印刷する原稿を合成して、1 枚の原稿として印刷できます。

**市販の Windows 対応アプリケーションソフトを使用して作成したフォームデータを RPCS プリンタードライバーから本機に登録します。**

**RPDL、またはエミュレーションの R98、R55、R16 を使用してフォームを実行すると、印刷する原稿と登録しておいたフォームを合成して印刷できます。**

### フォームデータの登録

RPCS プリンタードライバーを使用して、作成したフォームデータを本機に登録します。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.173「印刷方法/認証」を参照してください。

### 登録したフォームを使用して印刷する

基幹系業務アプリケーションやホスト端末エミュレーションの設定にコマンドを追加すると、イメージオーバーレイ印刷を使用できます。エミュレーションの R16、R55、R98 が必要です。

IBM AS/400® Pcomm の PDT ファイルの設定例は以下のとおりです。

```
EJC EQU 1B 7E 01 00 00
INZ EQU 1B 7E 0E 00 01 06
RJ1 EQU @ P J L 20 S E T 20 F O R M E X E C U T E 20 = 20 O N
RJ2 EQU @ P J L 20 S E T 20 F O R M E X E C U T E N U M B E R 20 = 20 1
END_MACROS                                    /*イメージオーバーレイ呼び出し
/*********************************************************************************/
/*                    Session Parameters                    */
/*********************************************************************************/
MAXIMUM_PAGE_LENGTH=066
MA  IMUM_PRINT_POSITION=132
DEFAULT_CPI?=010
DEFAULT_LPI?=006
COMPRESS_LINE_SPACING?=NO
FORM_FEED_ANY_POSITION?=YES
HORIZONTAL_PEL=120
UNITS_OF_DRAW_LINE=
KANJI_CODE?=SHIFT_JIS
ZENKAKU_SPACE=
PAGE_LENGTH_TYPE?=6INCH
/*********************************************************************************/
/*                    Control Codes                    */
/*********************************************************************************/
START JOB=INZ SEL LL6 P10 RJ1 RJ2
END JOB=INZ
BACKSPACE=BAK
BELL=BELL
```

CQS909

## 印刷終了後に本機のエミュレーションを元に戻す

エミュレーションを併用している環境で、RPCS プリンタードライバーから印刷ジョブを送信したときに、自動で直前に使用していたエミュレーションに戻す機能です。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.180「オプション」を参照してください。

## バナーページを印刷する

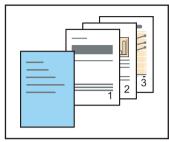
プリンタードライバーで指定した給紙トレイからバナーページを印刷します。バナーページを印刷ジョブの前に挿入し、文書の取り違いを防止します。

バナーページにはユーザー名、ジョブ名、ホスト名、ジョブの印刷日時が印刷されます。

この機能は PostScript 3 プリンタードライバーで使用できます。

3

CLD004

3

### バナーページの注意

- プリンタードライバーの「印刷方法：」で［通常印刷］を指定したときだけ有効です。
- バナーページに印刷されるジョブの印刷日時は、ジョブ履歴の日時と差異が発生することがあります。また、エラーなどで印刷が中止され、再開までに時間が空いたときも、バナーページに印刷される印刷日時と実際の印刷日時に差異が発生することがあります。
- 印刷を中止するときは、バナーページと印刷ジョブそれぞれに印刷中止の操作をしてください。
- 印刷後は、バナーページと印刷ジョブそれぞれのジョブ履歴が記録されます。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる用紙サイズ、用紙種類で印刷されることがあります。
- 印刷の設定によっては、バナーページが印刷ジョブと異なる排紙先に印刷されることがあります。
- バナーページの印刷文字列に半角英数字以外が使用されていると、文字化けすることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、複数部数を印刷するときに、部数分のバナーページが印刷されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブに向きやサイズの異なるページが混在するとき、向きやサイズが切り替わるページの前にバナーページが挿入されることがあります。
- 使用するアプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブの中に複数のジョブがあると、ジョブごとにバナーページが挿入されることがあります。

補足

- Windows OS 用のプリンタードライバーでの設定については、P.174「用紙」を参照してください。
- Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーでの設定については、P.185「プリンタの機能」を参照してください。

## Windows で便利な印刷機能を使用する

Windows OS 用のプリンタードライバーで設定できる便利な印刷機能は以下のとおりです。各メニューから設定できるその他の項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

| ［項目別設定］タブのメニュー項目 | 便利な印刷機能 | プリンタードライバーの種類 |
|---|---|---|
| 印刷方法/認証 | イメージオーバーレイ | RPCS |
| | 分類コード | RPCS |
| 用紙 | おもて表紙、うら表紙 | RPCS |
| | 合紙 | RPCS |
| | 章分けページ | RPCS |
| | バナーページ | PostScript 3 |
| 編集 | 集約印刷 | RPCS、PostScript 3 |
| | 両面印刷 | RPCS、PostScript 3 |
| | 製本印刷 | RPCS、PostScript 3 |
| | 拡大連写 | RPCS |
| 仕上げ | ソート | RPCS、PostScript 3 |
| | ステープル | RPCS、PostScript 3 |
| | パンチ | RPCS、PostScript 3 |
| 印刷品質 | トナーセーブ | RPCS、PostScript 3 |
| 効果 | スタンプ印字 | RPCS、PostScript 3 |
| | 不正コピー抑止 | RPCS、PostScript 3 |
| | イメージスタンプ | RPCS |
| オプション | 直前のエミュレーションに戻す | RPCS |

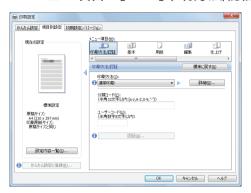
### 印刷方法/認証

1. **アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

   印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

2. **［項目別設定］タブをクリックします。**

**3.「メニュー項目：」で［印刷方法/認証］メニューをクリックします。**

3

**4. 便利な印刷機能を設定します。**

- RPCS プリンタードライバーを使用して、イメージオーバーレイを設定するときは、「印刷方法：」プルダウンメニューから［イメージオーバーレイ用にプリンターに保存］を選択し、［詳細...］をクリックします。
- RPCS プリンタードライバーを使用して、分類コードを設定するときは、「分類コード：」ボックスに分類コードを入力します。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

**5.［OK］をクリックします。**

**6. アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- イメージオーバーレイについては、P.170「登録したフォームで印刷する(イメージオーバーレイ)」を参照してください。
- 分類コードについては、P.168「分類コードを使用する」を参照してください。
- イメージオーバーレイは、RPCS プリンタードライバーのかんたん設定画面でも設定できます。

## 用紙

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」を参照してください。

**2.［項目別設定］タブをクリックします。**

## 3.「メニュー項目：」で［用紙］メニューをクリックします。

## 4. 便利な印刷機能を設定します。

- RPCS プリンタードライバーを使用して、おもて表紙を設定するときは、［おもて表紙］チェックボックスにチェックを入れます。
- RPCS プリンタードライバーを使用して、おもて表紙とうら表紙を設定するときは、［おもて表紙］チェックボックスにチェックを入れてから、［うら表紙］チェックボックスにチェックを入れます。
- RPCS プリンタードライバーを使用して、合紙を設定するときは、［章分けページ］チェックボックスにチェックを入れます。
- RPCS プリンタードライバーを使用して、章分けページを設定するときは、［合紙］チェックボックスにチェックを入れます。
- PostScript 3 プリンタードライバーを使用して、バナーページを設定するときは、［バナーページ］チェックボックスにチェックを入れます。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

## 5. ［OK］をクリックします。

## 6. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- おもて表紙、うら表紙については、P.163「表紙に印刷する」を参照してください。
- 合紙については、P.166「合紙を挿入する」を参照してください。
- 章分けページについては、P.165「章を分けて印刷する」を参照してください。
- バナーページについては、P.171「バナーページを印刷する」を参照してください。

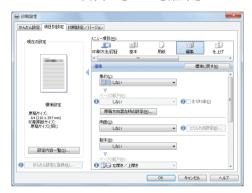
3

## 編集

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

**2. [項目別設定] タブをクリックします。**

**3.「メニュー項目：」で [編集] メニューをクリックします。**

**4. 便利な印刷機能を設定します。**

- 集約印刷を設定するときは、「集約：」プルダウンメニューから集約の種類を選択し、「ページの配列：」プルダウンメニューからページの並べかたを選択します。
- 両面印刷を設定するときは、「両面：」プルダウンメニューから用紙のとじかたを選択します。
- 製本印刷を設定するときは、「製本：」プルダウンメニューから用紙のとじかたを選択し、「ページの配列：」プルダウンメニューからページの開きかたを選択します。
- RPCS プリンタードライバーを使用して、拡大連写を設定するときは、「拡大連写：」プルダウンメニューから用紙の分けかたを選択します。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

**5. [OK] をクリックします。**

**6. アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- 集約印刷については、P.148「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。
- 両面印刷については、P.148「用紙の両面に印刷する」を参照してください。
- 製本印刷については、P.151「製本印刷する」を参照してください。

- 拡大連写については、P.150「1 ページを複数枚に分けて印刷する(拡大連写)」を参照してください。

## 仕上げ

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

**2. ［項目別設定］タブをクリックします。**

**3.「メニュー項目：」で［仕上げ］メニューをクリックします。**

**4. 便利な印刷機能を設定します。**

- ソートを設定するときは、「ソート：」プルダウンメニューから［プリンターのソート］または［アプリケーションのソート］を選択し、［ソートの詳細…］からソートの種類を指定します。
- ステープルを設定するときは、「ステープル：」プルダウンメニューからステープルの位置を選択します。
- パンチを設定するときは、「パンチ：」プルダウンメニューからパンチの位置を選択します。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

**5. ［OK］をクリックします。**

**6. アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- ソートについては、P.153「部単位で印刷する(ソート)」を参照してください。
- ステープルについては、P.155「印刷した用紙をステープラーでとじる」を参照してください。

- パンチについては、P.158「印刷した用紙にパンチで穴をあける」を参照してください。

## 印刷品質

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

3

**2. ［項目別設定］タブをクリックします。**

**3. 「メニュー項目：」で［印刷品質］メニューをクリックします。**

**4. 便利な印刷機能を設定します。**

- RPCS プリンタードライバーを使用して、トナーセーブを設定するときは、「トナーセーブ：」プルダウンメニューから［する］を選択します。
- PostScript 3 プリンタードライバーを使用して、トナーセーブを設定するときは、「トナーセーブ：」プルダウンメニューからトナーセーブの種類を選択します。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

**5. ［OK］をクリックします。**

**6. アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- トナーセーブについては、P.160「トナーセーブ機能を使用する」を参照してください。

## 効果

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

**2. ［項目別設定］タブをクリックします。**

**3. 「メニュー項目：」で［効果］メニューをクリックします。**

**4. 便利な印刷機能を設定します。**

- スタンプ印字を設定するときは、［スタンプ印字を使用］チェックボックスにチェックを入れ、「スタンプ印字：」プルダウンメニューから使用するスタンプ印字を選択します。スタンプ印字の編集については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 不正コピー抑止を設定するときは、［不正コピー抑止］チェックボックスにチェックを入れ、「不正コピー抑止の種類：」プルダウンメニューから［不正コピー抑止地紋］または［不正コピーガード］を選択します。
- RPCS プリンタードライバーを使用して、イメージスタンプを設定するときは、［イメージスタンプの追加］チェックボックスにチェックを入れ、「イメージスタンプ：」プルダウンメニューから使用するイメージスタンプを選択します。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

**5. ［OK］をクリックします。**

**6. アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- スタンプ印字、イメージスタンプについては、P.160「原稿に文字やイメージをスタンプする」を参照してください。
- 不正コピー抑止については、P.161「複製できない文書を印刷する」を参照してください。

## オプション

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

**2. ［項目別設定］タブをクリックします。**

**3. 「メニュー項目：」で［オプション］メニューをクリックします。**

**4. 便利な印刷機能を設定します。**

- RPCS プリンタードライバーから印刷ジョブを送信したときに、自動で直前に使用していたエミュレーションに戻す場合は、［直前のエミュレーションに戻す］チェックボックスにチェックを入れます。

その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

- ［直前のエミュレーションに戻す］チェックボックスにチェックを入れます。

**5. ［OK］をクリックします。**

**6. アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- 直前のエミュレーションに戻す機能については、P.171「印刷終了後に本機のエミュレーションを元に戻す」を参照してください。

## Mac OS X で便利な印刷機能を使用する

Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーで設定できる便利な印刷機能は以下のとおりです。

| プリンタードライバーの<br>ポップアップメニュー項目 | 便利な印刷機能 |
|---|---|
| レイアウト | 両面印刷 |
| | 集約印刷 |
| 不正コピー抑止 | 不正コピー抑止 |
| プリンタの機能 | トナーセーブ |
| | ステープル |
| | パンチ |
| | バナーページ |



## レイアウト

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。**

プリント画面の開きかたについては、P.115「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

**2. ポップアップメニューから［レイアウト］を選択します。**

**3. 便利な印刷機能を設定します。**

- 集約印刷を設定するときは、「ページ数／枚：」メニューから 1 枚の用紙に何ページ分のデータを印刷するか選択し、「レイアウト方向：」メニューからページの並べかたを選択します。

  集約したページを仕切るときは、「境界線：」メニューから仕切り線の種類を選択します。

- 両面印刷を設定するときは、［両面：］または［両面プリント：］から、［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

4. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
5. 印刷の指示をします。

補足

- 両面印刷については、P.148「用紙の両面に印刷する」を参照してください。
- 集約印刷については、P.148「複数のページを集約して印刷する」を参照してください。



## 不正コピー抑止

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。

   プリント画面の開きかたについては、P.115「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

2. ポップアップメニューから［不正コピー抑止］を選択します。

3. 「不正コピー抑止の種類：」メニューから［不正コピー抑止地紋］または［不正コピーガード］を選択します。
4. ［抑止文字列］、［カラー/濃度］、［地紋］をクリックし、不正コピー抑止の各項目を設定します。
5. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
6. 印刷の指示をします。

### ［不正コピー抑止］で設定できる項目

- 抑止文字列

| 設定項目 | 機能の説明 |
|---|---|
| 文字列の種類： | 不正コピー抑止文字として印字する文字列をポップアップメニューから選択します。 |
| 任意文字列の入力： | 「文字列の種類：」で［任意の文字列］を選択した場合は、印字する文字列を入力します。全角 21 文字／半角 64 文字まで入力できます。<br>印字フォントとして欧文フォントを選択するときは、半角の英数記号で入力してください。 |
| フォント： | フォントの種類を選択します。選択できるフォントは TrueType フォントです。 |
| サイズ： | フォントサイズを設定します。小さいフォントサイズを使用すると、地紋として効果的でない場合があります。地紋として効果的なフォントサイズは 50 ポイント以上で、70 から 80 ポイントをお勧めします。 |
| 角度： | 文字列の回転する角度を指定します。数字を大きくすると、文字列の中央を基点に反時計回りに回転します。地紋として効果的な角度として、30 から 40 度をお勧めします。 |
| 文字列と背景の効果： | 印刷時、コピー時の効果を設定します。 |
| 繰り返し印字： | ページの左上を基点に文字列を縦横に並べて繰り返し印刷します。「位置：」の設定は無効になります。 |
| 行間隔： | 行間隔を設定します。 |
| 位置： | 不正コピー抑止文字列を挿入する位置をリストから選択します。 |

- カラー/濃度

| 設定項目 | 機能の説明 |
|---|---|
| 濃度： | 濃度を設定します。 |

- 地紋

| 設定項目 | 機能の説明 |
|---|---|
| マスクパターン： | 背景地紋を付けて印刷します。使用する地紋の種類を選択します。 |

### ［文字列と背景の効果：］で設定したときの効果

- ［不正コピー抑止地紋］を選択したとき

3

| 設定項目 | 印刷したときの効果 | コピーしたときの効果 |
|---|---|---|
| 文字列・背景 | | |
| 文字列地紋／背景地紋の入れ替え | | |
| 背景のみ | | |
| 文字列のみ | | |



- ［不正コピーガード］を選択したとき

| 設定項目 | 印刷したときの効果 | コピーしたときの効果<br>（不正コピーガード非搭載機） | コピーしたときの効果<br>（不正コピーガード搭載機） |
|---|---|---|---|
| 文字列・背景 | | | |
| 背景のみ | | | |

**［マスクパターン：］で選択できる地紋の種類**

| 青海波<br>（せいがいは） | 網目<br>（あみめ） | 格子 1<br>（こうし 1） | 格子 2<br>（こうし 2） | 七宝<br>（しっぽう） |
|---|---|---|---|---|

| 蜀江（しょっこう） | 松皮菱（まつかわびし） | 鱗（うろこ） | 檜垣（ひがき） | 亀甲（きっこう） |
|---|---|---|---|---|

補足

- 不正コピー抑止については、P.161「複製できない文書を印刷する」を参照してください。
- 不正コピーガードでは、[カラー/濃度] と [地紋] の設定はできません。

## プリンタの機能

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。**

プリント画面の開きかたについては、P.115「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

**2. ポップアップメニューから [プリンタの機能] を選択します。**

### 3. 「機能セット：」を切り替えて、設定する項目を表示します。

3

### 4. 便利な印刷機能を設定します。

- トナーセーブを設定するときは、「印字モード：」メニューからトナーセーブの種類を選択します。

  写真のような繊細な濃淡のグラデーション画像を含む原稿を印刷するときは、［スムージングオフ］を選択します。

  テキストやグラフィックのギザギザな線をスムーズにして印刷品質を改善するときは、［スムージングオン］を選択します。

  トナーを節約して印刷するときは、［トナーセーブ 1］を選択します。

  ［トナーセーブ 1］よりもさらにトナーを節約して印刷するときは、［トナーセーブ 2］を選択します。トナーの持ちはよくなりますが、印刷結果は薄くなります。

- ステープルを設定するときは、「ステープル：」メニューからステープルの位置を選択します。
- パンチを設定するときは、「パンチ：」メニューからパンチの位置を選択します。
- バナーページを設定するときは、「バナーページ印刷：」メニューから［する］を選択します。

  「バナーページの給紙方法：」メニューでバナーページを給紙する給紙トレイを選択します。

  「バナーページの用紙種類：」メニューからバナーページで使用する用紙の種類を選択します。

### 5. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

### 6. 印刷の指示をします。

## ［プリンタの機能］で設定できるその他の項目

便利な印刷機能のほかに、以下の項目を設定できます。

| 設定項目 | 機能の説明 |
| --- | --- |
| フォント： | フォントを指定します。 |

| 設定項目 | 機能の説明 |
| --- | --- |
| イメージスムージング： | イメージスムージングの設定を選択します。<br>• [オフ]<br>イメージスムージングを行いません。<br>• [オン]<br>すべての画像にイメージスムージング処理を行います。<br>• [自動]<br>機器のサポート解像度の、25%以下の解像度を持っている画像に対して、自動的にイメージスムージング処理を行います。<br>• [90ppi] ～ [300ppi 未満]<br>選択した解像度（ピクセル/インチ）以下の画像に対して、イメージスムージング処理を行います。<br>[自動] を選択した場合は、印刷処理時間が長くなる場合があります。<br>マスクイメージにこの機能を適応する場合は、思うような印刷結果が得られない場合があります。 |
| 画像モード： | 印刷する画像にあわせてディザパターンを指定できます。<br>• [自動]<br>印刷する文書内の要素（文字、イメージグラフィックス）ごとに適したディザパターンを自動的に適応します。<br>• [写真]<br>写真に適したディザパターンを適用します。<br>• [文字]<br>文字に適したディザパターンを適用します。<br>• [ユーザー設定]<br>ハーフトーンを設定可能なアプリケーションからの印刷で、指定したハーフトーンを有効にしたい場合に設定します。 |
| 用紙の種類： | 用紙の種類を選択します。 |
| 排出方法： | 印刷した用紙を排出するトレイを指定します。 |
| 180 度回転： | 画像を 180 度回転させて印刷するかどうか設定します。<br>• [しない]<br>180 度回転しません。<br>• [する]<br>180 度回転します。 |
| Orientation 設定： | 一部のアプリケーションで印刷時の用紙方向の設定ができないとき指定することができます。データが意図せず回転して出力される場合などは、この設定でデータの原稿方向を指定して印刷してください。 |

補足

- トナーセーブについては、P.160「トナーセーブ機能を使用する」参照してください。
- ステープルについては、P.155「印刷した用紙をステープラーでとじる」を参照してください。
- パンチについては、P.158「印刷した用紙にパンチで穴をあける」を参照してください。
- バナーページについては、P.171「バナーページを印刷する」を参照してください。

3

# はがき、封筒に印刷する

## Windows ではがき、封筒に印刷する

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

**2.「給紙トレイ：」プルダウンメニューから、はがきまたは封筒をセットした給紙トレイを選択します。**

**3.「原稿サイズ：」プルダウンメニューから、はがきまたは封筒の用紙サイズを選択します。**

**4.「原稿方向：」プルダウンメニューから、はがきまたは封筒の印刷方向を選択します。**

**5.「用紙種類：」プルダウンメニューから用紙の種類を選択します。**

- 郵便はがき、往復はがきに印刷するときは、[厚紙 2（161 から 216g/m$^2$)］を選択します。
- 封筒に印刷するときは、[封筒］を選択します。

**6. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。**

**7.［OK］をクリックします。**

**8. アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- 操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。操作部の設定については、P.228「操作部を使用してはがき、封筒を設定する」を参照してください。

- はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。はがきのセット方向の詳細は、P.131「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセット方向の詳細は、P.133「封筒をセットする」を参照してください。

## Mac OS X ではがき、封筒に印刷する

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。**

プリント画面の開きかたについては、P.115「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

**2.「用紙サイズ：」メニューからはがきまたは封筒の用紙サイズを選択します。**

**3.「方向：」メニューから、はがきまたは封筒の印刷方向を選択します。**

**4. ポップアップメニューから［給紙］または［給紙方法］を選択します。**

**5. はがきまたは封筒がセットされている給紙トレイを選択します。**

**6. ポップアップメニューから［プリンタの機能］を選択します。**

### 7.「機能セット：」を切り替えて、「用紙の種類：」メニューを表示します。

### 8.「用紙の種類：」メニューから用紙の種類を選択します。

- 郵便はがき、往復はがきに印刷するときは、[厚紙 2（161–216g/m2)］を選択します。
- 封筒に印刷するときは、[封筒］を選択します。

### 9. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。

### 10. 印刷の指示をします。

- 操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。
- 操作部の設定については、P.228「操作部を使用してはがき、封筒を設定する」を参照してください。
- はがきや封筒は正しい向きでセットしてください。はがきのセット方向の詳細は、P.131「はがきをセットする」を参照してください。封筒のセット方向の詳細は、P.133「封筒をセットする」を参照してください。

# 文書を蓄積して印刷する

本機に蓄積された文書の印刷と管理の方法について説明します。

あらかじめプリンタードライバーからの印刷指示で本機のハードディスクにデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータの印刷または削除ができます。

**重要**

- この機能を使用するには、オプションの拡張 HDD が必要です。
- 以下の条件のとき、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
    - 本機に蓄積されている印刷データの合計が、9,000 件に達しているとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
    - 1 文書の総ページ数が 1,000 ページを超えるとき
    - 送信した印刷データと本機に蓄積されている文書との合計が 9,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
- PageMaker など、独自のドライバーを使用するアプリケーションでは、この機能を使用できません。

この機能で使用できる印刷方法の種類は以下のとおりです。

**試し印刷**

複数部数印刷するときなど、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認したあとに操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防止できます。

**機密印刷**

ネットワークでプリンターを共有しているとき、他人に見られたくない文書を印刷する場合などに有効な機能です。機密印刷を使用すると、本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなるので、他人に見られる心配がありません。

**保留印刷**

本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷できます。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。また、文書の印刷時刻を指定できます。指定した時刻になると、自動的に印刷されます。

**保存印刷**

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷できます。印刷終了後も文書が消去されないので、繰り返し印刷するときなどに有効です。

補足

- 本機の主電源スイッチを切っても、蓄積された印刷文書は消去されずに残りますが、[一時置き文書自動消去設定]や[保存文書自動消去設定]が優先されます。文書の自動消去設定については、P.312「データ/操作管理」を参照してください。

## 文書を蓄積する

### Windows で文書を蓄積する

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。**

印刷設定画面の開きかたについては、P.114「アプリケーションから印刷設定画面を開く」を参照してください。

**2.「印刷方法：」プルダウンメニューから印刷方法を選択します。**

- 試し印刷をするときは、[試し印刷]を選択します。
- 機密印刷をするときは、[機密印刷]を選択します。
- 保留印刷をするときは、[保留印刷]を選択します。
- 保存印刷をするときは、2 つの印刷方法を選択できます。

  本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷するときは、[プリンターに保存]を選択します。

  本機に文書を蓄積するのと同時に印刷するときは、[保存して印刷]を選択します。

**3. [詳細...]をクリックします。**

**4.「ユーザー ID の入力：」にユーザー ID を入力します。**

- 機密印刷をするときは、「パスワード：」にパスワードを入力します。
- 保留印刷をするときは、必要に応じて、ファイル名と印刷時刻も指定できます。

  文書の印刷時刻を指定するときは、[印刷時刻指定]チェックボックスにチェックを入れ、時刻を指定します。
- 保存印刷をするときは、必要に応じて、ファイル名とパスワードも指定できます。

**5. [OK]をクリックします。**

**6. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。**

**7. [OK]をクリックします。**

**8. アプリケーションから印刷の指示をします。**

補足

- 以下の条件のとき、保留印刷で指定した時刻に、文書が印刷されないことがあります。
    - 指定した印刷時刻と本機のシステム時計の時刻とに数分の差しかないときは、すぐに印刷されることがあります。
    - 本機の主電源スイッチが切れている場合は、指定した時刻に文書が印刷されません。指定時刻を過ぎた文書を印刷したいときは、あらかじめ［プリンター初期設定］の［システム設定］にある［主電源 Off 時の未処理文書］を［電源 On で印刷する］に設定してください。詳細は、P.313「システム設定」を参照してください。
    - 操作部の画面にエラーメッセージが表示されているときは、指定した時刻であっても文書が印刷されません。
- 保存印刷で［プリンターに保存（共有)］または［保存して印刷（共有)］を選択すると、文書作成者のほかに、印刷権限を持つユーザーが印刷できます。RPCS プリンタードライバーでユーザー認証を設定したときに、有効な機能です。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。



## Mac OS X で文書を蓄積する

**1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーのプリント画面を開きます。**

プリント画面の開きかたについては、P.115「アプリケーションからプリント画面を開く」を参照してください。

**2. ポップアップメニューから［蓄積/履歴］をクリックします。**

**3.「ユーザー ID：」ボックスに、半角英数字 8 文字以内でユーザー ID を入力します。**

**4.「印刷方法：」メニューから印刷方法を選択します。**

- 試し印刷をするときは、［試し印刷］を選択します。
- 機密印刷をするときは、［機密印刷］を選択し、「パスワード：」ボックスにパスワードを入力します。
- 保留印刷をするときは、［保留印刷］を選択します。

  半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

  文書の印刷時刻を指定するときは、［印刷時刻を指定する］チェックボックスにチェックを入れ、時刻を指定します。
- 保存印刷をするときは、2 つの印刷方法を選択できます。

  本機に文書を蓄積し、あとから操作部を使用して印刷するときは、［プリンターに保存］を選択します。

本機に文書を蓄積するのと同時に印刷するときは、[保存して印刷]を選択します。

半角英数字 16 文字以内で任意の文書名を設定できます。

半角数字 4 から 8 文字で任意のパスワードを設定できます。

**5. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。**

**6. 印刷の指示をします。**

試し印刷をするときは、印刷部数を 2 部以上に設定して印刷の指示をします。まず部だけ印刷されます。

補足

- 以下の条件のとき、保留印刷で指定した時刻に、文書が印刷されないことがあります。
    - 指定した印刷時刻と本機のシステム時計の時刻とに数分の差しかないときは、すぐに印刷されることがあります。
    - 本機の主電源スイッチが切れている場合は、指定した時刻に文書が印刷されません。指定時刻を過ぎた文書を印刷したいときは、あらかじめ[プリンター初期設定]の[システム設定]にある[主電源 Off 時の未処理文書]を[電源 On で印刷する]に設定してください。詳細は、P.313「システム設定」を参照してください。
    - 操作部の画面にエラーメッセージが表示されているときは、指定した時刻であっても文書が印刷されません。

## 蓄積文書を印刷する

### 文書種類から印刷する

重要

- **印刷が終了すると、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書は消去されます。保存文書は、消去されません。保存文書を消去する方法は P.201「蓄積文書を消去する」を参照してください。**

**1. ホーム画面で[プリンター]アイコンを押します。**

ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

3

**2. ［文書印刷］タブを押します。**

3

**3. 印刷する文書種類を選択します。**

- 試し印刷をするときは、［試し文書］を押します。
- 機密印刷をするときは、［機密文書］を押します。
- 保留印刷をするときは、［保留文書］を押します。
- 保存印刷をするときは、［保存文書］を押します。

**4. 印刷する文書を選択します。**

文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

**5. 必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。**

**6. ［印刷継続］を押します。**

- 機密印刷をするときは、テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

  複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

- 保存印刷するとき、文書にパスワードが設定されている場合は、テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

  複数の文書を選択したとき、パスワード付の文書が含まれている場合は、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

**7. 文書の印刷設定を変更するときは、［印刷設定］を押して設定します。**

設定できる項目については、P.197「印刷設定を変更する」を参照してください。

**8. 印刷部数を変更するときは［変更］を押して、テンキーで部数を入力します。**

**9. ［印刷継続］を押します。**

補足

- 複数の文書を選択したときに、部数を変更した場合は、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しない場合は、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷時刻が指定された保留印刷文書を指定時刻になる前に印刷したいときは、操作部を使って印刷します。

- 印刷開始後に印刷を中止するには、［印刷取消］か［印刷中断］キーを押します。印刷を中止すると、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 蓄積した文書は、Web Image Monitor でも印刷できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## 保留印刷文書の印刷指定時刻を変更する

**1. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。**

ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

**2. ［文書印刷］タブを押します。**

**3. ［保留印刷文書］を押します。**

**4. 印刷時刻を変更する保留印刷文書を選択します。**

**5. ［その他の設定］を押します。**

**6. ［印刷時刻］を押します。**

**7. テンキーで印刷時刻を入力します。**

印刷時刻の指定を解除するときは、［解除］を押します。

**8. ［OK］を押します。**

- 保留印刷文書の印刷時刻は、Web Image Monitor でも変更、追加および消去ができます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## 印刷設定を変更する

本機に蓄積した文書は、操作部の印刷詳細設定画面で印刷の設定を変更できます。設定できる項目は以下のとおりです。

- 給紙トレイ

  印刷に使用する給紙トレイを選択します。

- 両面

両面印刷をするときに、とじ方向を選択します。

- 集約

  集約印刷をするときに、集約する枚数、ページの並べかた、仕切り線の有無を選択します。コマンドでプリンター言語の PDF を指定して、文書を蓄積したときに、この機能を使用できます。

- ソート/スタック

  2 部以上印刷するときに、1 部ごとに印刷（ソート）するかページごとに印刷するかを選択します。



- トナーセーブ

  通常よりも薄く印刷し、トナーを節約するかしないかを選択します。この設定を有効にすると、印刷品質が低下することがあります。

補足

- ［印刷をともなうジョブの制限］または［エラージョブ蓄積・追い越し］で、自動的に蓄積された文書は、印刷詳細設定画面で設定を変更できません。［印刷をともなうジョブの制限］については、P.138「文書の放置を防止する」を参照してください。［エラージョブ蓄積・追い越し］については、P.141「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

## ユーザー ID から印刷する

重要

- **印刷が終了すると、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書は消去されます。保存文書は、消去されません。保存文書を消去する方法は P.201「蓄積文書を消去する」を参照してください。**

**1. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。**

ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

**2. ［文書印刷］タブを押します。**

**3. 印刷するユーザー ID を選択します。**

複数のユーザー ID を同時に選択できません。

**4. 印刷する文書を選択します。**

文書を選択してから、[全ジョブ選択]を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

**5. 必要に応じて[プレビュー]を押し、文書の印刷イメージを確認します。**

**6. [印刷継続]を押します。**

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択したときに、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

**7. 文書の印刷設定を変更するときは、[印刷設定]を押して設定します。**

設定できる項目については、P.197「印刷設定を変更する」を参照してください。

**8. 印刷部数を変更するときは[変更]を押して、テンキーで部数を入力します。**

**9. [印刷継続]を押します。**

- 複数の文書を選択したときに、部数を変更した場合は、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しない場合は、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。

## エラーで蓄積された文書を印刷する

[プリンター初期設定]にある[システム設定]の[エラージョブ蓄積・追い越し]により、文書が本機に蓄積されたときは、操作部を使用して印刷します。

[エラージョブ蓄積・追い越し]については、P.141「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

**1. ホーム画面で[プリンター]アイコンを押します。**

ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

**2. [文書印刷]タブを押します。**

**3. 印刷する文書種類を選択します。**

**4. 印刷する文書を選択します。**

文書を選択してから、［全ジョブ選択］を押すと、同じ種類の文書をすべて選択できます。

**5. 必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。**

**6. ［印刷継続］を押します。**

文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力します。

複数の文書を選択したときに、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象です。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。

**7. 印刷部数を変更するときは［変更］を押して、テンキーで部数を入力します。**

**8. ［印刷継続］を押します。**

補足

- 複数の文書を選択したときに、部数を変更した場合は、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。部数を変更しない場合は、各文書を蓄積するときに指定した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するには、［終了］を押してプリンター画面を表示させ、［ジョブリセット］か［ストップ］キーを押します。
- 本機に蓄積された文書は、Web Image Monitor でも印刷を再開できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## 保存文書にアクセス権を設定する

プリンタードライバーからの印刷指示で本機に蓄積された保存文書のアクセス権は、Web Image Monitor から設定できます。

**1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

**2. メニューエリアの［文書操作］から［プリンター文書印刷］をクリックします。**

**3. アクセス権を変更する保存文書の［詳細情報］アイコンをクリックします。**

**4. 「アクセス権」の［変更］をクリックします。**

パスワードの確認画面が表示されたときは、パスワードを入力します。

5. **ユーザーのアクセス権を選択します。**

アクセス権は、[閲覧]、[編集]、[編集/削除]、[フルコントロール］のいずれかを選択します。

全ユーザーに設定するときは、「公開」にある「すべてのユーザー」のなかからアクセス権を選択します。

6. **[OK］をクリックします。**

7. **[ログアウト］をクリックします。**

8. **Web Image Monitor を終了します。**

- 選択できるアクセス権については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。



## 蓄積文書を消去する

1. **ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。**

ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

2. **[文書印刷］タブを押します。**

3. **消去する文書種類を選択します。**

- 試し印刷文書を消去するときは、[試し文書］を押します。
- 機密印刷文書を消去するときは、[機密文書］を押します。
- 保留印刷文書を消去するときは、[保留文書］を押します。
- 保存印刷文書を消去するときは、[保存文書］を押します。

4. **消去する文書を選択します。**

文書を選択してから、[全ジョブ選択］を押すと、すべての試し印刷文書を選択できます。

5. **[消去］を押します。**

- 機密印刷文書を消去するときは、テンキーでパスワードを入力し、[実行］を押します。

複数の文書を選択したときは、パスワードが一致した文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。

- 保存印刷文書を消去するとき、文書にパスワードが設定されている場合は、テンキーでパスワードを入力し、［実行］を押します。

  複数の文書を選択したときに、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が消去の対象です。確認画面には、消去される文書数が表示されます。

**6.［消去する］を押します。**



補足

- 蓄積した文書は、Web Image Monitor でも消去できます。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

# ジョブを管理する

本機に蓄積されたジョブを管理できます。

## ジョブを管理する画面の種類

印刷すると、データは一時的に本機に記憶され、順番に実行されます。状態確認画面やジョブ一覧画面で、蓄積されたジョブを管理することができます。

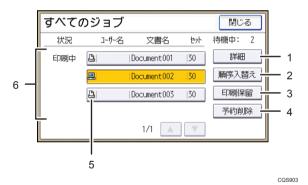
たとえば、設定を間違えたジョブを取り消したい、急ぎの文書を先に印刷したいなど、さまざまな状況に対応できます。

ここでは、状態確認画面やジョブ一覧画面で表示される画面とアイコンについて説明します。

**状態確認画面**

この画面を表示するには、［状態確認］キーを押して［実行中ジョブ］タブを押してから、［すべてのジョブ］を押します。すべての機能のジョブ一覧を印刷順に表示します。

この画面を開いている間も、ジョブは進行します。

1. ［詳細］

   選択したジョブの内容を表示できます。

2. ［順序入替え］

   選択したジョブの順序を入れ替えます。

3. ［印刷保留］

   選択したジョブの印刷を保留します。

4. ［予約削除］

   選択したジョブを削除します。

5. 印刷した機能のアイコン

   ：プリンター機能で印刷するジョブ

   ：Ridoc Desk Navigator または Web Image Monitor で印刷するジョブ

6. **ジョブ一覧**

ジョブ一覧が表示されます。選択するジョブが表示されないときは、［▲］または［▼］を押して、画面を切り替えてください。

### ジョブ一覧画面

この画面を表示するには、［印刷中断］キーを押し、［ジョブ一覧］を押します。すべての機能のジョブ一覧を印刷順に表示します。

この画面を開いている間は、ジョブは中断されます。

1. **［詳細］**

選択したジョブの内容を表示できます。

2. **［順序入替え］**

選択したジョブの順序を入れ替えます。

3. **［予約削除］**

選択したジョブを削除します。

4. **［全ジョブ削除］**

すべてのジョブを削除します。

5. **印刷した機能のアイコン**

：プリンター機能で印刷するジョブ

：Ridoc Desk Navigator または Web Image Monitor で印刷するジョブ

6. **ジョブ一覧**

ジョブ一覧が表示されます。選択するジョブが表示されないときは、［▲］または［▼］を押して、画面を切り替えてください。

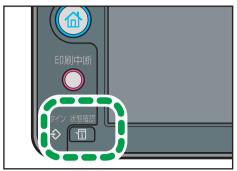
補足

- ユーザー認証を設定しているときは、ログインしているユーザーのジョブだけが表示されます。

## ジョブの内容を確認する

ここでは、状態確認画面でジョブの内容を確認する方法を例に説明します。

1. [状態確認] キーを押します。

CQS609

2. [実行中ジョブ] タブを押します。
3. [すべてのジョブ] を押します。
4. 内容を確認するジョブを選択します。
5. [詳細] を押し、内容を確認します。
6. [閉じる] を 3 回押します。

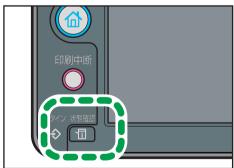
補足

- ジョブ一覧画面でもジョブの内容を確認できます。ジョブが実行中に [印刷中断] キーを押します。[ジョブ一覧] を押して、手順 4 から操作してください。

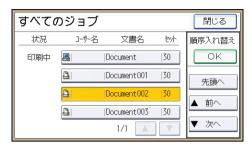
## ジョブの順序を入れ替える

ここでは、状態確認画面でジョブの順序を入れ替える方法を例に説明します。

1. [状態確認] キーを押します。

CQS609

2. [実行中ジョブ] タブを押します。
3. [すべてのジョブ] を押します。
4. 順序を変更するジョブを選択します。

**5.** [順序入替え] を押します。

**6.** [先頭へ]、[▲前へ]、または [▼次へ] を押して、順序を入れ替えます。

**7.** [OK] を押します。

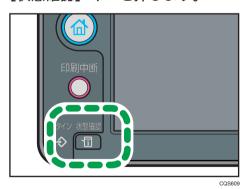
**8.** [閉じる] を 2 回押します。

補足

- ジョブ一覧画面でもジョブの順序を変更できます。ジョブが実行中に [印刷中断] キーを押します。[ジョブ一覧] を押して、手順 4 から操作してください。

## ジョブの印刷を保留する

ここでは、状態確認画面でジョブの印刷を保留する方法を例に説明します。

**1.** [状態確認] キーを押します。

**2.** [実行中ジョブ] タブを押します。

**3.** [すべてのジョブ] を押します。

**4.** 印刷を保留するジョブを選択します。

**5.** [印刷保留] を押します。

選択したジョブ以降のジョブがすべて保留となります。印刷が保留中のジョブの左に、「保留中」が表示されます。

**6.** [閉じる] を 2 回押します。

補足

- ジョブ一覧画面でもジョブを保留できます。ジョブが実行中に［印刷中断］キーを押します。［ジョブ一覧］を押して、手順 4 から操作してください。
- 印刷を再開するには、［印刷再開］を押します。

## ジョブを削除する

ここでは、状態確認画面でジョブを削除する方法を例に説明します。

1. ［状態確認］キーを押します。

2. ［実行中ジョブ］タブを押します。
3. ［すべてのジョブ］を押します。
4. 予約を削除するジョブを選択します。

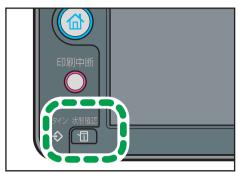
   複数の文書を削除するときは、削除する文書をすべて選択します。
5. ［予約削除］を押します。
6. ［削除する］を押します。
7. ［閉じる］を 2 回押します。

補足

- ジョブ一覧画面でもジョブを削除できます。ジョブが実行中に［印刷中断］キーを押します。［ジョブ一覧］を押して、手順 4 から操作してください。

## ジョブの履歴を確認する

印刷が終了したジョブの履歴を確認できます。また、印刷が終了したジョブの内容も確認できます。

1. [状態確認] キーを押します。

2. [ジョブ履歴] を押します。
3. [プリンター] または [その他] を押します。

   今までに実行したジョブの一覧が表示されます。

4. 内容を確認するジョブを選択します。
5. [詳細] を押し、内容を確認します。
6. [閉じる] を 3 回押します。

補足

- [プリンター]、[その他] のカテゴリー別で、最新 100 件のジョブ履歴が表示されます。表示順は、ジョブが終了した順番ではなく、ログが作成された順番になります。

# 外部メディアを接続して印刷する

本機に接続した外部メディアから直接印刷する機能について説明します。

## メディアスロットから直接印刷する(メディアプリント)

外部メディア（USB メモリーまたは SD カード）を本機に接続して、外部メディアの文書を直接印刷できます。

コンピューターを使用しないで、簡単に印刷できる便利な機能です。JPEG、TIFF、または PDF 形式の文書を印刷できます。



重要

- **この機能を使用するには、オプションの拡張 HDD が必要です。**

### メディアスロット使用時の注意

- 使用できる外部メディアは USB メモリーと SD カードです。ただし、すべての USB メモリーや SD カードで動作を保証するものではありません。推奨する外部メディアについてはリコーホームページをご覧ください。
- 使用できる SD カードの容量は 32GB 以下（SD または SDHC）です。SDXC メモリーカードには対応していません。
- 使用する USB メモリーがパスワード設定などのセキュリティー機能を有効にしているときは、正しく動作しないことがあります。
- USB スロットには、USB メモリー以外の USB 機器を挿入しないでください。正しく動作しないことがあります。
- USB メモリーを取り付けるときは、延長ケーブルを使用しないで、メディアスロットに直接取り付けてください。
- 外付けの USB ハブやカードリーダーなどは使用できません。
- 本機が外部メディアのデータにアクセスしている間は、本体の電源を切ったり、外部メディアを抜いたりしないでください。外部メディア内のデータが破損することがあります。
- 本機が外部メディアのデータにアクセスしている間に、本体の電源が切れたり外部メディアが抜けたりしたときは、外部メディア内のデータを確認してください。
- 大切な文書やデータは、必ずコピーまたはバックアップしてください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が生じたりしたときに、文書やデータが消失することがあります。本機の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

## 印刷できるファイル形式

### JPEG 形式

- Exif バージョン 1.0 以降の JPEG ファイルに対応しています。

### TIFF 形式

- 以下の形式の TIFF ファイルに対応しています： 無圧縮の TIFF ファイル、または MH、MR、MMR 形式で圧縮された TIFF ファイル。

### PDF 形式



- Adobe 純正の PDF に対応しています。
- PDF バージョン 1.7（Acrobat 8.0 互換）までの PDF ファイルに対応しています。
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter や、8 コンポーネントを超える DeviceN のカラースペースには対応していません。
- PDF バージョン 1.6 の固有機能であるウォーターマーク注釈や、バージョン 1.6 で機能拡張されたオプショナルコンテンツには対応していません。
- PDF バージョン 1.7 の固有機能である AcroForm を使用している PDF ファイルには対応していません。
- PDF ファイルのサイズが大きいときは、直接印刷できないことがあります。
- 印刷中に PDF ファイルの送信が取り消されるときは、［プリンター初期設定］から［システム設定］の［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に設定してください。［ユーザーメモリー］に設定してもジョブリセットされるときは、Acrobat Reader などの PDF ビューワーからプリンタードライバーを使用し、印刷してください。

## メディアプリント機能で印刷する

**1. 外部メディアをメディアスロットに差し込みます。**

外部メディアの取り付けかたについては、P.78「外部メディアを取り付ける／取り外す」を参照してください。

**2. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。**

ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

3. ［メディアプリント］を押します。

4. メディアの一覧から、印刷する文書が保存されている外部メディアを選択します。

一度に選択できる外部メディアはひとつだけです。

5. 印刷する文書を選択します。

同じフォルダーに保存されている同じファイル形式の文書は、複数同時に選択できます。

6. 必要に応じて［印刷詳細設定］を押し、印刷の設定をします。

機能によっては同時に設定できないことがあります。

7. 必要に応じて［プレビュー］を押し、文書の印刷イメージを確認します。

8. ［印刷開始］を押して、印刷を開始します。

9. 印刷が終了したら、［メディア選択］を押します。

10. 外部メディアを取り外します。

外部メディアの取り外しかたについては、P.78「外部メディアを取り付ける／取り外す」を参照してください。

補足

- セキュリティーの設定によっては、［メディアプリント］が画面に表示されない場合があります。詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。
- 異なるファイル形式の文書は、同時に選択できません。
- フォルダーを移動したり、別の外部メディアを選択したりしたときは、ファイルの選択は解除されます。
- ファイルサイズが 1GB を超える文書は印刷できません。
- JPEG 形式の文書は、サイズの合計が 1GB 以内であれば、最大 999 の文書を同時に選択できます。
- JPEG 形式の文書を選択している場合、用紙サイズの自動選択はできません。
- 上記の手順で操作している間に別の外部メディアを挿入したときは、その外部メディアのルート階層にある文書やフォルダーの一覧が表示されます。
- 外部メディアを複数の領域（パーティション）に分割しているときは、先頭のパーティションのデータが読み込まれます。

- USB メモリーをメディアスロットに差し込むと、メディアアクセスランプが常に点灯します。
- SD カードをメディアスロットに差し込むと、メディアアクセスランプが常に点灯します。

## メディアプリント画面

メディアプリントの画面を表示するには、ホーム画面上の［プリンター］アイコンを押し、プリンター画面の［メディアプリント］を押してください。外部メディアに保存されている文書は、リスト表示かサムネール表示で確認できます。



1. **現在のフォルダー**

   表示されているフォルダーの場所を表示します。上の階層のフォルダーに戻りたいときは、［上へ］を押します。

2. **文書/フォルダー一覧**

   印刷する文書やフォルダーを選択します。必要に応じて、［▲］［▼］で画面をスクロールしてください。

   文書の形式、名前、サイズを表示します。複数の文書を選択しているときは、選択された順番も表示します。

   文書の数によって、最大 999 ページ分の画面をスクロールできます。

3. **［メディア選択］**

   メディア選択画面に表示を切り替えます。

4. **選択数**

   選択した文書の数（1～999）を表示します。

5. **部数**

   印刷部数（1～999）の指定画面を表示します。

6. **［印刷詳細設定］**

   印刷の詳細設定をします。

**7. [プレビュー]**

選択した文書の 1 ページ目の印刷イメージを表示します。イメージ画像の拡大・縮小表示や表示位置の移動ができます。

**8. [印刷開始]**

選択した文書を印刷します。

**9. リスト/サムネール**

一覧画面をリスト表示とサムネール表示で切り替えます。

補足

- 本機は、合計 5990 までの外部メディア内のファイルやフォルダーを認識できます。
- 外部メディア内のファイル名には、パスも含めて、255 バイトまで使用できます。本機が正しく表示できない文字は、ファイル名に使用できません。
- Exif 規格および DCF 規格準拠の JPEG 形式のファイルはサムネールを表示できます。その他のファイルはアイコンが表示されます。
- 印刷できる用紙サイズについては、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。
- 不定形サイズの PDF ファイルは印刷できないことがあります。
- 印刷設定は、ファイルの選択をすべて解除するまで保持されます。
- PDF 形式のファイルに PDF パスワードが設定されているときは、プリンター機能から別の機能に切り替えるまで保持されます。
- 正しく認識できていない外部メディアを選択したときは、エラーメッセージが表示されます。

# プリンタードライバーを使用しないで印刷する

PDF ファイルの直接印刷や仮想プリンターなど、プリンタードライバーを使用しないで印刷する方法を説明します。

## PDF ファイルを直接印刷する



PDF ファイルを直接印刷するには、個人文書管理ソフト Ridoc Desk Navigator から印刷する方法と、コマンドを使用して印刷する方法があります。

### Ridoc Desk Navigator を使用する

PDF ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、個人文書管理ソフト Ridoc Desk Navigator に PDF ファイルを登録し、PDF ファイルを直接本機に送って印刷ができます。

Ridoc Desk Navigator はリコーのホームページからダウンロードできます。詳しくは、P.116「ソフトウェアのダウンロードについて」を参照してください。

重要

- Adobe 純正の PDF に対応しています。
- PDF バージョン 1.7（Acrobat 8.0 互換）までの PDF ファイルに対応しています。
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter や、8 コンポーネントを超える DeviceN のカラースペースには対応していません。
- PDF バージョン 1.6 の固有機能であるウォーターマーク注釈や、バージョン 1.6 で機能拡張されたオプショナルコンテンツには対応していません。
- PDF バージョン 1.7 の固有機能である AcroForm を使用している PDF ファイルには対応していません。
- PDF ファイルのサイズが大きいときは、直接印刷できないことがあります。
- 印刷中に PDF ファイルの送信が取り消されるときは、[プリンター初期設定］から［システム設定］の［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に設定してください。［ユーザーメモリー］に設定してもジョブリセットされるときは、Acrobat Reader などの PDF ビューワーからドライバーを使用し印刷してください。
- 不定形サイズの用紙に印刷するときは、用紙サイズエラーが発生することがあります。
- Ridoc Desk Navigator は Windows 64bit 版、Mac OS X では使用できません。

### Ridoc Desk Navigator の拡張機能

PDF ファイルを直接印刷するには、Ridoc Desk Navigator の機能拡張を使用して、直接印刷の機能を追加します。

1. Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、［RICOH Ridoc Desk Navigator］、［機能拡張ウィザード］をクリックします。
2. ［簡単設定］を選んで［設定の開始］をクリックし、［印刷機能の設定 2］画面が表示されるまで［次へ］をクリックします。

3. ［印刷機能の設定 2］画面で、［追加...］をクリックします。

   手順 2 で［全機能設定］を選んだときは、「分類:」のカテゴリーから［出力］を選択します。「選択できる機能」欄から［PDF ダイレクトプリント］を選択し、［追加］をクリックします。
4. ［直接指定...］をクリックし、本機の IP アドレスまたはホスト名を入力します。
5. ［OK］をクリックします。
6. その他の印刷の設定を必要に応じて指定します。
7. ［OK］をクリックします。
8. ［完了］が表示されるまで［次へ］をクリックします。
9. ［完了］をクリックします。

### Ridoc Function パレット

Ridoc Function パレットとは、Ridoc Desk Navigator の機能拡張で設定した機能をボタン化したものです。Ridoc Desk Navigator を起動することなく、Windows ファイルの印刷、印刷プレビュー、画像変換などができます。また、これらの機能はパレットのボタンに対象ファイルをドラッグ＆ドロップするだけで使用できます。

機能拡張を設定したときは、Ridoc Function パレットに自動でボタンが表示されます。もし、設定した機能のボタンが表示されないときや、ボタンを非表示にするときは、以下の設定をします。

1. Windows の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、［RICOH Ridoc Desk Navigator］、［Ridoc Function パレット］をクリックします。
2. タスクトレイに表示されたアイコン（ ）を右クリックし、［プロパティ...］をクリックします。

3. ［構成］タブをクリックし、ボタン表示させる機能にはチェックボックスにマークを付け、ボタン表示させない機能にはチェックボックスのマークを外します。

4. ［OK］をクリックします。

### Ridoc Function パレットで PDF ファイルを印刷する

Ridoc Function パレットを使用すると、ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDF ファイルを本機に直接送信して印刷できます。

1. 印刷する PDF ファイルを Ridoc Function パレットの PDF ダイレクトプリントアイコンにドラッグ＆ドロップします。
2. ［OK］をクリックします。

## コマンドを使用する

ftp、sftp、lpr などのコマンドを使用して、ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDF ファイルを直接印刷できます。

### コマンドで PDF ファイルを印刷する

PDF ファイルを送信する方法について説明します。ここでは、lpr コマンドを例に説明します。

lpr コマンドでは、本機の IP アドレスのほか、PDF ファイル名を指定します。書式は次のとおりです。

**C:¥>lpr -S** 本機の **IP** アドレス（またはホスト名） **[-o l]** ¥パス¥ファイル名

### コマンドでパスワード付き PDF ファイルを印刷する

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷する方法について説明します。

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷するには、操作部または Web Image Monitor のいずれかでパスワードを指定します。

- 操作部を使用する

操作部を使用して PDF パスワードを設定するには、プリンター初期設定の［PDF 設定］で［PDF パスワード変更］を設定します。詳細は、P.330「PDF 設定」を参照してください。

- Web Image Monitor を使用する

  Web Image Monitor を使用して PDF パスワードを設定するには、［設定］の［PDF 一時パスワード］を設定します。詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。



## 仮想プリンターを使用する

仮想プリンターとは、ネットワーク環境だけで認識できる擬似的なプリンターです。仮想プリンターでは、印刷に関するさまざまなオプション（給紙トレイの指定や両面印刷の有無など）を設定できます。また、割り込み印刷を設定できます。割り込み印刷とは、印刷開始待ちや処理中のジョブを一時停止させて、別のジョブを先に印刷する機能です。

UNIX や Solaris などから印刷するときに仮想プリンターを指定すると、コマンドによる印刷オプションの指示ができないときでも、さまざまな印刷ができます。

### 仮想プリンターを追加する

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。**
4. **［追加］をクリックします。**
5. **「仮想プリンター名」に任意のプリンター名を入力し、「プロトコル」を選択します。**

   仮想プリンターで使用できるプロトコルは、［TCP/IP（指定なし・通常）］、［TCP/IP(指定なし・優先)］、［TCP/IP（RHPP）］、［TCP/IP（DIPRINT）］、［AppleTalk］、［NetWare］です。

   ［AppleTalk］は、PS3 カード装着時に表示されます。

   「プロトコル」で［TCP/IP（DIPRINT）］、［AppleTalk］、または［NetWare］を指定したとき、仮想プリンターの名前を任意に設定できません。

6. **［OK］をクリックします。**
7. **［ログアウト］をクリックします。**
8. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- 追加できる仮想プリンターの数は50個までです。登録されている仮想プリンターが51個に達しているとき、[追加]ボタンは表示されません。

## 仮想プリンターを有効にする

1. **Web Image Monitorに管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、P.112「Webブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの[機器の管理]から[設定]をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の[基本設定]をクリックします。**
4. **「仮想プリンター」の項目から[有効]を選択し、[OK]をクリックします。**
5. **[ログアウト]をクリックします。**
6. **Web Image Monitorを終了します。**

## 仮想プリンターを削除する

1. **Web Image Monitorに管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、P.112「Webブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの[機器の管理]から[設定]をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の[仮想プリンター設定]をクリックします。**
4. **削除する仮想プリンターを選択し、[削除]をクリックします。**
5. **[OK]をクリックします。**
6. **[ログアウト]をクリックします。**
7. **Web Image Monitorを終了します。**

補足

- Defaultの仮想プリンターは削除できません。
- [削除]ボタンは仮想プリンターを追加したときに表示されます。

## 仮想プリンターを設定する

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。**
4. **設定を変更する仮想プリンターを選択し、［変更］をクリックします。**
5. **各項目の設定内容を任意に変更し、［OK］をクリックします。**

   ここで設定した仮想プリンターを割り込み印刷用の仮想プリンターとして設定するときは、「プロトコル」で［TCP/IP(指定なし：優先)］を選択します。

6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- 設定内容の詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 使用するエミュレーションにより設定できる項目は異なります。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## 仮想プリンターの設定を確認する

仮想プリンターで印刷するとき、仮想プリンター名の指定が必要です。仮想プリンター名や設定内容を確認する手順について説明します。

1. **Web Image Monitor を起動します。**

   起動方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「プリンター」カテゴリーの中の［仮想プリンター設定］をクリックします。**
4. **確認する仮想プリンターを選択し、［詳細情報］をクリックします。**

補足

- Web Image Monitor に管理者モードでログインしているとき、［詳細情報］は表示されません。［変更］で現在の設定内容を確認してください。
- 仮想プリンターが［無効］に設定されているときは、仮想プリンターの一覧が表示されません。仮想プリンターを［有効］に設定してください。仮想プリンターを［有効］に設定するには、管理者モードでログインしてください。詳細については、P.218「仮想プリンターを有効にする」を参照してください。

## 仮想プリンターで印刷する

仮想プリンターを使用して印刷するには、各コマンドのオプションに［仮想プリンター名］を指定します。割り込み印刷をするときは、割り込み印刷用に設定した仮想プリンターの名前を指定します。最初に印刷する前に、使用する仮想プリンターを指定してください。

コマンドを使用して印刷するときの例は以下のとおりです。

**lpr のとき**

c:¥> lpr -S 本機の IP アドレス（またはホスト名［-P 仮想プリンター名］　［-ol］¥パス名¥ファイル名

**ftp のとき**

ftp> put　¥パス名¥ファイル名　［仮想プリンター名］,

## 設定が無効になる項目

選択しているエミュレーションによっては、「システム設定」の設定項目が無効になります。詳細は以下のとおりです。

| 無効になる「システム設定」の設定項目 | 選択しているエミュレーション |
| --- | --- |
| 180 度回転 | RPCS |
| 補助用紙サイズ | RTIFF |
| 給紙トレイ | RPCS、RPDL、RP-GL/GL2、RTIFF、R98、R55、R16 |
| 用紙種類 | RPCS、RTIFF |
| 排紙トレイ | RPDL、RP-GL/GL2、R98、R55、R16 |

# 印刷を中止する

本機とパソコンから印刷を中止します。中止する方法は印刷データの状態によって異なります。状況を確認し、以下の手順で操作します。

**1. 印刷を中止するデータが、本機から印刷されているか確認します。**

データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。

**2. 印刷を中止します。**

データの印刷状況によって、次のいずれかの手順で操作します。



## 印刷開始前のとき

### Windows で印刷を中止する

1. Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させせます。
3. ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

### Mac OS X で印刷を中止する

1. Dock のプリンターアイコンをクリックします。
2. 印刷を中止するファイルを選択します。
3. ［削除］をクリックします。

## 印刷中のとき

**1. ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。**

ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

**2. ［印刷取消］または［印刷中断］キーを押します。**

**3.** **印刷中のジョブを消去するときは［印刷中止］、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは［全ジョブ取消］を押します。**

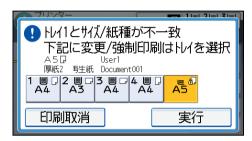
**4.** **［消去する］を押します。**

補足

- 印刷を中止したデータが途中から再び印刷されるときは、［プリンター初期設定］の［システム設定］の［インターフェース切替時間］を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止するときは、［印刷取消］または［印刷中断］キーを押したあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

3

# 用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき

印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に一致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときは、本機の操作部に警告画面が表示されます。表示された内容にしたがって、印刷を継続するか中止するかを選択してください。

重要

- 以下の条件のとき、トレイを変更して強制印刷できません。
    - ステープル、パンチを設定しているとき。ただし、ステープル、パンチを解除すれば、強制印刷できます。
    - 両面印刷ができないトレイを指定して、両面印刷を設定しているとき。ただし、両面印刷を解除すれば、強制印刷できます。
    - おもて表紙/うら表紙/合紙設定しているとき
    - 章分け/章区切りを設定しているとき

- ソート印刷の 1 部目で強制印刷を実行したとき、1 部だけ指定した給紙トレイから印刷し、ソート印刷は解除されます。
- ソート印刷の 2 部目以降で強制印刷を実行したとき、実行中の部だけ印刷します。

## 強制印刷する

トレイを選んで強制印刷する方法について説明します。

1. **画面に表示されているトレイの中から、使用するトレイを押して選びます。**

   用紙を補給して印刷するときは、正しい用紙をセットしてからトレイを選んでください。

2. **［実行］を押します。**

補足

- エラースキップの設定がされているときは、設定時間経過後に、いずれかのトレイの用紙で印刷されます。エラースキップについては、P.140「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。

## 印刷を中止する

1. ［印刷取消］を押します。
2. 印刷中のジョブを消去するときは［印刷中止］、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは［全ジョブ取消］を押します。
3. ［消去する］を押します。

補足

- 印刷を中止したデータが途中から再び印刷されるときは、［プリンター初期設定］の［システム設定］の［インターフェース切替時間］を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止するときは、［印刷取消］を押したあと、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

# 4. 本機の設定と管理

本機の用紙設定、ネットワーク設定、操作部に表示されるメニューや設定項目、Web ブラウザーを使用した管理方法などについて説明します。

## 用紙の設定

操作部で用紙サイズや用紙種類を変更する方法について説明します。

### 自動検知されない用紙サイズを設定する

自動検知されないサイズの用紙をセットするときは、操作部で用紙サイズを設定する必要があります。

1. **[用紙設定] のメニュー画面で、設定する給紙トレイの用紙サイズ設定を選択します。**

   [用紙設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

   [▼] を押すと、画面の切り替えができます。

2. **セットした用紙サイズとセット方向の組み合わせを選択して、[設定] を押します。**

3. **[初期設定] キーを押します。**

補足

- 自動検知可能な用紙サイズについては、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。
- サイズが自動検知されない用紙で印刷したあと、自動検知される用紙で印刷するときは、自動検知の設定に戻す必要があります。用紙をセットし直してから手順 2 まで進み、[自動検知] を選択して [設定] を押すと、自動検知の設定に戻ります。[初期設定] キーを押して通常の画面に戻ると、自動検知される用紙で印刷を開始できます。

### 不定形サイズの用紙を設定する

1. **[用紙設定] のメニュー画面で、設定する給紙トレイの用紙サイズ設定を選択します。**

   [用紙設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

   [▼] を押すと、画面の切り替えができます。

**2.［不定形サイズ指定］を押します。**

不定形サイズがすでに設定されているときは、［サイズ変更］を押します。

**3.［タテ］を押します。**

**4. テンキーで用紙のサイズを入力し、［OK］を押します。**

**5.［ヨコ］を押します。**

**6. テンキーで用紙のサイズを入力し、［OK］を押します。**

**7.［設定］を 2 回押します。**

**8.［初期設定］キーを押します。**

補足

- 薄紙、厚紙、または OHP フィルムなどをセットするときは、用紙サイズの他に用紙種類を設定してください。

## 用紙の種類を設定する

セットした用紙の種類を設定することで、より適切な印刷を行うことができます。

**1.［用紙設定］のメニュー画面で、設定する給紙トレイの用紙種類設定を選択します。**

［用紙設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

［▼］を押すと、画面の切り替えができます。

**2.［用紙種類］を押します。**

**3. 給紙トレイにセットした用紙の種類を選択し、［設定］を押します。**

**4.［用紙厚さ］を押します。**

**5. 適当な紙厚を選択し、［設定］を押します。**

**6.［初期設定］キーを押します。**

補足

- 設定できる用紙の種類については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

## 用紙に独自の名前をつけて使用する

Web Image Monitor を使用して、ユーザー用紙種類として独自の名前を付けて登録できます。この機能を使用すると、用途にあった用紙種類や設定を簡単に選択することができます。

重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- 本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。
- RPCS プリンタードライバーで使用できます。
- ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。

## 用紙種類に名前をつけて登録する

重要

- 使用するプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバーで文字が正しく表示されないことがあります。
- 英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機の操作部に文字が正しく表示されないことがあります。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」カテゴリーの中の［ユーザー用紙種類］をクリックします。**
4. **「用紙名称」：に、用紙の用途を判別できる名称を入力します。**
5. **「用紙種類：」プルダウンメニューから、用途にあった用紙の種類を選択します。**
6. **［OK］をクリックします。**
7. **［ログアウト］をクリックします。**
8. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。

## トレイにユーザー用紙種類を設定する

各給紙トレイと登録した用紙種類を関連付けます。

印刷する前に、各給紙トレイに用紙をセットします。Web Image Monitor または本機の操作部を使用して、トレイにユーザー用紙種類を設定します。

1. **Web Image Monitor に管理者モードでログインします。**

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

4

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「機器」カテゴリーの中の［用紙］をクリックします。
4. 設定するトレイの「用紙種類：」で［ユーザー用紙種類］チェックボックスをチェックし、登録しておいた用紙種類の名称を選択します。
5. ［OK］をクリックします。
6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

### 登録した用紙種類に印刷をする



1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. 「用紙種類：」プルダウンメニューから登録しておいた用紙種類を選択します。
3. アプリケーションから印刷の指示をします。

補足

- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

## 操作部を使用してはがき、封筒を設定する

1. 給紙トレイに、はがきまたは封筒をセットします。

   はがきのセット方法については、P.131「はがきをセットする」を参照してください。

   封筒のセット方法については、P.133「封筒をセットする」を参照してください。

2. ［用紙設定］のメニュー画面で、はがきまたは封筒をセットした給紙トレイの用紙サイズ設定を選択します。

   ［用紙設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

3. 用紙のサイズを選択します。
   - 郵便はがきに印刷するときは、［郵便ハガキ］を選択します。
   - 往復はがきに印刷するときは、［往復ハガキ］または［往復ハガキ］を選択します。
   - 封筒に印刷するときは、封筒の用紙サイズを選択します。
4. ［設定］を押します。
5. はがきまたは封筒をセットした給紙トレイの用紙種類設定を選択します。

6. ［用紙種類］を押します。
7. 用紙の種類を選択します。
   - 郵便はがき、往復はがきに印刷するときは、［普通紙］を選択します。
   - 封筒に印刷するときは、［▼］を押し、［封筒］を選択します。
8. ［設定］を押します。
9. ［用紙厚さ］を押します。
10. 用紙の厚さを選択します。
    - 郵便はがき、往復はがきに印刷するときは、［厚紙 2］を選択します。
    - 封筒に印刷するときは、適当な紙厚を選択します。
11. ［設定］を押します。
12. ［初期設定］キーを押します。

補足

- 操作部とプリンタードライバーの両方で、用紙設定を正しく行ってから印刷してください。プリンタードライバーの設定については、P.189「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。

# ネットワークの設定

イーサネットや無線 LAN を使用するときの設定方法を説明します。

## イーサネットを使用する

本体をネットワークに接続するときは、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。

［インターフェース設定］メニューの［ネットワーク］で設定できる項目と工場出荷時の値については、P.290「インターフェース設定」を参照してください。



補足

- DHCP 環境で使用する場合、IPv4 アドレス、サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイアドレスは自動的に設定されます。
- IPv4 を利用できる環境で IPv4 アドレスに関する設定をする場合は、Web Image Monitor も使用できます。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

### IP アドレスを手動で指定する

1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［インターフェース設定］を押します。

   ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［ネットワーク］を押します。
3. ［有効プロトコル］が表示されるまで、［▼］を押します。
4. ［有効プロトコル］を押します。
5. 各プロトコルの［有効］または［無効］を選択します。

   設定するプロトコルが表示されないときは、［▲］または［▼］を押して、画面を切り替えてください。

   使用しないプロトコルは［無効］にしておくことをお勧めします。

6. ［設定］を押します。
7. IPv4 を使用するときは、IPv4 アドレスを設定します。［本体 IPv4 アドレス］が表示されるまで、［▲］を押します。
8. ［本体 IPv4 アドレス］を押します。

   設定する IPv4 アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

9. [指定] を押します。
10. [本体 IPv4 アドレス] を押します。
11. テンキーで IP アドレスを入力し、[OK] を押します。
12. [サブネットマスク] を押します。
13. テンキーでサブネットマスクを入力し、[OK] を押します。
14. [設定] を押します。
15. [IPv4 ゲートウェイアドレス] を押します。
16. テンキーでゲートウェイアドレスを入力し、[OK] を押します。
17. [初期設定] キーを押します。
18. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。

## IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）

1. [システム初期設定] のメニュー画面で [インターフェース設定] を押します。

   [システム初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [ネットワーク] を押します。
3. [有効プロトコル] が表示されるまで、[▼] を押します。
4. [有効プロトコル] を押します。
5. 各プロトコルの [有効] または [無効] を選択します。

   設定するプロトコルが表示されないときは、[▲] または [▼] を押して、画面を切り替えてください。

   使用しないプロトコルは [無効] にしておくことをお勧めします。

6. [設定] を押します。
7. IPv4 を使用するときは、IPv4 アドレスを設定します。[本体 IPv4 アドレス] が表示されるまで、[▲] を押します。
8. [本体 IPv4 アドレス] を押します。

   設定する IPv4 アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

9. [自動的に取得(DHCP)] を押し、[設定] を押します。

**10.［初期設定］キーを押します。**

**11.「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。**

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。

## 通信速度を設定する

イーサネットの通信速度は、使用する環境（接続先の機器）を確認してから、設定してください。

［イーサネット速度］の設定については、P.290「インターフェース設定」を参照してください。この機能は［インターフェース設定］の［ネットワーク］で設定できます。



重要

- **インターフェースの種別が一致しないと接続できません。**
- **通常は［自動設定］を選択してください。**

**1.［システム初期設定］のメニュー画面で［インターフェース設定］を押します。**

［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2.［ネットワーク］を押します。**

**3.［イーサネット速度］が表示されるまで、［▼］を押します。**

**4.［イーサネット速度］を押します。**

**5. 通信速度を選択し、［設定］を押します。**

**6.［初期設定］キーを押します。**

**7.「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。**

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。

## 拡張無線 LAN を使用する

重要

- **拡張無線 LAN を使用するときは、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、**

- 有効プロトコルなどを設定してください。詳細については、P.230「イーサネットを使用する」を参照してください。
- 拡張無線 LAN で設定できる項目と工場出荷時の値については、P.290「インターフェース設定」を参照してください。この機能は［インターフェース設定］の［無線 LAN］で設定できます。
- 拡張無線 LAN は、イーサネットインターフェースと同時に使用することはできません。

**1.［システム初期設定］のメニュー画面で［インターフェース設定］を押します。**

［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。



**2.［無線 LAN］を押します。**

**3.［通信モード］を押します。**

**4. 使用する通信モードを選択し、［設定］を押します。**

**5.［通信モード］で［802.11 アドホックモード］を選択したときは、通信に使用するチャンネルを設定します。［アドホックチャネル］を押します。**

設定するチャンネルは、ネットワーク管理者に確認してください。

**6. 使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを選択し、［設定］を押します。**

IEEE 802.11 b/g を使用するとき：1〜14

IEEE 802.11a を使用するとき：36、40、44、48

**7.［初期設定］キーを押します。**

**8.「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。**

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- 拡張無線 LAN の通信モードは Web Image Monitor でも設定できます。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## SSID を設定する

［通信モード］で［インフラストラクチャーモード］または［802.11 アドホックモード］を選択したときは、通信に使用する SSID を設定します。

1. [システム初期設定］のメニュー画面で［インターフェース設定］を押します。

   ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［無線 LAN］を押します。
3. ［SSID 設定］を押します。
4. ［SSID 入力］を押します。
5. テンキーで文字を入力し、［OK］を押します。

   設定する SSID はネットワーク管理者に確認してください。

   SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

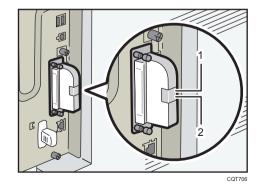
6. ［初期設定］キーを押します。
7. 「システム設定リスト」を印刷して、設定した内容を確認します。

補足

- 「システム設定リスト」の印刷手順は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- SSID は Web Image Monitor でも設定できます。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## 無線 LAN の接続を確認する

カード内蔵型の無線 LAN ボードを取り付けているときの、拡張無線 LAN の接続の確認方法を説明します。

拡張無線 LAN ボードの LED が点灯していることを確認してください。

1. ネットワークに正常に接続していると、オレンジ色に点灯します。
2. 電力が、機器本体から拡張無線 LAN ボードへ正常に供給されると、緑色に点灯します。

## 無線 LAN 使用時の注意

無線 LAN では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して情報のやりとりを行います。無線 LAN の電波は、一定の範囲内であれば壁などの障害物も越えて到達するため、セキュリティーに関する設定を行っていないときは、以下のような問題が発生することがあります。

**個人情報の漏洩**

ID、パスワード、クレジットカードの番号やメールの内容などが、第三者に盗み見られる。

**ネットワークへの不正侵入**

- ウイルスなどによってデータやシステムを破壊・改ざんされる。
- 特定の人物になりすまして不正な情報を流される。
- 機密情報が持ち出される。

これらの問題が発生する可能性を少なくするためには、本機や無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に搭載されている機能を確認し、セキュリティーに関する設定を行うことをお勧めします。

**ネットワークの電波状態が悪いとき**

電波状態が悪いと、接続が途切れたり、接続できなくなったりします。本機の「電波状態」とアクセスポイントの電波状態を確認し、電波状態が悪いときは、次の点に注意して対処してください。

- 本機とアクセスポイントを近づける。
- アクセスポイントと本機の間の見通しをよくする。
- アクセスポイントや本機の近くから電子レンジなど電波の発する機器を遠ざける。

**TCP/IP プロトコル（IPv4/IPv6 について）**

IP アドレスとは TCP/IP ネットワーク上で機器を判別するための、重複しない特定の番号（アドレス）です。

その中で IPv4 というプロトコルに基づく 32 ビットのアドレス空間を「IPv4」(xxx.xxx.xxx.xxx の形で表される)、IPv6 というプロトコルに基づくアドレス空間を「IPv6」（xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx の形で表される）といいます。

本機では「IPv6」の工場出荷時の設定は「無効」になっています。IPv6 環境で使用するときは、本体パネルで「IPv6」の設定を「有効」にしてください。その場合でも IPv4 は使用できます。

IPv6 環境では、本体の電源を入れたときにネットワークケーブルが本体に接続されていれば、自動で本体にローカルのアドレスが設定されます。これを「リンクローカルアドレス」と呼び、IPv4 環境での Autonet に相当します。

4

補足

- アクセスポイントの電波状態は、使用しているアクセスポイントの使用説明書を参照して確認してください。
- WEP キー、WPA、IEEE 802.1X など、無線 LAN のセキュリティーに関する設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

# 本機の管理

ネットワークから本機の状態を監視したり、設定を変更する方法を説明します。

## Web ブラウザーを使用する

Web ブラウザーを使って本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更したりできます。この機能を Web Image Monitor といいます。

**どんなことができるのか？**

Web Image Monitor は、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更をネットワークを介したパソコンの Web ブラウザー上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の表示
- ジョブの状態／履歴の確認
- 印刷中ジョブの中止
- 本機のリセット
- アドレス帳の管理
- 本機の各種設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティーの設定

**本機の環境設定**

この機能は TCP/IP プロトコルを使って動作します。Web Image Monitor を使用するときは、本機で TCP/IP プロトコルを設定してください。TCP/IP の設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

**推奨ブラウザー**

- Windows 環境：

  Internet Explorer 6.0 以降

  Firefox 2.0 以降

- Macintosh 環境：

  Firefox 2.0 以降

  Safari 3.0 以降

また、Web Image Monitor はスクリーンリーダーに対応しています。推奨するアプリケーションと動作環境は次のとおりです。

- 95Reader Ver.6.0（XPReader）以降
- Windows OS、Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2 以降

補足

- 使用するブラウザーのバージョンが推奨ブラウザーより低いときや、使用するブラウザーの設定で「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていないときは、表示や操作に不具合が生じることがあります。
- プロキシサーバーを使用するときは、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳細については、ネットワーク管理者に確認してください。
- ブラウザーの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザーの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- Web Image Monitor で取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Web Image Monitor のワークエリアに表示された［最新の情報に更新］をクリックしてください。
- Firefox を使用するときは、テーブルのくずれ、フォントや色の相違などが発生することがあります。
- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 でホスト名を使用するときは、外部の DNS サーバーでホスト名の解決をしてください。hosts ファイルは使用できません。
- Internet Explorer 8 を使用しているとき、ダウンロードに時間がかかることがあります。本体の URL を［インターネットオプション］から信頼済みサイトとして登録し、サイトの SmartScreen フィルター機能を無効にしてください。Internet Explorer 8 の設定については、Internet Explorer 8 のヘルプを参照してください。
- Web ブラウザーに表示される URL をブックマーク登録すると、Web Image Monitor 画面をすぐに呼び出せます。ログイン前のトップページ画面を登録してください。ログイン後のトップページ画面を登録すると、正しく表示されません。
- ユーザー認証が設定されているときは、Web Image Monitor を表示する場合にログインユーザー名とログインパスワードが必要です。詳細については、P.104「Web Image Monitor からのログインのしかた」を参照してください。
- Web Image Monitor から設定するときは、設定値が無効になる場合があります。操作部からログインしないでください。

## Web Image Monitor のトップページを表示する

トップページの説明です。Web Image Monitor 画面の表示については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

1. **メニューエリア**

   メニュー項目を選択すると、選択した内容が表示されます。

2. **ヘッダーエリア**

   ヘルプ、バージョン情報や、キーワード検索用のボタンが表示されます。

   また、ゲストモードと管理者モードを切り替えるために［ログイン］または［ログアウト］が表示されます。

3. **更新/ヘルプ**

   (最新の情報に更新)：［最新の情報に更新］をクリックすると、ワークエリア内の情報が更新されます。なお、Web ブラウザー画面全体を更新したいときは、ブラウザーの［更新］をクリックしてください。

   (ヘルプ)：ヘルプファイルを閲覧したり、ダウンロードしたりできます。

4. **基本情報エリア**

   本機の基本情報が表示されます。

5. **ワークエリア**

   トップページでは、現在の機器の状態を表示します。また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

## Web Image Monitor の設定項目一覧

本機で使用できる Web Image Monitor の設定項目です。

ゲストモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。

管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

**機器の情報**

- 構成

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| 機能 | 参照可 | 参照可 |
| システム | 参照可 | 参照可 |
| バージョン | 参照可 | 参照可 |
| エミュレーション | 参照可 | 参照可 |

- 状態

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| 警告 | 参照可 | 参照可 |
| メッセージ | 参照可 | 参照可 |
| 状態 | 参照可 | 参照可 |
| トナー | 参照可 | 参照可 |
| 給紙トレイ | 参照可 | 参照可 |
| 排紙トレイ | 参照可 | 参照可 |

- 消耗品

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| トナー | 参照可 | 参照可 |
| その他 | 参照可 | 参照可 |

- カウンター

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| トータル | 参照可 | 参照可 |
| プリンター | 参照可 | 参照可 |
| カバレッジ | 参照可 | 参照可 |
| その他の機能 | 参照可 | 参照可 |

- eco 指数カウンター表示

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| eco 指数カウンター | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |

- ジョブ

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| ジョブリスト | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| プリンター | 参照可 | 参照可 |

- 問い合わせ情報

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
|---|---|---|
| 機械修理 | 参照可 | 参照可 |
| 営業窓口 | 参照可 | 参照可 |

### 機器の管理

- 設定

機器

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
|---|---|---|
| システム | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| 優先機能設定 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| 用紙 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| ユーザー用紙種類 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| 日付・時刻 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| タイマー | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| ログ | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| ログダウンロード | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| メール | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| 自動メール通知 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 要求時メール通知 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| ユーザー認証管理 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 管理者認証管理 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 管理者登録／変更 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 印刷利用量制限 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 *1 |
| LDAP サーバー | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| ファームウェアアップデート | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| Kerberos 認証 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 機器設定情報のインポート設定（サーバー） | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| インポートテスト | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| eco 指数カウンター集計期間／管理者メッセージ設定 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| 強制セキュリティー印字 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |

*1 この項目は、ユーザー認証が有効の場合のみ参照・変更することができます。

プリンター

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| 基本設定 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| 不正コピー抑止 | 参照・変更とも可 | 参照・変更とも可 |
| トレイ読み替え（PCL） | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| トレイ読み替え（PS） | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| トレイ読み替え（RPDL） | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| イメージオーバーレイ用フォーム割り当て | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| プリンターフォーム一覧 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| PDF 一時パスワード | 参照・変更とも可 | 参照・変更とも不可 |
| PDF グループパスワード | 参照・変更とも不可 | 変更可 |
| PDF 固定パスワード | 参照・変更とも不可 | 変更可 |
| 仮想プリンター設定 | 参照・変更とも可 | 参照・変更とも可 |

インターフェース

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| インターフェース設定 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| 無線 LAN 設定 | 参照可 | 参照・変更とも可 |

ネットワーク

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| IPv4 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| IPv6 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| AppleTalk | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| SMB | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| SNMP | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| SNMPv3 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| SSDP | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| BMLinkS | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| Bonjour | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| システムログ | 参照可 | 参照可 |

セキュリティー

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| ネットワークセキュリティー | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| アクセスコントロール | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| IPP 認証 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| SSL/TLS | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| ssh | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| サイト証明書 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 機器証明書 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| IPsec | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| ユーザーロックアウト | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| IEEE 802.1X | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |

@Remote

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| RC Gate セットアップ | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| RC Gate ファームウェア更新 | 参照・変更とも不可 | 参照可 |
| RC Gate プロキシサーバー | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |

Webpage

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| Webpage 設定 | 参照可*1 | 参照・変更とも可 |

*1 ゲストモードは、ヘルプファイルのダウンロードのみ実行できます。

拡張機能初期設定

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
| --- | --- | --- |
| 起動設定 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 拡張機能情報 | 参照可 | 参照可 |
| インストール | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| アンインストール | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 管理者用設定 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
|---|---|---|
| 追加プログラム起動設定 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 追加プログラムインストール | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 追加プログラムアンインストール | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| 拡張機能複製 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |
| カードセーブデータ複製 | 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |

- アドレス帳

| ゲストモード | 管理者モード |
|---|---|
| 参照・変更とも不可 | 参照・変更とも可 |

- 印刷取消

| ゲストモード | 管理者モード |
|---|---|
| 参照・変更とも不可 | 変更可 |

- 機器のリセット

| ゲストモード | 管理者モード |
|---|---|
| 参照・変更とも不可 | 変更可 |

- 機器のホーム画面の管理

| メニュー | ゲストモード | 管理者モード |
|---|---|---|
| アイコンの編集 | 参照可 | 参照・変更とも可 |
| アイコンを初期値に戻す | 参照・変更とも不可 | 変更可 |
| ホーム画面設定 | 参照可 | 参照・変更とも可 |

**文書操作**

- プリンター文書印刷

| ゲストモード | 管理者モード |
|---|---|
| 参照・変更とも可 | 参照・変更とも可 |

補足

- セキュリティーの設定によっては、すべての項目が表示されないことがあります。

## Web Image Monitor のヘルプについて

Web Image Monitor のヘルプを表示する方法です。

Web Image Monitor のヘルプをはじめて使用するときは、ヘルプボタン（[?]/(?)）をクリックすると設定画面が表示され、2 種類の方法で Web Image Monitor のヘルプを見ることができます。

**インターネットの Web Image Monitor のヘルプを見る**

最新の Web Image Monitor のヘルプを見ることができます。

**Web Image Monitor のヘルプをダウンロードして見る**

Web Image Monitor のヘルプをお使いのパソコンのローカルディスクにダウンロードし、直接開いて見ることができます。

また、ヘルプファイルを Web サーバーに格納してヘルプボタンにリンクさせると、インターネットに接続しないでヘルプを見ることができます。

補足

- ヘッダーエリアに表示されたヘルプボタン（[?]）をクリックすると、通常は Web Image Monitor のヘルプの目次を表示します。
- ワークエリアに表示されたヘルプボタン（(?)）をクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

**Web Image Monitor ヘルプをダウンロードする**

1. 使用している OS をドロップダウンメニューから選択します。

2. 使用している言語をドロップダウンメニューから選択します。

3. ［ダウンロード］をクリックします。
4. 表示されるメッセージに従って、ヘルプファイルをダウンロードします。
5. ダウンロードした圧縮ファイルを任意の場所に保存し、解凍します。
6. ヘルプボタン（? ?）からのリンクを設定するために、ダウンロードしたヘルプファイルを Web サーバーに保存してください。

**ダウンロードしたヘルプへのリンク（URL）**

Web サーバーに格納したヘルプファイルを、ヘルプボタン（? ?）にリンクさせる方法です。

1. 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスします。

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。



2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。

3. 「Webpage」の［Webpage 設定］をクリックします。

4. ヘルプリンク先設定の「URL」にヘルプファイルへのパスを入力します。

   たとえば、Web サーバー上にコピーしたファイルの URL が http://a.b.c.d/HELP/JA/index.html のとき、「http://a.b.c.d/HELP/」と入力します。
5. ［OK］をクリックします。
6. 「設定の書き換え中」画面が表示されます。1〜2 分経ってから［OK］をクリックします。

補足

- ヘルプファイルをローカルディスクに保存した場合は、ヘルプボタン（？）からのリンクはできません。その場合は、ヘルプファイルを直接開いてください。

## 機器の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙詰まりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して機器の状態などを通知できます。

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。アラートを通知するタイミングや状態なども設定できます。

4

重要

- **メールソフトによっては、メールを受信したときにフィッシングの警告が出ることがあります。送信者を警告対象外に設定してください。回避方法については、メールソフトのヘルプを参照してください。**

本機のメール通知機能は次の 2 種類です。

- 自動メール通知

  あらかじめ設定したメールアドレスに、機器の状態などをメールで自動通知する機能です。

- 要求時メール通知

  管理者からの要求に応じて、機器の状態などをメールで通知する機能です。

自動メール通知で設定できるものは、以下のとおりです。

- サービスコールが発生したとき
- トナーがなくなったとき
- トナーの残りがわずかになったとき
- 用紙ミスフィードがおきたとき
- カバーオープンが検知されたとき
- 紙がなくなったとき
- 用紙の残りがわずかになったとき
- 給紙トレイでエラーが発生したとき
- 排紙トレイが満杯になったとき
- ユニットの接続にエラーが発生したとき
- 廃トナーボトルが満杯になったとき
- 廃トナーボトルが満杯に近づいたとき
- ステープラーの針がなくなったとき

- 定着ユニットの交換時期になったとき
- 定着ユニットの交換時期が近づいたとき
- パンチくずが満杯になったとき
- ファームウェアのアップデートを確認したいとき*1
- 文書保存領域が満杯に近づいたとき
- プロキシ認証エラーがおきたとき*1
- アクセス攻撃を検知したとき
- ユニットの交換時期になったとき
- ユニットの交換時期が近づいたとき
- トナーの残りがわずかになったとき（残量レベル選択）

*1 @Remote を使用している場合に設定できます。



1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」の［メール］をクリックします。**
4. **設定画面に示された以下の項目のうち、必要なものを設定します。**
   - 管理者メールアドレス：機器に問題が発生したときや消耗品の交換が必要なときに、メール通知をする宛先の設定をします。
   - 受信欄の各項目：メール受信のときに必要なプロトコルを設定します。
   - SMTP 欄の各項目：SMTP サーバーに関する設定をします。使用するメール環境を確認して、必要な項目を設定してください。SMTP サーバーのメールの認証も設定できます。
   - POP before SMTP 欄の各項目：POP サーバーに関する設定をします。使用するメール環境を確認して、必要な項目を設定してください。POP サーバーのメールの認証も設定できます。
   - POP3/IMAP4 欄の各項目：POP3 サーバーまたは IMAP4 サーバーに関する設定をします。使用するメールの環境を確認して、必要な項目を設定してください。
   - メール通信ポート欄の各項目：メールサーバーにアクセスするときに使用するポートの設定をします。
   - メール通知アカウント欄の各項目：自動メール通知または要求時メール通知を使用するときに設定します。
5. **［OK］をクリックします。**
6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- Web Image Monitor については、P.237「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。
- 設定項目については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## メール通知用アカウントの設定

メール通知用アカウントの設定について説明します。「自動メール通知」と「要求時メール通知」を使用するためには、あらかじめメール通知用アカウントを設定する必要があります。Web Image Monitor で以下の設定をしてください。

1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」の［メール］をクリックします。**
4. **設定画面に示された以下の項目を設定します。**
   - メール通知用メールアドレス：使用するメールアドレスを半角の英数字で入力します。通知メールの差出人（From:）になります。要求メールを送るときは、このアドレスを宛先（To:）にします。
   - メール通知の受信：要求時メール通知機能を使用するかどうかを選択します。
   - メール通知ユーザー名：「メール通知用メールアドレス」に設定したメールアカウントのユーザー名を入力します。
   - メール通知パスワード：「メール通知用メールアドレス」に設定したメールアカウントのパスワードを入力します。
5. **［OK］をクリックします。**
6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- Web Image Monitor については、P.237「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

## メールの認証について

メールサーバーの不正利用を防止するために、メールの認証を設定できます。

### SMTP 認証を設定したとき

SMTP サーバーへのメール送信時に、SMTP AUTH プロトコルを使用してユーザー名とパスワードを入力し、認証を設定すると、SMTP サーバーの不正利用を防止できます。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。
2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「機器」の［メール］をクリックします。
4. 設定画面に示された以下の項目を設定します。
   - SMTP サーバー名：SMTP サーバー名を半角の英数字で指定します。
   - SMTP ポート番号：ポート番号を指定します。通常、SMTP で用いられるポート番号は「25」です。
   - SMTP 認証：SMTP 認証のする／しないを指定します。
   - SMTP 認証メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
   - SMTP 認証ユーザー名：SMTP アカウント名を半角の英数字で入力します。realmID を指定するときには、SMTP 認証ユーザー名の後に@realmID の形式で追加してください。
   - SMTP 認証パスワード：使用する SMTP アカウントのパスワードを設定します。
   - SMTP 認証暗号化：SMTP 認証を有効にしたときに、パスワードの暗号化を行うかどうかを選択します。

     ［自動選択］：認証方式が PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST-MD5 のときに指定します。

     ［有効］：認証方式が CRAM-MD5、DIGEST-MD5 のときに指定します。

     ［無効］：認証方式が PLAIN、LOGIN のときに指定します。
5. ［OK］をクリックします。
6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。

### POP before SMTP 認証を設定したとき

メールを送信するときに、あらかじめ POP3 サーバーに対してログインを行うかどうかを選択します。

1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。

   ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。
3. 「機器」の［メール］をクリックします。
4. 設定画面に示された以下の項目を設定します。
    - POP before SMTP： POP before SMTP 認証のする／しないを設定します。
    - POP メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
    - POP ユーザー名：POP アカウント名を半角の英数字で入力します。
    - POP パスワード：使用する POP アカウントのパスワードを設定します。
    - POP 認証後待機時間：POP before SMTP を有効に設定したときに、POP サーバーにログインしてから SMTP サーバーに接続を開始するまでの時間を入力します。
5. ［OK］をクリックします。
6. ［ログアウト］をクリックします。
7. Web Image Monitor を終了します。



- Web Image Monitor については、P.237「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

## 自動メール通知の設定

**1. Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

**2. メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**

**3. 「機器」の［自動メール通知］をクリックします。**

**4. 設定画面に示された以下の項目を設定します。**

- 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。

- 通知先グループの各項目：通知先アドレスをグループ分けして設定できます。
- 項目ごとの通知先の各項目：機器の状態やエラーなど、各通知項目ごとに、メールを送信するグループを設定できます。

  項目の詳細を設定する場合は、[各項目の詳細設定] の [編集] をクリックし、表示される設定画面で各項目を設定して [OK] をクリックします。

**5. [OK] をクリックします。**

**6. [ログアウト] をクリックします。**

**7. Web Image Monitor を終了します。**

補足

- Web Image Monitor については、P.237「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。
- 設定項目については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。



## 自動メール通知の内容

[自動メール通知] で選択した項目のエラーが発生すると、本機から以下の件名でメールを送信し、エラーの発生を通知します。

「アラート発生通知：XXXXX（発生したエラーの内容）」

メールには、発生したエラーの内容やプリンターのプロトコル設定情報が記載されています。エラーの内容に応じて、エラーを解除してください。

以下の内容でエラーが発生したときは、サービス実施店に連絡してください。

- プロッターの故障です
- トレイ 1〜4 エラーです
- 大量給紙トレイエラーです
- フィニッシャーの故障です
- ステープラーの故障です
- フィニッシャーシフトトレイの故障です
- オプション RAM エラーです
- アドレス帳データエラーです
- SD カードからの認証に失敗しました
- HDD ボードエラーです
- イーサネットボードエラーです
- パラレルインターフェースエラーです
- 無線 LAN エラーです（無線 LAN カードエラー）
- USB エラーです

- プリンターエラーです

発生したエラーが解除されると、本機から以下の件名でメールを送信し、エラーが解除されたことを通知します。

「アラート復旧通知：XXXXX（解除されたエラーの内容）」

## 要求時メール通知の設定

1. **Web Image Monitor に管理者としてログインします。**

    ログイン方法については、P.112「Web ブラウザーで設定画面を開く」を参照してください。

2. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
3. **「機器」の［要求時メール通知］をクリックします。**

4. **設定画面に示された項目を設定します。**
    - 共通件名：返信メールの件名に共通で付加する文字列を入力します。
    - 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
    - 機器状態情報通知の制限：機器の設定内容や状態などの情報へのアクセスを制限するかどうかを選択します。
      「有効」を選択すると、要求があっても返信メールを送信しません。
      「無効」を選択すると、要求があれば返信メールを送信します。
    - 受信可能メールアドレス／ドメイン設定の各項目：メールで情報を要求し、返信メールとして情報を受け取ることができるメールアドレスまたはドメイン名を入力します。
5. **［OK］をクリックします。**
6. **［ログアウト］をクリックします。**
7. **Web Image Monitor を終了します。**

補足

- Web Image Monitor については、P.237「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。
- 設定項目については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## 要求メールの書式について

要求時メール通知機能を使用するには、定められた書式の要求メールを本機に送信します。要求メールは、メールソフトを使用して、以下の書式で記述してください。

| 項目 | 記述内容 |
| --- | --- |
| To（メールソフトでは「宛先」などと表示される部分） | 「通知用メールアドレス」に設定したメールアドレスを指定します。 |
| Subject（メールソフトでは「件名」などと表示される部分） | requeststatus |
| From（メールソフトでは「送信者」、「差出人」などと表示される部分） | 有効なメールアドレスを指定してください。機器の情報はここで指定されたアドレスに送信されます。 |

補足

- 要求メールの大きさは最大 1MB です。
- Subject の記述では、アルファベットの大文字・小文字を区別しません。
- 要求メールの本文には意味がありません。記述した内容はすべて無視されます。
- 本機の電源を入れた直後は、要求メールが正しく送信されないことがあります。

4

# アドレス帳を登録する

アドレス帳にユーザーを登録する方法を説明します。

## アドレス帳について

ユーザーごとにメール宛先などを登録して一括管理することができます。

アドレス帳の登録データはバックアップを取ることをお勧めします。バックアップの方法については、P.301「管理者用設定」のアドレス帳バックアップ/リストアを参照してください。



★重要

- **アドレス帳の登録データは、ハードディスクに記録されます。万一、本機のハードディスクに不具合が生じたときは、記録されたデータが消失することがあります。お客様のデータ消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**
- **セキュリティー機能を強化した設定で本機を使用しているときは、一般ユーザーによるアドレス帳への宛先登録が制限されていることがあります。**

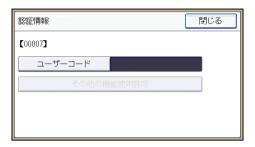
アドレス帳で登録・管理できる内容は以下のとおりです。

**登録情報**

アドレス帳にユーザー名または宛先名、キー表示名、ヨミガナなどを登録します。

ユーザーや宛先を管理するための基本情報となります。メールアドレスなどをアドレス帳に登録するには、あらかじめ登録情報を登録する必要があります。

### 認証情報

利用者ごとに機能を制限し、使用状況を確認するためにユーザーコードを登録します。また、SMTP 認証、フォルダー認証、LDAP 認証を設定します。

### 登録先グループ

メールの宛先をグループに登録します。

補足

- ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、アドレス帳の登録、変更、消去をすることができます。
- Web Image Monitor を使って、アドレス帳に登録されている内容のバックアップをとることができます。バックアップをとって使用することをお勧めします。詳細については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- Web Image Monitor の操作方法については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## ユーザー名や宛先を管理する

名前とキー表示名をあらかじめ登録しておくと、宛先キーを押すだけでメールの宛先を選択できるので便利です。

補足

- ユーザー情報の登録方法については、P.257「ユーザー情報の登録」を参照してください。

### 本機の利用者及び使用状況を管理する

ユーザーコード認証を設定すると、プリンターの使用者を制限し、使用状況を確認できます。

補足

- ユーザーコード認証の設定方法は、P.260「ユーザーコード認証について」を参照してください。

## ユーザー情報の登録

名前や見出しなどのユーザー情報を登録します。

ユーザー情報を登録すると、メールの宛先でユーザーを選択するときに便利です。ユーザー情報は 1,000 件まで登録できます。



### 名前を登録する

**1. [アドレス帳管理] のメニュー画面で [新規登録] を押します。**

[アドレス帳管理] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. [登録情報] を押します。**

**3. [名前] を押します。**

**4. 名前を入力し、[OK] を押します。**

**5. [▼] を押して [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3] を表示します。**

**6. ユーザーの分類を [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3] から選択します。**

選択できるキーは次のとおりです。

- [常用]：最初に表示されるページに登録されます。
- [あ] - [わ]、[AB] - [XYZ]、[1] - [5]：それぞれの見出しのついたページに表示されます。

[常用] と各見出しごとにもう 1 つ選択できます。

**7. [設定] を押します。**

**8. [閉じる] を押します。**

**9. [設定] を押します。**

**10. [初期設定] キーを押します。**

## 名前を変更する

1. ［アドレス帳管理］のメニュー画面で［変更］を押します。

   ［アドレス帳管理］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［全て表示］または［ユーザーコード］を選択します。
3. 変更するユーザーを選択します。

   変更するユーザーのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

   ユーザーは、名前／ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索できます。

4. ［登録情報］を押します。



5. 名前、キー表示名またはヨミガナを変更するときは、［名前］、［ヨミガナ］または［キー表示名］を押します。
6. 名前、キー表示名またはヨミガナを入力し、［OK］を押します。
7. ［▼］を押して［見出し 1］、［見出し 2］、［見出し 3］を表示します。
8. ユーザーの分類を［見出し 1］、［見出し 2］、［見出し 3］から選択します。
9. 登録番号を変更するために［登録番号］を押します。
10. テンキーで新しい登録番号を入力します。
11. ［OK］を押します。
12. ［閉じる］を押します。
13. ［設定］を押します。
14. ［初期設定］キーを押します。

## ユーザーの並び順を入れ替える

1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。

   ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［並び順入れ替え］を押します。
3. ［全て表示］または［ユーザーコード］を選択します。
4. 移動させたいユーザーのキーを押します。

   テンキーで登録番号を入力しても指定できます。

   同じ見出し内の名前順を入れ替えることができますが、異なる見出しで名前を移動することはできません。たとえば、［常用］見出しにある登録名を［AB］見出しに移動することはできません。

5. **移動する場所にあるユーザーのキーを押します。**

   移動させたいユーザーのキーが選択した場所に移動し、選択した場所にあるユーザーのキーが前後に移動します。

   移動させたいユーザーのキーを前に向かって移動させるときは、移動先にあるユーザーのキーは後ろに移動します。

   移動させたいユーザーのキーを後ろに向かって移動させるときは、移動先にあるユーザーのキーは前に移動します。

   テンキーで登録番号を入力しても指定できます。

## 見出しを編集する

1. **[システム初期設定]のメニュー画面で[管理者用設定]を押します。**

   [システム初期設定]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **[見出し編集]を押します。**
3. **編集するユーザーのキーを押します。**
4. **変更する名称を入力し、[OK]を押します。**
5. **[設定]を押します。**
6. **[初期設定]キーを押します。**

## ユーザーを消去する

1. **[アドレス帳管理]のメニュー画面で[消去]を押します。**

   [アドレス帳管理]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **[全て表示]または[ユーザーコード]を選択します。**
3. **消去するユーザーを選択します。**

   消去するユーザーのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

4. **[消去する]を押します。**
5. **[閉じる]を押します。**
6. **[初期設定]キーを押します。**

## ユーザーコード認証について

重要

- **ユーザーコードはすべての機能に共通です。ユーザーコードを変更、消去した場合、そのユーザーコードはすべての機能で管理、制限が無効になります。**

ユーザーコード認証を設定すると、プリンターの使用者を制限し、使用状況を確認できます。

ユーザーごとの使用状況は、「ユーザー別カウンター表示／クリア／印刷」で確認できます。また、ユーザーごとに印刷利用量を制限できます。印刷利用量の制限については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

また、キーカードを装着することによって、さらに詳しい機能ごとの集計管理や利用者制限ができます。

補足

- ユーザーコードの登録は 1,000 件まで登録できます。
- プリンタードライバーのユーザーコードを自動的に登録するときは、「ユーザー認証管理」の「プリンター」で［自動登録］を選択してください。プリンタードライバーにはシステム初期設定で登録したユーザーコードを設定します。詳細については、P.301「管理者用設定」を参照してください。
- プリンタードライバーのユーザーコードの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ユーザーコード認証の設定については、「セキュリティーガイド」を参照してください。

### ユーザーコードを登録する

1. **［アドレス帳管理］のメニュー画面で［変更］を押します。**

   ［アドレス帳管理］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **［全て表示］または［ユーザーコード］を選択します。**
3. **ユーザーコードを登録するユーザーのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。**

   ユーザーは、名前／ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索することができます。

4. **［認証情報］を押します。**
5. **［ユーザーコード］を押します。**
6. **ユーザーコードをテンキーで入力します。**

**7.** [OK]を押します。

**8.** [閉じる]を押します。

**9.** [設定]を押します。

**10.** [初期設定]キーを押します。

補足

- ユーザーコードは 1 桁から 8 桁まで指定できます。
- 名前の登録については、P.257「ユーザー情報の登録」を参照してください。

## ユーザーコードを変更する



重要

- ユーザーコードを変更しても、カウンターの数値はクリアされません。

**1.** [アドレス帳管理]のメニュー画面で[変更]を押します。

[アドレス帳管理]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2.** [全て表示]または[ユーザーコード]を選択します。

**3.** 変更するユーザーコードの登録されているユーザーを選択します。

変更するユーザーのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

ユーザーは、名前／ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索することができます。

**4.** [認証情報]を押します。

**5.** [ユーザーコード]を押します。

**6.** 新しいユーザーコードをテンキーで入力します。

**7.** [OK]を押します。

**8.** [閉じる]を押します。

**9.** [設定]を押します。

**10.** [初期設定]キーを押します。

補足

- 名前、キー表示名、見出しの変更については、P.257「ユーザー情報の登録」を照してください。

## ユーザーコードを消去する

重要

- ユーザーコードをクリアすると、カウンターの数値は自動的にクリアされます。

1. ［アドレス帳管理］のメニュー画面で［変更］を押します。

   ［アドレス帳管理］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［全て表示］または［ユーザーコード］を選択します。
3. 消去するユーザーコードの登録されているユーザーを選択します。

   消去するユーザーのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

   ユーザーは、名前／ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索することができます。

4. ［認証情報］を押します。
5. ［ユーザーコード］を押します。
6. ［クリア］を押して、ユーザーコードを消去します。
7. ［OK］を押します。
8. ［閉じる］を押します。
9. ［設定］を押します。
10. ［初期設定］キーを押します。

補足

- ユーザーごと消去するときは、P.257「ユーザー情報の登録」を参照してください。

## ユーザーごとのカウンターを表示する

1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。

   ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［ユーザー別カウンター表示／クリア／印刷］が表示されるまで、［▼］を押します。
3. ［ユーザー別カウンター表示／クリア／印刷］を押します。
4. ［プリンターカウンター］を押します。

   ユーザーコードごとに機能別カウンターが表示されます。

5. カウンターを確認し、［閉じる］を押します。
6. ［初期設定］キーを押します。

## ユーザーごとのカウンターを印刷する

1. [システム初期設定]のメニュー画面で[管理者用設定]を押します。

   [システム初期設定]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷]が表示されるまで、[▼]を押します。
3. [ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷]を押します。
4. [プリンターカウンター]を押します。
5. 画面左側に表示されているユーザーコードを選択します。
6. 「ユーザー別」の[一覧印刷]を押します。

   ユーザーコードを登録しているときは、ユーザーコードを入力します。

7. [プリンター]または[印刷合計]から、印刷する項目を押します。
8. [印刷スタート]を押します。
9. [閉じる]を押します。
10. [初期設定]キーを押します。

## すべてのユーザーのカウンターを印刷する

1. [システム初期設定]のメニュー画面で[管理者用設定]を押します。

   [システム初期設定]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷]が表示されるまで、[▼]を押します。
3. [ユーザー別カウンター表示/クリア/印刷]を押します。
4. [プリンターカウンター]を押します。
5. 「全ユーザー」の[一覧印刷]を押します。

   ユーザーコードを登録しているときは、ユーザーコードを入力します。

6. [プリンター]または[印刷合計]から、印刷する項目を押します。
7. [印刷スタート]を押します。
8. [閉じる]を押します。
9. [初期設定]キーを押します。

## カウンターをクリアする

1. **[システム初期設定] のメニュー画面で [管理者用設定] を押します。**

   [システム初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **[ユーザー別カウンター表示／クリア／印刷] が表示されるまで、[▼] を押します。**

3. **[ユーザー別カウンター表示／クリア／印刷] を押します。**

   すべてのユーザーのカウンターをクリアするときは、手順 9 に進んでください。

4. **[プリンターカウンター] を押します。**

5. **画面左側に表示されているユーザーコードを選択します。**

6. **「ユーザー別」の [クリア] を押します。**

7. **[プリンター]、[印刷利用量] または [全カウンター] から、クリアする項目を押します。**

8. **[実行] を押します。**

9. **すべてのユーザーのカウンターをクリアするときは、「全ユーザー」の [クリア] を押します。**

10. **[プリンター]、[印刷利用量] または [全カウンター] から、クリアする項目を押します。**

11. **[実行] を押します。**

12. **[閉じる] を押します。**

13. **[初期設定] キーを押します。**

## ユーザーをグループに登録する

グループにあらかじめ登録されている宛先を登録すると、メール宛先をそれぞれグループで管理できます。

宛先をグループに分けるためには、あらかじめグループを登録しておく必要があります。ここでは、グループの登録から説明します。

★重要

- 1 つのグループに登録できる宛先は最大 500 件です。

4

## グループを登録する

**1. [システム初期設定] のメニュー画面で [管理者用設定] を押します。**

[システム初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. [グループ登録／変更／消去] を押します。**

**3. [新規登録] を押します。**

**4. [登録情報] を押します。**

**5. [名前] を押します。**

**6. グループ名を入力し、[OK] を押します。**

グループ名を入力すると、ヨミガナとキー表示名も自動的に設定されます。

**7. [▼] を押して [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3] を表示します。**

**8. ユーザーの分類を [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3] から選択します。**

選択できるキーは次のとおりです。

- [常用]：最初に表示されるページに登録されます。
- [あ] - [わ]、[AB] - [XYZ]、[1] - [5]：それぞれの見出しのついたページに表示されます。

[常用] と各見出しごとにもう 1 つ選択できます。

**9. キー表示名を変更するときは、[キー表示名] を押します。**

**10. キー表示名を入力して [OK] を押します。**

**11. [閉じる] を押します。**

**12. [設定] を押します。**

**13. [初期設定] キーを押します。**

## ユーザーをグループに登録する

メール宛先を新規登録しているときに、グループに登録することもできます。

**1. [アドレス帳管理] のメニュー画面で [変更] を押します。**

[アドレス帳管理] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. [全て表示] または [ユーザーコード] を選択します。**

**3. グループに登録するユーザーを選択します。**

登録するユーザーのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

4

ユーザーは、名前／ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索することができます。

4. ［登録先グループ］を押します。
5. 登録するグループを選択します。

選択したグループが反転表示されます。

6. ［閉じる］を押します。
7. ［設定］を押します。
8. ［初期設定］キーを押します。



## グループを別のグループに登録する

1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。

［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［グループ登録／変更／消去］を押します。
3. ［変更］を押します。
4. グループに登録するグループを選択します。

登録するグループのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

グループは名前／ヨミガナから検索することができます。

5. ［登録先グループ］を押します。
6. 登録先のグループを選択します。

選択したグループが反転表示されます。

7. ［閉じる］を押します。
8. ［設定］を押します。
9. ［初期設定］キーを押します。

## グループに登録されているユーザーを確認する

1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。

［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［グループ登録／変更／消去］を押します。
3. ［変更］を押します。

**4. 登録ユーザーを確認するグループを選択します。**

グループは名前／ヨミガナから検索することができます。

**5. ［登録済ユーザー／グループ］を押します。**

**6. 確認後、［閉じる］を押します。**

**7. ［設定］を押します。**

**8. ［初期設定］キーを押します。**

## 登録したユーザーをグループから削除する

**1. ［アドレス帳管理］のメニュー画面で［変更］を押します。**

［アドレス帳管理］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. ［全て表示］または［ユーザーコード］を選択します。**

**3. グループから削除するユーザーを選択します。**

削除するユーザーのキーを押すか、テンキーで登録番号を押します。

ユーザーは、名前／ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索することができます。

**4. ［登録先グループ］を押します。**

**5. 削除するグループを選択します。**

選択したグループの反転表示が解除されます。

**6. ［閉じる］を押します。**

**7. ［閉じる］を押します。**

**8. ［設定］を押します。**

**9. ［初期設定］キーを押します。**

## 登録したグループをグループから削除する

**1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。**

［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

**2. ［グループ登録／変更／消去］を押します。**

**3. ［変更］を押します。**

4. グループから削除するグループ名を選択します。

削除するグループのキーを押すか、登録番号をテンキーで入力します。

グループは名前／ヨミガナから検索することができます。

5. [登録先グループ] を押します。

6. 削除するグループを選択します。

選択したグループの反転表示が解除されます。

7. [閉じる] を押します。

8. [設定] を押します。

9. [初期設定] キーを押します。



## グループ名を変更する

1. [システム初期設定] のメニュー画面で [管理者用設定] を押します。

[システム初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [グループ登録／変更／消去] を押します。

3. [変更] を押します。

4. 変更するグループを選択します。

グループは名前／ヨミガナから検索することができます。

5. [登録情報] を押します。

6. グループ名、ヨミガナ、またはキー表示名を変更するときは、[名前]、[ヨミガナ] または [キー表示名] を押します。

7. グループ名、ヨミガナまたはキー表示名を入力し、[OK] を押します。

8. [▼] を押して [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3] を表示します。

9. ユーザーの分類を [見出し 1]、[見出し 2]、[見出し 3] から選択します。

10. 登録番号を変更するために [登録番号] を押します。

11. テンキーで新しい登録番号を入力します。

12. [OK] を押します。

13. [閉じる] を押します。

14. [設定] を押します。

15. [初期設定] キーを押します。

### グループを消去する

1. **[システム初期設定] のメニュー画面で [管理者用設定] を押します。**

   [システム初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **[グループ登録/変更/消去] を押します。**
3. **[消去] を押します。**
4. **消去するグループを選択します。**

   グループは名前/ヨミガナから検索することができます。

5. **[消去する] を押します。**
6. **[閉じる] を押します。**
7. **[初期設定] キーを押します。**

4

## アドレス帳の認証情報

本機のアドレス帳にある認証情報について説明します。

### SMTP 認証

SMTP サーバーを使用するときに SMTP 認証を設定することによって、ユーザーごとにユーザー名とパスワードを設定します。

SMTP サーバーを利用するには、あらかじめ登録が必要です。

★重要

- **ユーザー認証を設定している場合は、管理者に確認してください。**

1. **[アドレス帳管理] のメニュー画面で [変更] を押します。**

   [アドレス帳管理] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **[全て表示] または [ユーザーコード] を選択します。**
3. **SMTP 認証を設定するユーザーのキーを押すか、テンキーで登録番号を押します。**

   ユーザーは、名前/ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索することができます。

4. **[認証情報] を押します。**
5. **[SMTP 認証] を押します。**

6. [別の認証情報] を押します。
7. 「ログインユーザー名」の [変更] を押します。
8. ログインユーザー名を入力し、[OK] を押します。
9. 「ログインパスワード」の [変更] を押します。
10. パスワードを入力し、[OK] を押します。
11. 確認用にもう一度パスワードを入力し、[OK] を押します。
12. [設定] を押します。
13. [閉じる] を押します。
14. [設定] を押します。
15. [初期設定] キーを押します。



補足

- ユーザーの登録については、P.257「ユーザー情報の登録」を参照してください。

## LDAP 認証

LDAP サーバーを使用するときに LDAP 認証を設定することによって、ユーザーごとにユーザー名とパスワードを設定します。

LDAP サーバーを利用するには、あらかじめあらかじめ登録が必要です。LDAP サーバーの登録方法については、P.273「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。

重要

- [LDAP 認証] で [指定しない] を選択した場合は、[管理者用設定] タブにある [LDAP サーバー登録／変更／消去] で設定したユーザー名とパスワードが有効になります。詳細については、P.273「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。
- ユーザー認証を設定している場合は、管理者に確認してください。

1. [アドレス帳管理] のメニュー画面で [変更] を押します。

   [アドレス帳管理] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [全て表示] または [ユーザーコード] を選択します。
3. LDAP 認証を設定するユーザーのキーを押すか、テンキーで登録番号を押します。

   ユーザーは、名前／ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索することができます。

4. [認証情報] を押します。
5. [LDAP 認証] を押します。

6. ［別の認証情報］を押します。
7. 「ログインユーザー名」の［変更］を押します。
8. ログインユーザー名を入力し、［OK］を押します。
9. 「ログインパスワード」の［変更］を押します。
10. パスワードを入力し、［OK］を押します。
11. 確認用にもう一度パスワードを入力し、［OK］を押します。
12. ［設定］を押します。
13. ［閉じる］を押します。
14. ［設定］を押します。
15. ［初期設定］キーを押します。



補足

- ユーザーの登録については、P.257「ユーザー情報の登録」を参照してください。

## 使用できる機能を確認する

ユーザー認証では、ログインユーザー名、ログインパスワードにより個人やグループ単位でのアクセス制限を設定しています。

それぞれのユーザー、グループは、認証により本機へのアクセスを許可され、管理者によってアクセス権を与えられた機能だけを使用できます。

**ユーザーが使用できる機能**

ユーザーが使用できる機能は、プリンターを使った印刷や蓄積などです。

ユーザー認証で、使用できる機能が制限されているときは、次の手順で使用できる機能を確認できます。

1. ［アドレス帳管理］のメニュー画面で［変更］を押します。

   ［アドレス帳管理］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. ［全て表示］または［ユーザーコード］を選択します。
3. 確認するユーザーのキーを押すか、テンキーで登録番号を押します。

   ユーザーは、名前／ヨミガナ、ユーザーコード、メールアドレスから検索することができます。

4. ［認証情報］を押します。
5. ［プリンター機能使用許可］または［その他の機能使用許可］を押します。

6. ［プリンター機能使用許可］または［その他の機能使用許可］で使用できる機能を確認します。
7. ［設定］を押します。
8. ［閉じる］を押します。
9. ［設定］を押します。
10. ［初期設定］キーを押します。

# LDAP 認証の準備

## LDAP サーバーを設定する

LDAP サーバーの設定方法を説明します。

LDAP サーバーの対応バージョンは Ver.2.0 と Ver.3.0 です。

LDAP サーバーを登録すると、LDAP サーバー上のアドレス帳からメールアドレスを調べることができます。

LDAP 検索をするには、下記の項目を必ず設定してください。

- サーバー名
- 検索開始位置
- ポート番号
- 認証
- 日本語文字コード
- 検索条件

サーバー環境によって、上記以外で設定が必要な項目は異なります。使用するサーバー環境を確認し、必要に応じて設定してください。

認証方法の選択で［Kerberos 認証］を選択したときは、「ユーザー名」、「パスワード」、「レルム名」を必ず設定してください。

認証方法の選択で［ダイジェスト認証］または［平文認証］を選択したときは、「ユーザー名」と「パスワード」を必ず設定してください。

LDAP 検索をするには、管理者用設定の「LDAP 検索」で［する］を選択します。

ダイジェスト認証を使用できるのは、LDAP Ver.3.0 のみです。

Kerberos 認証を使用するときは、あらかじめレルムを登録する必要があります。レルムの登録方法については、P.278「レルムを設定する」を参照してください。

### LDAP サーバーを登録する

1. **［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。**

   ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **［LDAP サーバー登録／変更／消去］が表示されるまで、［▼］を押します。**
3. **［LDAP サーバー登録／変更／消去］を押します。**
4. **［登録／変更］を押します。**

4

5. **登録または変更する LDAP サーバーを選択します。**

新しいサーバーを設定するときは、［*未登録］を押します。

6. **［名前］を押します。**

LDAP 検索のサーバー選択画面で表示する LDAP サーバーの名称を任意の名前で登録します。

7. **名前を入力し、［OK］を押します。**

8. **［サーバー名］を押します。**

LDAP サーバーのホスト名または IPv4 アドレスを登録します。

9. **サーバー名を入力し、［OK］を押します。**

ホスト名または LDAP サーバーの IPv4 アドレスを 128 文字以内で入力します。



10. **［検索開始位置］を押します。**

検索を開始するルートフォルダーを選択します。ここで選択したフォルダーの中に登録されているメールアドレスが検索の対象となります。

11. **検索開始位置を入力し、［OK］を押します。**

例えば、ABC 商事の販売部を検索対象としたときは、「dc=販売部、o=ABC 商事」と入力します。（ここではアクティブディレクトリを例にして説明します。dc が組織名、o が会社名です。）

使用するサーバー環境によっては、検索開始位置の登録が必要になります。登録が必要なときは、何も指定せずに検索をするとエラーが発生します。使用するサーバーの環境を確認して、入力してください。

12. **［ポート番号］を押します。**

LDAP サーバーと通信をするときに使用するポート番号を指定します。使用する環境にあわせてポートを指定してください。

13. **ポート番号をテンキーで入力し、［OK］を押します。**

14. **［SSL］を押し、［利用する］を押します。**

LDAP サーバーと通信するときに、SSL 通信を使用します。

SSL 通信をするには、SSL に対応した LDAP サーバーが必要です。

SSL を［利用する］に設定するとポート番号が「636」に自動で切り替わります。

SSL を利用しないときは、セキュリティー上で問題が発生することがあります。詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

15. **［設定］を押します。**

16. **［▼］を押します。**

17. **［認証］を押し、［認証する］を押します。**

［認証しない］を選択したときは、［設定］を押し、手順 26 に進みます。

**18. 認証方法を選択します。**

[認証] を押し、[Kerberos 認証]、[ダイジェスト認証]、[平文認証] のいずれかを押します。

LDAP サーバーに検索要求をするにあたり、代表者アカウント等を使用して認証できます。

認証をするには LDAP サーバーの認証設定にあわせる必要があります。サーバーの設定を確認して、本機の設定をしてください。

- [Kerberos 認証]

  パスワードが解読できないように加工して KDC サーバーへ送信し、KDC サーバーで認証します。

- [ダイジェスト認証]

  本機でパスワードが解読できないように加工して LDAP サーバーへ送信します。

  [ダイジェスト認証] は LDAP サーバーのバージョン 3.0 のみ設定できます。

- [平文認証]

  パスワードの加工をしないでそのまま LDAP サーバーへ送信します。

**19. [設定] を押します。**

**20. [名前] を押します。**

認証設定を [Kerberos 認証]、[ダイジェスト認証]、または [平文認証] に設定したときに、代表者アカウントのユーザー名とパスワードを入力できます。個人ごと、検索の度に認証するときは、入力しないでください。

**21. ユーザー名を入力し、[OK] を押します。**

使用するサーバー環境によりユーザー名の指定方法は異なります。使用するサーバー環境を確認して、入力してください。

(例として Domain Name¥User Name、User Name@Domain Name、CN=名前、OU=部署名、DC=サーバー名のような指定方法があります。)

**22. [パスワード] が表示されるまで、[▼] を押します。**

**23. [パスワード] を押します。**

**24. パスワードを入力し、[OK] を押します。**

ユーザー名とパスワードは LDAP サーバーに接続するときの代表者認証に必要です。

本機のアドレス帳に登録したユーザー名、パスワードを使用して LDAP サーバーに接続することもできます。詳しくは、P.270「LDAP 認証」を参照してください。P.102「操作部からのログインのしかた」

[ダイジェスト認証]、[平文認証] を選択したときは、手順 26 に進みます。

**25. [Kerberos 認証] を選択したときは、[レルム名] を選択します。レルム名を選択し、[設定] を押します。**

**26.［接続テスト］を押します。**

LDAP サーバーに接続し、正しく接続できるかを確認します。認証設定に応じて認証の確認もできます。

**27.［閉じる］を押します。**

接続に失敗したときは、設定を確認し、再度接続テストをしてください。

本機能では、検索条件、検索開始位置の確認はできません。

**28.［設定］を押します。**

**29.［日本語文字コード］を押します。**

LDAP サーバーで運用されている日本語文字コードを設定します。



**30. 使用する日本語文字コードを選択し、［設定］を押します。**

**31.［検索条件］を押します。**

**32. 検索条件の［名前］、［メールアドレス］、［会社名］、［部署名］を押し、属性を入力します。**

代表的な検索のキーワードとして属性を入力できます。入力した属性を使って、LDAP サーバーのアドレス帳から検索します。

**33.［OK］を押します。**

64 文字以内で属性を入力します。

サーバー環境により属性の値が異なることがあります。使用するサーバー環境を確認して、属性を設定してください。

各項目とも入力しないで登録できますが、項目が空白のときは、LDAP サーバーのアドレス帳からその属性での検索はできません。

**34.［任意検索条件］を押します。**

**35. 属性を入力し、［OK］を押します。**

あらかじめ用意した名前、メールアドレス、会社名、部署名以外のキーワードで検索したいときは、使用の LDAP サーバーに登録されたそのキーワードに対応する属性と検索時に操作部に表示される表示名をここで任意に設定します。

例えば、社員番号で検索したいときは属性に“employeeNo”、キー表示名には“社員番号”を登録します。

サーバー環境により属性の値が異なることがあります。使用するサーバー環境を確認して、属性を設定してください。

**36.［キー表示名］を押します。**

**37. キー表示名を入力し、［OK］を押します。**

登録した［キー表示名］は LDAP 検索のキーワードとして表示されます。

［属性］、［キー表示名］の両方を登録しないと検索画面にキーは表示されません。任意検索をするときは必ず両方とも登録してください。

38. [設定] を 2 回押します。

39. [閉じる] を押します。

40. [初期設定] キーを押します。

## 登録した LDAP サーバーを変更する

1. [システム初期設定] のメニュー画面で [管理者用設定] を押します。

   [システム初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [LDAP サーバー登録／変更／消去] が表示されるまで、[▼] を押します。

3. [LDAP サーバー登録／変更／消去] を押します。

4. [登録／変更] を押します。

5. 変更したい LDAP サーバーを選択します。

6. 変更が必要な項目を設定します。

7. 変更が終わったら [設定] を押します。

8. [閉じる] を押します。

9. [初期設定] キーを押します。

## 登録した LDAP サーバーを消去する

1. [システム初期設定] のメニュー画面で [管理者用設定] を押します。

   [システム初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. [LDAP サーバー登録／変更／消去] が表示されるまで、[▼] を押します。

3. [LDAP サーバー登録／変更／消去] を押します。

4. [消去] を押します。

5. 消去したい LDAP サーバーを選択します。

6. [消去する] を押します。

7. [閉じる] を押します。

8. [初期設定] キーを押します。

## レルムを設定する

Kerberos 認証で使用するレルムを設定します。

レルムとは Kerberos 認証を使用したネットワークエリアです。レルムを登録するには、「レルム名」、「KDC サーバー名」を必ず設定してください。使用するネットワーク環境を確認して、必要に応じて「ドメイン名」を設定してください。

レルムは 5 つまで登録できます。

### レルムを登録する



1. **［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。**

   ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. **［レルム登録／変更／消去］が表示されるまで、［▼］を押します。**
3. **［レルム登録／変更／消去］を押します。**
4. **［登録／変更］を押します。**
5. **［*未登録］を押します。**
6. **［レルム名］を押します。**
7. **レルム名を入力し、［OK］を押します。**

   レルム名の代わりにホスト名も入力できます。

   レルム名では全角文字が使用できません。

8. **［KDC サーバー名］を押します。**
9. **KDC サーバー名を入力し、［OK］を押します。**

   KDC サーバー名の代わりにホスト名または IPv4 アドレスも入力できます。

   KDC サーバー名では全角文字が使用できません。

10. **［ドメイン名］を押します。**
11. **ドメイン名を入力し、［OK］を押します。**

    ドメイン名の代わりにホスト名も入力できます。

    ドメイン名では全角文字が使用できません。

12. **［設定］を押します。**
13. **［閉じる］を押します。**
14. **［初期設定］キーを押します。**

## 登録したレルムを変更する

1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。
   ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。
2. ［レルム登録／変更／消去］が表示されるまで、［▼］を押します。
3. ［レルム登録／変更／消去］を押します。
4. ［登録／変更］を押します。
5. 設定内容を変更したいレルム名を押します。
6. レルム名を変更するときは、［レルム名］を押します。
7. 新しいレルム名を入力し、［OK］を押します。
8. KDC サーバー名を変更するときは、［KDC サーバー名］を押します。
9. 新しい KDC サーバー名を入力し、［OK］を押します。
10. ドメイン名を変更するときは、［ドメイン名］を押します。
11. 新しいドメイン名を入力し、［OK］を押します。
12. ［設定］を押します。
13. ［閉じる］を押します。
14. ［初期設定］キーを押します。

## 登録したレルムを消去する

1. ［システム初期設定］のメニュー画面で［管理者用設定］を押します。
   ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。
2. ［レルム登録／変更／消去］が表示されるまで、［▼］を押します。
3. ［レルム登録／変更／消去］を押します。
4. ［消去］を押します。
5. 消去したいレルム名を選択します。
6. ［消去する］を押します。
7. ［閉じる］を押します。
8. ［初期設定］キーを押します。

# テスト印刷する

1. ［プリンター初期設定］のメニュー画面で［テスト印刷］を押します。

   ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

2. 印刷する項目を押します。

   選択したい項目が表示されないときは、［▼］を押して画面を切り替えてください。

   ［ヘキサダンプ］を選んだときは、ここでは何も印刷されません。

3. ［初期設定］キーを押します。



## システム設定リストの見かた

システム設定リストの印刷例です。

システム設定リスト　お使いの機器名

XXXX年XX月XX日　XX時XX分XX秒

1 ■システム構成情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 機番 | XXXX-XXXXXX | 搭載メモリ | XXX MB |
| トータルカウンター | 299 | | |
| ファームウェアバージョン | プリンター[X.XX.X / XXXXXXXX], システム[X.XX.X / XXXXXXXX], エンジン[X.XX:XX / XXXXXXXX], 操作部[X.XX / XXXXXXXX], NIB[XX.XX / XXXXXXXXX] | | |
| 接続デバイス | ハードディスク, パラレルインターフェース | | |
| HDD：フォント/マクロ | 空き容量 XXXXXXX KB, 最大容量 XXXXXXX KB | | |
| 搭載エミュレーション | R98 [X.XXX], R16 [X.XXX], R55 [X.XXX], RPGL [X.X.XX ], RPGL2 [X.X.XX ], RTIFF [XX.XX.XX ], RPDL [X.XXX], BMLinkS [X.XX.XX ], Adobe PostScript 3 [X.XX], Adobe PDF [X.XX], RPCS [X.XX.XX ], PCL 5e Emulation [X.XX], PCL XL Emulation [X.XX], MSIS [X.XX.XX ], KAN-G [X.XX.XX ] | | |
| 接続機器 | トレイ3(大量給紙トレイ) | | |

2 ■用紙設定

| | |
|---|---|
| 優先給紙トレイ | トレイ1 |
| 手差しトレイ | A4R　210.0 x 297.0mm　普通紙 自動トレイ選択対象外 |
| トレイ1 | A4R　210.0 x 297.0mm　普通紙 |
| トレイ2 | A4　297.0 x 210.0mm　普通紙 |
| トレイ3 | A4　297.0 x 210.0mm　普通紙 |

3 ■データ操作/管理

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一時置き文書自動消去設定 | しない | 消去までの時間 | 8 |
| 保存文書自動消去設定 | する | 消去までの日数 | 3 |

4 ■システム設定

＊マークは設定値が初期値と異なる項目です。

| | | | |
|---|---|---|---|
| エラーレポート印刷 | しない | エラースキップ | しない |
| エラージョブ蓄積・追い越し | しない | エラーを確認するページ数 | 3 |
| 画像エラー処理 | 印刷取消 | エラー表示設定 | すべて表示 |
| PDLｴﾗｰｼﾞｮﾌﾞ自動取消の確認画面 | 表示しない | エラー発生時のジョブ自動取消 | しない |
| 180度回転 | しない | エミュレーション検知 | する |
| 圧縮ﾃﾞｰﾀの解凍印刷 | しない | 優先ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ/ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ | RPCS |
| 優先メモリー | ページメモリー | 印刷枚数 | 1 |
| スムージング | する | トナーセーブ | しない |
| スプール印刷 | しない | 主電源Off時の未処理文書 | 電源Onで印刷する |
| 印刷をともなうジョブの制限 | しない | 初期画面の切り替え | ジョブ一覧画面 |
| 補助用紙サイズ | 使用しない | レターヘッド紙使用設定 | 使用する(自動判定) |
| 手差しトレイ用紙確認画面 | 表示しない | 手差しトレイ | ドライバー/コマンド優先 |
| トレイ1 | 機器側設定優先 | トレイ2 | 機器側設定優先 |
| トレイ3 | 機器側設定優先 | レターヘッド:手差しトレイ | 普通紙　66～90g/m2 |
| レターヘッド:トレイ1 | 普通紙　66～90g/m2 | レターヘッド:トレイ2 | 普通紙　66～90g/m2 |
| レターヘッド:トレイ3 | 普通紙　66～90g/m2 | ラベル紙 | 厚紙1　129～163g/m2 |
| 封筒 | 厚紙1　129～163g/m2 | トレイ指定時動作切り替え | しない |
| 拡張リミットレス給紙 | しない | 受信バッファ | 128KB |
| I/F切り替え時間 | 15秒 | | |

5 ■システム設定(EM)

| | | | |
|---|---|---|---|
| マクロキャッシュ | マクロ無し | 水平補正初期値 | 100.00 |
| 垂直補正初期値 | 100.00 | | |

6 ■登録プログラム一覧

| プログラム番号 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| エミュレーション名 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

7 ■PCL設定

| | | | |
|---|---|---|---|
| 用紙サイズ | A4 | 最大領域印刷 | しない |
| 両面印刷 | しない | 印刷方向 | タテ |
| 行数 | 64 | フォントソース | 内蔵メモリー |
| フォント番号 | 0 | ポイントサイズ | 12.00 |
| フォントピッチ | 10.00 | シンボルセット | PC-8 |
| クーリエフォント | レギュラー | A4サイズ最大幅印刷 | しない |
| LF設定 | LF=LF | 解像度 | 600dpi |
| 白紙排紙 | する | | |

8 ■PS設定

| | | | |
|---|---|---|---|
| ジョブタイムアウト | ドライバー/コマンド優先 | ジョブタイムアウト時間(秒) | 0 |
| ウェイトタイムアウト | ドライバー/コマンド優先 | ウェイトタイムアウト時間(秒) | 300 |
| 用紙選択方式 | 給紙トレイから選択 | 両面印刷 | しない |
| 両面印刷ページ切り替えコマンド | 有効 | 白紙排紙 | する |
| データ形式 | バイナリデータ | 解像度 | 600dpi |
| 最大領域印刷 | しない | 印刷方向自動検知 | する |

9 ■PDF設定

| | | | |
|---|---|---|---|
| 両面印刷 | しない | 白紙排紙 | する |
| 最終ページから印刷 | しない | 解像度 | 600dpi |
| 最大領域印刷 | しない | 印刷方向自動検知 | する |

10 ■インターフェース設定

| | | | |
|---|---|---|---|
| DHCP | Off | IPv4アドレス | XXX.XXX.XXX.XXX |
| サブネットマスク | XXX.XXX.XXX.XXX | IPv4ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ | XXX.XXX.XXX.XXX |
| IPv6ステートレス設定 | 有効 | IPsec | 無効 |
| IPv4 | 有効 | IPv6 | 無効 |
| SMB | 有効 | AppleTalk | 無効 |
| イーサネット速度 | 自動選択 | イーサネット用IEEE 802.1X認証 | 無効 |
| SSL/TLS通信許可設定 | 暗号文優先 | パラレルタイミング | ACK outside |
| パラレル通信速度 | 高速 | セレクト状態 | HIGH |
| インプットプライム | 無効 | 双方向通信 | する |
| USB速度 | 自動選択 | | |

11 ■インターフェース情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 物理アドレス | XX.XX.XX.XX.XX.XX | ホスト名 | XXXXXXXXXXXXXXX |
| ワークグループ名(SMB) | XXXXXXXXX | ネットワークパス名(SMB) | XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX |
| 無効インターフェース | なし | | |

12 ■不正ｺﾋﾟｰ抑止

| | | | |
|---|---|---|---|
| 不正コピー抑止設定 | *する | 優先：ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ/ｺﾏﾝﾄﾞ/機器側 | ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ/ｺﾏﾝﾄﾞ優先 |
| 不正コピー抑止の種類 | 不正コピー抑止地紋 | 地紋マスクパターン | なし |
| 地紋の濃度 | 3 | 不正コピーガードの効果 | 文字列と背景 |
| 不正コピー抑止地紋の効果 | 文字列と背景 | 文字列選択 | 複写禁止 |
| ポイントサイズ | 70 | 文字列の角度 | 30 |
| 文字列を繰り返し印字 | しない | | |

13 ■調整/管理:画像

| | | | |
|---|---|---|---|
| 濃度調整-濃度調整 | 0 | 印刷位置調整-タテ：トレイ1 | 0.0 |
| 印刷位置調整-タテ：トレイ2 | 0.0 | 印刷位置調整-タテ：トレイ3 | 0.0 |
| 印刷位置調整-タテ：手差しトレイ | 0.0 | 印刷位置調整-タテ：両面時裏面 | 0.0 |
| 印刷位置調整-ヨコ：全てのトレイ | 0.0 | 印刷位置調整-ヨコ：手差しトレイ | 0.0 |
| 印刷位置調整-ヨコ：両面時裏面 | 0.0 | | |

14 ■調整/管理:印刷

| | | | |
|---|---|---|---|
| ｻﾌﾟﾗｲ交換通知時期設定-ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄ | *早めに通知 | サプライエンド時動作 | 印刷継続 |

15 ■システム初期設定

| | | | |
|---|---|---|---|
| ブザー音 | OFF | キーリピート設定 | 通常 |
| 優先機能設定 | *ホーム | スリープモード | する |
| スリープモード移行時間設定(分) | *10 | 明るさ検知オフ設定 | *無効 |
| 自動メール通知 | する | 排紙先:プリンター | 本体トレイ |
| サプライ残量表示 | 表示する | | |

CQS908

### 1. システム構成情報

本機やシステムのバージョン、カウンター情報、メモリー容量、取り付けた外部オプションの名称などの情報、およびトナーの消耗状態です。

### 2. 用紙設定

トレイの用紙サイズと紙種が表示されます。用紙サイズは本機の操作部で設定した値です。

「不定形サイズ」と記載されているときは、フリーサイズに設定されています。

用紙サイズで「R」と記載されているときは、用紙方向が▭に設定されています。

**3. データ操作/管理**

プリンター初期設定の［データ操作/管理］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

**4. システム設定**

プリンター初期設定の［システム設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

**5. システム設定（EM）**

プリンター初期設定の［システム設定（EM）］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

**6. 登録プログラム一覧**

登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。



**7. PCL 設定**

プリンター初期設定の［PCL 設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

**8. PS 設定**

プリンター初期設定の［PS 設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

**9. PDF 設定**

プリンター初期設定の［PDF 設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

**10. インターフェース設定**

システム初期設定またはプリンター初期設定の、インターフェース設定の項目と設定値です。

**11. インターフェース情報**

動作モードやプリンター名など、インターフェース設定の情報です。

**12. 不正コピー抑止**

プリンター初期設定の［不正コピー抑止］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

この項目は［不正コピー抑止設定］を［する］に設定しているときに表示されます。詳細についてはP.331「不正コピー抑止」を参照してください。

**13. 調整/管理：画像**

［調整/管理：画像］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

**14. 調整/管理：印刷**

［調整/管理：印刷］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

**15. システム初期設定**

［システム初期設定］にある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

- ［PCL 設定］、［PS 設定］の項目は、エミュレーションが追加されたときに表示されます。

# 初期設定の項目

本機の初期設定画面で設定できる各項目について説明します。

## システム初期設定

本機で設定できる「システム初期設定」の各種項目について説明します。

### 基本設定



**定型文字列登録／変更／消去**

各種設定で文字入力をするときによく使う文字列を登録します。

「.co.jp」や「いつもお世話になっております。」など、よく使われる文字列をあらかじめ登録しておくと、文字入力するときに便利です。

定型文字列は 40 件まで登録できます。

**ブザー音**

キーを押したときのブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

- 最小
- 小
- 中
- 大
- OFF

工場出荷時の設定：**中**

**優先機能設定**

電源を入れた直後やシステムリセットされたときに、優先的に表示する機能を設定します。

- ホーム
- アプリケーション
    - プリンター
- 拡張機能

工場出荷時の設定：**ホーム**

**画面表示色切り替え**

画面表示色を設定します。

- ブルーグレー
- グレー

- ブルー
- グリーン
- レッド

工場出荷時の設定：**ブルーグレー**

**排紙先：プリンター**

排紙先を設定します。排紙先は、プリンタードライバーで設定した排紙先が優先されます。

［フィニッシャー・上トレイ］および［フィニッシャー・シフトトレイ］は、フィニッシャーを装着しているときに表示されます。

- 本体トレイ
- フィニッシャー・上トレイ
- フィニッシャー・シフトトレイ

工場出荷時の設定：**本体トレイ**

フィニッシャーで仕上げを指定した場合、排紙先が設定と異なることがあります。

- ステープル、またはパンチを選択したときは、フィニッシャー・上トレイ、またはフィニッシャー・シフトトレイに排紙されます。
- シフトソートを選択したときは、フィニッシャー・シフトトレイに排紙されます。

**キーリピート設定**

画面や操作部のキーを押しつづけたときに、操作をリピートするかしないかを設定します。リピートする操作は機能によって異なります。

- リピートしない
- 通常
- リピート時間：中
- リピート時間：長

工場出荷時の設定：**通常**

**mm/inch 切替**

操作部に表示される用紙サイズの単位を切り替えます。

- mm
- inch

工場出荷時の設定：**mm**

**状態確認/ジョブ一覧表示時間設定**

システム状態画面とジョブ一覧画面の表示時間を設定します。

［する］に設定したときは、表示させる時間を 10-999（1 秒単位）の範囲で設定します。

工場出荷時の設定：**する：15 秒**

**状態表示ランプ**

オペレーターコールライトを ON にするか OFF にするかを設定します。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：ON

**小サイズ紙用トレイ設定**

サイズの小さい用紙を使用する場合に、トレイごとに設定します。

工場出荷時の設定：**使用しない**

4

**Compatible ID**

Compatible ID の有効/無効を設定します。

- 有効
- 無効

工場出荷時の設定：**有効**

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## 用紙設定

重要

- **「用紙サイズ設定」で、実際にセットした用紙のサイズと異なる設定をすると、用紙のサイズが正しく認識されません。このとき、用紙がつまったり画像がずれたりして印刷されることがあります。**

**給紙トレイ優先設定：プリンター**

プリンター機能で、優先する給紙トレイを設定します。

工場出荷時の設定：**トレイ 1**

**用紙サイズ設定：トレイ 1～4**

給紙トレイ 1～4 にセットする用紙のサイズを設定します。設定できる用紙サイズについては、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

［用紙サイズ設定：トレイ 3］は 2000 枚給紙テーブルまたは 1000 枚給紙テーブルを装着したときに表示されます。

［用紙サイズ設定：トレイ 4］は 2000 枚給紙テーブルを装着したときに表示されます。

工場出荷時の設定：**自動検知**

### プリンター手差し用紙サイズ

手差しトレイにセットする用紙のサイズを設定します。設定できる用紙サイズについては、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

工場出荷時の設定：**自動検知**

### 用紙種類設定：手差しトレイ

手差しトレイにセットする用紙種類を設定します。設定できる用紙種類については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。設定できる用紙厚さについては、P.425「用紙厚さについて」を参照してください。

- 用紙種類

  工場出荷時の設定：**普通紙**

- 用紙厚さ

  工場出荷時の設定：**普通紙（60-81g/m2）**

- 両面印刷の対象

  工場出荷時の設定：**対象**

- 自動用紙選択の対象

  工場出荷時の設定：**対象外**

### 用紙種類設定：トレイ 1〜4

給紙トレイ 1〜4 にセットする用紙種類を設定します。設定できる用紙種類については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。設定できる用紙厚さについては、P.425「用紙厚さについて」を参照してください。

[用紙種類設定：トレイ 3] は 2000 枚給紙テーブルまたは 1000 枚給紙テーブルを装着したときに表示されます。

[用紙種類設定：トレイ 4] は 2000 枚給紙テーブルを装着したときに表示されます。

「両面印刷の対象」で [対象外] を選択したときや、用紙サイズ設定で [不定形サイズ指定] を選択したときは、「自動用紙選択の対象」を設定できません。

- 用紙種類

  工場出荷時の設定：**普通紙**

- 用紙厚さ

  工場出荷時の設定：**普通紙（60-81g/m2）**

- 両面印刷の対象

  工場出荷時の設定：**対象**

- 自動用紙選択の対象

  工場出荷時の設定：**対象**

**用紙種類設定：大量給紙トレイ**

大量給紙トレイ（LCT）にセットする用紙種類を設定します。設定できる用紙種類については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。設定できる用紙厚さについては、P.425「用紙厚さについて」を参照してください。

この項目は大量給紙トレイ（LCT）を装着したときに表示されます。

「両面印刷の対象」で［対象外］を選択したときや、用紙サイズ設定で［不定形サイズ指定］を選択したときは、「自動用紙選択の対象」を設定できません。

- 用紙種類

  工場出荷時の設定：**普通紙**

- 用紙厚さ

  工場出荷時の設定：**普通紙（60-81g/m2）**

- 両面印刷の対象

  工場出荷時の設定：**対象**

- 自動用紙選択の対象

  工場出荷時の設定：**対象**



補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## 時刻タイマー設定

**スリープモード移行時間設定**

一定時間操作を行わなかったときに、節電のために自動的に電源が切れます。

スリープモードに移行するまでの時間を設定します。

［システム初期設定］にある［管理者用設定］の「スリープモード」設定が「する」になっているとき設定できます。

工場出荷時の設定：**1 分**

「1-240」（1 分単位）の範囲で時間をテンキーで入力します。

エラー表示中のときなど、スリープモードに移行しないことがあります。

インストールされる Embedded Software Architecture アプリケーションの種類によって、スリープモードへの移行時間が設定よりも長くかかることがあります。

**プリンターオートリセット時間設定**

プリンター機能が初期状態になるまでの時間を設定します。

工場出荷時の設定：**する、60 秒**

「する」を選択したときは、「10-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

**年月日設定**

システム時計の年月日を設定します。

「年」「月」「日」の切り替えは、←、→を押してカーソルを移動させます。

「年」「月」「日」はテンキーで入力します。

**時刻設定**

システム時計の時刻を設定します。

時刻は 24 時間制（1 秒単位）で入力します。

「時」「分」「秒」の切り替えは、←、→を押してカーソルを移動させます。

「時」「分」「秒」はテンキーで入力します。

**オートログアウト時間設定**

ログインして一定時間画面の操作を行わなかったときに、自動的にログアウトします。これは「オートログアウト」といいます。

オートログアウト機能が働くまでの時間を設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する、180 秒**

「する」を選択したときは、「60-999」（1 秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

**電源オフ解除コード設定**

「ウィークリータイマー」が有効なときに、スリープモードから復帰する際の暗証コード（最大 8 桁）を設定します。この設定を行うには、管理者認証を有効にする必要があります。詳細については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

暗証コードを登録後、スリープモード中に［省エネ］キーまたは［状態確認］キーを押下すると、暗証コード要求画面が表示されます。暗証コードを入力後、［省エネ］キーまたは［状態確認］キーを押下すると、本機はスリープモードから復帰します。本設定を［しない］にした場合は、スリープモードから復帰時に暗証コードを入力する必要はありません。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**ウィークリータイマー**

本機がスリープモードへの移行、スリープモードからの復帰を行う時間を設定します。24 時間単位で月曜日から日曜日まで設定できます。

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## インターフェース設定

### ネットワーク

- 本体 IPv4 アドレス

  ネットワーク上における本機の IPv4 アドレスとサブネットマスクの設定方法を選択します。

  [指定] を選択した場合、[本体 IPv4 アドレス] と [サブネットマスク] を「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。(x は数値)

  [指定] を選択した場合、[本体 IPv4 アドレス] は、ネットワーク内の他の機器の IPv4 アドレスと重複しないように設定してください。

  物理アドレス (MAC アドレス) も表示されます。

  - 自動的に取得 (DHCP)
  - 指定
  - 本体 IPv4 アドレス：11.22.33.44
  - サブネットマスク：0.0.0.0

  工場出荷時の設定：**自動的に取得 (DHCP)**

- IPv4 ゲートウェイアドレス

  別のネットワークのパソコン、または機器とのやり取りを行うとき、ゲートウェイとなるホストやルーターのアドレスです。(機器とのやり取りとは、印刷や情報の取得などです。)

  別のネットワークのパソコン、または機器から本機を使用する場合に設定してください。アドレスは「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。(x は数値)

  工場出荷時の設定：**0.0.0.0**

- 本体 IPv6 アドレス

  ネットワーク上における本機の IPv6 アドレスを表示します。

  - リンクローカルアドレス

    設定されている本機のリンクローカルアドレスを表示します。

  - 手動設定アドレス

    設定されている本機の手動設定アドレスを表示します。

  - DHCPv6 アドレス

    本機の DHCPv6 アドレスを表示します。

  - ステートレスアドレス：1-5

    「IPv6 ステートレスアドレス自動設定」が「有効」に設定されている場合、設定されているステートレスアドレスを表示します。

- IPv6 ゲートウェイアドレス

  ネットワーク上における本機の IPv6 ゲートウェイアドレスを表示します。

- IPv6 ステートレスアドレス自動設定

  IPv6 ステートレスアドレス自動設定の有効/無効を設定します。

  工場出荷時の設定：**有効**

- DHCPv6 設定

  DHCPv6 設定を行います。［有効］に設定されている場合、「動作モード」から［ルーター要求］、［IP アドレス取得］、［IP アドレス取得しない］を選択します。また、「DNS サーバーアドレス」から［自動取得(DHCPv6)］、［指定］を選択します。

  工場出荷時の設定：**無効**

- DNS 設定

  DNS サーバーの運用について設定します。［指定］を選択した場合、DNS サーバーの IPv4 アドレスを「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

  IPv4 アドレスを設定後［接続テスト］を押すと、DNS サーバーへの接続テストが実行されます。設定した DNS サーバーに接続できることを確認してください。

  - 自動的に取得（DHCP）
  - 指定
  - DNS サーバー 1：0.0.0.0
  - DNS サーバー 2：0.0.0.0
  - DNS サーバー 3：0.0.0.0

  工場出荷時の設定：**自動的に取得（DHCP）**

- DDNS 設定

  ダイナミック DNS について設定します。

  工場出荷時の設定：**有効**

- IPsec

  本機の IPsec 機能の有効／無効を設定します。IPsec の詳細については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

  工場出荷時の設定：**無効**

- ドメイン名

  ドメイン名を設定します。［指定］を選択するときは、ドメイン名を半角英数 63 文字以内で入力してください。

  - 自動的に取得（DHCP）
  - 指定

  工場出荷時の設定：**自動的に取得（DHCP）**

- WINS 設定

  WINS サーバーの運用について設定します。

4

［使用する］を選択した場合、WINS サーバーの IPv4 アドレスを「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

DHCP を使用している場合は、［スコープ ID］を設定します。［スコープ ID］は、半角文字で入力してください。

プライマリー WINS サーバーアドレス、セカンダリー WINS サーバーアドレスに「255.255.255.255」を入力しないでください。

- 使用する
    - プライマリー WINS サーバー:0.0.0.0
    - セカンダリー WINS サーバー:0.0.0.0
    - スコープ ID
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用する**

- 有効プロトコル

  ネットワーク上で使用するプロトコルを選択します。

    - IPv4
        - 有効
        - 無効

      工場出荷時の設定：**有効**
    - IPv6
        - 有効
        - 無効

      工場出荷時の設定：**無効**
    - SMB
        - 有効
        - 無効

      工場出荷時の設定：**有効**
    - AppleTalk
        - 有効
        - 無効

      工場出荷時の設定：**無効**
    - @Remote サービス
        - 有効
        - 無効

      工場出荷時の設定：**有効**

- ファームウェアアップデート（IPv4）
    - 有効
    - 無効

    工場出荷時の設定：**有効**
- ファームウェアアップデート（IPv6）
    - 有効
    - 無効

    工場出荷時の設定：**有効**



- SMB コンピューター名

  SMB コンピューター名を設定します。

  最大 15 文字（全角は 2 文字換算）で入力してください。

  "*+,/:;<>=?[¥]|.およびスペースは入力できません。

  RNP および rnp ではじまるコンピューター名を設定することはできません。

  アルファベットは大文字のみを使用してください。
- SMB ワークグループ

  SMB ワークグループを設定します。

  最大 15 文字（全角は 2 文字換算）で入力してください。

  "*+,/:;<>=?[¥]|.およびスペースは入力できません。

  アルファベットは大文字のみを使用してください。
- イーサネット速度

  イーサネットの通信速度を選択します。ご使用の環境に合わせた速度を選択してください。通常は［自動選択］を選択してください。

  ハブとの相性で通信ができないときは、使用するネットワーク環境に合わせて、［自動選択］以外で速度を選択してください。

    - 自動選択
    - 10Mbps 全二重固定
    - 10Mbps 半二重固定
    - 100Mbps 全二重固定
    - 100Mbps 半二重固定

  工場出荷時の設定：**自動選択**

| 本機側の設定 | 接続可能な接続先の設定 |
| --- | --- |
| 自動選択[*1] | 自動設定、10 Mbps 半二重固定、100 Mbps 半二重固定 |
| 10 Mbps 全二重固定 | 10 Mbps 全二重固定 |

| 本機側の設定 | 接続可能な接続先の設定 |
|---|---|
| 10 Mbps 半二重固定 | 自動設定、10 Mbps 半二重固定 |
| 100 Mbps 全二重固定 | 100 Mbps 全二重固定 |
| 100 Mbps 半二重固定 | 自動設定、100 Mbps 半二重固定 |

*1 接続先によって用語は変わります。

- ネットワークインターフェース選択

  拡張無線 LAN ボードを装着したときに、無線 LAN でネットワーク接続するかイーサネット経由でネットワーク接続するかを選択します。本機に拡張無線 LAN ボードを装着しているときに表示されます。

  イーサネットと無線 LAN が両方接続されているときは、設定されているインターフェースが有効になります。

  - イーサネット
  - 無線 LAN

  工場出荷時の設定：**イーサネット**

- Ping コマンド実行

  ping コマンドで、IPv4 アドレスを使用してネットワーク接続を確認します。

  接続に失敗した場合、次のことを確認した後、再度 ping コマンドを実行してください。

  - [有効プロトコル] の「IPv4」が [有効] に設定されていることを確認してください。
  - 指定した IPv4 アドレスの機器が、ネットワークに接続されていることを確認してください。
  - 指定した IPv4 アドレスの機器に、同時アクセスされることがあります。

- SNMPv3 通信許可設定

  SNMPv3 の暗号化通信を設定します。[暗号化のみ] を設定する場合、本機に暗号パスワードが設定されている必要があります。

  - 暗号化のみ
  - 暗号化/平文

  工場出荷時の設定：**暗号化/平文**

- SSL/TLS 通信許可設定

  SSL/TLS の暗号化通信を設定します。[暗号文のみ] を設定する場合、本機にサーバー証明書が導入されている必要があります。

  - 暗号文のみ
  - 暗号文優先

- 暗号文/平文

工場出荷時の設定：**暗号文優先**

- ホスト名

ホスト名を設定します。ホスト名は半角英数 63 文字以内で入力してください。

先頭末尾にハイフンを入力してホスト名を設定することはできません。

ハイフンを 2 つ続けて入力してホスト名を設定することはできません。

RNP または rnp ではじまるホスト名を設定することはできません。

- 本体名

本体名を設定します。最大 31 文字（全角は 2 文字換算）で入力してください。

- イーサネット用 IEEE 802.1X 認証

イーサネット用の IEEE 802.1X 認証を設定します。

工場出荷時の設定：**無効**

IEEE 802.1X 認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- IEEE 802.1X 認証初期化

IEEE 802.1X の設定値を初期化します。IEEE 802.1X 認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- USB 速度

本機とパソコンを USB で接続するときの通信速度を設定します。

  - 自動選択
  - フルスピード

工場出荷時の設定：**自動選択**

**パラレルインターフェース**

［パラレルインターフェース］は、本機に拡張 1284 ボードを装着しているときに表示されます。

- パラレルタイミング

パラレルインターフェースの制御信号のタイミングを設定します。

  - ACK inside
  - ACK outside
  - STB down

工場出荷時の設定：**ACK outside**

- パラレル通信速度

パラレルインターフェースの通信速度を設定します。

  - 高速
  - 標準

工場出荷時の設定：**高速**

- セレクト状態

  パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。

  工場出荷時の設定：HIGH

- インプットプライム

  インプットプライム信号が送られてきたときに、プライム信号を有効にするかしないかを設定します。

  工場出荷時の設定：**無効**

- 双方向通信

  パラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。［しない］に設定したときは、双方向通信機能が働きません。また、Windows の自動検知によるプリンタードライバーのインストールも行われません。

  工場出荷時の設定：**する**

- 信号線制御

  印刷時のエラーの処理を設定します。

  - ジョブ受付優先
  - プリンター優先

  工場出荷時の設定：**ジョブ受付優先**

**無線 LAN**

［無線 LAN］は、本機に拡張無線 LAN ボードを装着しているときに表示されます。各設定は同時に実施してください。詳しくは、P.232「拡張無線 LAN を使用する」を参照してください。

- 通信モード

  無線 LAN の通信モードを設定します。

  - 802.11 アドホックモード
  - インフラストラクチャーモード

  工場出荷時の設定：**インフラストラクチャーモード**

- SSID 設定

  ［インフラストラクチャーモード］と［802.11 アドホックモード］のときに無線 LAN のネットワークを識別する SSID を設定します。SSID で使用できる文字は、半角英数字と表示可能な半角記号で 32 バイト以内です。大文字と小文字も区別されます。

- アドホックチャンネル

  ［802.11 アドホックモード］を選択したときに使用するチャンネルを設定します。使用する無線 LAN の規格に合わせてチャンネルを設定してください。

- IEEE 802.11 b/g（2.4GHz）を使用する場合

  1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14

- IEEE 802.11a（5GHz）を使用する場合

  36、40、44、48

工場出荷時の設定：**11**

- セキュリティー方式選択

無線 LAN の暗号化を設定します。

［WEP］に設定したときは、必ず WEP キーを入力します。［WPA］に設定したときは、暗号方式と認証方式を設定します。「WPA」は［通信モード］で［インフラストラクチャーモード］を選択したときに設定できます。

- WEP

  WEP キーは、64bitWEP を使用する場合 16 進数では 10 桁、半角英数では 5 桁の文字列が使用できます。128bit WEP を使用する場合、16 進数では 26 桁、半角英数では 13 桁の文字列が使用できます。

- WPA

  - WPA 認証方式

    ［WPA］、［WPA2］、［WPA-PSK］または［WPA2-PSK］を選択します。

    ［WPA-PSK］または［WPA2-PSK］を選択したときは、PSK を入力します。PSK は半角英数を 8-63 文字の範囲で入力します。

    ［WPA］または［WPA2］が選択されているときは、認証設定および証明書のインストールが必要です。設定方法については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

- 電波状態

インフラストラクチャーモードのときに接続したアクセスポイントとの電波状態を表示します。電波状態は、［電波状態］を押したときに測定されます。

- 設定値初期化

無線 LAN の設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 初期化しない
- 初期化する

**リスト印刷**

使用するネットワーク環境に関する項目を確認できます。インターフェース設定リストは現在のネットワーク設定や情報について記載しています。

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## メール設定

### SMTP サーバー

SMTP サーバーを設定します。「サーバー名」ではスペースが使用できません。

DNS が有効なときは、ホスト名を入力します。DNS が無効なときは、SMTP サーバーの IPv4 アドレスを入力します。

- サーバー名

  SMTP サーバー名を設定します。

- SSL

  「SSL」を［利用する］に設定するとポート番号が「465」に自動で切り替わります。

  工場出荷時の設定：**利用しない**

- ポート番号

  「ポート番号」は、「1-65535」の範囲でテンキー入力します。

  工場出荷時の設定：**25**

### SMTP 認証

SMTP 認証（PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST MD5）を設定します。

SMTP サーバーへのメール送信時に、ユーザー名とパスワードを入力して認証を行うことで、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化することができます。

SMTP サーバーが認証を必要とする場合は、［SMTP AUTH］を［使用する］に設定し、［ユーザー名］、［メールアドレス］、［パスワード］、パスワードの［暗号化］方法を設定します。

- 使用する
  - ユーザー名

    ［ユーザー名］では、スペースが使用できません。SMTP サーバーの種類によっては、realm の指定が必要なことがあります。そのときは、ユーザー名の後に@を付加して、"ユーザー名@realm"と入力してください。

  - メールアドレス
  - パスワード

    ［パスワード］では、スペースが使用できません。

  - 暗号化
    - 自動

認証方式が PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST-MD5 の場合に指定します。

- する

  認証方式が CRAM-MD5、DIGEST-MD5 の場合に指定します。

- しない

  認証方式が PLAIN、LOGIN の場合に指定します。

  工場出荷時の設定：**自動**

- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

**POP before SMTP**

POP 認証（POP before SMTP）を設定します。この機能は、本機が IPv4 を使用してネットワークに接続しているときだけ使用できます。IPv6 を使用している場合は使用できません。SMTP サーバーにメールを送信する前に、POP サーバーに接続して認証を行い、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化することができます。

POP 認証を行うときは、[POP before SMTP] を [する] に設定します。[認証後待機時間] で指定した時間が経過したあとに、SMTP サーバーにメールを送信します。[する] を選択したときは、[POP3/IMAP4 設定] で [サーバー名] を入力します。また、[メール通信ポート設定] で [POP3] のポート番号を確認してください。

- する
  - 認証後待機時間

    [認証後待機時間] は、「0-10000」（1 ミリ秒単位）の範囲でテンキーで入力します。

    工場出荷時の設定：**300 ミリ秒**

  - ユーザー名

    [ユーザー名] は、スペースが使用できません。

  - メールアドレス
  - パスワード

    [パスワード] では、スペースが使用できません。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**受信プロトコル**

メールを受信するときの受信プロトコルを設定します。

- POP3
- IMAP4
- SMTP

工場出荷時の設定：POP3

**POP3/IMAP4 設定**

メールを受信するときに、POP3/IMAP4 サーバー名を設定します。ここで設定した POP3 サーバー名は［POP before SMTP］で使用されます。

- サーバー名

  DNS が有効な場合は、ホスト名を入力します。DNS が無効な場合は、POP3、または IMAP4 サーバーの IPv4 アドレスを入力します。POP3、または IMAP4 の［サーバー名］では、スペースが使用できません。

- 暗号化
  - 自動

    POP サーバーの設定に合わせ、パスワードの暗号化を自動設定します。
  - する

    パスワードを暗号化します。
  - しない

    パスワードを暗号化しません。

  工場出荷時の設定：**自動**

**管理者メールアドレス**

管理者のメールアドレスを設定します。

**メール通信ポート設定**

メールを受信するときに、使用するサーバーのポート番号を設定します。また、ここで設定した POP3 のポート番号は、［POP before SMTP］で使用されます。「1-65535」の範囲でテンキー入力します。

- POP3

  工場出荷時の設定：110
- IMAP4

  工場出荷時の設定：143

**メール受信間隔時間設定**

POP3、IMAP4 サーバーに対して、メールを受信する間隔（分）を指定します。「2-1440」（1 分単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：3 分

**サーバー側メール保持**

メールを受信するときに、POP3/IMAP4 サーバーに保持するかどうかを設定します。

- しない
- すべて
- エラー時のみ

工場出荷時の設定：**しない**

**自動メール通知**

本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかを指定します。設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、あらためて電源を入れなおしてください。詳細については、P.247「機器の状態をメールで通知する」を参照してください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

補足

- ［システム初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。



## 管理者用設定

管理者用設定は、管理者の方が設定する項目です。設定内容や設定の変更を行うときは、管理者に確認してください。管理者認証を設定して使用することをお勧めします。

**アドレス帳登録／変更／消去**

本機を使用するユーザーの情報を登録、変更、消去します。アドレス帳の設定方法についての詳細は、P.255「アドレス帳について」を参照してください。

ユーザーの情報は 2,000 件まで登録できます。ユーザーコードは 1,000 件まで登録できます。

Web Image Monitor からもアドレス帳の登録／変更／消去をすることができます。

「認証情報」の「印刷利用量制限」については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

- 新規登録

  ユーザーの情報を新規登録します。登録できる項目は以下のとおりです。

  - 登録情報

    登録番号、名前、ヨミガナ、キー表示名、見出し 1、見出し 2、見出し 3

  - 認証情報

    ユーザーコード、プリンター機能使用許可、SMTP 認証、フォルダー認証、LDAP 認証、印刷利用量制限、使用できる機能

  - 認証保護

    認証保護を設定します。

  - 登録先グループ

    登録先グループ名

- 変更

  登録したユーザーの情報を変更します。変更できる項目は以下のとおりです。

  - 全て表示

    登録してあるすべての情報の中からユーザーを選択して、アドレス帳の登録情報を変更します。

  - ユーザーコード

    ユーザーコードからユーザーを選択して、アドレス帳の登録情報を変更します。

- 消去

  ユーザーの情報を消去します。



**グループ登録／変更／消去**

ユーザーの情報をグループに登録することができます。グループは 100 件まで登録できます。グループの設定方法についての詳細は、P.264「ユーザーをグループに登録する」を参照してください。

Web Image Monitor からもグループの登録／変更／消去をすることができます。

- 新規登録

  グループを新規登録します。登録できる項目は以下のとおりです。

  - 登録情報

    登録番号、名前、ヨミガナ、キー表示名、見出し 1、見出し 2、見出し 3

  - 登録済ユーザー／グループ

    登録済ユーザー／グループ名

  - 認証保護

    認証保護を設定します。

  - 登録先グループ

    登録先グループ名

- 変更

  登録したグループの情報を変更します。

- 消去

  グループの情報を消去します。

**並び順入れ替え**

登録したユーザーの並び順を入れ替えます。

同じ見出し内での並び順入れ替えはできますが、見出しをまたいだ移動はできません。

(例：登録されているユーザー「企画課」を「常用」から「か」へ移動することはできません。)

並び順入れ替えの詳細については、P.258「ユーザーの並び順を入れ替える」を参照してください。

**見出し編集**

目的のユーザーコードを探しやすいように見出しの名称を編集します。見出し編集の詳細については、P.259「見出しを編集する」を参照してください。

**アドレス帳見出し切り替え**

ユーザーコードを選択するときに、表示する見出しを選択します。見出しの並べ替えについて詳細は、P.257「ユーザー情報の登録」を参照してください。

- 見出し 1（五十音順）
- 見出し 2（アルファベット順）
- 見出し 3（5 分類用）

工場出荷時の設定：**見出し 1（五十音順）**

**ユーザー個別設定・アドレス帳　バックアップ／リストア**

SD カードを使って本機のアドレス帳データの保存や、保存したアドレス帳データの本機への復元を行います。SD カードの取り付けについては、P.78「外部メディアを取り付ける／取り外す」を参照してください。

復元すると、本機に保存されているアドレス帳は上書きされます。また、ユーザー別のカウンターがクリアされます。

アドレス帳のバックアップ／リストアは、Web Image Monitor でも設定できます。詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

- バックアップ

  本機のアドレス帳データを SD カードに保存します。
- リストア

  SD カードに保存したアドレス帳データを復元します。
- フォーマット

  SD カードをフォーマットします。
- メディア情報取得

  SD カードの空き容量やデータの内容などが表示されます。

**カウンター表示／印刷**

各種カウンターの表示と印刷を行います。

- カウンター表示／印刷

  機能ごとのカウンターを表示します。（各機能には、トータル、プリンター、両面、A3/DLT、カバレッジがあります。）
- カウンター一覧印刷

  機能ごとのカウンター使用量の一覧を印刷します。

**ユーザー別カウンター表示／クリア／印刷**

ユーザー別に機能ごとのカウンターを表示したり、印刷したり、カウンターの数値を「0」に戻したりできます。印刷方法については、P.263「ユーザーごとのカウンターを印刷する」およびP.263「すべてのユーザーのカウンターを印刷する」を参照してください。「印刷利用量」については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

「ユーザー別カウンター表示／クリア／印刷」で表示したカウンターは、「カウンター表示／印刷」で表示されるカウンターと数値が異なることがあります。

- 全ユーザー
    - 一覧印刷

      すべてのユーザーのカウンターの使用量を印刷します。
    - クリア

      すべてのユーザーのカウンターの数値を0に戻します。
- ユーザー別
    - 一覧印刷

      ユーザーごとのカウンターの使用量を印刷します。
    - クリア

      ユーザーごとの各カウンターの数値を0に戻します。

**eco指数カウンター表示／クリア**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**ユーザー別eco指数カウンター表示／クリア**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**eco指数カウンター集計期間/管理者メッセージ設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**上限到達時動作設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**印刷利用量制限度数設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**印刷利用量上限初期値**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**利用量カウンター定期/指定リセット設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**メディアスロット使用**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**ユーザー認証管理**

- 認証しない
- ユーザーコード認証

  ユーザーコードごとに機能のアクセス制限を設定します。ユーザーコード認証を行う場合は、ユーザーコードを登録してください。

  ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証についての詳細は、『セキュリティーガイド』を参照してください。

  制限する機能：

  - その他の機能制限
    - プリンター
  - プリンタージョブ認証：
    - すべて
    - 簡易（限定）
    - 簡易
- ベーシック認証
- Windows 認証
- LDAP 認証
- 統合サーバー認証

工場出荷時の設定：**認証しない**

**拡張認証管理**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**管理者認証管理**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**管理者登録／変更**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**セキュリティー強化**

セキュリティー機能を利用するかしないかを設定します。詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**LDAP サーバー登録／変更／消去**

LDAP サーバーを登録することによって、LDAP サーバー上のアドレス帳からメールアドレスを調べることができます。

LDAP サーバーの対応バージョンは Ver2.0 と Ver3.0 です。ダイジェスト認証を使用できるのは、LDAP Ver.3.0 のみです。LDAP サーバーの登録方法については、P.273「LDAP サーバーを設定する」を参照してください。

- 登録／変更

LDAP サーバーの登録や設定変更をします。登録または設定できる項目は以下のとおりです。

- 名前
- サーバー名
- 検索開始位置
- ポート番号
- SSL
- 認証
- ユーザー名
- パスワード
- レルム名
- 日本語文字コード
- 検索条件
- 任意検索条件

- 消去する

LDAP サーバーを消去します。

**スリープモード**

スリープモード機能を利用するかしないかを設定します。

工場出荷時の設定：する

**通信テストコール実行**

@Remote センターサーバー（RICOH Gateway）に通信テストを行います。@Remote を使用しているときに実行できます。この機能は［機器情報通知実行］を使用しているときは実行できません。

**機器情報通知実行**

@Remote センターサーバー（RICOH Gateway）に機器情報を通知します。@Remote を使用しているときに実行できます。この機能は［通信テストコール実行］を使用しているときは実行できません。

**サービスモード移行禁止設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**ファームウェアバージョン表示**

本機にインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

**ネットワークセキュリティーレベル**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**メモリー自動消去設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**メモリー全消去**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**ログ一括消去**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**ログ転送設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**USB ポート固定**

USB ポートで新規接続時にプリンタードライバーを再度インストールするかしないかを設定します。

- しない
- レベル 1

  プリンタードライバーをインストール済みの PC に本機と同一の機種を USB 接続するとき、新規のプリンタードライバーをインストールせずに機器を使用できます。
- レベル 2

  この機能を使用するときは、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

工場出荷時の設定：**しない**

**レルム登録／変更／消去**

Kerberos 認証で使用するレルムを登録します。レルムを登録するには、「レルム名」「KDC サーバー名」を必ず設定してください。レルム登録についての詳細は、P.278「レルムを設定する」を参照してください。

- 登録／変更

  レルムの登録や設定変更をします。登録または設定できる項目は以下のとおりです。
  - レルム名
  - KDC サーバー名
  - ドメイン名
- 消去する

  レルムを消去します。

**機器データ暗号化設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**機器証明書登録／消去**

機器の証明書を登録、消去します。

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**機器設定情報：インポート（サーバー）設定**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**機器設定情報：インポート（サーバー）実行**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**機器設定情報：エクスポート（メディア）**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**機器設定情報：インポート（メディア）**

詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

**強制セキュリティー印字：プリンター**

本機から文書を出力するときに、ユーザー情報や機器の情報を印字するかしないかを設定します。[する] に設定したときは、[出力日時]、[出力者名]、[機番]、[本体 IP アドレス]、[印字位置調整] の項目で印字設定をします。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**ユーザー別ホーム利用**

ユーザー別ホーム画面の利用を許可するか、禁止するか設定します。詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

- 許可する
- 許可しない

工場出荷時の設定：**許可しない**

**サプライ残量表示**

待機画面にトナー残量を表示するかしないかを選択します

- ホーム画面
  - 表示する
  - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示する**
- プリンターアプリ画面
  - 表示する
  - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示する**

**明るさ検知オフ設定**

室内が暗くなったのを検知して、自動的に本機の電源を切るか、スリープモードに移行するかどうかを設定します。

- 電源オフ

  室内が暗くなったのを検知して、自動的に本機の電源を切ります。

  - オフ移行時間

    室内が暗くなったのを検知してから自動的に本機の電源を切るまでの時間を設定します。設定した時間になる前に室内が明るくなったときや、印刷、キー入力をしたときに、タイマーはリセットされます。

    工場出荷時の設定：**120 分**

  - センサー感度

    光量センサーの感度を 5 段階に設定できます。

    工場出荷時の設定：5 段階調整の 1 段階目に設定されています。

- スリープモード

  室内が暗くなったのを検知して、自動的にスリープモードに移行します。

  - オフ移行時間

    室内が暗くなったのを検知してから自動的にスリープモードに移行するまでの時間を設定します。設定した時間になる前に室内が明るくなったときや、印刷、キー入力をしたときに、タイマーはリセットされます。

    工場出荷時の設定：**120 分**

  - センサー感度

    光量センサーの感度を 5 段階に設定できます。

    工場出荷時の設定：5 段階調整の 1 段階目に設定されています。

- 無効

工場出荷時の設定：**電源オフ**

**切り替え言語選択**

操作部の表示言語を 5 つまで登録できます。登録した言語は［初期設定］画面の表示言語切り替えキーで切り替えられます。

**印刷後待機状態**

スリープモード中に印刷した後の本機の状態を設定します。

- 操作画面オン

  印刷した後、スリープモードに戻らず、操作部にホーム画面を表示します。

- 操作画面オフ（省エネ）

  印刷した後、スリープモードに戻ります。

工場出荷時の設定：**操作画面オフ（省エネ）**

**プリントサーバー使用不可な省エネモード**

オプションの拡張 USB プリントサーバーユニットを使用するときに、本機のスリープモードへの移行を禁止します。

4

スリープモード中は、拡張 USB プリントサーバーユニットを使用して印刷できません。拡張 USB プリントサーバーユニットを使用するときは、[移行を禁止する] を指定してください。

- 移行を禁止する
- 移行を禁止しない

工場出荷時の設定：**移行を禁止する**

補足

- [システム初期設定] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。



## プリンター初期設定

本機で設定できる「プリンター初期設定」の各種項目について説明します。

### テスト印刷

本機の使用環境や印刷に関する設定を変更したとき、またはプログラムを登録したときは、設定状況の一覧表を印刷して確認することをお勧めします。

印字できるすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

**一括リスト印刷**

システム設定リスト、エラー履歴、ネットワークサマリー、サプライ情報リストを印刷します。

**システム設定リスト**

プリンター初期設定の設定値を印刷します。詳細は P.280「システム設定リストの見かた」を参照してください。選択されているすべてのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

**エラー履歴**

印刷時に発生したエラー情報を、エラー履歴として印刷します。オートジョブキャンセルや、パネルからのジョブキャンセル情報も出力されます。

エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷のときは消去されずに蓄積エラー履歴として 30 件別に蓄積されます。

**ネットワークサマリー**

ネットワークの設定内容が印刷されます。

**サプライ情報リスト**

サプライ情報が印刷されます。

**印刷条件リスト**

印刷条件の設定値を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］、［RPGL］、［RTIFF］を選択しているときに印刷できます。

**メニューリスト**

設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。

**登録フォームリスト**

拡張 HDD が装着されているときのメニュー項目です。本機に登録されているフォームの一覧を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

**全文字印刷**

印刷できるすべての文字を印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

**フォントリスト**

印刷できるすべてのフォントを印刷します。エミュレーションで［RPDL］、［R98］、［R16］、［R55］を選択しているときに印刷できます。

**PCL 情報リスト**

PCL の設定情報および PCL が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PCL］を選択しているときに印刷できます。

**PS 情報リスト**

PostScript の設定情報、および PostScript が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PS3］を選択しているときに印刷できます。

**PDF 情報リスト**

PDF の設定情報、および PDF が使用できるフォントリストを印刷します。エミュレーションで［PDF］を選択しているときに印刷できます。

**ヘキサダンプ**

印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られてきたデータを 16 進数で印刷します。

**動作確認印刷**

オプションを含む給排紙と印刷、フィニッシャーのステープル・パンチ動作を確認するためのテスト印刷を行います。オプションに関する設定項目は、実際に装着されているオプションについてだけ表示されます。指定した機能が実現できないと、メッセージを表示して印刷を中止します。正しく動作すると、黒の罫線枠を印刷します。

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。
- 給紙トレイの中から A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生紙がセットされているトレイを自動で選択します。もし、どの給紙トレイにも A4（Letter）サイズの普通紙 / 再生

紙がセットされていないときは、優先給紙トレイを選択します。優先給紙トレイにセットされている用紙サイズがA4（Letter）サイズより小さいと、端が切れることがあります。逆に優先給紙トレイにセットされている用紙サイズがA4（Letter）サイズより大きいと、余白が大きくなることがあります。

- テスト印刷で出力されるシステム設定リスト、エラー履歴は、レイアウトがA4（およびLetter）サイズに固定されます。したがって給紙トレイのいずれかに、A4（またはLetter）サイズの用紙（普通紙・再生紙）をセットすることをお勧めします。
- 印刷条件リスト、登録フォームリスト、全文字印刷、フォントリスト、PS情報リストおよびPDF情報リストは優先給紙トレイから出力されます。優先給紙トレイにA4より大きいサイズの用紙があるときは、それぞれの用紙のサイズに合わせて拡大されて出力されます。



## データ/操作管理

### メニュープロテクト

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。詳細については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

### テスト印刷禁止

［する］に設定すると、テスト印刷を禁止します。

テスト印刷の禁止については、『セキュリティーガイド』を参照してください。

### 一時置き文書全消去

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書をすべて消去します。

### 保存文書全消去

本機に蓄積されている保存文書をすべて消去します。

### 一時置き文書自動消去設定

本機に一時的に蓄積されている試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書を自動で消去するかしないかを設定します。

印刷指定時刻が有効な保留印刷文書は、自動で消去できません。

- する

  自動消去する時間を1〜200時間（1時間単位）の範囲でテンキーで入力します。

  するを選択したときの工場出荷時の設定は、8時間に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

### 保存文書自動消去設定

本機に蓄積されている保存文書を自動で消去するかしないかを設定します。

- する

自動消去する時間を 1～180 日（1 日単位）の範囲でテンキーで入力します。

するを選択したときの工場出荷時の設定は、3 日に設定されています。

- しない

工場出荷時の設定：する

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## システム設定



### エラーレポート印刷

印刷処理中に、文法エラー、メモリー不足などにより正常に印刷できなかったとき、エラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

### エラースキップ

プリンタードライバーから指示した用紙サイズや用紙種類の条件に合うトレイがないときの本機の動作を設定します。この機能の設定については、P.140「用紙設定が一致しないときに強制印刷する」を参照してください。

- しない

  ジョブリセットするのか印刷を続けるのかを選択する画面が表示されます。ジョブリセットするときは［ジョブリセット］を押します。条件に合わなくても印刷するときは、給紙するトレイを選択し、［実行］を押します。

  選択したトレイに用紙がセットされていないときは、用紙が補充されるまで印刷しません。

- 即時、1 分、5 分、10 分、15 分

  設定した時間が経過すると、用紙がセットされているトレイを優先給紙トレイ→トレイ 1→トレイ 2→トレイ 3→トレイ 4 の順に探して強制印刷します。強制印刷できない機能を指定して印刷したときは、印刷を中止します。

  この設定は、エラーの発生したジョブから本機を解放するための機能です。サイズ、紙種の異なる用紙で代替するため、印刷結果は保証されません。

工場出荷時の設定：**しない**

### エラージョブ蓄積・追い越し

エラーで印刷が中止された文書を自動的に本機に蓄積します。エラーが発生したときに、そのまま次の文書の印刷を継続できます。通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書でこの機能を使用できます。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メ

ニューから指定できます。詳細については、P.192「文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

本機に蓄積された文書は、操作部を使用して印刷を再開できます。詳細は、P.199「エラーで蓄積された文書を印刷する」を参照してください。

指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細については、P.141「エラーで印刷が中止された文書を蓄積する」を参照してください。

- する

  本機がエラーを検知するページ数を 1～999 ページの範囲で指定できます。

  エラーを検知するページ数が 2 ページ以上のときは、1 ページ目の印刷速度が遅くなることがあります。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**画像エラー処理**

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部でデータを処理できないときのプリンターの動作を設定します。

- 印刷取消

  エラーが発生したページでジョブをキャンセルします。キャンセルされたページ以降は印刷されません。

- エラーシート印刷

  エラーが発生したページは、エラーが発生した箇所まで印刷されます。エラーが発生したページ以降は通常どおり印刷され、最後にエラーシートが印刷されます。ただしステープルおよび電子ソートの指示は解除されます。

工場出荷時の設定：**印刷取消**

**エラー表示設定**

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

- 簡易表示
- すべて表示

工場出荷時の設定：**すべて表示**

**PDL エラージョブ自動取消の確認画面**

使用するプリンター言語、オプション、セキュリティーなどの制約によって印刷エラーが発生したとき、印刷を中止して確認画面を表示するかしないかを設定します。

- 表示する
- 表示しない

工場出荷時の設定：**表示しない**

4

### エラー発生時のジョブ自動取消

印刷エラーが発生したときに、印刷エラーが発生したジョブと、エラーが発生する前に本機が受信していたジョブの印刷を中止するかしないかを設定します。この機能の設定については、P.141「エラーが発生した文書の印刷を自動的にキャンセルする」を参照してください。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

### ジョブ仕分け

ジョブ単位ごとに排紙位置を振り分けて交互に排紙するか選択します。複数のジョブを大量印刷したときに、自動的に仕分けることができます。フィニッシャーが装着されているときに有効な機能です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

### 180 度回転

用紙の向きに対して、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

### エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、使用するエミュレーションを決定します。R16、R55、RP-GL/GL2、RTIFF、PS3、PDF が対象です。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーション / プログラムで設定されているエミュレーションが対象です。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

［エミュレーション検知］を［する］に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信したときは、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。［する］のときの各エミュレーションの動作については、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

転送されたデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらないことがあります。

連続してデータを送信するとき、［エミュレーション検知］が機能しないことがあります。そのときはデータを送信する間隔をあけてください。

4

**圧縮データの解凍印刷**

圧縮データの解凍印刷をするかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**優先エミュレーション / プログラム**

主電源スイッチを「On」にしたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

- RPCS
- RPDL
- R98
- R16
- R55
- RPGL
- RTIFF
- PCL
- PCLXL
- PS3
- PDF
- BMLinkS
- プログラム 01〜16

工場出荷時の設定：**RPCS**

［プログラム 01］〜［プログラム 16］に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。プログラムは本機の操作部で設定した印刷条件を登録したものです。プログラム登録は MS-DOS または UNIX で印刷するときに使用します。

**優先メモリー**

優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択します。

- ユーザーメモリー

  外字やフォントなどのデータを登録するためにメモリーが優先的に使用されます。

- ページメモリー

  印刷の高速化のためにフレームメモリーとして使用されます。

工場出荷時の設定：**ページメモリー**

**印刷枚数**

PCL カード、またはマルチエミュレーションカードが装着されているときのメニュー項目です。印刷枚数を設定します。

プリンタードライバーで印刷部数を指定したときは、プリンタードライバーの設定が適用されます。

1〜999（1 枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**1 枚**

**スムージング**

文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにして印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

**トナーセーブ**

トナーを節約するかしないかを設定します。「する」に設定すると薄く印刷されます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**スプール印刷**

拡張 HDD が装着されているときのメニュー項目です。スプール印刷をするかどうかを設定します。スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、印刷する機能です。

［する］を選択すると、最初の印刷に時間がかかります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**主電源 Off 時の未処理文書**

本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書を印刷するかしないかを設定します。

- 電源 On で印刷する

  本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書がある場合は、自動ですべて印刷します。

- 電源 On で印刷しない

  本機の主電源スイッチを入れたときに、印刷指定時刻を過ぎた保留印刷文書がある場合は、印刷指定時刻が無効となり、［一時置き文書自動消去設定］の対象となります。

工場出荷時の設定：**電源 On で印刷しない**

**印刷をともなうジョブの制限**

印刷をともなう文書を送信したときに、印刷をしないで本機に強制的に自動蓄積するか印刷を取り消すかを設定します。本機に自動蓄積したときは、文書の種類にかかわらず操作部から印刷するので、文書の放置を防止できます。

印刷をともなう文書には、通常印刷文書、試し印刷文書、保存文書があります。それぞれプリンタードライバーの「印刷方法：」メニューから指定できます。詳細については、P.192「文書を蓄積して印刷する」を参照してください。

［自動蓄積］を選択したときは、指定した文書の種類によって蓄積の方法が異なります。詳細については、P.138「文書の放置を防止する」を参照してください。

- しない
- 自動蓄積

  文書を印刷しないで本機に強制的に自動蓄積します。
- 印刷取消

  文書の印刷を強制的に取り消します。

工場出荷時の設定：**しない**

**初期画面の切り替え**

ホーム画面から［プリンター］を押したときに表示される画面を設定します。

- ジョブ一覧画面

  ジョブの一覧を表示します。
- 文書印刷画面

  本機に蓄積されている文書とユーザー ID の一覧を表示します。

工場出荷時の設定：**ジョブ一覧画面**

**補助用紙サイズ**

A4 と Letter（$8^1/_2$ × 11）の切り替えをするかしないかを設定します。

- 自動
- 使用しない

工場出荷時の設定：**使用しない**

**レターヘッド紙使用設定**

レターヘッド紙印刷を使用するかどうかを設定します。レターヘッド紙印刷を使用すると、両面印刷のときに、奇数ページジョブの最終ページが両面印刷され、レターヘッド紙の表面に印刷されます。

- 使用しない

  レターヘッド紙印刷を使用しません。
- 使用する（自動判定）

レターヘッド紙が 1 ページ目に指定されたときに、レターヘッド紙印刷を使用します。

- 使用する（常時）

  常にレターヘッド紙印刷を使用します。

工場出荷時の設定：**使用する（自動判定）**

両面印刷禁止に設定してあるトレイから給紙したとき、両面印刷は解除されます。

印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったとき、ソートの 2 部目以降はすべて両面印刷になります。2 部目以降も片面で印刷するときは、両面印刷を禁止しているトレイから給紙してください。

レターヘッド紙を使用するときは用紙のセット方向に注意が必要です。詳細については、P.130「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。



**トレイ設定選択**

本機に印刷データを送信したときに、プリンタードライバーやコマンドの設定を優先させるか、操作部の設定を優先させるかトレイごとに指定できます。装着しているトレイだけを表示します。この機能の設定については、P.138「優先する用紙設定を選択する」を参照してください。

- 手差しトレイ用紙確認

  手差しトレイから給紙するときに、用紙のサイズ・種類・セット方向を操作部に表示するかしないかを設定します。[表示する] を選択すると、手差しトレイの印刷設定を確認してから印刷できます。

  - 表示する
  - 表示しない

  工場出荷時の設定：**表示しない**

- 手差しトレイ

  - ドライバー/コマンド優先

    トレイを指定して印刷するとき、本機に設定されている用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定を適用して印刷します。

  - 機器側設定優先

    本機に設定されている用紙設定で印刷します。プリンタードライバーやコマンドで指定した用紙設定と本機の用紙設定が一致しないときは、エラーになります。

  - 全紙種許可

    用紙種類の指定が不要なときに指定すると、用紙サイズだけ一致していれば、用紙種類にかかわらず印刷できます。この機能の設定については、P.139「用紙設定の不一致によるエラーを防止する」を参照してください。

工場出荷時の設定：ドライバー/コマンド優先

- トレイ 1〜4、大量給紙トレイ
    - ドライバー/コマンド優先
    - 機器側設定優先

    工場出荷時の設定：**機器側設定優先**

**トレイ設定コマンド優先時の紙厚設定**

レターヘッド紙、ラベル紙、封筒の用紙厚を指定します。

[トレイ設定選択] で、各給紙トレイの設定を [機器側設定優先] 以外に指定すると、[システム初期設定] の [用紙設定] で指定した用紙厚ではなく、ここで指定した用紙厚が適用されます。



プリンタードライバーまたはコマンドで、給紙トレイを指定し、用紙種類にレターヘッド紙、ラベル紙、封筒を指定して印刷すると、ここで指定した用紙厚が適用されます。

- レターヘッド：手差しトレイ、トレイ 1〜4、大量給紙トレイ

    項目は以下のとおりです。

    普通紙 60〜81g/m2、中厚口 82〜105g/m2、厚紙 1 106〜160g/m2

    工場出荷時の設定：**普通紙 60〜81g/m2**

- ラベル紙

    項目は以下のとおりです。

    厚紙 1 106〜160g/m2、厚紙 2 161〜216g/m2

    工場出荷時の設定：**厚紙 1 106〜160g/m2**

- 封筒

    項目は以下のとおりです。

    中厚口 82〜105g/m2、厚紙 1 106〜160g/m2、厚紙 2 161〜216g/m2

    工場出荷時の設定：**厚紙 1 106〜160g/m2**

**トレイ指定時動作切り替え**

PCL カード、またはマルチエミュレーションカードが装着されているときのメニュー項目です。プリンタードライバーから給紙トレイを指定して用紙サイズ・用紙種類を指示したときに、指定した給紙トレイに指示した条件の用紙がなかった場合、自動用紙選択をするかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**RAM ディスク**

拡張 HDD を装着していないときのみ表示されます。

PDF ダイレクトプリントをする場合で、拡張 HDD を装着していないときに指定します。2MB 以上の値を指定してください。

設定を変更したときは、いったん本機の電源を切り、あらためて電源を入れなおしてください。

- 0MB
- 2MB
- 4MB
- 8MB

工場出荷時の設定：**4MB**

**拡張リミットレス給紙**

自動用紙選択ではなく、給紙トレイ指定時でもリミットレス給紙をするように設定します。

- する

  ［する］を選択したときは、プリンタードライバーや印刷条件の「リミットレス給紙」の設定に関係なく、リミットレス給紙機能が有効になります。

- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**受信バッファ**

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB
- 256KB

工場出荷時の設定：**128KB**

**インターフェース切替時間**

パラレルインターフェース、または USB2.0 インターフェースで、データの送信が終了してから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えると、ほかのインターフェースからデータの受信ができるようになります。

- 10 秒
- 15 秒
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒

工場出荷時の設定：**15 秒**

設定時間が短すぎると、データの送信中にタイムアウトすることがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中

からエミュレーション検知が働いて、ほかのエミュレーションに切り替わったりします。

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## システム設定（EM）

［システム設定（EM）］は、エミュレーションでRPDL、R16、R55、R98、RPGLを選択しているときに表示されます。

**白紙排紙**

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- スペース

  排紙コマンドの前にスペースコード（20H、A0H、8140H）があるときは排紙します。それ以外のコードがあるときは排紙しません。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**しない**

**用紙なしエラー表示タイミング**

現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。［印刷実行時］に設定すると用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。［用紙なし時］に設定すると用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

- 印刷実行時

  用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。

- 用紙なし時

  用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

工場出荷時の設定：**印刷実行時**

**自動排紙時間**

一定時間、パソコンからデータが送信されてこないとき、本機に蓄積されたデータを強制的に印刷するかしないかを設定します。

たとえば、改ページコードがなく［強制排紙］を押さないと印刷できないようなデータが自動的に印刷されるように設定できます。自動的に印刷するときは、データが送信されてこない場合に印刷を開始するまでの時間を設定します。

たとえば［10 秒］に設定すると、10 秒間データが送信されてこないときに、強制的に印刷します。設定時間が経過すると自動的に排紙されるので、同一ページ内のデータであっても、設定時間を超えて送信されてきたデータは、次のページに印刷されます。

- 自動排紙しない
- 10 秒、15 秒、20 秒、25 秒、60 秒、300 秒

工場出荷時の設定：**自動排紙しない**

**マクロキャッシュ**

マクロキャッシュの値は、RPDL を選択しているときに有効になります。

フォームオーバーレイ印刷するためのフォームデータをキャッシュするために使用するメモリー容量を設定します。ここで設定した容量によって、キャッシュできるフォーム数が変わります。

- マクロなし
- マクロ 2.1MB
- マクロ 4.3MB
- マクロ 8.4MB

工場出荷時の設定：**マクロなし**

印刷データを展開するためのメモリーが確保できなくなるような設定はできません。メモリーが十分でないとき、設定が無効になることがあります。

**水平補正初期値**

印刷時の給紙方向に対し、垂直方向の長さの補正値を 99.00～101.00%の間で設定できます。エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

ここで設定した値が RP-GL/GL2 の印刷条件「21.水平補正」の初期値となります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『エミュレーション』「RPGL エミュレーション」を参照してください。

工場出荷時の設定：100.00%

**垂直補正初期値**

印刷時の給紙方向に対し、水平方向の長さの補正値を 99.00～101.00%の間で設定できます。エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときに設定できます。

ここで設定した値が RP-GL/GL2 の印刷条件「22.垂直補正」の初期値となります。すでに登録したプログラムには反映されません。詳細については、『エミュレーション』「RPGL エミュレーション」を参照してください。

工場出荷時の設定：100.00%

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## PCL 設定

［PCL 設定］は、エミュレーションで PCL または PCLXL を選択しているときに表示されます。PCL カードが必要です。

**用紙サイズ**

用紙サイズを設定します。

- 設定できる用紙サイズ

  A3、B4、A4、B5、A5、B6、A6、12×18、11×17、$8^{1}/_{2}$×14、$8^{1}/_{2}$×11、$8^{1}/_{4}$×14、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$、8×13、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$、往復ハガキ、郵便ハガキ、角形 2 号、長形 3 号、長形 4 号、洋形 2 号、洋形 4 号、洋長 3 号、不定形

工場出荷時の設定：A4

**最大領域印刷**

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**両面印刷**

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

**印刷方向**

用紙の印刷方向を設定します。

- タテ
- ヨコ

工場出荷時の設定：**タテ**

**行数**

1 ページあたりの行数を設定します。

行数は 5～128（1 行単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：64

**フォントソース**

使用するフォントが記録されている場所を設定します。

本機にフォントをダウンロードしているときだけ、[RAM]、[HDD] が選択できます。

- 内蔵メモリー
- RAM
- HDD
- SD フォント ダウンロード

工場出荷時の設定：**内蔵メモリー**

**フォント番号**

使用するフォント番号を設定します。

- [フォントソース] で [内蔵メモリー] を選択しているとき

  フォント番号は 0〜63 の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時の設定：**0**

- [フォントソース] で [RAM]、[HDD] のいずれかを選択しているとき

  フォント番号は、機器に設定されているフォントの数まで設定できます。

  工場出荷時の設定：**1**

**ポイントサイズ**

使用するフォントのポイントサイズを設定します。

ポイントサイズは 4.00〜999.75（0.25 ポイント単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**12.00**

**フォントピッチ**

使用するフォントのピッチを設定します。

フォントピッチは 0.44〜99.99（0.01 ピッチ単位）の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：**10.00**

**シンボルセット**

使用するシンボルセットを設定します。

- 設定できるシンボルセット

  Roman-8、Roman-9、ISO L1、ISO L2、ISO L5、ISO L6、ISO L9、PC-775、PC-8、PC-8 D/N、PC-850、PC-852、PC-858、PC8-TK、PC-1004、Win L1、Win L2、Win L5、Win Baltic、Desktop、PS Text、MS Publ、Math-8、PS Math、Pifont、Legal、ISO 4、ISO 6、ISO 11、ISO 15、ISO 17、ISO 21、ISO 60、ISO 69、Win 3.0、MC Text、UCS-2、PC-864、Arabic-8、Win Arabic、PC-866、PC-866U、ISO Cyrillic、Win Cyrillic、PC-851、Greek-8、ISO Greek、PC-8 Greek、Win Greek、PC-862、Hebrew-7、Hebrew-8、ISO Hebrew

工場出荷時の設定：**PC-8**

**クーリエフォント**

クーリエフォントの種類を設定します。

- レギュラー
- ダーク

工場出荷時の設定：**レギュラー**

**A4 サイズ最大幅印刷**

A4 サイズの用紙に印刷するときに、用紙幅最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**LF 設定**

CR（復帰）、LF（改行）、FF（改ページ）コードを受信したときの本機の動作を設定します。

- LF=CR+LF
- LF=LF

工場出荷時の設定：**LF=LF**

「LF=CR+LF」に設定したときは次の動作をします。

- CR

  そのまま（CR=CR）処理します。

- LF

  改行コードを変換（LF=CR+LF）して処理します。

- FF

  改ページコードを変換（FF=CR+FF）して処理します。

  ［LF=LF］に設定したときは、CR=CR、LF=LF、FF=FF として処理します。

**解像度**

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：**600dpi**

**白紙排紙**

白紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。



## PS 設定

［PS 設定］は、エミュレーションで PS3 を選択しているときに表示されます。PS3 カードが必要です。

**ジョブタイムアウト**

ジョブが中断したときに、現在のジョブを中止するまでの本機の待機時間を設定します（秒単位）。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーまたはコマンドによるジョブタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

  本機の操作部によるジョブタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

  ［機器側設定優先］を選択したときは、0〜999 秒の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時は「0」に設定されています。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

**ウェイトタイムアウト**

本機がジョブ終了を検知できないときに、ジョブ受信を中止するまでの本機の待機時間を設定します。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーまたはコマンドによるウェイトタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

  本機の操作部によるウェイトタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

［機器側設定優先］を選択したときは、0〜999 秒の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時は「300」に設定されています。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

**用紙選択方式**

PostScript の DeferredMediaSelection の初期値を指定し、給紙トレイ選択方法を設定します。

- 自動選択

  DeferredMediaSelection の初期値を true にします。ジョブで指定した用紙設定と一致する給紙トレイが選択されます。

- 給紙トレイから選択

  DeferredMediaSelection の初期値を false にします。PostScript Language Reference の媒体選択にしたがって給紙トレイが選択されます。

工場出荷時の設定：**給紙トレイから選択**

**両面印刷**

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：しない

**両面印刷ページ切り替えコマンド**

PS コマンドで両面印刷するとき、setpagedevice コマンドのあとのページをどちらの面に印刷するかを指定します。

- 無効

  両面印刷を解除しないで、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の裏面に印刷します。

- 有効

  両面印刷を解除し、setpagedevice コマンドのあとのページを用紙の表面に印刷します。

工場出荷時の設定：**有効**

**白紙排紙**

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態のときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

白紙でも排紙します。

- しない

白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

**データ形式**

データ形式を設定します。

- バイナリーデータ
- TBCP

工場出荷時の設定：**バイナリーデータ**

この設定は、パラレル、AppleTalk 接続以外のときに有効です。

パラレル接続で、プリンタードライバーからバイナリーデータを送ると印刷ジョブがキャンセルされます。

イーサネット接続で以下の条件のときに、印刷ジョブがキャンセルされます。

- バイナリーデータを設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式が TBCP のとき
- TBCP を設定時に、プリンタードライバーから送られてきたデータの形式がバイナリーデータのとき

**解像度**

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：**600dpi**

**最大領域印刷**

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**印刷方向自動検知**

印刷データの向きを自動検知するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**

補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## PDF 設定

［PDF 設定］は、エミュレーションで PDF を選択しているときに表示されます。

**PDF パスワード変更**

印刷する PDF ファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

**PDF グループパスワード**

この機能は本機では使用できません。

**両面印刷**

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- しない
- 長辺
- 短辺

工場出荷時の設定：**しない**

**白紙排紙**

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態であるときに、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

  白紙でも排紙します。

- しない

  白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：**する**

**最終ページから印刷**

最終ページから印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**解像度**

解像度を設定します。

- 300dpi

- 600dpi

工場出荷時の設定：**600dpi**

**最大領域印刷**

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**印刷方向自動検知**

印刷データの向きを自動検知するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**する**



補足

- ［プリンター初期設定］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## 不正コピー抑止

［不正コピー抑止］は、エミュレーションで PCL、PCLXL または PS3 を選択しているときに表示されます。PCL カードまたは PS3 カードが必要です。

**不正コピー抑止設定**

本体側で不正コピー抑止を設定するかどうかを指定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：**しない**

**優先する設定：ドライバー/コマンド/機器側**

優先する不正コピー抑止の設定を指定します。

- ドライバー/コマンド優先

  プリンタードライバーやコマンドの設定で印刷します。

- ドライバー/コマンド優先：部分

  地紋の種類、濃度を本体側の設定で印刷します。それ以外はプリンタードライバーやコマンドの設定で印刷します。

- 機器側設定優先

  プリンタードライバーの設定にかかわらず、本体側の設定で印刷します。

工場出荷時の設定：**ドライバー/コマンド優先**

**不正コピー抑止の種類**

使用する不正コピー抑止の種類を指定します。

- 不正コピーガード

  印刷した文書をオプションの不正コピーガードモジュールが搭載された複写機または複合機でコピーまたはスキャンすると、画像を抹消しグレー地にします。

- 不正コピー抑止地紋

  不正コピー抑止の文字列地紋や背景地紋を付けて印刷します。印刷した文書をコピーまたはスキャンすると、地紋効果で文字列が浮き出るため、容易な不正コピーを抑止できます。

工場出荷時の設定：**不正コピー抑止地紋**



**地紋マスクパターン/濃度/効果**

使用する背景地紋のパターン、濃度および効果を設定します。

- 地紋マスクパターン

  背景地紋を付けて印刷します。使用する地紋パターンを設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

  なし、青海波（セイガイハ）、網目（アミメ）、格子 1（コウシ 1）、格子 2（コウシ 2）、七宝（シッポウ）、蜀江（ショッコウ）、松皮菱（マツカワビシ）、鱗（ウロコ）、檜垣（ヒガキ）、亀甲（キッコウ）

  工場出荷時の設定：**なし**

- 地紋の濃度

  背景地紋の濃度を設定します。

  工場出荷時の設定：3

- 不正コピーガードの効果

  印刷時、コピー時の不正コピーガードの効果を設定します。

  - 文字列と背景
  - 背景のみ

  工場出荷時の設定：**文字列と背景**

- 不正コピー抑止地紋の効果

  印刷時、コピー時の不正コピー抑止地紋の効果を設定します。

  - 文字列と背景
  - 文字列地紋・背景地紋入れ替え
  - 背景のみ
  - 文字列のみ

  工場出荷時の設定：**文字列と背景**

**抑止文字列設定**

使用する文字列の行間、位置などを設定します。

- 文字列選択

  印刷した文書に埋め込まれる抑止文字列のパターンを設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

  指定しない、複写禁止、コピー禁止、禁複写、NO COPY！、これはコピーです、複写無効、COPY につき無効です、極秘、社外秘、CONFIDENTIAL、マル秘、PC ログインユーザー名、ファイル名、日付と時刻、PC ログインユーザー名+ファイル名、PC ログインユーザー名+日時、ファイル名+日時、PC ログイン名+ファイル名+日時、任意文字列 1、任意文字列 2

  工場出荷時の設定：**複写禁止**

- 任意文字列の登録／変更

  任意の抑止文字列を登録します。登録した抑止文字列は［文字列選択］から選択できます。

- 文字列のフォント（PCL）

  PCL 用の抑止文字列で使用するフォントの種類を設定します。エミュレーションの［PCL］または［PCLXL］を選択したときに、設定できます。

  工場出荷時の設定：**Arial**

- 文字列のフォント（PS）

  PostScript 3 用の抑止文字列で使用するフォントの種類を設定します。エミュレーションの［PS3］を選択したときに、設定できます。

  工場出荷時の設定：**ゴシック**

- ポイントサイズ

  抑止文字列のフォントの大きさを 50〜300 ポイントの範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時の設定：**70 ポイント**

- 文字列の行間隔

  文字列の行間隔を 50〜300 ポイントの範囲でテンキーで入力します。［文字列を繰り返し印字］が［しない］以外に設定されているときに表示されます。

  工場出荷時の設定：**70 ポイント**

- 文字列の角度

  文字列の回転する角度を設定します。数字を大きくすると、文字列の中央を基点に反時計回りに回転します。角度は 0〜359 度の範囲でテンキーで入力します。

  工場出荷時の設定：**30 度**

- 文字列の位置

文字列を挿入する位置を設定します。[文字列の角度]が0度に設定されているとき、[文字列を繰り返し印字]が[しない]に設定されている場合に表示されます。設定できる項目は以下のとおりです。

左上、中央上、右上、中央、左下、中央下、右下

工場出荷時の設定：**中央**

- 文字列を繰り返し印字

  ページの左上を基点に文字列を縦横に並べて繰り返し印刷します。

  - する
  - する：改行時180度回転
  - しない

  工場出荷時の設定：**しない**

4

補足

- [プリンター初期設定]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。
- 不正コピー抑止は、Web Image Monitorでも設定できます。Web Image Monitorでの設定については、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

## 拡張機能初期設定

拡張機能のインストールやアンインストール、各種設定ができます。詳細については、『VMカード JavaTM Platform 拡張機能初期設定』を参照してください。

補足

- [拡張機能初期設定]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## アドレス帳管理

[システム初期設定]の[管理者用設定]にある[アドレス帳登録／変更／消去]の設定ができます。詳細については、P.301「管理者用設定」を参照してください。

補足

- [アドレス帳管理]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## 用紙設定

[システム初期設定]にある[用紙設定]の設定ができます。詳細については、P.286「用紙設定」を参照してください。

補足

- [用紙設定]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## ホーム編集

よく使用するプログラムや Web ページへのショートカットをホーム画面に登録できます。詳細については、P.94「ホーム画面をカスタマイズする」を参照してください。

補足

- [ホーム編集]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## リモートサービス

@Remote サービスの通信画面を表示します。詳細については、P.437「リモート管理サービスを利用する」を参照してください。

補足

- [リモートサービス]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## 表示言語切り替えキー

キーを押すと、操作部の表示言語の切り替えができます。詳細については、P.86「表示言語を切り替える」を参照してください。

[システム初期設定]の[管理者用設定]にある[切り替え言語選択]で表示言語を登録します。表示言語の登録については、P.301「管理者用設定」を参照してください。

補足

- [表示言語切り替え]への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## 問い合わせ情報

本機の修理依頼、トナーの発注などの連絡先を確認できます。詳細については、P.441「初期設定から問い合わせ情報を確認する」を参照してください。

補足

- ［問い合わせ情報］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## 調整/管理：印刷

4

### サプライ交換通知時期設定

ドラムユニットの交換時期をアラームインジケーターの点灯で知らせるタイミングを設定します。

- ドラムユニット
  - 早めに通知
  - 通常
  - 遅めに通知

  工場出荷時の設定：**通常**

### サプライエンド時動作

ドラムユニットのサプライエンド時に印刷を継続するかしないかを選択します。

- 印刷継続
- 印刷停止

工場出荷時の設定：**印刷継続**

補足

- ［調整/管理：印刷］への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

## 調整/管理：画像

### 濃度調整

印刷面にかすれや汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。-3 から 3 の範囲で設定できますが、できるだけ工場出荷時の設定で使用してください。詳細については、P.353「印刷濃度が異なるとき」を参照してください。

### 印刷位置調整

トレイごとの印刷位置をあわせるために印刷位置を調整することができます。通常は設定する必要はありませんが、オプションの給紙トレイを取り付けたときに調整します。詳細については、P.354「印刷位置がおかしいとき」を参照してください。

- 調整シート印刷

  調整シートを印刷します。本機にセットされているトレイだけ表示されます。

  - 給紙トレイ 1～4
  - 大量給紙トレイ
  - 手差しトレイ
  - 両面ユニット

- 調整値設定

  トレイごとの印刷位置を調整します。本機にセットされているトレイだけ表示されます。

  - タテ：トレイ 1～4
  - タテ：大量給紙トレイ
  - タテ：手差しトレイ
  - タテ：両面時裏面
  - ヨコ：全てのトレイ
  - ヨコ：手差しトレイ
  - ヨコ：両面時裏面

補足

- [調整/管理：画像] への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

# 5. こまったときには

困ったときの対処方法について説明します。

## よくあるご質問 -FAQ-

リコーではお客様からいただくよくあるご質問（FAQ）をホームページで公開しております。

お客様からよく寄せられるご質問をご覧いただけます。

ホームページの URL は次のようになります。

http://www.ricoh.co.jp/support/qa/

検索方法は以下の 2 種類があります。

**自然文検索**

空欄に質問文を入力し、検索ボタンを押してください。FAQ データベースから、該当する回答の候補を検索できます。

**製品別検索**

お客様からよく寄せられるご質問を、お使いの機器から選んで検索できます。

# マークが表示されたとき

紙づまりや用紙補給など、お客様による操作が必要となったときに操作部に表示されるマークについて説明します。

| マーク | 状態 |
| --- | --- |
| ：用紙づまり表示 | 用紙がつまったときに表示されます。<br>紙づまりを取り除く方法は、P.386「用紙がつまったとき」を参照してください。 |
| ：用紙補給表示 | 用紙がなくなったときに表示されます。<br>用紙の補給方法は、P.119「用紙をセットする」を参照してください。 |
| ：トナー補給表示 | トナーがなくなったときに表示されます。<br>トナーの補給方法は、P.398「トナーを補給する」を参照してください。 |
| ：ステープル補給表示 | ステープラーの針がなくなったときに表示されます。<br>ステープラーの針の補給方法は、P.401「ステープラーの針を補充する」を参照してください。 |
| ：パンチくず満杯表示 | パンチくずが満杯になったときに表示されます。<br>パンチくずを取り除く方法は、P.393「パンチくずがいっぱいになったとき」を参照してください。 |
| ：サービスコール表示 | 機械が故障したり、修理が必要なときに表示されます。<br>P.437「お問い合わせ」を参照してください。 |
| ：カバーオープン表示 | 本機の前カバー、両面ユニットなどが開いているときに表示されます。 |

# ブザー音が鳴ったとき

本機は、機器の状況をブザー音でお知らせします。

| ブザー音のパターン | 意味 | 状態 |
| --- | --- | --- |
| “ピッ” | 入力完了音 | 操作部や画面のキーを押したことをお知らせします。 |
| “ピッピー” | 入力無効音 | 無効なキーが押されたときやパスワード入力などを間違えたときにこの音が鳴ります。 |
| “ピーピー” | 準備完了音 | スリープモードを解除したときや電源を入れたときに、印刷できる状態になったことをお知らせします。 |
| “ピーピーピーピーピー”<br>“ピーピーピーピーピー”<br>“ピーピーピーピーピー”<br>“ピーピーピーピーピー” | 弱注意音<br>（同じパターンを 4 回繰り返します） | 用紙切れのときなどにこの音が鳴ります。 |
| “ピッピッピッピッピ”<br>“ピッピッピッピッピ”<br>“ピッピッピッピッピ”<br>“ピッピッピッピッピ”<br>“ピッピッピッピッピ” | 強注意音<br>（同じパターンを 5 回繰り返します） | 紙づまり、トナー補給や何らかの異常により、お客様による対処が必要となったときにこの音が鳴ります。 |

補足

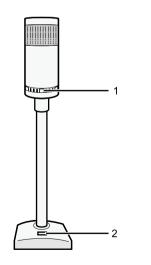
- 鳴動中のブザー音を止めることはできません。このため紙づまりやトナー補給のときに、前カバーなどの開閉を続けて行うと、本機が正常な状態に戻っていてもブザー音が鳴り続けることがあります。
- ブザー音を鳴らすか鳴らさないかの設定については、P.284「基本設定」を参照してください。

5

# オペレーターコールライトが点灯／点滅したとき

オプションのオペレーターコールライトは、紙づまりや用紙の補給など、印刷中のエラー状態をブザー音とランプの点灯／点滅でお知らせします。それぞれのコールサインについて説明します。

| ランプの状態 | ブザー音の鳴動 | 状態 |
|---|---|---|
| 緑点灯 | 鳴りません | 印刷中 |
| 赤点灯 | 鳴ります | エラー発生中<br>（例）<br>• 用紙づまり<br>• 用紙切れ<br>• トナー切れ<br>• メモリーオーバー<br>操作部の画面に表示されているメッセージを確認し、対応してください。 |
| 赤点滅 | 鳴りません | 警告中<br>（例）<br>• トナー残りわずか<br>操作部の画面に表示にされているメッセージを確認し、対応してください。 |

### オペレーターコールライトの操作

1. **調整レバー**

   音量を調整することができます。

**2. ブザースイッチ**

ブザー音の On/Off を切り換えることができます。

補足

- オペレーターコールライトの設置については、サービス実施店に連絡してください。

# 本機の状態や設定内容を確認する

[状態確認] キーから本機の状態や設定内容を確認できます。確認できる項目は以下のとおりです。

### 保守／補給

保守／補給では次の項目が確認できます。

- トナー残量

  トナーの残量がわかります。

- ステープルなし

  ステープルの針がなくなったかどうかがわかります。

- パンチくず満杯

  パンチくずが満杯かどうかがわかります。

- 給紙トレイ

  給紙トレイにセットされている用紙の種類とサイズなどがわかります。

- 排紙トレイ満杯

  排紙トレイに用紙が満杯になったかどうかがわかります。

- 用紙づまり

  用紙の紙づまり状態と対処方法がわかります。

- カバーオープン

  前カバー、両面ユニットなどが開いているかどうかがわかります。

### メモリー／文書数

メモリー／文書数では次の項目が確認できます。

- HDD メモリー残量

  ハードディスクのメモリー残量がわかります。

- HDD 内文書数

  ハードディスク内に蓄積されている総文書数がわかります。

- プリンター文書

  ハードディスク内に蓄積されている保留印刷文書／保存文書／機密印刷文書／試し印刷文書数がわかります。

### 機器アドレス

機器アドレスでは次の項目が確認できます。

- 本体 IPv4 アドレス

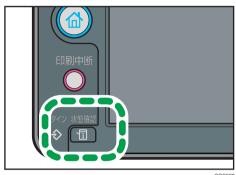
  本機の IPv4 アドレスがわかります。

- 本体 IPv6 アドレス

本機の IPv6 アドレスがわかります。

「手動設定アドレス」には手動で設定した IPv6 アドレスが表示されます。

本機の状態や設定内容の確認方法を説明します。

1. ［状態確認］キーを押します。

2. ［保守／機器］タブを押します。
3. 各キーを押して、内容を確認します。
4. 確認後、［閉じる］を押します。

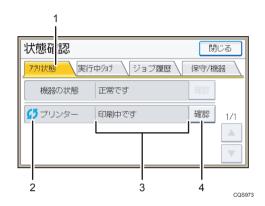
補足

- 異常がないときは、［保守／補給］に［ステープルなし］、［パンチくず満杯］、［排紙トレイ満杯］、［用紙づまり］、［カバーオープン］の項目は表示されません。
- セキュリティーの設定によっては［機器アドレス］の項目が表示されないことがあります。
- 紙づまりの確認方法や紙づまりの取り除きかたは、P.386「用紙がつまったとき」を参照してください。

5

# ［状態確認］キーのランプが点灯したとき

［状態確認］キーのランプが点灯しているときは、［状態確認］キーを押して［状態確認］画面を表示します。［状態確認］画面で機器の状態を確認してください。

**［状態確認］画面**

1. **［アプリ状態］タブ**

    機器の状態を表示します。

2. **状態確認アイコン**

    表示されるアイコンが示す状態は次のとおりです。

    ：ジョブを実行中です。

    ：機器でエラーが発生しています。

    ：プリンター機能でエラーが発生しています。または機器でエラーが発生しているため、プリンター機能を使用できません。

3. **メッセージ**

    状態のメッセージを表示します。

4. **［確認］**

    エラーが発生しているときは、［確認］を押して詳細を確認します。［確認］を押すとエラーメッセージまたは画面が表示されます。表示されるエラーメッセージを確認して、P.357「メッセージが表示されたとき」の対処方法を参照してください。

ランプが点灯するおもな原因は次のとおりです。

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 文書やレポートなどを印刷できない。 | 印刷中に用紙がなくなりました。 | 用紙を補給してください。用紙の補給方法は、P.119「用紙をセットする」を参照してください。 |
| 文書やレポートなどを印刷できない。 | 排紙先のトレイが用紙でいっぱいになっています。 | トレイから用紙を取り除いてください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| エラーが発生した。 | [状態確認] 画面で「エラーが発生しました」と表示されている機能で問題が発生しています。 | [確認] を押してください。そのあと画面に表示されるメッセージを確認して対処してください。詳しくは、P.357「メッセージが表示されたとき」の対処方法を参照してください。 |
| ネットワークに接続できない。 | 何らかの理由で、ネットワークに接続できなくなりました。 | • [確認] を押してください。そのあと画面に表示されるメッセージを確認して対処してください。詳しくは、P.357「メッセージが表示されたとき」の対処方法を参照してください。<br>• ネットワークに正しく接続されているか、また本機の設定が正しいか確認してください。接続方法については、P.290「インターフェース設定」を参照してください。<br>• ネットワークの接続については、管理者に確認してください。<br>• 上記の対処をしても [状態確認] キーのランプが消灯しないときは、サービス実施店に連絡してください。 |

# 本機の操作ができないとき

メッセージはおもなものについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

重要

- **サービスコール（🔧）のメッセージには、連絡先と機械番号が表示されるので、確認のうえ、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄のときは、販売店に連絡してください。**

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 電源が入らない。 | 主電源スイッチが「Stand by」になっています。 | 主電源スイッチを「On」にしてください。 |
| ［省エネ］キーを押しても、点灯したままでスリープモードにならない。 | 次のときは、［省エネ］キーを押しても、スリープモードになりません。<br>• 外部の機器と通信中のとき<br>• ハードディスクが動作しているとき | 外部の機器から本機への操作が行われていないことを確認してから、［省エネ］キーを押してください。 |
| 画面の表示が消えている。 | スリープモードになっています。 | ［省エネ］キーまたは［状態確認］キーを押してスリープモードを解除してください。 |
| 画面に「Please wait.」と表示されている。 | ［省エネ］キーを押して通常モードに戻るときに表示されます。 | 5 分以上たっても本機が立ち上がらなかったときは、サービス実施店に連絡してください。 |
| 画面に「おまちください」と表示されている。 | 本機が動作準備をしています。 | • メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。<br>• 5 分以上たっても本機が立ち上がらなかったときは、サービス実施店に連絡してください。 |
| 画面に「しばらくおまちください。」と表示されている。 | トナーを補給したときなどに表示されます。 | • メッセージが消えるまでお待ちください。また、メッセージが表示されている間は、主電源スイッチを「Stand by」にしないでください。<br>• 5 分以上たっても「しばらくおまちください。」の表示が消えなかったときは、サービス実施店に連絡してください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 画面に「Turn main Power Switch off」と表示されている。 | 主電源スイッチを「Stand by」にした直後に「On」にすると、正常な終了処理がされません。 | 主電源スイッチを「Stand by」にし、電源が切れたのを確認して 10 秒以上待ってから「On」にしてください。 |
| 画面に「シャットダウン処理中です。しばらくおまちください。処理後、自動的に電源が切れます。最大待ち時間：XX 分」と表示されている。 | 本機の起動中または待機中に主電源スイッチが「Stand by」にされたため、シャットダウン処理を行っています。 | 表示中のメッセージにしたがって、電源が切れるまでそのままお待ちください。メッセージの表示中は主電源スイッチを「On」にしないでください。万が一主電源スイッチを「On」にしたときは、画面に表示されたメッセージにしたがってください。正しい電源の入れかた、切りかたについては、P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。 |
| 自動的に主電源が Stand by になる。 | [明るさ検知オフ設定] 有効時に室内の暗さを検知しました。 | [明るさ検知オフ設定] を変更してください。設定の詳細は P.301「管理者用設定」を参照してください。 |
| 画面に「調整中です。」と表示されている。 | 画像安定化の処理をしています。 | そのままでお待ちください。<br>機械動作中に画像安定化の処理をすることがあります。処理時間や間隔は、印刷枚数、用紙種類・サイズおよび温湿度条件などによって異なります。 |
| ユーザーコード入力画面が表示されている。 | ユーザーコード認証が設定されています。 | ユーザーコード認証のログイン方法は、P.101「本機にログインする」を参照してください。 |
| 画面に「この機能を利用する権限はありません。」と表示されたまま画面が切り替わらない。 | ログインしたユーザーにその機能を使用する権限が設定されていません。 | 権限の設定方法については、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |
| ログイン画面が表示されている。 | ベーシック認証、Windows 認証、LDAP 認証、統合サーバー認証のいずれかが設定されています。 | [ログイン] を押し、個人ごとに設定されたログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。<br>ログインについて詳しくは、P.101「本機にログインする」を参照してください。 |
| 画面に「認証に失敗しました。」と表示されている。 | ログインユーザー名またはログインパスワードが間違っています。 | ログインユーザー名またはログインパスワードを確認してください。ログインユーザー名やログインパスワードについては『セキュリティーガイド』を参照してください。 |
| 画面に「認証に失敗しました。」と表示されている。 | 本機が認証できない状況になっています。 | 認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 給紙トレイにつまった用紙を取り除いたが、操作部のエラーメッセージが消えない。 | まだ取り除かれていない用紙があります。 | つまった用紙を取り除いたあと、前カバーの開閉を行ってください。紙づまりの取り除きかたは、P.386「用紙がつまったとき」を参照してください。 |
| 用紙の裏面に印刷された。 | セットされている用紙の表と裏が逆になっています。 | 給紙トレイ、1000 枚給紙テーブル、または 2000 枚給紙テーブルに用紙をセットするときは、印刷する面を上にセットしてください。大量給紙トレイ（LCT）または手差しトレイに用紙をセットするときは、印刷する面を下にセットしてください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | 給紙トレイのサイドフェンス、エンドフェンスが正しくセットされていません。 | • 用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.386「用紙がつまったとき」を参照してください。<br>• サイドフェンス、エンドフェンスが正しくセットされているか確認してください。また、サイドフェンスがロックされているかどうかも確認してください。サイドフェンス、エンドフェンスのセット方法は、P.119「用紙をセットする」を参照してください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | 給紙トレイのサイズ設定と用紙のサイズが異なっています。 | • 用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.386「用紙がつまったとき」を参照してください。<br>• 自動検知されないサイズの用紙をセットしているときは、操作部で用紙サイズを設定してください。設定項目については、P.225「自動検知されない用紙サイズを設定する」を参照してください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | フィニッシャーのトレイに物を置いています。 | • 用紙を取り除いてください。紙づまりの取り除きかたは、P.386「用紙がつまったとき」を参照してください。<br>• フィニッシャーのトレイの上に物を置かないでください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 両面印刷できない。 | 使用しているトレイが「用紙設定」で両面印刷の対象外に設定されています。 | 「システム初期設定」で使用するトレイの「両面印刷の対象」の設定を変更してください。設定項目については、P.286「用紙設定」を参照してください。 |
| 両面印刷できない。 | 両面印刷に対応していない用紙種類に設定されているときは、両面印刷できません。 | 「システム初期設定」で使用するトレイの「用紙種類設定」の設定を両面印刷に対応する用紙に変更してください。設定項目については、P.286「用紙設定」を参照してください。 |
| 画面に「下記の排紙先が満杯になりました。用紙を取り除いてください。」と表示されている。 | 排紙先のトレイが満杯です。 | 排紙トレイから用紙を取り除いてください。排紙先がフィニッシャー・シフトトレイのときは、トレイ上の用紙が落下するのを防止するため、[印刷中断]キーを押して印刷を中断してからすべての用紙を取り除いてください。印刷を再開するときは、画面に表示されている［印刷継続］を押します。 |
| 操作部または Web Image Monitor からアドレス帳を変更したときにエラーになる。 | 複数の蓄積文書の消去中は、アドレス帳の変更ができません。 | しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。 |
| 消耗品の自動発注に失敗しました。 | 消耗品の自動発注に失敗しました。 | サービス実施店に連絡してください。 |
| 画面に「他の機能でホームを使用中です。」と表示される。 | 他の機能でホーム画面を編集中です。 | しばらく待ってから、もう一度ホーム画面にショートカットを登録してください。 |
| 画面に「ホーム画像用データのサイズが正しくありません。」と表示される。 | ショートカットの画像として登録できないファイルサイズの画像を指定しました。 | ショートカットの画像として登録できるファイルについては P.98「ホーム画面に画像を表示する」を参照してください。 |
| 画面に「ホーム画像用データの形式が正しくありません。」と表示される。 | ショートカットの画像として登録できない形式の画像を指定しました。 | ショートカットの画像として登録するファイル形式は、JPEG ファイルを指定してください。画像を指定し直してください。 |

補足

- カールした用紙を使用すると、紙づまりや用紙縁の汚れ、ステープル／スタック時の位置ずれなどが発生することがあります。カールした用紙を使用するときは、用紙をぱらぱらとほぐしてカールを直し、裏返してセットしてください。また、用紙がカールしないよう、立てかけずに平らなところに置いて保管してください。

5

- 用紙の種類、用紙の状態、用紙のセット枚数などによっては、思いどおりの画像にならないときがあります。適切な用紙を使用してください。適切な用紙について詳しくは、P.419「用紙の仕様」を参照してください。

# 印刷濃度が異なるとき

本体を移動したときや厚紙を印刷したとき、または通常の印刷を繰り返しているうちに、印刷面にかすれや汚れがでる場合があります。思いどおりの濃さに印刷するために、印刷濃度を調整してください。

1. ［調整／管理：画像］画面で［濃度調整］を押します。

   ［調整／管理：画像］画面への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

   ［▼］を押すと、画面の切り替えができます。

2. ［濃度調整］を押します。
3. ［うすく］、［こく］で濃度を調整し、［設定］を押します。
4. ［初期設定］キーを押します。

# 印刷位置がおかしいとき

通常は特に設定する必要はありませんが、印刷の位置がずれたときに調整します。

対象となる調整項目は以下の通りです。

- トレイ 1～4、大量給紙トレイ（LCT）、手差しトレイの縦、横方向
- 両面印刷時の裏面の縦、横方向

**1. ［調整／管理：画像］画面で［印刷位置調整］を押します。**

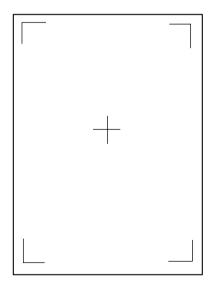
［調整／管理：画像］画面への入りかたについては、P.111「本機の初期設定画面を開く」を参照してください。

▼を押すと、画面の切り替えができます。

**2. 印刷位置を調整するための目安とする調整シートを印刷します。［調整シート印刷］を押します。**



**3. 調整するトレイを選択します。**

**4. 印刷した調整シートで、実際の印刷位置を確認します。**

現在の印刷位置が確認できます。

**5. ［閉じる］を押します。**

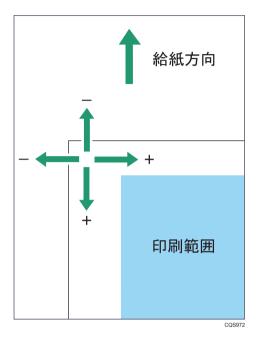
**6. ［調整値設定］を押します。**

**7. 目的のトレイと調整方向を選択します。**

トレイ 1～4、大量給紙トレイ（LCT）の横方向は、個別に調整できません。

**8. テンキーを押して、数値（単位 mm）を現在の設定から変更します。**

–方向に設定するには、［+/-］を押して切り替えます。

数値を大きくすると、印刷範囲を+方向にずらして印刷します。数値を小さくすると、印刷範囲を–方向にずらして印刷します。

**9. ［OK］を押します。**

**10. ［閉じる］を押します。**

**11. 調整シートを印刷して、調整した結果を確認します。**

**12. ［初期設定］キーを押します。**

# USB 接続がうまくいかないとき

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 本機が自動認識されない。 | USB ケーブルの接続に問題があります。 | パソコン側の USB ケーブルを抜き、本機の主電源スイッチを「Stand by」にしたあとに「On」にします。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを接続してください。 |
| Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。 | 不正なデバイスとして認識していないか、確認してください。 | Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の「！」または、黄色の「？」が表示されます。必要なデバイスを削除しないように注意してください。 |
| USB ケーブルを挿しても本機が認識しない。 | 本機の電源が切れているときは、USB ケーブルを接続しても本機が認識しないことがあります。 | [省エネ] キーを押してから USB ケーブルを抜き、もう一度 [省エネ] キーを押します。本機が起動したことを確認してから USB ケーブルを接続してください。 |

# メッセージが表示されたとき

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

サービスコールのメッセージには、連絡先と機械番号が表示されるので、確認のうえ、サービス実施店に連絡してください。連絡先が空欄のときは、販売店に連絡してください。

## 状態表示メッセージ

| メッセージ | 状態 |
|---|---|
| 印刷できます | パソコンからデータを送って印刷できます。 |
| 印刷中です | 印刷しています。 |
| 印刷データ待ち | 印刷データの受信待ちです。データの受信が完了すると印刷が始まります。 |
| オフライン | オフライン状態です。 |
| おまちください | 1 秒程度の短い間、このメッセージが表示されることがあります。<br>準備中、トナーの補給です。しばらくお待ちください。 |
| ヘキサダンプモード | 16 進法でデータを印刷できるモードです。<br>ヘキサダンプモードを解除するときは、[印刷取消] を押してください。 |
| 印刷取消中 | 印刷ジョブを取り消し中です。<br>「印刷できます」と表示されるまでお待ちください。 |
| 設定変更中 | 設定変更中です。 |
| 一時停止中です | Ridoc IO Navi からの操作で印刷を一時停止しています。<br>印刷を再開するときは、Ridoc IO Navi の自分の［ジョブ一覧］から再開するか、Web Image Monitor から再開できます。Web Image Monitor から印刷を再開するときは、管理者に確認してください。 |
| 印刷停止中です | ［印刷中断］キーまたは［ジョブ操作］を押して印刷を停止しました。 |
| @Remote 証明書更新中 | @Remote 証明書の更新中です。しばらくお待ちください。 |

## エラーコードが表示されないメッセージ

補足

- 電源の切りかたは、P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

5

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 無線カードが故障しています。お手数ですがサービスにご連絡ください。 | 拡張無線 LAN ボードに異常が発生しました。 | 電源を切り、拡張無線 LAN ボードを確認してください。<br>それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。 |
| エラーが発生しました。 | 構文エラーなどが発生しています。 | PDF ファイルが正しいかどうか確認してください。 |
| この PDF ファイルを印刷する権限がありません。 | 印刷しようとしたユーザーには、この PDF ファイルを印刷する権限がありません。 | PDF ファイルのセキュリティー設定を確認してください。 |
| 指定した用紙サイズと用紙種類に合った給紙トレイがありません。トレイの設定を下記の用紙サイズと用紙種類に変更するか、強制印刷するトレイを選択して、［実行］を押してください。 | プリンタードライバーの設定が間違っているか、またはプリンタードライバーで指定した用紙サイズ、用紙種類の用紙がトレイにありません。 | • プリンタードライバーの設定を確認して、プリンタードライバーで指定した用紙サイズ、または用紙種類をトレイにセットしてください。用紙サイズの変更方法は、P.119「用紙をセットする」を参照してください。<br>• トレイを選んで強制印刷をするか、［印刷取消］を押して印刷を中止してください。強制印刷および印刷の取り消し方法については、P.223「用紙サイズや用紙種類のエラーが表示されたとき」を参照してください。 |
| 消耗品の自動発注に失敗しました。 | 消耗品の自動発注に失敗しました。 | サービス実施店に連絡してください。 |
| 選択された文書にアクセス権のない文書が含まれていました。<br>アクセス権のある文書のみ消去されます。 | 削除する権限のない文書を削除しようとしました。 | 蓄積文書のアクセス権の確認や削除する権限のない文書を削除するときは、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |
| n に用紙がありません。トレイに用紙を補給してください。他のトレイから強制印刷する場合は、使用するトレイを選択して[実行]キーを押してください。<br>(n にはトレイ名が入ります。) | • プリンタードライバーの設定が間違っている、またはプリンタードライバーで指定した用紙サイズの用紙がトレイにありません。<br>• 小サイズ紙用トレイを使用しないように設定しています。 | • 指定した用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされているトレイを指定してください。<br>• 小サイズ紙を印刷するときは、［システム初期設定］の［小サイズ紙用トレイ設定］を変更してください。［小サイズ紙用トレイ設定］については P.284「基本設定」を参照してください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 非純正トナーボトルがセットされました。 | セットされているトナーカートリッジが純正ではないトナーカートリッジの可能性があります。 | 純正ではないトナーカートリッジを装着している場合は、純正のトナーカートリッジをセットしてください。 |
| 不正コピー抑止印刷処理中にエラーが発生。ジョブを取り消しました。 | 「不正コピー抑止地紋の詳細」画面で「文字列の入力」が空欄になっています。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［効果］を選択します。「不正コピー抑止の種類：」の［詳細］をクリックして表示される「不正コピー抑止地紋の詳細」画面で「文字列の入力：」に文字列を設定してください。<br>本体側で不正コピー抑止を設定しているときは、初期設定を確認してください。設定項目については、P.331「不正コピー抑止」を参照してください。 |
| 不正コピー抑止印刷処理中にエラーが発生。ジョブを取り消しました。 | 不正コピー抑止印刷を指定したときに、解像度が600dpi より低く設定されています。 | プリンタードライバーで、解像度を600dpi 以上に設定するか、不正コピー抑止印刷の設定を解除してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。<br>本体側で不正コピー抑止を設定しているときは、初期設定を確認してください。設定項目については、P.331「不正コピー抑止」を参照してください。 |
| 不正コピー抑止印刷処理中にエラーが発生。ジョブを取り消しました。 | 不正コピー抑止印刷のためのメモリーが不足しています。 | SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| ファイルシステムがいっぱいです。 | ファイルシステムの容量がいっぱいで、PDF ファイルを印刷できません。 | 本機に蓄積している不要な文書を削除してください。 |
| ファイルシステムの取得に失敗しました。 | ファイルシステムが取得できないため、PDF 受信、PDF ダイレクト印刷ができません。 | 電源を入れ直してください。<br>それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。 |
| 本文を章区切り紙と同じトレイで指定しているため印刷できません。 | 本文またはバナーページと章区切り紙を同じトレイに設定しているため印刷できません。 | ジョブリセットをしてください。本文またはバナーページを章区切り紙と異なるトレイを使用する設定にして印刷し直してください。 |

### 操作部の画面、およびレポートに表示されるメッセージ

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| HDD エラー | ハードディスクに異常が発生しています。 | 電源を入れ直してください。<br>それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。 |
| USB エラー | USB インターフェースに異常が発生しています。 | 電源を入れ直してください。<br>それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。 |
| イーサネットエラー | イーサネットボードに異常が発生しています。 | 電源を入れ直してください。<br>それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。 |
| パラレルエラー | パラレルインターフェースに異常が発生しています。 | 電源を入れ直してください。<br>それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に確認してください。 |
| プリンターフォントエラー | プリンターのフォントファイルが異常です。 | サービス実施店に確認してください。 |
| 無線カードエラー | • 拡張無線 LAN ボードにアクセスはできますが、エラーを検出しました。 | 電源を切り、拡張無線 LAN ボードを確認してください。<br>それでも同じメッセージが表示されるときは、サービス実施店に連絡してください。 |

### メディアプリントを使用中に操作部の画面に表示されるメッセージ

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 選択ファイルのサイズが大きすぎます。 | • 選択しているファイルのサイズが、1GB を超えています。<br>• 選択しているファイルのサイズの合計が、1GB を超えています。 | 選択しているファイルサイズの合計が 1GB を超えるとき、メディアプリント機能では印刷できません。<br>• 合計 1GB を超える複数のファイルを選択しているときは、個別に選択してください。<br>• 選択しているファイルのサイズが 1GB を超えるときは、メディアプリント機能以外の機能を使用して印刷してください。<br>異なる形式のファイルを一緒に選択することはできません。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 選択されたファイルの合計サイズが、上限値を超えました。これ以上は選択できません。 | • 選択しているファイルのサイズが、1GB を超えています。<br>• 選択しているファイルのサイズの合計が、1GB を超えています。 | 選択しているファイルサイズの合計が 1GB を超えるとき、メディアプリント機能では印刷できません。<br>• 合計 1GB を超える複数のファイルを選択しているときは、個別に選択してください。<br>• 選択しているファイルのサイズが 1GB を超えるときは、メディアプリント機能以外の機能を使用して印刷してください。<br>異なる形式のファイルを一緒に選択することはできません。 |
| 利用できないメディアのため、ファイルを表示できません。 | 認識できないメディアを使用しています。 | メディアプリント機能で推奨するメディアについては、リコーホームページを参照してください。また、パスワード設定などのセキュリティー機能を有効にした USB メモリーは、正しく動作しないことがあります。 |



## エラーコードが表示されるメッセージ

重要

- **「エラーコードが表示されるメッセージ」は、「プリンター初期設定」から「システム設定」の「エラー表示設定」を「すべて表示」に設定すると表示されます。**

補足

- 電源の切り方は、P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照し、正しい方法で操作してください。

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 84：イメージ処理用のワークエリアがありません。 | イメージ処理用のワークエリアがありません。 | •「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>• SDRAM モジュールを増設するか、送信データを減らしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 85：グラフィックスの環境が不当です。 | 指定されたグラフィックライブラリがありません。 | データが正しいか確認してください。または SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| 86：制御コードのパラメーターが不適当です。 | 制御コードのパラメーターが不適当です。 | 正しいパラメーターを設定してください。 |
| 87：フリーサイズのためのメモリー領域がありません。 | フリーサイズのためのメモリー領域がありません。 | • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>• SDRAM モジュールを増設するか、サイズの指定を小さくしてください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| 89：メモリースイッチの内容が不良です。 | ［国別指定］の設定が正しくありません。または印刷条件の設定が最大値を超えています。 | 印刷条件を設定する方法については、『エミュレーション』「プリンターの設定」を参照してください。 |
| 90：外部メディア上に空き領域がありません。 | RPDL または R55 で、ハードディスクの空き領域が少なくなりました。 | 登録されているフォントやフォームのうち不要なものを削除してください。 |
| 91：ジョブがキャンセルされました。 | コマンド解析不可、不正コマンド検知などにより、オートジョブキャンセル機能が作動し、印刷が中止されました。 | データが正しいか確認してください。 |

5

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 92：イメージ／オーバーレイのメモリー領域がありません。 | イメージオーバーレイのためのメモリー領域が不足しています。 | • プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。<br>• 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>• SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| 92：イメージ／オーバーレイのメモリー領域がありません。 | メモリーがいっぱいになっています。 | • プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。<br>• 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、送信データを減らしてください。<br>• SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| 93：外字／ダウンロードのためのメモリー領域がありません。 | 外字またはフォントなどを登録するメモリー領域が足りません。 | 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>または登録データを減らしてください。 |
| 94：ダウンロードデータに不良があります。 | フォントのダウンロードデータに誤りがありました。 | フォントセットダウンロードのパラメーターを修正してください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 95：指定されたフォントがフォントファイルにありません。 | 存在しない文字の印字要求がありました。 | 文字コードを正しく設定してください。 |
| 96：文字セットエラー | 指定されたフォントを選択できません。 | 存在するフォントを選択するように、パラメーターを修正してください。 |
| 96：フォントをセレクトできません。 | 指定されたフォントを選択できません。 | 存在するフォントを選択するように、パラメーターを修正してください。 |
| 97：フォントをアロケーションするエリアがありません。 | フォントを登録する領域がありません。 | • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、送信データを減らしてください。<br>• SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| 98：ハードディスクへのアクセスに失敗しました。 | ハードディスクへのアクセスに失敗しました。 | 電源を入れ直してください。メッセージが多発するときは、サービス実施店に確認してください。 |
| 99：データエラー | RTIFF のデータ処理中に致命的なエラーが発生しました。 | 対処方法は『エミュレーション』「RTIFF エミュレーション」を参照してください。 |
| 99：ワーニング | RTIFF のデータ処理中にエラーが発生しました。 | 対処方法は『エミュレーション』「RTIFF エミュレーション」を参照してください。 |
| 9B：認証が不適合のためコマンドはキャンセルされました。 | 認証が不適合なユーザーが、プログラムの登録または給紙トレイの情報登録をしようとしました。 | 認証については『セキュリティーガイド』を参照してください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| A3：オーバーフロー | 受信バッファがオーバーフローしました。 | • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>• 「プリンター初期設定」で［受信バッファ］を多く設定してください。設定項目については、P.290「インターフェース設定」を参照してください。<br>• 送信データを減らしてください。 |
| A4：ソートオーバー | ソートできる枚数をオーバーしています。 | 印刷ページ数を減らすか、SDRAM モジュールを増設してください。<br>SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| A6：ページフル | ページ印刷中にページ画像が破棄されました。 | • プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。<br>• SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| A9：ページエラー | 試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷／イメージオーバーレイのフォーム登録で、ページオーバーが発生しました。 | 本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。<br>または印刷するページ数を減らしてください。 |
| AA：文書数オーバーが発生しました。 | 試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷／イメージオーバーレイのフォーム登録で、文書数オーバーが発生しました。 | 本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。 |
| AB：HDD オーバーフローが発生しました。 | 試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷／イメージオーバーレイのフォーム登録で、ハードディスクのオーバーフローが発生しました。 | 本機に登録されている文書のうち不要なものを消去してください。<br>または試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷しようとしている文書のサイズを小さくしてください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| AC：HDD 領域がオーバーしました。 | PostScript 3 で、フォームまたはフォント用のハードディスク領域がオーバーしました。 | 本機に登録されているフォームまたはフォントのうち不要なものを削除してください。 |
| AD：蓄積エラー | 拡張 HDD が装着されていない状態で、試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷の指示が出されました。 | 試し印刷／機密印刷／保留印刷／保存印刷を実行するときは、本機に拡張 HDD を装着してください。<br>拡張 HDD が装着されている状態でもエラーが表示される場合は、サービス実施店に連絡してください。 |
| AF：登録数エラー | イメージオーバーレイのフォーム登録で登録数オーバーが発生しました。 | 登録されているイメージオーバーレイファイルを削除してください。 |
| AG：ハードディスクフル | イメージオーバーレイのフォーム登録でハードディスクのオーバーフローが発生しました。 | 登録されているイメージオーバーレイファイルを削除するか、登録データサイズを小さくしてください。 |
| AH：登録エラー | • 拡張 HDD が装着されていない状態で、イメージオーバーレイのフォーム登録の指示が出されました。<br>• イメージオーバーレイのフォーム登録で登録済みのフォーム番号に登録しようとしました。 | • イメージオーバーレイ機能を使用するときは、本機に拡張 HDD を装着してください。<br>• イメージオーバーレイのフォーム登録のときは、フォーム番号を変更するか登録済みのフォームを削除してから登録してください。 |
| AI：指定された用紙サイズには対応していないため、ジョブはキャンセルされました。 | 給紙できない用紙サイズの印刷が指定されたため、オートジョブリセットが実行されました。 | 給紙可能な用紙サイズで印刷を行ってください。 |
| AJ：指定された用紙種類には対応していないため、ジョブはキャンセルされました。 | 給紙できない用紙種類の印刷が指定されたためオートジョブリセットが実行されました。 | 給紙可能な用紙種類で印刷を行ってください。 |
| AK：ページエラー(自動) | ［エラージョブ蓄積・追い越し］で通常印刷を保留文書として蓄積するときにページオーバーが発生しました。 | 印刷するページ数を減らしてください。<br>または、本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| AL：文書数エラー(自動) | [エラージョブ蓄積・追い越し］で通常印刷を保留文書として蓄積するときに最大蓄積文書数オーバー、または保留文書（自動）の最大管理文書数オーバーが発生しました。 | 保留文書（自動）を削除してください。<br>または本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。 |
| AM:ハードディスクフル(自動) | [エラージョブ蓄積・追い越し］で通常印刷を保留文書として蓄積するときにハードディスクのオーバーフローが発生しました。 | 本機に登録されている文書のうち不要なものを削除してください。<br>または、一時蓄積文書、保存文書のサイズを小さくしてください。 |
| B6：ユーザー情報の自動登録に失敗しました。 | 登録件数が満杯で、LDAP 認証、Windows 認証時に認証情報を機器のアドレス帳に自動登録できません。 | ユーザー情報の自動登録については、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |
| B7：認証されたユーザーの情報が、登録済みのユーザーと重複しています。 | LDAP や統合サーバー認証で、異なるサーバーに別の ID で同じ名前が登録されていて、ドメイン（サーバー）の切り替えなどによって名前（アカウント名）の重複が発生しました。 | ユーザーの認証については、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |
| B8：サーバーからの応答がないため認証できませんでした。 | LDAP 認証、Windows 認証の際にサーバーへの認証問い合わせでタイムアウトが発生しました。 | 認証問い合わせ先のサーバーの状態を確認してください。 |
| B9：他の機能でアドレス帳を使用中のため認証できませんでした。 | ほかの機能でアドレス帳を使用中の状態が続いており、認証問い合わせができません。 | しばらくしてからもう一度操作をやり直してください。 |
| BA：この機能を利用する権限がないため、ジョブはキャンセルされました。 | ログインユーザー名またはログインパスワードが間違っています。 | ログインユーザー名またはログインパスワードを確認してください。 |
| BA：この機能を利用する権限がないため、ジョブはキャンセルされました。 | 機能を使用する権限が設定されていません。 | 権限の設定については、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| BA：この機能を利用する権限がないため、ジョブはキャンセルされました。 | プリンタードライバー側で認証が設定されていないか、または、設定が間違っています。 | プリンタードライバーのプロパティを印刷時に認証情報を確認するように設定します。そのあとで、プリンタードライバーでユーザー認証のログインユーザー名、パスワードを正しく設定してください。<br>プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| BB：印刷利用量制限度数に達したため、ジョブはキャンセルされました。 | ユーザーに許可された印刷枚数を超えたため、印刷が中止されました。 | 印刷利用量制限については、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |
| BC：ソートエラー | ソートが解除されました。 | 印刷ページ数を減らすか、SDRAM モジュールを増設してください。<br>SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| BD：ステープルを解除しました。 | ステープルが解除されました。 | 用紙の方向、用紙の枚数、印刷の向き、ステープルの位置指定を確認してください。設定内容によっては、思いどおりのステープル結果にならず、用紙が排出されてしまうことがあります。 |
| BE:パンチを解除しました。 | フィニッシャーのパンチ機能が解除されました。 | 用紙の方向、印刷の向き、パンチの位置指定を確認してください。設定内容によっては、思いどおりのパンチ結果にならず、用紙が排出されてしまうことがあります。 |
| BF：両面印刷の指定を解除しました。 | 両面印刷が解除されました。 | • 両面印刷可能なサイズの用紙を使用してください。両面印刷可能な用紙については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ(給紙トレイ)」を参照してください。<br>•「システム初期設定」で使用するトレイの「両面印刷の対象」の設定を変更してください。設定項目については、P.335「用紙設定」を参照してください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| BI：ユーザー用紙種類エラー | 指定したユーザー用紙種類が設定されていません。 | • 指定したユーザー用紙種類が設定されているか確認してください。ユーザー用紙種類の設定については、P.226「用紙に独自の名前をつけて使用する」を参照してください。<br>• ユーザー用紙種類の設定内容を、機器から取得し直してください。 |
| BJ：分類コードが間違っています。 | 分類コードが指定されていません。 | プリンタードライバーで分類コードを任意に設定してから印刷してください。分類コードの設定方法は、P.168「分類コードを使用する」を参照してください。 |
| BQ：圧縮データエラー | 圧縮データが破損しています。 | パソコンと本機の間で正常に通信ができているか確認してください。圧縮データ作成ツールが正常に動作完了しているか確認してください。 |
| C1：コマンドエラー | 無効なコマンドを受信しました。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• OE、IN コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| C2：パラメーター数エラー | パラメーターの数が不適当です。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• OE、IN コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| C3：パラメーター範囲エラー | パラメーターの範囲が不適当です。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• OE、IN コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| C6：ポジションエラー | 印刷位置が不適当です。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• OE、IN コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| C7：ポリゴンサイズエラー | ポリゴンバッファが不足しています。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• OE、IN コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| C8：フォントキャッシュエラー | ダウンロード用バッファサイズが不足しています。 | • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>• ダウンロードするフォントサイズを減らしてください。<br>• SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| C9：パターンキャッシュエラー | ラスターに対するテクスチャーパターン用バッファサイズが不足しています。 | • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>• サイズを小さくしてください。<br>• SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| CA：原稿サイズ判定エラー | 原稿サイズ判定用バッファがオーバーフローし、後続データ中に、原稿サイズを越える領域の描画があります。 | • 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>• サイズを小さくしてください。<br>• SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| D0：応答エラー | 応答コマンド実行中に、次の応答コマンドの実行要求がありました。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• ESC.E コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| D1：コマンドエラー | 無効なデバイスコントロールコマンドを受信しました。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• ESC.E コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| D2：無効パラメーターエラー | デバイスコントロールコマンドのパラメーターの中に無効な 1 バイトを受信しました。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• ESC.E コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| D3：パラメーター範囲エラー | デバイスコントロールコマンドのパラメーターが有効範囲を超えています。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• ESC.E コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| D4：パラメーター数エラー | デバイスコントロールコマンドのパラメーター数が不適当です。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• ESC.E コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| DC：フォントセレクトエラー | 指定したフォントをセレクトできません。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• OE、IN コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| DD：フォントエラー | 指定したフォントがフォントテーブルにありません。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• OE、IN コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| DE：パラメーター範囲エラー | 文字サイズが不適当です。 | 次のいずれかを行ってください。<br>• OE、IN コマンドを実行する。<br>• 印刷条件リストを印刷する。 |
| DF：ワークメモリーエラー | シェーディング実行のための領域が不足しています。 | データの量を減らしてください。 |
| EA：排紙先変更 | 排紙先の用紙サイズ制限のため、排紙先を変更しました。 | 正しい排紙先を指定してください。 |
| P1：コマンドエラー | RPCS のコマンドエラーです。<br>印刷時の設定によっては、RPCS 以外のプリンタードライバーを使用しているときでも発生することがあります。 | 次のいずれかを確認してください。<br>• ホストとプリンターの間で正常に通信ができるか。<br>• 機種に合ったプリンタードライバーを使用しているか。<br>• プリンタードライバーが最新のバージョンか。リコーのホームページから最新バージョンを入手してください。 |

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| P2：メモリーエラー | メモリーの取得エラーです。 | • プリンタードライバーで解像度を低く設定してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。<br>• 「プリンター初期設定」で［優先メモリー］を［ユーザーメモリー］に変更してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>• PCL6 プリンタードライバーのときは、[項目別設定] タブの「メニュー項目：」から［印刷品質］を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を［ラスター］に変更してください。<br>• SDRAM モジュールを増設してください。SDRAM モジュールの増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| P3：メモリーエラー | メモリーの取得エラーです。 | 電源を入れ直してください。<br>それでも同じメッセージが表示されるときは、SDRAM モジュールの交換が必要です。SDRAM モジュールの交換・増設については、P.28「SDRAM モジュールを取り付ける」を参照してください。 |
| P4：送信中止 | プリンタードライバーから、データ送信中断コマンドを受信しました。 | ホストが正しく動作しているか確認してください。 |
| P5：受信中止 | データの受信が中断しました。 | データを再送してください。 |

### メディアプリント機能を使用中に操作部の画面に表示されるメッセージ

| メッセージ | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 99：ワーニング | 指定したデータが破損しているか、メディアプリント機能で対応していないファイル形式のため印刷できません。 | データが正しいか確認してください。メディアプリント機能で対応しているファイル形式については、P.209「外部メディアを接続して印刷する」を参照してください。 |

それでも印刷が開始されないときは、サービス実施店に連絡してください。

補足

- プリンター初期設定の［エラー表示設定］を［簡易表示］に設定したときは、表示されないメッセージがあります。
- 以下のメッセージは、エラー履歴を印刷したときや、操作画面でのエラー履歴表示にて確認できます：「91：ジョブがキャンセルされました」「92：ジョブリセットしました」
- エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷されることがあります。併せて確認してください。印刷方法は、P.280「テスト印刷する」、『エミュレーション』「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

# エラー履歴を確認する

エラーなどにより文書を印刷できなかったときは、エラー履歴が残り、操作部で確認できます。

重要

- エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、または保存印刷のときは消去されずに、同じ蓄積のエラー履歴として、30 件まで別に蓄積します。
- 簡単画面に切り替えているときは、［エラー履歴］が選択できません。
- 主電源スイッチを「Stand by」にすると、それまでの履歴は消去されます。

1. **ホーム画面で［プリンター］アイコンを押します。**

   ホーム画面への入りかたについては、P.81「ホーム画面の見かた」を参照してください。

2. **［その他の機能］を押します。**
3. **［エラー履歴］を押します。**
4. **確認するエラー履歴を選択して、［詳細表示］を押します。**

5

# 印刷が始まらないとき

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 印刷が始まらない。 | 電源が入っていません。 | 電源の入れかたについては、P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。 |
| 印刷が始まらない。 | 操作部の画面に原因が表示されます。 | 表示されているメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。対処方法は、P.357「メッセージが表示されたとき」を参照してください。 |
| 印刷が始まらない。 | インターフェースケーブルが正しく接続されていません。 | インターフェースケーブルの正しい接続については、P.55「パソコンに接続する」を参照してください。 |
| 印刷が始まらない。 | 適切なインターフェースケーブルを使用していません。 | 使用するインターフェースケーブルはパソコンの種類によって異なります。適切なインターフェースケーブルについては、P.55「パソコンに接続する」を参照してください。また、断線が考えられるときは、ほかのケーブルと交換してみてください。 |
| 印刷が始まらない。 | 本機の電源を入れてからインターフェースケーブルを接続しました。 | インターフェースケーブルを接続してから、本機の電源を入れてください。 |
| 印刷が始まらない。 | 無線 LAN を使用しているときは、電波状態によっては印刷できません。 | 「システム初期設定」で無線 LAN の電波状態を確認してください。電波状態が悪いときは、電波の通る場所へ移動するか、障害物を取り除いてください。<br>電波状態を確認できるのは、インフラストラクチャーモードのときだけです。システム初期設定の項目については、P.290「インターフェース設定」を参照してください。 |
| 印刷が始まらない。 | 無線 LAN を使用するときは、電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器が近くにあるときに、電波が干渉することがあります。 | 電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を使用する産業、科学、医療用機器の電源を切ってから、印刷できるか確認してください。印刷できるときは、機器を移動してください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 印刷が始まらない。 | 無線 LAN を使用しているときは、SSID の設定が間違っています。 | 接続先との SSID が正しく設定されていることを、本機の操作部で確認してください。SSID の設定については、P.61「無線 LAN インターフェースの接続を確認する」を参照してください。 |
| 印刷が始まらない。 | 無線 LAN を使用しているときは、アクセスポイントによっては MAC アドレスなどで通信相手を制限していることがあります。 | インフラストラクチャーモードのときは、アクセスポイントの設定を確認してください。アクセスポイントによっては MAC アドレスなどで通信相手を制限しているときがあります。<br>また、無線クライアントとアクセスポイント間、アクセスポイントと有線クライアント間の通信に問題がないか確認してください。 |
| 印刷が始まらない。 | ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵が間違っています。 | ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵を確認してください。<br>ログインユーザー名、ログインパスワードまたはドライバー暗号鍵については、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |
| 印刷が始まらない。 | セキュリティー強化機能で高度な暗号化が設定されています。 | セキュリティー強化機能について、『セキュリティーガイド』を参照してください。 |
| テスト印刷ができない。 | 本機が故障している可能性があります。 | サービス実施店に確認してください。 |
| 無線 LAN をアドホックモードで使用していて、印刷が始まらない。 | 通信モードが正しく設定されていません。 | • 電源を入れ直してください。電源の入れかた、切りかたについては、P.108「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。<br>•「システム初期設定」で［通信モード］を［802.11 アドホックモード］に、また、［セキュリティー方式選択］を［しない］に設定してください。設定項目について詳しくは、P.290「インターフェース設定」を参照してください。 |

それでも印刷が始まらないときは、サービス実施店に確認してください。

## データインランプが点灯、点滅しないとき

印刷を実行してもデータインランプが点灯、点滅しないときは、データが本機に正しく届いていません。

### パソコンとケーブルで直接接続しているとき

データインランプが点灯・点滅しないときの、印刷ポートの確認方法です。

印刷ポートが正しく設定されているか確認してください。パラレル接続で使用するときは、LPT1 または LPT2 に接続してください。

1. **プリンタードライバーのプロパティ画面を開きます。**

   プロパティ画面の開き方について詳しくは、P.113「Windows でドライバー設定画面を開く」を参照してください

2. **［ポート］タブをクリックします。**
3. **［印刷するポート］ボックスで正しいポートを選択します。**

### パソコンとネットワークで接続しているとき

ネットワークの接続については、管理者に確認してください。

# 思いどおりに印刷できないとき

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 全体がかすれる。 | 用紙に湿気が含まれています。 | 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.121「用紙の保管」を参照してください。 |
| 全体がかすれる。 | 適切な用紙がセットされていません。 | 当社推奨の用紙を使用してください。目の粗い用紙や表面が加工されている用紙に印刷するとかすれて印刷されることがあります。適切な用紙については、P.419「用紙の仕様」を参照してください。 |
| 全体がかすれる。 | プリンタードライバーでトナーセーブをするように設定されています。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択して、「トナーセーブ：」の設定を「しない」に変更してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| 指でこすると画像がかすれる。（トナーが定着していない） | 厚紙などを使用しているときに、用紙種類の設定があっていないことがあります。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［用紙］から、［用紙種類：］を変更してください。プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。本体の用紙種類の変更方法は、P.286「用紙設定」を参照してください。 |
| 画面どおりに印刷されない。 | 本機側のグラフィック処理を使用して印刷されます。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブの「メニュー項目：」から［印刷品質］を選択します。「ベクター／ラスター：」の設定を［ラスター］に変更してください。 |
| 画面どおりに印刷されない。 | 変倍や集約を行うと、行の最後の文字が次の行に送られるなど、画面上とレイアウトが異なることがあります。 | アプリケーション側でレイアウトや文字の大きさの設定を変更してください。 |
| 意味不明の文字、または英数字が連続して印刷される。 | エミュレーションが正しく選択されていないことがあります。 | 正しいエミュレーションを設定してください。エミュレーションの設定方法は、「印刷終了後にプリンターのエミュレーションをもとに戻す」を参照してください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 画像が途中で切れたり、余分なページが印刷される。 | アプリケーションで設定した用紙サイズより小さい用紙に印刷していることがあります。 | プリンタードライバー［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択します。用紙設定のサイズを確認して、アプリケーションで設定したサイズと同じサイズの用紙に設定してください。同じサイズの用紙をセットできないときは、変倍の機能を使って縮小して印刷してください。<br>プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| ページレイアウトがずれる。 | プリンターによって印刷領域が異なることがあるため、ほかのプリンターで印刷すると１ページに入っていた文書が本機で印刷すると１ページに入らないことがあります。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［編集］を選択し、［印刷領域：］の設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| 写真が粗く印刷される。 | アプリケーションによっては、解像度を下げて印刷するものがあります。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、「画像設定：」を［写真（イメージデータ）］に設定、または解像度を高く設定してください。<br>プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| 実線が破線、もしくはかすれたように印刷される。 | ディザパターンが合っていません。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、ディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| 細線がギザギザに印刷されたり印刷されない。または、太さにばらつきが生じる。 | アプリケーションで極細線が指定されています。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［印刷品質］を選択し、ディザリング設定を変更してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。<br>ディザリングの設定を変更しても改善されないときは、アプリケーションで線の太さを変更してください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 部分的に写らない箇所がある。 | 用紙に湿気が含まれています。 | 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.121「用紙の保管」を参照してください。 |

### 給紙がうまくいかないとき

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 思ったトレイとは異なるトレイから給紙される。 | Windows からの印刷時は操作部で給紙トレイを選択しても、プリンタードライバーの設定が優先します。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［用紙］を選択し、「給紙トレイ：」の設定を変更してください。<br>プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| 画像が斜めに印刷される。 | 給紙トレイのサイドフェンスが正しくセットされていません。 | サイドフェンスが正しくセットされているか確認してください。給紙トレイのセット方法は、P.119「用紙をセットする」を参照してください。 |
| 画像が斜めに印刷される。 | 用紙が斜めに搬送されています。 | 用紙のセット方法は、P.119「用紙をセットする」を参照してください。 |
| 小サイズカセットを装着したトレイから給紙できない。 | 小サイズカセットを使用しないように設定しています。 | ［システム初期設定］の［小サイズ紙用トレイ設定］を変更してください。［小サイズ紙用トレイ設定］についてはP.284「基本設定」を参照してください。 |
| 水滴状に白抜けする、または汚れる。 | 用紙から発生した水蒸気が用紙に付着して画像が水滴状に白く抜けたり、トナーで汚れることがあります。 | • 本機を低温にならない場所に設置してください。<br>• 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.121「用紙の保管」を参照してください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | セットされている用紙が多すぎます。 | 給紙トレイのサイドフェンス、または手差しトレイの用紙ガイド板の内側に表示されている上限表示の線を超えないように用紙をセットしてください。また、複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | サイドフェンスがきつくセットされています。 | サイドフェンスを軽く突き当て直してください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 何度も用紙がつまる。 | 用紙に湿気が含まれています。 | 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.121「用紙の保管」を参照してください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | 用紙が厚すぎるか、薄すぎます。 | 当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、P.419「用紙の仕様」を参照してください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | 用紙に折り目やシワがあります。 | 当社推奨の用紙を使用してください。また、適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。適切な用紙とその保管方法は、P.419「用紙の仕様」、P.121「用紙の保管」を参照してください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | 一度印刷した用紙を使用しています。 | 当社推奨の用紙を使用してください。また、本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。適切な用紙については、P.419「用紙の仕様」を参照してください。 |
| 何度も用紙がつまる。 | 用紙が密着しています。 | 用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。 |
| 紙が重なって送られる。 | 用紙が密着しています。 | 用紙をぱらぱらとほぐしてからセットしてください。または 1 枚ずつ送ってください。 |
| 用紙にシワがよる。 | 用紙に湿気が含まれています。 | 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法は、P.121「用紙の保管」を参照してください。 |
| 用紙にシワがよる。 | 用紙が薄すぎます。 | 当社推奨の用紙を使用してください。適切な用紙については、P.419「用紙の仕様」を参照してください。 |
| 用紙の先端が折れる。 | 用紙に湿気が含まれています。 | 適度な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。用紙の適切な保管方法については、P.121「用紙の保管」を参照してください。 |
| 用紙の先端が折れる。 | 推奨以外の用紙を使用しています。 | 適切な用紙については、P.419「用紙の仕様」を参照してください。 |
| 両面印刷ができない。 | 160g/m$^2$ を超える厚紙をセットしています。 | 印刷する用紙を変更してください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 両面印刷ができない。 | 使用しているトレイが「用紙設定」で両面印刷の対象外に設定されています。 | 「システム初期設定」で使用するトレイの「両面印刷の対象」の設定を変更してください。設定項目については、P.286「用紙設定」を参照してください。 |
| 両面印刷ができない。 | 両面印刷に対応していない用紙種類に設定されているときは、両面印刷できません。 | 「システム初期設定」で使用するトレイの「用紙種類設定」の設定を両面印刷に対応する用紙に変更してください。設定項目については、P.286「用紙設定」を参照してください。 |
| OHP に白い帯がでる。 | 用紙から脱落した紙粉が OHP に付着しています。 | OHP の裏面に付着した紙粉を乾いた布で拭きとってください。 |



### その他のトラブルシューティング

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| 印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる。 | 「スリープモード」になっていることがあります。 | 「スリープモード」になっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。「スリープモード」は、「システム初期設定」の［スリープモード移行時間設定］で設定できます。 |
| 印刷に時間がかかる。 | 写真やグラフを多用したデータなど、データの種類によってはパソコンの処理に時間がかかることがあります。 | データインランプ⟡が点滅していれば、プリンターにデータは届いています。そのまま少しお待ちください。<br>プリンタードライバーで次の設定をするとパソコンの負担が軽減することがあります。<br>• 速度を優先させるように印刷品質の設定を変更する。<br>• 解像度を一番低い値に設定する。<br>プリンタードライバーの設定方法はプリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| 縦と横が逆に印刷される。 | セットした用紙方向とプリンタードライバーのオプションセットアップで設定した用紙方向が合っていません。 | 給紙トレイにセットした用紙の向きと、プリンタードライバーのプロパティから［オプション構成］タブの「給紙トレイ設定」で設定した用紙方向をそろえてください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 1 ページの途中で排紙され、1 ページのデータが 2 ページにまたがって印刷されてしまう。 | 「プリンター初期設定」の［自動排紙時間］の設定が短すぎます。 | 「プリンター初期設定」で［自動排紙時間］の設定を自動排紙しないように変更、または現在の設定より長い時間に変更してください。設定項目については、P.322「システム設定（EM）」を参照してください。 |
| パソコンから印刷指示をしたが、印刷されない。 | ユーザーコード管理を設定しています。 | **PostScript3 以外のプリンタードライバーのとき**<br>管理者にユーザーコードを確認してください。<br>確認したユーザーコードをプリンタードライバーのプロパティで設定してください。<br>プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。<br>**PostScript3 のとき**<br>［システム設定］の［優先エミュレーション/プログラム］を「PS3」に設定してください。 |
| 接続されているオプションが認識されない。 | 双方向通信が働いていません。 | プリンタードライバーのプロパティでオプション構成を設定してください。<br>プリンタードライバーの設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| 集約印刷や製本印刷、用紙指定変倍が指定どおりにできない。 | アプリケーションまたはプリンタードライバーの設定が間違っています。 | プリンタードライバーの［項目別設定］タブで、「メニュー項目：」の［基本］を選択し、「原稿方向：」と「原稿サイズ：」が、アプリケーションと同じ設定か確認してください。<br>異なるサイズが設定されているときは、原稿サイズと方向を選択してください。プリンタードライバーの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。 |
| 印刷途中で異なるエミュレーションに切り替わってしまう。 | 「プリンター初期設定」でエミュレーション検知するように設定されているときは、［インターフェース切替時間］の設定が短すぎるとデータの途中で誤ったエミュレーションに切り替わってしまいます。 | 「プリンター初期設定」で「インターフェース切替時間」を長めに設定するか、「エミュレーション検知」を「しない」に設定してください。設定項目については、P.290「インターフェース設定」、P.313「システム設定」を参照してください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
| --- | --- | --- |
| エミュレーションを使用したときに、意図した印刷結果にならない。 | 「プリンター初期設定」でエミュレーション検知するように設定して、複数のプログラムの中から使用するプログラムを選択、またはエミュレーションの印刷条件を設定して印刷しています。 | 「プリンター初期設定」で[エミュレーション検知]を「しない」に設定してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。<br>プログラムに設定された印刷条件については、『エミュレーション』「プログラムを登録する」を参照してください。 |
| PDF ダイレクト印刷が実行できない。PDF ファイルが印刷されない。 | PDF ファイルにパスワードがかかっています。 | パスワードが設定されている PDF ファイルを印刷するときは、PDF 設定メニュー、または Web Image Monitor で、PDF ファイルのパスワードを設定してください。<br>• PDF 設定メニューについては、P.330「PDF 設定」を参照してください。<br>• Web Image Monitor についてはヘルプを参照してください。 |
| PDF ダイレクト印刷が実行できない。PDF ファイルが印刷されない。 | PDF ファイルのセキュリティーの設定で、印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。 | PDF ファイルのセキュリティーの設定を変更してください。 |
| PDF ダイレクト印刷を実行したが、文字が正しく表示されない。 | フォントが埋め込まれていません。 | 印刷する PDF ファイルにフォントを埋め込んでから、印刷してください。 |
| 指定した印刷時刻を過ぎたが、印刷されていない。 | 「プリンター初期設定」で[主電源 Off 時の未処理文書]が[電源 On で印刷しない]に設定されているときに、指定した印刷時刻に、主電源スイッチが「Stand by」になっていました。 | 「プリンター初期設定」で[主電源 Off 時の未処理文書]を[電源 On で印刷する]に設定してください。設定項目については、P.313「システム設定」を参照してください。 |
| 指定した印刷時刻を過ぎたが、印刷されていない。 | 本機またはパソコンの時刻設定が誤っています。 | 本機、またはパソコンの時刻設定を正しく設定してください。 |
| 無線 LAN を使用した印刷が遅い。 | 送信するジョブが多すぎます。 | 送信するジョブを減らしてください。 |

| 状態 | 原因 | 対処方法と参照先 |
|---|---|---|
| 無線 LAN を使用した印刷が遅い。 | • 通信障害が発生していることがあります。<br>• 他の無線 LAN 機器や他の Bluetooth 機器と干渉したとき、通信速度などに影響を及ぼすことがあります。<br>• 無線 LAN（IEEE 802.11b/g）を使用するときは、電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を利用する産業、科学、医療用機器が近くにあるときに、電波が干渉することがあります。 | • 他の無線 LAN 機器や Bluetooth 機器が動作していないか確認してください。<br>• 本機またはパソコンを移動してください。<br>• 電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を利用する産業、科学、医療用機器の電源を切ってから、印刷ができるか確認してください。印刷できるときは、機器を移動してください。 |

それでも思いどおりに印刷できないときは、サービス実施店に確認してください。

# 用紙がつまったとき

画面に表示されるアニメーションまたは前カバーの裏側などに貼られているステッカーの手順にしたがって、つまった用紙を取り除いてください。

ここでは画面に手順が表示されないときの紙づまりの取り除きかたを説明します。

**⚠注意**

- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。

**⚠注意**

- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

**⚠注意**

- フィニッシャーのステープルユニットを引き出すときや戻すとき、紙づまりを取り除くときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械のすき間に指を挟み、けがの原因になります。

★重要

- 用紙を取り除くときは電源を切らないでください。電源を切ると設定した機能や数値が取り消されます。
- 用紙は破れないように確実に取り除いてください。本体内部に紙片が残ると、再び用紙がつまったり、故障の原因になります。
- 続けて何度も用紙がつまるときは、サービス実施店に連絡してください。
- 手順どおりに紙づまりの処理を行ってもエラーメッセージが消えないときは、前カバーの開閉を行ってください。
- 「紙づまり（C)」のエラーメッセージが表示されたときは、次のことに気をつけてください。
    - 機械内部には高温の部分があります。定着部の紙づまりを取り除くときは、時間をおいて定着ユニットと両面ユニット内部のカバーの温度が十分下がってから取り除いてください。
    - 定着部の紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。
    - 定着ユニットは取り外さないでください。適正な印刷結果を得られなくなることがあります。

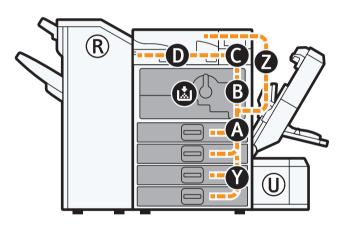
- 定着部の紙づまりを取り除くときは、まず定着ユニットの下側から用紙を取り除いてください。定着ユニットの下側から用紙を取り除けないときだけ、上側から用紙を取り除いてください。

補足

- 本体の前カバーの裏側のほか、フィニッシャーの前カバーの裏側などにも用紙がつまったときの取り除きかたを説明したステッカーがあります。
- 画面の右側に取り除きかたの詳細手順が表示されるときは、説明にしたがって対処してください。
- 紙づまりが発生したときは、[状態確認] 画面からも用紙の取り除き手順を確認できます。

## 紙づまりを確認する

用紙や原稿がつまったときは、本体の前カバーの裏側に貼ってあるステッカーの説明にしたがって、取り除いてください。

操作部に表示されたアルファベットの個所で紙づまりが発生しています。

1. 取り除きたい個所のキーを押します。

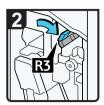
**2.** ひとつの操作が終わったら［次へ］を押します。

**3.** 用紙をすべて取り除けたら、開いたカバーなどを元に戻します。

補足

- 紙づまりの個所が同時に複数表示されることがあります。このときは、表示されたすべての場所を確認してください。
- 確認した場所に紙づまりの用紙がないときは、表示されているほかの場所を確認してください。

## R1-R4 が表示されたとき（3000 枚フィニッシャー装着時）

- フィニッシャー前カバーを開ける。
- R1レバーを左に倒す。

- R3レバーを右に倒す。

- R2ノブを反時計回りに回す。

- 中継ユニットカバー（左）を開け、用紙を取り除く。
- 中継ユニットカバー（左）を閉める。
- R3、R1レバーを元に戻す。

- 用紙を取り除けないときは、R3レバーを右に倒し、用紙を取り除く。
- R3レバーを元に戻す。

- R4レバーを上げ、用紙を取り除く。
- R4レバーを元に戻す。
- フィニッシャー前カバーを閉める。

CJG006

## R5-R8 が表示されたとき（3000 枚フィニッシャー装着時）

・フィニッシャー前カバーを開ける。

・R5レバーを左に開け、用紙を取り除く。

・R5レバーを閉める。

・用紙を取り除けないときは、R6レバーを上げ、用紙を取り除く。

・R6レバーを下げる。

・R3レバーを右に倒す。

・R7レバーを左に倒し、用紙を取り除く。

・R3レバーを元に戻す。

・R8レバーを引いてステープルユニットを引き出し、用紙を取り除く。

・ステープルユニットを元に戻し、フィニッシャー前カバーを閉める。

CJG026

# ステープラーの針がつまったとき

ステープラーの針がつまったとき、画面に表示されるアニメーションの手順にしたがって針づまりを取り除いてください。

## ⚠注意

- フィニッシャーのステープルユニットを引き出すときや戻すとき、紙づまりを取り除くときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械のすき間に指を挟み、けがの原因になります。

重要

- **用紙の「そり」が原因で、ステープラーの針が何度もつまることがあります。このときは用紙の表と裏を反対にセットしてください。**
- **針づまりの処理後、フィニッシャーが針シートの位置合わせをする間はステープルされず、最大 1～10 回ほど空打ちされます。**

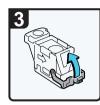
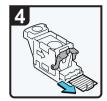
補足

- ステープラーの針づまりの取り除きかたは、フィニッシャーによって異なります。フィニッシャーを確認して取り除いてください。フィニッシャーの種類についてはP.73「おもなオプションのはたらき」を参照してください。

## 3000 枚フィニッシャーのとき

・フィニッシャー前カバーを開ける。

・ステープルユニットを引き出す。

・S1のカートリッジを静かに引き抜く。

・フェースプレートを開く。

・つまっている針を取り除く。

・フェースプレートを「カチッ」と音がするまで押して元に戻す。

・カートリッジを「カチッ」と音がするまで下に押す。

・ステープルユニットを元に戻し、フィニッシャー前カバーを閉める。

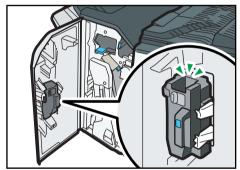
CJG014

5

# パンチくずがいっぱいになったとき

パンチくずがいっぱいになったとき、画面に表示されるアニメーションの手順にしたがってパンチくずを取り除いてください。

補足

- 「パンチくずが満杯です。パンチくずを取り除いてください。」というメッセージが表示されるとパンチできません。
- パンチくず回収箱を元に戻さないと、「パンチくずが満杯です。パンチくずを取り除いてください。」のメッセージは消えません。
- メッセージが消えないときは、もう一度パンチくず回収箱をセットし直します。
- パンチくずが満杯になっていないのに、「パンチくずが満杯です。パンチくずを取り除いてください。」というメッセージが出ることがあります。このとき、パンチくず回収箱の図の矢印の位置にパンチくずが付着していることがあります。付着しているパンチくずを取り除いてください。

# 6. 保守/仕様

消耗品交換時の注意事項や本機の清掃方法について説明しています。また、本機やオプションの仕様、対応用紙について説明しています。

## 守ってほしいこと

本機を使用するときに、守ってほしい項目です。

### 使用上のお願い

**⚠警告**

- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

**⚠注意**

- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

**⚠注意**

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

**⚠注意**

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★重要

- 通風孔などでは排気により温かいと感じることがありますが、異常ではありません。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じたときは、2 時間以上放置して環境になじませてから使用してください。
- 動作中に電源を切らないでください。電源を切るときは、動作が終了していることを確認してください。
- 動作中に各部のカバーや給紙トレイを開けないでください。用紙がつまることがあります。

- 電源が入った状態で本機を動かしたり、傾けたりしないでください。また、振動を与えないでください。
- 動作中に本体の上で紙をそろえるなど外的ショックを与えないでください。
- 本体の設置場所の温度や湿度の状態によっては、印刷時に用紙から水蒸気が発生し、操作部奥の通風孔で湯気になって見えることがあります。
- 温度の変化により機械内部に水滴が生じると適正な印刷品質が得られないことがあります。このような不具合を低減するために、結露防止ヒーターを使用してください。
- 除湿ヒーター（オプション）と結露防止ヒーター（オプション）は、機械の内部を暖めることにより湿度を適正な状態にしています。このため主電源スイッチを「Stand by」にしたあとも、機械本体はやや温かい状態を保っています。

**換気について**

換気の悪い部屋や狭い部屋で長時間使用したり大量の印刷を行うと、本機から臭気が出ることがあります。また、出力した用紙に臭気が残ることがあります。

臭いが気になるときは、快適な作業環境を保つために、定期的に換気をしてください。

- 排気風が直接人に当たらない場所に機械を設置してください。
- 換気量 1 人あたり 30m$^3$ 以上/時間の換気をしてください。

オゾン臭が感じられることがありますが、通常の使用方法ではオゾン濃度が許容値（日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告）：0.1ppm、0.2mg/m$^3$ を上回ることはありません。

**新品時の臭いについて**

新品時には、特有の臭いがすることがあります。この臭いは一週間程度で収まります。臭いが気になるときは、部屋の換気や通風を十分に行ってください。

## 印刷物の取り扱い

- 印刷物は、長時間水や光にさらされると色あせることがあります。長時間保存するときは、バインダーなどで水や光から保護することをお勧めします。
- 印刷物と生乾きの印刷物を重ね合わせると、トナーが溶けることがあります。
- 印刷物をはるとき、溶剤系の接着剤を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 印刷物を折り曲げると、折った部分のトナーがはがれることがあります。
- 塩化ビニール製のマットに印刷物を挟んだまま、温度の高いところに長時間放置すると、トナーが溶けることがあります。
- 暖房器具の近くなど、極度に温度が高くなるところに印刷物を放置すると、トナーが溶けることがあります。

## ハードディスクのデータのバックアップを取る

ハードディスクには、お客様が蓄積した画像やアドレス帳などのデータが格納されます。

Ridoc IO Analyzer、または Web Image Monitor でアドレス帳のバックアップを取ることができます。Ridoc IO Analyzer については、Ridoc IO Analyzer の取扱説明書を参照してください。Web Image Monitor の操作方法については、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

重要

- 万一、本機のハードディスクに不具合が発生すると、蓄積した画像やアドレス帳のデータが消失することがあります。ハードディスクに重要なデータを保存するときは、必ずバックアップまたはダウンロードすることをお勧めします。また、フォントやフォームなどのリソースデータをハードディスクにダウンロードできますが、ハードディスクの故障に備え、ダウンロードしたデータはお客様自身で保管しておく必要があります。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

# 消耗品の補給と交換

消耗品はお早めにお求めくださることをお勧めします。消耗品をお買い求めの際は、P. 413「消耗品一覧」を参照してください。

## トナーを補給する

トナーを補給するときに注意してほしいこと、使用済みトナーの廃棄のしかたを説明します。

### ⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む)、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

### ⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

### ⚠警告

- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。

### ⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む)、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

### ⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

### ⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

### ⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

### ⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。

### ⚠注意

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

### ⚠注意

- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。

**重要**

- 操作部にトナーの交換を促すメッセージが表示されてから、トナーを交換してください。
- 異なるタイプのトナーを使用すると、故障の原因になります。
- 電源を入れたままトナーを補給します。電源を切ると設定した内容が取り消され、印刷を再開できません。
- トナーは、高温多湿、および直射日光をさけて35℃以下の環境を目安に保管してください。
- トナーは平らなところに置いてください。
- トナーカートリッジを取り外した後、トナーカートリッジの口を下に向けたまま振らないでください。残ったトナーが飛散することがあります。

- **トナーカートリッジを何度も抜き差ししないでください。トナーが漏れることがあります。**
- **トナーカートリッジを取り外した状態で、本機を放置しないでください。**

トナーがなくなったときには、操作部に次のメッセージが表示されます。トナーを補給するときは、操作部に表示される手順に従ってください。

「トナーがなくなりました。トナーを補給してください。」

次のメッセージが表示されたときは、もうすぐトナーがなくなります。交換用のトナーを用意してください。

「トナーがもうすぐなくなります。トナーを補給してください。」

補足

- トナー残量が多いにもかかわらずが表示されるときは、トナーカートリッジの口を上に向けてよく振ってから、再セットして下さい。
- 「トナー補給」の画面では、交換に必要なトナー名称と交換手順が確認できます。
- [状態確認] キーを押すと消耗品発注先の電話番号が確認できます。詳しくは、P.441「問い合わせ情報」を参照してください。



**使用済みトナーを廃棄する**

トナーの再利用はできません。

使用済みトナー容器を廃棄するときは、トナー粉が飛び散らないように箱または袋に入れて保管してください。

保管したトナー容器は、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理されるときは、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

## ドラムユニットを交換する

消耗品を交換するときは、新しい消耗品に同梱されている交換手順書をよくお読みのうえ、行ってください。

重要

- **ドラムユニットは長時間光に当てると性能が低下します。交換は速やかに行ってください。**
- **ドラムユニットを外すときは、一気に引き抜くと落下しますので注意してください。**
- **ドラムユニットの上部表面に触れたり、傷つけたりしないよう注意してください。**
- **ドラムユニットを持つときは、左側の緑色のグリップ部分と前面の取っ手を持ってください。取っ手だけを持った状態で移動しないで下さい。**
- **ドラムユニットを取り外した状態で、本機を放置しないでください。**

操作部に次のメッセージが表示されたときは、ドラムユニットを交換してください。

「ドラムユニットの交換時期です。ドラムユニットを交換してください。」

次のメッセージが表示されたときは交換時期が間近です。新しいドラムユニットを用意してください。

「もうすぐドラムユニットの交換時期です。新しいユニットが必要です。お手数ですが購入窓口にご連絡ください。」

## ステープラーの針を補充する

ステープラーの針がなくなったときの対応について説明します。

### ⚠注意

- フィニッシャーのステープルユニットを引き出すときや戻すとき、紙づまりを取り除くときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械のすき間に指を挟み、けがの原因になります。

重要

- **カートリッジは当社製品を使用してください。異なるタイプのカートリッジを使用すると、ステープルされなかったり、針づまりの原因になります。指定のカートリッジを使用してください。詳しくは、P.70「本体各部の名称とはたらき」を参照してください。**

ステープラーの針がなくなったときには、操作部に次のメッセージが表示されます。ステープラーの針を補充するときは、操作部に表示される手順に従ってください。

「ステープル補給」

補足

- カートリッジの両端を押さえても上部ユニットが引き上がらないときは、カートリッジの針がまだ残っています。針を補給しないでそのまま使用してください。
- ステープラーの針の補充方法は、フィニッシャーによって異なります。フィニッシャーを確認して、補充してください。フィニッシャーの種類については、P.73「おもなオプションのはたらき」を参照してください。

# 本機を移動させる

設置、移動するときの注意事項を説明します。

### ⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

### ⚠注意

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

### ⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

### ⚠注意

- 機械を移動するときは、必ず左右４個所の取っ手を最後まで引き出してください。取っ手の引き出し方が不十分だったり、取っ手以外の部分に手をかけると指を挟むなど、けがの原因になります。移動したら、必ず取っ手を元に戻してください。

### ⚠注意

- 機械を移動するときは、操作部を持たないでください。故障の原因になったり、操作部が破損して、けがをすることがあります。

★重要

- 本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- 転倒防止部材は、はずさないでください。
- 次のことに注意し、移動してください。
    - 主電源スイッチを「Stand by」にしてください。P.109「電源の切りかた」を参照してください。

- 前カバーや手差しトレイなどを閉めてください。
    - 増設トレイやフィニッシャーなどの外部オプションを取り付けているときは、すべて取り外して、本機とは別々に移動してください。
    - 本機は、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。
    - 水平を保ち、静かに動かしてください。振動させたり、大きく傾けたりしないでください。故障の原因になったり、ハードディスクやメモリーが破損し、蓄積された文書が消失することがあります。
    - 専用キャスターに本機を乗せたまま移動するときは、本機上部を押して動かさないでください。専用キャスターから本機が落下する恐れがあります。
- @Remote を利用しているときは、イーサネットケーブルを抜いてから移動してください。@Remote のアダプターは本機に接続できる位置に移動し、接続されていた端子にコードを正しく接続し、アダプターの電源プラグをコンセントに接続してください。

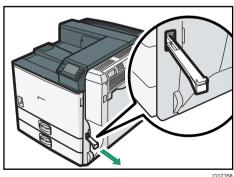
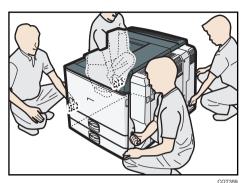
1. **移動する前に以下の点を確認します。**
    - 主電源スイッチを切ってください。
    - 電源コードをコンセントから抜いてください。
    - 本機からインターフェースケーブルを取り外してください。
2. **給紙トレイやフィニッシャーなどの外部オプションを取り付けているときは、すべて取り外します。**

    オプションの取り外し方は、P.16「オプションを装着する」の各オプションの項目を参照し、逆の手順で行ってください。

    サービス実施店が取り付けたオプションの取り外しについては、サービス実施店に連絡してください。
3. **本体の各カバー、手差しトレイがきちんとしまっていることを確認します。**
4. **本体の右側面から、取っ手を引き出します。**

6

5. **本体の両側面にある取っ手をつかみ、本体を持ち上げます。**

CQT359

本体の前後のバランスを保ち、必ず 4 人以上で持ち上げてください。

移動するときは、トナーがこぼれないようにできるだけ水平を保ってください。

机上の本体を移動するときは、引きずらないで必ず持ち上げて移動してください。

6. **移動したあとは、本体から引き出した取っ手を元の位置に戻します。**

7. **取り外した外部オプションを取り付けます。**

# 本機を清掃する

本機の清掃のしかたを説明します。

## 清掃のしかた

### ⚠注意

- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

重要

- **クリーナーなどの薬品類、シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。すきまからしみこんだり、本体のプラスチックが溶けたりして、故障の原因になります。**
- **機械内部など、本書で説明している部分以外の清掃はカスタマーエンジニアに依頼してください。**

やわらかい布でから拭きします。から拭きで汚れが取れないときは、水でぬらして固く絞った布で拭きます。また、水でも取れない汚れは中性洗剤を使用して拭きます。水拭き後、から拭きをして水気を十分に取ります。

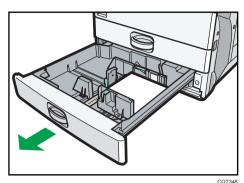
## フリクションパッドを清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、紙粉が多く出てフリクションパッドが汚れると、用紙が多重送りされたり、つまったりする原因になります。その場合、フリクションパッドを清掃します。

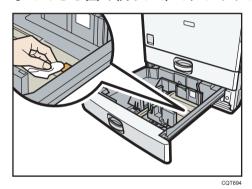
### 本体給紙トレイ、1000 枚給紙テーブル

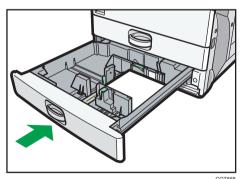
本体給紙トレイ、1000 枚給紙テーブルのトレイのフリクションパッドは同じ方法で清掃します。また、小サイズカセットを使用しているときも、同様の方法で清掃します。ここでは本体給紙トレイ［トレイ 2］を例に説明します。

1. 給紙トレイを止まるまでゆっくりと引き出します。

CQT348

2. セットしている用紙を取り出します。

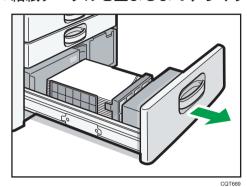
3. 水でぬらし固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。

CQT694

4. 用紙をセットして、給紙トレイを奥に突き当たるまで静かにセットします。

CQT668

用紙をセットした給紙トレイを本体にセットするときは、ゆっくりと入れてください。トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

## 2000 枚給紙テーブル

1. 給紙テーブルを止まるまでゆっくりと引き出します

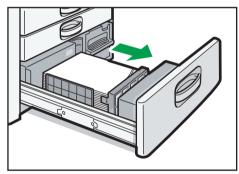
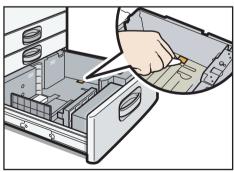
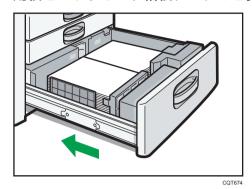
CQT669

2. 右側のトレイの取ってを持って、完全に引き出します。

CQT670

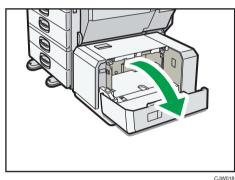
3. セットしている用紙を取り出します。

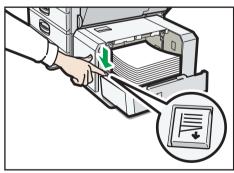
4. 水でぬらし固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。

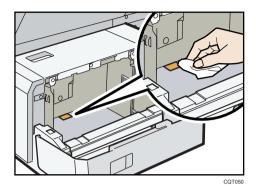
CQT672

5. 用紙をセットして、給紙テーブルを奥に突き当たるまで静かにセットします。

CQT674

## 大量給紙トレイ（LCT）

1. 大量給紙トレイ（LCT）のカバーを開けます。

CJW018

2. トレイ下降キーを押し、底板を下げます。

CJW020

3. セットしている用紙を取り出します。

4. 水でぬらし固く絞った布で、フリクションパッドを拭きます。

5. 用紙をセットして、大量給紙トレイ（LCT）のカバーを閉めます。

## レジストローラー周辺を清掃する

標準紙以外の用紙を使用したときなど、多くの紙粉が出てレジストローラーの周辺が汚れることがあります。紙粉によって印刷結果に部分的な白ヌケが起きるときは、レジストローラー周辺の紙粉を清掃してください。

### ⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

### ⚠注意

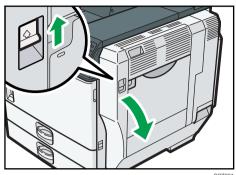
- レジストローラー周辺清掃は、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

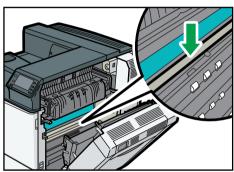
重要

- アルコールや洗浄剤などは使わないでください。

1. 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

6

2. 右側面のレバーを上げ、本体の右カバーをゆっくりと開けます。

CQT361

レジストローラーは下に示す位置にあります。

CQT383

3. 水でぬらし、固く絞った布でレジストローラーを回しながら、左右に動かして拭きます。

CQT384

4. 右カバーを閉めます。

5. 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。

## 電源プラグの清掃

### ⚠警告

- 電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源プラグに焦げ跡がある
    - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

### ⚠警告

- 電源コードは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
    - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
    - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
    - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
    - 電源コードの一部が熱くなる
    - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

### ⚠注意

- 電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

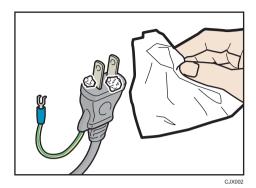
重要

- **電源プラグを抜くときは、主電源スイッチを「Stand by」にしてください。****P.109「電源の切りかた」を参照してください。**

**お手入れの方法**

乾いた布で、ほこりを取り除きます。

6

CJX002

補足

- お手入れをするときは、電源コードが本体に接続されていることを確認してください。

# 消耗品一覧

## トナー

| 商品名 | 商品コード | 販売単位 | 印刷可能ページ数 |
|---|---|---|---|
| IPSiO SP トナー 8200 | 515503 | 1 個 | 約 36,000 ページ |

補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。
- 交換時期を過ぎると印刷ができなくなります。早めにご購入いただくか、買い置きすることをお勧めします。
- トナー（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。
- 本機をはじめてご使用になるときは、本機に同梱されているトナーカートリッジをお使いください。
- 本機に同梱されているトナーの印刷可能ページ数は、約 36,000 ページです。

## ドラムユニット

| 商品名 | 商品コード | 販売単位 | 印刷可能ページ数 |
|---|---|---|---|
| IPSiO SP ドラムユニット 8300 | 306563 | 1 個 | 約 80,000 ページ |

補足

- 「印刷可能ページ数」は、A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。
- ドラムユニット（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

## ステープラーの針

| 商品名 | 商品コード | 規格 | 販売単位 |
| --- | --- | --- | --- |
| リコー PPC ステープラー針 タイプ K[*1] | 317284 | 5,000 針 | 1 箱（5,000 針×3 個） |
| リコー PPC ステープラー カートリッジ タイプ 2[*2] | 317283 | カートリッジ | 1 個（5,000 針セット済み） |

*1 3000 枚フィニッシャー / 3000 枚一穴対応フィニッシャーの端とじ用詰め替え針です。カートリッジは含まれておりません。

*2 3000 枚フィニッシャー / 3000 枚一穴対応フィニッシャーの端とじ用カートリッジです。フィニッシャー本体には、1 カートリッジ分が装着されています。

# 関連商品一覧

## 外部オプション

**IPSiO 1000 枚給紙テーブル C830（商品コード：306509）**

普通紙で、最大 1,160 枚（580 枚×2 段）の用紙をセットできる増設用の給紙トレイユニットです。本体給紙トレイ（580 枚×2 段)、手差しトレイ（100 枚）と合わせると、最大 2,420 枚の用紙を同時にセットできます。

**IPSiO 2000 枚給紙テーブル C830（商品コード：306510）**

普通紙で、最大 2,500 枚の用紙をセットできる増設用の給紙トレイユニットです。本体給紙トレイ（580 枚×2 段)、手差しトレイ（100 枚）と合わせると、最大 3,760 枚の用紙を同時にセットできます。

**IPSiO 1200 枚増設トレイ C830（商品コード：306512）**

普通紙で、最大 1,500 枚の用紙をセットできる増設用の給紙トレイユニットです。本体給紙トレイ（580 枚×2 段)、手差しトレイ（100 枚)、2000 枚給紙テーブル(2,500 枚) と合わせると、最大 5,260 枚の用紙を同時にセットできます。

**IPSiO 専用テーブル C830（商品コード：306520）**

本体の底部に取り付けるキャスター付きの土台で、用紙などを収納できます。

**IPSiO 小サイズ用紙対応カセット C830（商品コード：306513）**

本体給紙トレイ、500 枚増設トレイ、または 1000 枚給紙テーブルのトレイと入れ替えて使用します。郵便ハガキなど、小さなサイズの用紙に印刷できるようになります。

**IPSiO 排紙中継ユニット C830（商品コード：306514）**

フィニッシャーと本体排紙トレイへの排紙先を仕分けるユニットです。3000 枚フィニッシャー、または 3000 枚一穴対応フィニッシャーを取り付けるときに必要なユニットです。

**IPSiO 3000 枚フィニッシャー C830（商品コード：306517）**

シフトソートなどの仕分け印刷、ステープルや 2 穴パンチなどの仕上げができます。また、自動的に仕分ける機能にも対応しています。排紙量は最大 3,250 枚です。

**IPSiO 3000 枚一穴対応フィニッシャー 8300（商品コード：306555）**

シフトソートなどの仕分け印刷、ステープルや 1 穴パンチができます。また、自動的に仕分ける機能にも対応しています。排紙量は最大 3,250 枚です。

**IPSiO 紙揃えユニット C830（商品コード：306518）**

フィニッシャー・トレイに排出された用紙をそろえます。3000 枚フィニッシャーに取り付けるユニットです。

**オペレーターコールライト 9100（商品コード：515184）**

紙づまりや用紙の補給など、印刷中にエラーが起こると、ブザー音とランプの点灯／点滅で警告を発するユニットです。

## SDRAM モジュール

SDRAM モジュールを増設することによって、大きなサイズの用紙に高解像度で印刷できるようになります。

**IPSiO SDRAM モジュール XI 512MB（商品コード：306554）**

メモリー容量は 512M バイトです。

## 拡張 HDD

**IPSiO 拡張 HDD タイプ T（商品コード：306562）**

フォントやフォームの登録、ソート出力、試し印刷、機密印刷などの応用的な機能を利用できます。



## 拡張 SD カード

**IPSiO エミュレーションカード タイプ 8300（商品コード：306556）**

RTIFF、R98、R55、R16、RPDL が含まれたマルチエミュレーションカードです。

**IPSiO マルチエミュレーションカード タイプ 8300（商品コード：306557）**

RTIFF、R98、R55、R16、RP-GL/2、RPDL が含まれたマルチエミュレーションカードです。

**IPSiO PS3 カード タイプ 8300（商品コード：306558）**

本機を日本語ポストスクリプトレベル 3 プリンターとして使用できるようにします。Windows 環境以外にも Mac OS、UNIX から印刷できるようにします。

IPSiO PDF ダイレクトプリントカードの機能が含まれています。

**IPSiO PCL カード タイプ 8300（商品コード：306560）**

PCL が含まれたエミュレーションカードです。

**IPSiO PDF ダイレクトプリントカード タイプ 8300（商品コード：306559）**

PDF ダイレクトプリントが可能になります。

**IPSiO BMLinkS カード タイプ E（商品コード：306561）**

本機を BMLinkS 対応プリンターにできます。

**IPSiO VM カード タイプ H（商品コード：306528）**

本機を Embedded Software Architecture 対応プリンターにできます。

## 拡張ボード

**1Giga イーサネットボード タイプ B（商品コード：515146）**

1000Mbps（1Gbit/sec）という高速ネットワーク環境に接続して印刷することができます。1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T のインターフェースに対応しています。

**IPSiO 拡張無線 LAN ボードタイプ A（商品コード：515506）**

IEEE 802.11a/b/g インターフェース搭載のパソコンあるいはアクセスポイントと接続して、印刷することができます。

**拡張 1284 ボードタイプ A（商品コード：509397）**

パラレル接続を拡張するボードです。

**IPSiO 拡張 USB プリントサーバー タイプ A（商品コード：308823）**

複数のネットワーク環境で 1 台のプリンターを共有して印刷することができます。



## 拡張認証システム

**リコー個人認証 IC カード R/W タイプ R1（商品コード：315927）**

本体機器に IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

**リコー個人認証 IC カード R/W タイプ R1 PC（商品コード：315928）**

パソコンに IC カード R/W を接続して使用するためのパッケージです。

**リコー IC カードタイプ R1（商品コード：315929）**

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる IC カードタイプの認証カードです。

**リコー IC カード管理ソフトタイプ R1（商品コード：315931）**

リコー個人認証システムを運用するときに必要となる認証カードを発行するためのパッケージです。

**リコー個人認証カードタイプ R1 09（商品コード：315343）**

リコー個人認証システムを運用する時に必要となる、本体機器に装着する SD カードです。

## インターフェースケーブル

**USB2.0 プリンターケーブル（商品コード：509600）**

USB プリンターケーブル 2.5 m

**IEEE1284 変換コネクタタイプ A （商品コード：509432）**

パラレルインターフェースの形状を変換するコネクタです。LP インターフェースケーブルタイプ 1B/4B/4S の接続に必須です。

**インターフェースケーブルタイプ 4BH （商品コード：515454）**

NEC PC98-NX シリーズ、各社 DOS/V 機双方向通信対応 2.5 m

**リコー USB2.0 ケーブルタイプミニ B （商品コード：315134）**

本体とリコー個人認証 IC カード R/W を接続するための USB ケーブルです。このケーブルは、本体とパソコンを接続するための USB ケーブルではありませんので、ご注意ください。

# 用紙の仕様

各トレイで使用できる用紙の種類とサイズ、厚さについて説明します。

## 使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）

各給紙トレイにセットできる用紙の種類、サイズと最大セット枚数について説明します。
また両面印刷を行うときの対応用紙について説明しています。

- **セットできる枚数は、「マイペーパー」のときの枚数を記載しており、目安を表しています。**
- **実際のセットできる枚数は用紙種類によって少なくなることがあります。**

### 本体給紙トレイ 1

| | |
|---|---|
| セットできる用紙種類 | 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1~3、レターヘッド、ラベル紙、厚紙 1（裏面）、厚紙 2（裏面）、封筒 |
| 自動検知される用紙サイズ | A3、A4、A5、B4、B5、$8^{1}/_{2}$ × 11 |
| 操作部で設定を必要とする用紙サイズ | 定形サイズ：<br>11 × 17、$8^{1}/_{2}$ × 14、$8^{1}/_{2}$ × 11、$8^{1}/_{4}$ × 14、8 × 13、$7^{1}/_{4}$ × $10^{1}/_{2}$、往復ハガキ、洋長 3 号封筒、角型 2 号封筒<br>不定形サイズ：<br>• 幅 182.0~297.0 mm<br>• 長さ 148.0~432.0 mm |
| セットできる用紙厚 | 60~216 g/m$^2$ (52 kg~186 kg) |
| セットできる枚数 | 580 枚<br>封筒：50 枚<br>往復はがき：200 枚 |
| 補足 | • 封筒はフラップ（ふた）を開いてセットしてください。<br>• 幅 279mm を超える用紙をセットするときは、長さ 420mm 以下の用紙を使用してください。 |

### 本体給紙トレイ 2

| | |
|---|---|
| セットできる用紙種類 | 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1~3、レターヘッド、ラベル紙、厚紙 1（裏面）、厚紙 2（裏面）、封筒 |
| 自動検知される用紙サイズ | A3、A4、A5、B4、B5、$8^{1}/_{2}$ × 11 |

| 操作部で設定を必要とする用紙サイズ | 定形サイズ：<br>11 × 17、8$^{1}/_{2}$ × 14、8$^{1}/_{2}$ × 11、8$^{1}/_{4}$ × 14、8 × 13、7$^{1}/_{4}$ × 10$^{1}/_{2}$、往復ハガキ、洋長 3 号封筒、角型 2 号封筒<br>不定形サイズ：<br>• 幅 182.0～297.0 mm<br>• 長さ 148.0～432.0 mm |
|---|---|
| セットできる用紙厚 | 60～216 g/m$^{2}$ (52 kg～186 kg) |
| セットできる枚数 | 580 枚<br>封筒：50 枚 |
| 補足 | • 封筒はフラップ（ふた）を開いてセットしてください。<br>• 幅 279mm を超える用紙をセットするときは、長さ 420mm 以下の用紙を使用してください。 |

## 手差しトレイ

| セットできる用紙種類 | 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1～3、レターヘッド、OHP、ラベル紙、厚紙 1（裏面)、厚紙 2（裏面)、封筒 |
|---|---|
| 自動検知される用紙サイズ | A3、A4、A5、B4、B5、 B6、郵便ハガキ |
| 操作部で設定を必要とする用紙サイズ | 定形サイズ：<br>A6、11 × 17、8$^{1}/_{2}$ × 14、8$^{1}/_{2}$ × 11、8$^{1}/_{4}$ × 14、5$^{1}/_{2}$ × 8$^{1}/_{2}$、12 × 18、往復ハガキ、洋形 2 号封筒、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋長 3 号封筒、 洋形 4 号封筒、角型 2 号封筒<br>不定形サイズ：<br>• 幅 90.0～305.0 mm<br>• 長さ 148.0～600.0 mm |
| セットできる用紙厚 | 52～216 g/m$^{2}$ (45 kg～186 kg) |
| セットできる枚数 | • 100 枚<br>• 厚紙 1： 40 枚<br>• 厚紙 2： 20 枚<br>• ラベル紙：1 枚 |

## 小サイズカセット

| セットできる用紙種類 | 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1～3、レターヘッド、ラベル紙、厚紙 1（裏面)、厚紙 2（裏面)、封筒 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 操作部で設定を必要とする用紙サイズ | 定形サイズ：<br>A4、A5、A6、B5、B6、8$^{1}/_{2}$ × 11、5$^{1}/_{2}$ × 8$^{1}/_{2}$、洋形 2 号封筒、郵便ハガキ、往復ハガキ、長形 3 号封筒、洋長 3 号封筒、洋形 4 号封筒<br>不定形サイズ：<br>• 幅 100.0〜220.0 mm<br>• 長さ 148.0〜432.0 mm |
| セットできる用紙厚 | 60〜216 g/m$^{2}$ (52 kg〜186 kg) |
| セットできる枚数 | 580 枚 |

## 1000 枚給紙テーブル

| | |
|---|---|
| セットできる用紙種類 | 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1〜3、レターヘッド、ラベル紙、厚紙 1（裏面）、厚紙 2（裏面）、封筒 |
| 自動検知される用紙サイズ | A3、A4、A5、B4、B5、8$^{1}/_{2}$ × 11 |
| 操作部で設定を必要とする用紙サイズ | 定形サイズ：<br>11 × 17、8$^{1}/_{2}$ × 14、8$^{1}/_{2}$ × 11、8$^{1}/_{4}$ × 14、8 × 13、往復ハガキ、洋長 3 号封筒、角型 2 号封筒<br>不定形サイズ：<br>• 幅 182.0〜297.0 mm<br>• 長さ 148.0〜432.0 mm |
| セットできる用紙厚 | 60〜216 g/m$^{2}$ (52 kg〜186 kg) |
| セットできる枚数 | 580 枚×2 段 |
| 補足 | 幅 279mm を超える用紙をセットするときは、長さ 420mm 以下の用紙を使用してください。 |

## 2000 枚給紙テーブル

| | |
|---|---|
| セットできる用紙種類 | 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1〜3、レターヘッド、ラベル紙、厚紙 1（裏面）、厚紙 2（裏面） |
| セットできる用紙サイズ | A4 |
| セットできる用紙厚 | 60〜216 g/m$^{2}$ (52 kg〜186 kg) |
| セットできる枚数 | 1,250 枚×2 |
| 補足 | • 不定形サイズには対応していません。<br>• 工場出荷時は、A4専用に固定されています。セットできる用紙サイズを 8 $^{1}/_{2}$ × 11に変更するときは別途設定が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。 |

### 大量給紙トレイ（LCT）

| | |
|---|---|
| セットできる用紙種類 | 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1～3、レターヘッド、ラベル紙、厚紙 1（裏面）、厚紙 2（裏面） |
| セットできる用紙サイズ | A4 |
| セットできる用紙厚 | 60～216 g/$m^2$ (52 kg～186 kg) |
| セットできる枚数 | 1,500 枚 |
| 補足 | • 不定形サイズには対応していません。<br>• 工場出荷時は、A4専用に固定されています。セットできる用紙サイズを B5や $8^{1}/_{2} \times 11$ に変更するときは別途設定が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。 |

### 両面印刷を行うとき

| | |
|---|---|
| 印刷できる用紙種類 | 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1～3、レターヘッド |
| 印刷できる用紙サイズ | 定形サイズ：<br>A3、A4、A5、A6、B4、B5、B6、$11 \times 17$ $8^{1}/_{2} \times 14$、$8^{1}/_{2} \times 11$、$5^{1}/_{2} \times 8^{1}/_{2}$、郵便ハガキ<br>不定形サイズ：<br>• 幅 90.0～297.0 mm<br>• 長さ 148.0～432.0 mm |
| 印刷できる用紙厚 | 60～160 g/$m^2$ (52 kg～138 kg) |

## 使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）

各排紙トレイに積載できる用紙のサイズと用紙紙厚、積載枚数について説明します。また、フィニッシャーオプションのステープル機能、パンチ機能を使用するときの対応用紙について説明しています。

重要

- **積載できる枚数は、「マイペーパー」のときの枚数を記載しており、目安を表しています。実際の枚数は用紙種類によって少なくなる場合があります。**

### 本体トレイ

収納可能枚数

- A4、$8^{1}/_{2} \times 11$ 以下：500 枚
- B4、$8^{1}/_{2} \times 14$ 以上：250 枚

### 中継ユニット

収納可能枚数

- A4、$8^{1}/_{2}$ × 11 以下：250 枚
- B4、$8^{1}/_{2}$ × 14 以上：125 枚

## 3000 枚フィニッシャー

### 上トレイ

| 収納可能サイズ | 定形サイズ：<br>A3▭、A4▯▭、A5▯▭、A6▭、B4▭、B5▯▭、B6▭、12 × 18▭、 11 × 17▭、$8^{1}/_{2}$ × 14▭、$8^{1}/_{2}$ × 11▯▭、$8^{1}/_{4}$ × 14▭、郵便ハガキ▭、往復ハガキ▯▭、洋長 3 号封筒▯<br>不定形サイズ：<br>• 幅 100.0～305.0 mm<br>• 長さ 148.0～600.0 mm<br>紙揃えユニットを取り付けたときの収納可能サイズは次のとおりです。<br>A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯、A5▯、11 × 17▭、$8^{1}/_{2}$ × 14▭、$8^{1}/_{2}$ × 11▯▭、$5^{1}/_{2}$ × $8^{1}/_{2}$▯. |
|---|---|
| 収納可能用紙紙厚 | 52～160 g/$m^2$ (45 kg～138 kg) |
| 収納可能枚数 | • A4、$8^{1}/_{2}$ × 11 以下: 250 枚<br>• B4、$8^{1}/_{2}$ × 14 以上: 50 枚 |
| その他の注意 | 市販の郵便はがきまたは往復はがきは、用紙紙厚が 163 g/$m^2$（140 kg）を超えるため、上トレイに排紙できません。 |

### シフトトレイ

| 収納可能サイズ | 定形サイズ：<br>A3▭、A4▯▭、A5▯▭、A6▭、B4▭、B5▯▭、B6▭、12 × 18▭、 11 × 17▭、$8^{1}/_{2}$ × 14▭、$8^{1}/_{2}$ × 11▯▭、$8^{1}/_{4}$ × 14▭、郵便ハガキ▭、往復ハガキ▯▭、洋長 3 号封筒▯<br>不定形サイズ：<br>• 幅 100.0～305.0 mm<br>• 長さ 148.0～600.0 mm |
|---|---|
| 収納可能用紙紙厚 | 52～216 g/$m^2$ (45 kg～186 kg) |
| シフト動作可能サイズ | 定形サイズ：<br>不定形サイズ：<br>• 幅 100.0～305.0 mm<br>• 長さ 148.0～600.0 mm |
| シフト動作できる用紙紙厚 | 52～216g/$m^2$ (45 kg～186 kg) |

| | |
|---|---|
| 収納可能枚数 | • A4、$8^{1}/_{2}$ × 11：3,000 枚<br>• A3、B4、A4、B5、12 × 18、11 × 17、$8^{1}/_{2}$ × 14、$8^{1}/_{2}$ × 11：1,500 枚<br>• A5：500 枚<br>• A5、A6、B6、$5^{1}/_{2}$ × $8^{1}/_{2}$：100 枚 |

### ステープルを行うとき

| | |
|---|---|
| ステープル可能なサイズ | A3、A4、B4、B5、12 × 18、 11 × 17、$8^{1}/_{2}$ × 14、$8^{1}/_{2}$ × 11、$8^{1}/_{4}$ × 14 |
| ステープル可能な用紙紙厚 | 52〜105 g/m$^{2}$ (45 kg〜90 kg) |
| ステープル可能な枚数 | • A3、B4、11 × 17、8 × 13、$8^{1}/_{4}$ × 14：30 枚<br>• A4、B5、$8^{1}/_{2}$ × 11：50 枚<br>• サイズ混載時（A3/A4、B4/B5、 11 × 17/$8^{1}/_{2}$ × 11)：30 枚 |
| ステープル後の収納部数 | A4、$8^{1}/_{2}$ × 11：<br>• 20〜50 枚とじ･･･ 150〜60 部<br>• 2〜19 枚とじ･･･150 部<br>A4、B5、$8^{1}/_{2}$ × 11<br>• 15〜50 枚とじ･･･100〜30 部<br>• 2〜14 枚とじ･･･100 部<br>その他の用紙サイズ：<br>• 15〜30 枚とじ･･･100〜30 部<br>• 2〜14 枚とじ･･･100 部<br>サイズ混載時(A3/A4, B4/B5, 11 × 17/$8^{1}/_{2}$ × 11)：<br>• 2〜30 枚とじ･･･50 部 |

### パンチ機能

| | |
|---|---|
| パンチ可能なサイズ | 定形サイズ：<br>A3、A4、A5、B4, B5、11 × 17、$8^{1}/_{2}$ × 14、$8^{1}/_{2}$ × 11、$8^{1}/_{4}$ × 14<br>不定形サイズ：<br>• 幅 100.0〜305.0 mm<br>• 長さ 148.0〜600.0 mm |
| パンチ可能な用紙紙厚 | 52〜160 g/m$^{2}$ (45 kg〜138 kg) |
| パンチ位置 | 2 穴 |

## 3000 枚一穴対応フィニッシャー

トレイごとの用紙サイズ、用紙紙厚、収納枚数、およびステープル機能の仕様は 3000 枚フィニッシャーの仕様と同じです。

### パンチ機能

| パンチ可能なサイズ | A4 |
|---|---|
| パンチ可能な用紙紙厚 | 52〜160 g/$m^2$ (45 kg〜138 kg) |
| パンチ位置 | 1 穴 |

## 用紙厚さについて

用紙厚さの定義は、以下のとおりです。

| 用紙厚さ | 最小用紙紙厚*1 | 最大用紙紙厚*1 |
|---|---|---|
| 薄紙*2 | 52g/$m^2$（45kg） | 59g/$m^2$（51kg） |
| 普通紙 | 60g/$m^2$（52kg） | 81g/$m^2$（70kg） |
| 中厚口 | 82g/$m^2$（70kg） | 105g/$m^2$（90kg） |
| 厚紙 1 | 106g/$m^2$（91kg） | 160g/$m^2$（138kg） |
| 厚紙 2 | 161g/$m^2$（138kg） | 216g/$m^2$（186kg） |

*1 最小用紙紙厚または最大用紙紙厚に近い厚さの用紙を使用すると、印刷結果が不適切になることがあります。そのときは、用紙厚さを薄め/厚めの設定に切り替えて印刷してください。

*2 薄紙を使用するとき、用紙の種類によっては、端が折れたり用紙がつまることがあります

### 用紙の種類ごとの厚さ

各用紙種類の工場出荷時の用紙厚さは以下のとおりです。用紙の種類ごとに設定可能な用紙の厚さが［初期設定］メニューの［用紙設定］に表示されます。お使いの用紙種類に適した用紙厚を指定してください。設定方法については、P.226「用紙の種類を設定する」を参照してください。

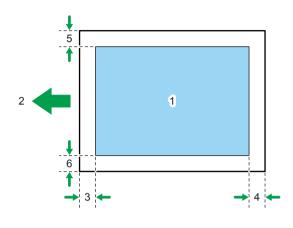
「コート紙：光沢強め」、「OHP」を選択したときは、用紙厚さの選択はできません。

| 用紙種類 | 工場集荷時の用紙厚さ |
|---|---|
| 普通紙、再生紙、色紙、特殊紙 1〜3、レターヘッド | 普通紙 |
| ラベル紙 | 厚紙 1 |
| 封筒 | 中厚口 |

「OHP」、「厚紙 1（裏面）」、「厚紙 2（裏面）」を選択したときは、用紙厚さの選択はできません。

# 印刷範囲

本機の推奨印刷範囲は以下の図のとおりです。

6

1. 印刷範囲
2. 給紙方向
3. 1.0～5.0 mm
4. 0.0～4.0 mm
5. 0.5～4.0 mm
6. 0.5～3.5 mm

補足

- 印刷範囲は、用紙サイズやプリンタードライバーの設定によって異なることがあります。
- プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては推奨印刷範囲外に印刷できますが、思いどおりの印刷結果が得られない、または用紙が正しく送られないことがあります。
- 縁なし印刷には対応していません。

# 本体とオプションの仕様

## 本体の仕様

**レーザ規格**

レーザークラス 1

**形式**

デスクトップ型

**現像方式**

レーザービーム走査＋乾式二成分電子写真方式

**CPU**

PMC-Sierra RM7035C-533L 533MHz

**HDD**

160 GB（オプション）

**メモリー**

標準：512 MB

最大：1024 MB

**ファーストプリント（A4）**

3.5 秒

**連続プリント速度（A4）**

- 50 ページ/分

**搭載フォント**

- 標準：

  明朝 L、ゴシック B、明朝 L プロポーショナル、ゴシック B プロポーショナル、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier4 書体、Arial4 書体、TimesNewRoman4 書体、Wingdings、Century、Symbol、OCR-B、漢字ストローク

- オプション：

  簡易バーコード

  平成明朝 W3、平成角ゴシック W5、欧文 136 書体、HG 明朝 L、HG ゴシック B（PostScript 3、PDF ダイレクトプリント用）

  欧文 45 書体/International font 13 書体（PCL 用）

**用紙サイズ**

詳しくは、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

**用紙種類**

詳しくは、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

**解像度**

200dpi/300dpi/400dpi/600dpi

**出力形式（標準）**

RPCS

**出力形式（オプション）**

Adobe PostScript 3、PDF 、RPDL、PCL6（PCL XL/PCL 5e）、R16、R55（IBM5577）、R98、RTIFF、RP-GL/GL2、BMLinkS

**インターフェース（本体標準）**

- イーサネット（100BASE-TX/10BASE-T）
- USB2.0（A タイプ、B タイプ）
- SD カードスロット

**インターフェース（オプション）**

- ギガビットイーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T）
- IEEE1284 準拠双方向パラレル
- IEEE 802.11a/b/g（無線 LAN）

**騒音**

- 待機時：20.3 dB（A）
  稼動時：56.0 dB（A）

**ウォームアップタイム（温度 20℃、定格電圧）**

- 22 秒

**給紙量**

詳しくは、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

**最大給紙量**

詳しくは、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」を参照してください。

**排紙量**

詳しくは、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」を参照してください。

**排紙方法**

裏面排紙

**電源**

100V、15A、50/60Hz

**消費電力**

最大：1,370 W

**外形寸法（幅×奥×高さ）**

670 × 677 × 641 mm

**機械占有寸法（幅×奥行き）**

1,065 × 677 mm（手差しトレイと排紙トレイを含む）

**質量**

約 73 kg

補足

- 本製品は JIS C 6802（IEC 60825-1）「レーザ製品の安全基準」に基づき、"クラス 1 レーザ製品"に該当します。
- 騒音値は、ISO7779 に基づく実測値であり、バイスタンダ（近在者）位置の音圧レベルです。
- USB 2.0 インターフェースを使って本機を接続する場合、USB 2.0 に対応したパソコンとケーブルが必要です。
- 本機がしばらく使われていない状態の場合、1 ページ目の印刷に多少時間がかかる場合があります。

## 1000 枚給紙テーブルの仕様

**最大消費電力**

40 W（電源は本体から供給）

**大きさ（幅×奥行き×高さ）**

580 × 629 × 260 mm

**質量**

約 26 kg

補足

- 使用できる用紙については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」参照してください。

## 2000 枚給紙テーブルの仕様

**最大消費電力**

45 W（電源は本体から供給）

**大きさ（幅×奥行き×高さ）**

580 × 629 × 260 mm

**質量**

約 26 kg

補足

- 使用できる用紙については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」参照してください。

## 大量給紙トレイ（LCT）の仕様



**最大消費電力**

50 W（電源は本体から供給）

**大きさ（幅×奥行き×高さ）**

314 × 458 × 659 mm

**質量**

約 20 kg

補足

- 使用できる用紙については、P.419「使用できる用紙の種類とサイズ（給紙トレイ）」参照してください。

## 専用テーブルの仕様

**大きさ（幅×奥行き×高さ）**

580 × 613 × 271 mm

**質量**

約 18 kg

## 専用キャスターの仕様

### 大きさ（幅×奥行き×高さ）

580 × 615 × 260 mm

### 質量

約 8.4 kg

## 3000 枚フィニッシャーの仕様

### ステープルの位置

奥、手前、奥斜め、左 2 カ所、上 2 カ所

### 最大消費電力

96W（電源は本体から供給）

### 大きさ（幅×奥行き×高さ）

657 × 613 × 960 mm

### 質量

約 56 kg

補足

- 使用できる用紙については、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」参照してください。

## 3000 枚一穴対応フィニッシャーの仕様

### ステープルの位置

奥、手前、奥斜め、左 2 カ所、上 2 カ所

### 最大消費電力

96 W（電源は本体から供給）

### 大きさ（幅×奥行き×高さ）

657 × 613 × 960 mm

### 質量

約 56 kg

補足

- 使用できる用紙については、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」参照してください。

## 紙揃えユニットの仕様

**最大消費電力**

7 W（電源は本体から供給）

**大きさ（幅×奥行き×高さ）**

125 × 450 × 100 mm

**質量**

約 1.7kg

補足

- 使用できる用紙については、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」参照してください。

## 排紙中継ユニットの仕様

**最大消費電力**

20 W（電源は本体から供給）

**大きさ（幅×奥行き×高さ）**

415 × 412 × 111 mm

**質量**

約 4 kg

補足

- 使用できる用紙については、P.422「使用できる用紙の種類とサイズ（排紙トレイ）」参照してください。

## 拡張ギガビットイーサネットボードの仕様

**インターフェース**

イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T）

**伝送速度**

10Mbps、100Mbps、1000Mbps

**ケーブルの長さ**

100m まで

## 拡張無線 LAN ボードの仕様

### インターフェース

IEEE 802.11a/b/g 準拠（W52/W53）、Wi-Fi 準拠

### 伝送方式

- 802.11a：直交周波数分割多重（OFDM）方式
- 802.11b：直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式
- 802.11g：直交周波数分割多重(OFDM)方式＋直接シーケンススペクトラム拡散/相補符号変調（DSSS/CCK）方式

すべての方式は単信（半二重）

### 伝送速度

- 802.11a：6Mbps、9Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps
- 802.11b：1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps
- 802.11g：1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、6Mbps、9Mbps、11Mbps、12Mbps、18Mbps、24Mbps、36Mbps、48Mbps、54Mbps

### 周波数範囲（中心周波数表示）

- 802.11a：5180MHz～5320MHz（20MHz 間隔 8 波 W52、W53）
- 802.11b：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）、2484MHz
- 802.11g：2412MHz～2472MHz（5MHz 間隔 13 波）

※無線 LAN に記載されているマークについて

- 2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示します。
- DS/OF：DS-SS 方式及び OF-DM 方式を示します。
- 4：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示します。
- ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

## 拡張 USB プリントサーバーユニットの仕様

### インターフェース

- イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T）

- USB 2.0 (製品とプリンター本体との接続用)

## 拡張 1284 ボードの仕様

### 通信方式

IEEE 1284 規格に対応

### 接続方式

IEEE 1284 規格に対応したデバイス

※拡張 1284 ボードとの接続には、ハーフピッチ用の変換コネクターを使用してください。

### コネクターピンアサイン

拡張1284ボード

| 拡張1284ボード(ハーフピッチ36pin) | |
|---|---|
| ピン | 信号名 |
| 1 | BUSY |
| 2 | Select |
| 3 | Acknowledge |
| 4 | Fault |
| 5 | Paper Empty |
| 6 | Data Bit 0(LSB) |
| 7 | Data Bit 1 |
| 8 | Data Bit 2 |
| 9 | Data Bit 3 |
| 10 | Data Bit 4 |
| 11 | Data Bit 5 |
| 12 | Data Bit 6 |
| 13 | Data Bit 7(MSB) |
| 14 | Initial |
| 15 | Data Strobe |
| 16 | Select Input |
| 17 | Auto Line Feed |
| 18 | Logic High |
| 19 | Ground |
| 20 | Ground |
| 21 | Ground |
| 22 | Ground |
| 23 | Ground |
| 24 | Ground |
| 25 | Ground |
| 26 | Ground |
| 27 | Ground |
| 28 | Ground |
| 29 | Ground |
| 30 | Ground |
| 31 | Ground |
| 32 | Ground |
| 33 | Ground |
| 34 | Ground |
| 35 | Ground |
| 36 | Peripheral Logic High |

ハーフピッチ用変換コネクター

| 拡張1284ボード側(ハーフピッチ36pin) | | パソコン側(フルピッチ36pin) | |
|---|---|---|---|
| ピン | 信号名 | ピン | 信号名 |
| 1 | BUSY | 11 | BUSY |
| 2 | Select | 13 | Select |
| 3 | Acknowledge | 10 | Acknowledge |
| 4 | Fault | 32 | Fault |
| 5 | Paper Empty | 12 | Paper Empty |
| 6 | Data Bit 0(LSB) | 2 | Data Bit 0(LSB) |
| 7 | Data Bit 1 | 3 | Data Bit 1 |
| 8 | Data Bit 2 | 4 | Data Bit 2 |
| 9 | Data Bit 3 | 5 | Data Bit 3 |
| 10 | Data Bit 4 | 6 | Data Bit 4 |
| 11 | Data Bit 5 | 7 | Data Bit 5 |
| 12 | Data Bit 6 | 8 | Data Bit 6 |
| 13 | Data Bit 7(MSB) | 9 | Data Bit 7(MSB) |
| 14 | Initial | 31 | Initial |
| 15 | Data Strobe | 1 | Data Strobe |
| 16 | Select Input | 36 | Select Input |
| 17 | Auto Line Feed | 14 | Auto Line Feed |
| 18 | Logic High | - | - |
| 19 | Ground | 29 | Ground |
| 20 | Ground | 28 | Ground |
| 21 | Ground | 28 | Ground |
| 22 | Ground | 29 | Ground |
| 23 | Ground | 28 | Ground |
| 24 | Ground | 20 | Ground |
| 25 | Ground | 21 | Ground |
| 26 | Ground | 22 | Ground |
| 27 | Ground | 23 | Ground |
| 28 | Ground | 24 | Ground |
| 29 | Ground | 25 | Ground |
| 30 | Ground | 26 | Ground |
| 31 | Ground | 27 | Ground |
| 32 | Ground | 30 | Ground |
| 33 | Ground | 19 | Ground |
| 34 | Ground | 30 | Ground |
| 35 | Ground | 30 | Ground |
| 36 | Peripheral Logic High | 18 | Peripheral Logic High |

CQS983

## オペレーターコールライトの仕様

### LED 色

緑色・赤色

**ブザー**

音量調節機能・停止スイッチ付

**外形寸法（幅×奥×高さ）**

147 × 103 × 488 mm

**質量**

0.8 kg

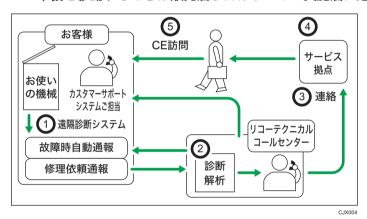
# お問い合わせ

保守サービス契約、お問い合わせ先について説明します。

## リモート管理サービスを利用する

機械が故障したり、修理を依頼したいときにリコーテクニカルコールセンターへ通報します。

重要

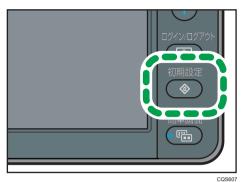
- 「センターに自動通報できませんでした」と表示されているときやリコーテクニカルコールセンターから連絡がこないときは、サービス実施店に連絡してください。
- 本機を移動するときは販売店またはサービス実施店に連絡してください。

通報には次の 3 種類があります。

**故障時自動通報（SC／サービスコール）**

機械の自己診断機能で故障を検知したときにリコーテクニカルコールセンターへ自動通報されます。

**修理依頼通報（MC／マニュアルコール）**

ひんぱんに用紙がつまる、用紙を取り除いても紙づまり表示が消えないときなどに、以下の手順で通報します。

1. ［初期設定］キーを押します。

2. ［リモートサービス］を押します。

3. ［修理依頼通報実行］を押します。

   通報したあと、通常の操作画面に戻すときは［終了］を押します。

**修理依頼通報（画面の表示）**

6

次のときは、修理依頼通報画面が表示され、［通報］を押すことによって、リコーテクニカルコールセンターに自動通報することができます。

- ひんぱんに用紙がつまる。
- 用紙がつまった状態でドアやカバーが開いたまま一定時間放置された。

補足

- 用紙がつまった状態で一定時間放置されると警告音が鳴ります。
- リコーテクニカルコールセンターでの修理依頼受け付け時間は、9:00～18:00 です。ただし、日曜、祝日、年末年始は除きます。
- 通報受信後、リコーテクニカルコールセンターからご担当者へ受信確認の連絡をいたします。お客様のカスタマーサポートセンターご担当者名を事前に販売店またはサービス実施店に連絡してください。ご担当者が代わられたときも同様に連絡してください。

## 保守サービス契約

本機をお買い上げいただく際にリコー保守サービス契約にご契約いただきます。

保守サービス内容につきましては、販売担当者またはカスタマーエンジニアにおたずねください。

なお保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機の製造中止後 7 年間です。

## 機器のご利用終了にともなう、機器に保存されたお客様の情報資産のお取り扱いについて

本機をお使いのお客様には、返却・廃棄・譲渡などで機器のご利用終了の際に、その機器内に残されたお客様の情報資産を解析され、漏洩する危険を未然に防止する必要があります。未然に防止するためには、機器のご利用終了後に確実な消去処理を行うことが望ましいといえます。

機器に残存するおもな情報資産は以下になります。

- 任意に HDD へ保存された蓄積文書
- アドレス帳
- 各種設定情報 他

上記のような情報資産は、所有者であるお客様の自己責任において処理をする必要があります。

リコーでは、機器の情報安全性の強化を進めるとともに、お客様からご返却、お預かりした使用済み機器は、確実な情報消去を実施しています。

しかし、リコーではない第三者にご返却、お預けされるときには、お客様自身により、情報資産の処理や確認が必要となりますのでご注意ください。

また、リコーでは以下の有償サービスを行っています。必要に応じてご利用いただけますようお願いします。

**サービス・機能と概要**

| サービス名称 | 概要 |
|---|---|
| OA 機器廃棄証明発行サービス | 機器を物理的に破壊処理したことの証明書を発行します。 |
| OA 機器 HDD 傷入れ証明発行サービス | 回収した機器からハードディスクを取り出し、キズ入れを行います。キズ入れ時の写真が入った証明書を発行します。 |
| オンサイトによる HDD 取り外し・キズ入れサービス | カスタマーエンジニアが訪問し、お客様の前で機器からハードディスクを取り外します。取り外したハードディスクはキズ入れ作業により物理的に読めないようにして、お客様に譲渡もしくは回収します。取り出したハードディスクをそのまま譲渡することも可能です。機器返却時にサービス実施店までご相談ください。<br>リース物件の場合はリース会社に所有権があることから、お客様がリース会社から事前に同意を得る必要があります。 |

- 他社製品に対する上記サービスは実施していません。
- 地域や機種により対応サービスが異なるときがあります。詳細はコールセンターもしくは販売担当者、サービス担当者にお問い合わせください。

さらに、本機はデータの上書き消去機能やハードディスクの暗号化機能が用意されています。詳しくは『セキュリティーガイド』「ハードディスクのデータを上書き消去する」、「機器のデータを暗号化する」を参照してください。

## お問い合わせ先

### 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

NetRICOH のホームページからもご購入できます。

http://www.netricoh.com

### 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。

http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

### 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

**050-3786-8111**

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0918 をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9 時～12 時、13 時～17 時　（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- 050 ビジネスダイヤルは、一部の IP 電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

### 最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

## 問い合わせ情報

本機の修理依頼、トナーの発注などの連絡先を確認できます。

### 初期設定から問い合わせ情報を確認する

確認できる項目は次のとおりです。連絡先一覧リストを印刷することもできます。

**消耗品**

- トナー名称
- ステープル名称

トナー、ステープル以外の消耗品の名称については、P.413「消耗品一覧」を参照してください。

**機械修理**

- 連絡先電話番号
- 機械番号

**営業窓口**

- 連絡先電話番号

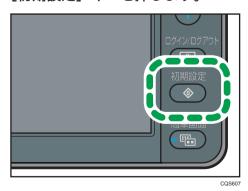
**消耗品発注先**

- 連絡先電話番号

「電話番号」は、サービス実施店が登録しますので、サービス実施店に連絡してください。

連絡先一覧リストの印刷方法を説明します。

1. [初期設定］キーを押します。

2. [▼］を押します。
3. [問い合わせ情報］を押します。

4. 問い合わせ情報を印刷するときは、[連絡先一覧印刷] を押します。

## [状態確認] キーを使用して問い合わせ情報を確認する

[問い合わせ情報] タブでは次の項目が確認できます。

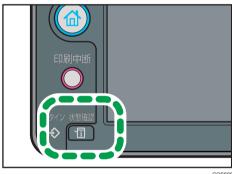
- 機械修理

  本機を修理するために必要な機械番号と連絡先の電話番号がわかります。
- 営業窓口

  営業窓口の電話番号がわかります。
- 消耗品発注先

  本機で使用している消耗品を発注する電話番号がわかります。
- 消耗品名称

  本機で使用しているトナー、ステープラーの針などの名称がわかります。

1. [状態確認] キーを押します。

2. [保守/機器] タブを押します。
3. [問い合わせ情報] を押します。
4. 確認後、[閉じる] を押します。

# 付録

## Windows ターミナルサービス／Citrix Presentation Server を使用する

### 動作環境

使用可能な OS と Citrix Presentation Server との組み合わせは次のとおりです。

**Citrix Presentation Server 4.5/XenApp 5.0/6.0/6.5**

- Windows Server 2003/2003 R2
- Windows Server 2008/2008 R2

### 対応プリンタードライバー

Windows ターミナルサービスがインストールされている環境で使用できるプリンタードライバーは、次のとおりです。

- RPCS ドライバー
- PCL ドライバー
- PS3 ドライバー

### 制限

動作が制限される環境についての説明です。

**「Windows ターミナルサービス」動作時**

［スタート］メニューから Windows Server 2003 でターミナルサービスを実行している環境で Ridoc IO Navi をインストールする場合は、必ずインストールモードでインストールを行ってください。インストールモードでインストールを行うには、次の 2 通りの方法があります。

1. ［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］を使用して Ridoc IO Navi をインストールします。
2. MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

   CHANGE USER /INSTALL

   インストールモードを終了するには、MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

   CHANGE USER /EXECUTE

詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

**印刷時**

サイズの大きな画像や、フォントが大量に含まれたデータを印刷すると、画像や文字抜けが発生する場合があります。事前検証のうえ、運用してください。

**「クライアントプリンタの自動作成機能」使用時**

「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、Citrix サーバーにログオンする時に、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、Citrix サーバー側にて、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- 大容量の画像データを印刷したり、ISDN などの電話回線を利用した WAN 環境でお使いになる場合、事前検証のうえ、運用してください。
- 「Citrix 管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。

サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されない場合、次の対処方法を行ってください。

- 「Citrix 管理コンソール」の「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

**「プリンタードライバーの複製機能」使用時**

事前検証のうえ、運用してください。

正しく複製されない場合は、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

補足

- 制限事項について詳しくは、リコーホームページを参照してください。

## DHCP を使用する

本機を DHCP 環境で使用することができます。WINS サーバーが稼働している環境では、同時にプリンター名を WINS サーバーに登録することができます。

動作対象の DHCPv4 サーバーは、Windows server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。

動作対象の DHCPv6 サーバーは、Windows server 2008/2008 R2 日本語版、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。

WINS サーバーは DHCPv6 に対応していません。

WINS サーバーを使用する場合は、本機の設定項目で［WINS 設定］を［使用する］に設定してください。

WINS サーバーを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。

WINS サーバーを使用しない場合は、毎回同じ IPv4 アドレスが割り当てられるように、本機に割り当てる IPv4 アドレスを DHCP サーバーで予約してください。

複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

補足

- 本機が DHCP から取得した IPv4 アドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。

### AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IPv4 アドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx ではじまるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

補足

- AutoNet 機能で自動選択された IPv4 アドレスは、DHCP サーバーが IPv4 アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IPv4 アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- 本機が使用している IPv4 アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、P.280「テスト印刷する」を参照してください。
- AutoNet モードで動作中の場合、WINS サーバーへのプリンター名の登録は行われません。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。ただし、Mac OS X 10.2.3 以降が稼働している Macintosh とは通信できます。

## WINS サーバーを使用する

プリンターの起動時に、プリンターのプリンター名を WINS（Windows Internet Name Service）サーバーに登録することができます。WINS サーバーにプリンター名を登録すると、DHCP 環境で使用している場合、Ridoc IO Navi のポート名にプリンターのプリンター名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターが WINS サーバーを使用できるようにする設定について説明します。サポートする WINS サーバーは、Windows Server 2003 以降 の WINS マネージャーです。

WINS サーバーの設定については、Windows のヘルプを参照してください。

WINS サーバーが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンター名の登録が行われます。登録できるプリンター名は、半角英数字で 15 バイト以内です。

### Web ブラウザーを使用する方法

1. **Web ブラウザーを起動します。**
2. **Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。**
3. **［ログイン］をクリックします。**

   ログインユーザー名とログインパスワードを入力するダイアログが表示されます。
4. **ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。**

   ログインユーザー名とログインパスワードについては管理者に確認してください。

   お使いのブラウザーの設定により、ログイン名、パスワードがブラウザーに保存される場合があります。これを防ぐためにはブラウザーでログイン名、パスワードを保存しないように設定してください。
5. **メニューエリアの［機器の管理］から［設定］をクリックします。**
6. **「ネットワーク」の［IPv4］をクリックします。**
7. **［イーサネット］の［WINS］が「有効」になっていることを確認し、［プライマリ WINS サーバー］と［セカンダリ WINS サーバー］にそれぞれ WINS サーバーの IP アドレスを入力します。**
8. **［OK］をクリックします。**
9. **「設定の書き換え中」画面が表示されます。1～2 分経過してから［OK］をクリックします。**
10. **Web ブラウザーを終了します。**

補足

- ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者に確認してください。
- 詳細は P.237「Web ブラウザーを使用する」を参照してください。

## ダイナミック DNS 機能を使用する

ダイナミック DNS とは、DNS サーバーが管理しているレコード（A レコード、AAAA レコード、CNAME および PTR レコード）を動的に更新（登録・削除）する機能です。本機が接続されているネットワーク環境に DNS サーバーがあり、本機が DNS クライアントである場合、ダイナミック DNS 機能によって動的にレコードを更新することができます。

## 更新処理について

本機の IP アドレスが静的か DHCP から取得しているかによって、更新処理の動作が異なります。

ダイナミック DNS 機能を使用しない場合、本機の IP アドレスが変更されると、DNS サーバーで管理しているレコードを手動で更新する必要があります。

本機でレコードの更新を実行する場合、DNS サーバーの設定が次のどちらかになっている必要があります。

- セキュリティー設定がされていない
- セキュリティー設定で、更新を許可するクライアント（本機）を IP で指定している

**静的 IPv4 設定の場合**

IPv4 アドレス、ホスト名が変更された場合、本機が A レコード、および PTR レコードを更新します。

また、A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

- イーサネット、無線 LAN の場合

  PRNXXXXXX（PRNXXXXXX は MAC アドレスの下位 3 バイトの 16 進数）

  ただし、ホスト名が CNAME と同じ（PRNXXXXXX）場合は、CNAME は登録されません。

**DHCPv4 設定の場合**

DHCPv4 サーバーが本機の代理でレコードを更新します。次のどちらかになります。

- 本機が DHCPv4 サーバーから IPv4 アドレスを取得する際、DHCPv4 サーバーが A レコードと PTR レコードを更新
- 本機が DHCPv4 サーバーから IPv4 アドレスを取得する際、本機が A レコードを更新し、DHCPv4 サーバーが PTR レコードを更新

A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

- イーサネット、無線 LAN の場合

  PRNXXXXXX（PRNXXXXXX は MAC アドレスの下位 3 バイトの 16 進数）

**IPv6 設定**

本機が AAAA レコードおよび PTR レコードを更新します。

また、AAAA レコードを更新する際に、CNAME も登録します。

ステートレスアドレスが新たに設定された場合は、DNS サーバーに追加登録されます。

補足

- メッセージ認証を用いた動的更新（TSIG、SIG（0））はサポートしていません。

## 動作対象の DNS サーバー

### 静的 IPv4 設定の場合

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

### DHCPv4 設定の場合で本機が A レコードを更新する場合

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

### DHCPv4 設定の場合で、DHCPv4 サーバーがレコードを更新する場合

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

### IPv6 設定の場合

- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND9.2.3 以降



## 動作対象の DHCPv4 サーバー

本機の代理で A レコード、および PTR レコードを更新することができる DHCPv4 サーバーは次のとおりです。

- Windows Server 2003/2003 R2/2008 に標準添付の Microsoft DHCPv4 サーバー
- ISC DHCP 3.0 以降

# 搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報を記載しています。

## AppleTalk

Copyright (c) 1990,1991 Regents of The University of Michigan. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of The University of Michigan not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written

prior permission. This software is supplied as is without expressed or implied warranties of any kind.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

## Boost

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

## expat について



Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Centre, Ltd. and Clark Cooper.

Copyright (c) 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- expat に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://expat.sourceforge.net/

## FreeBSD 4.6.2 について



## Heimdal



Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## ILU



Unlimited use, reproduction, modification, and distribution of this software and modified versions thereof is permitted. Permission is granted to make derivative works from this software or a modified version thereof. Any copy of this software, a modified version thereof, or a derivative work must include both the above copyright notice of Xerox Corporation and

this paragraph. Any distribution of this software, a modified version thereof, or a derivative work must comply with all applicable United States export control laws. This software is made available AS IS, and XEROX CORPORATION DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NOTWITHSTANDING ANY OTHER PROVISION CONTAINED HEREIN, ANY LIABILITY FOR DAMAGES RESULTING FROM THE SOFTWARE OR ITS USE IS EXPRESSLY DISCLAIMED, WHETHER ARISING IN CONTRACT, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE) OR STRICT LIABILITY, EVEN IF XEROX CORPORATION IS ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

## JPEG LIBRARY

- The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

## LibTIFF

Use and Copyright

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written

permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,

EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY

WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR

ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

## libxml2

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CON-NECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE

## Lua

License for Lua 5.0 and later versions

Copyright © 1994-2008 Lua.org, PUC-Rio.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.



## The m17n library

http://www.m17n.org/index.html

The m17n library 1.2.0 release

Copyright (C) 2003, 2004

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST) Registration Number H15PRO112

The m17n library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

The m17n library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with the m17n library; if not, write to the Free Software Foundation,

Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

## Math library

Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunPro, a Sun Microsystems, Inc. business.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

## MD4



License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.



## MD5



License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

## nana



Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



## Net-SNMP

Various copyrights apply to this package, listed in various separate parts below. Please make sure that you read all the parts.

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) -----



Redistribution and use in source and binary forms, with or without

modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----



Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE

DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright © 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.



Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2003-2008, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network

Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without

modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003

oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz <bernhard.penz@fabasoft.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## NetBSD

1. Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product: This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.



2. Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks or registered trade-marks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

- This product includes software developed by the University of California,Berkeley and its contributors.
- This product includes software developed by the NetBSD Foundation.

- This product includes software developed by The NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
- This product includes software developed for the NetBSD Project. See http://www.netbsd.org/ for information about NetBSD.
- This product contains software developed by Ignatios Souvatzis for the NetBSD project.
- This product contains software written by Ignatios Souvatzis and MichaelL. Hitch for the NetBSD project.
- This product contains software written by Michael L. Hitch for the NetBSD project.
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@mincom.oz.au)
- This product includes software designed by William Allen Simpson.
- This product includes software developed at Ludd, University of Lulea,Sweden and its contributors.
- This product includes software developed at Ludd, University of Lulea.
- This product includes software developed at the Information Technology Division, US Naval Research Laboratory.
- This product includes software developed by Berkeley Software Design, Inc.
- This product includes software developed by David Jones and Gordon Ross.
- This product includes software developed by Gordon W. Ross and Leo Weppelman.
- This product includes software developed by Hellmuth Michaelis and Joerg Wunsch.
- This product includes software developed by Internet Research Institute, Inc.
- This product includes software developed by Leo Weppelman and Waldi Ravens.
- This product includes software developed by Mika Kortelainen.
- This product includes software developed by Aaron Brown and Harvard University.
- This product includes software developed by Adam Ciarcinski for the NetBSD project.
- This product includes software developed by Adam Glass and Charles M.Hannum.
- This product includes software developed by Adam Glass.
- This product includes software developed by Advanced Risc Machines Ltd.
- This product includes software developed by Alex Zepeda, and Colin Wood for the NetBSD Projet.
- This product includes software developed by Alex Zepeda.
- This product includes software developed by Alistair G. Crooks.
- This product includes software developed by Alistair G. Crooks. for the NetBSD project.
- This product includes software developed by Allen Briggs.

- This product includes software developed by Amancio Hasty and Roger Hardiman.
- This product includes software developed by Berkeley Software Design, Inc.
- This product includes software developed by Berkeley Software Design, Inc.
- This product includes software developed by Bill Paul.
- This product includes software developed by Bodo Moeller. (If available, substitute umlauted o for oe)
- This product includes software developed by Boris Popov.
- This product includes software developed by Brad Pepers
- This product includes software developed by Bradley A. Grantham.
- This product includes software developed by Brini.
- This product includes software developed by Causality Limited.
- This product includes software developed by Charles D. Cranor and Seth Widoff.
- This product includes software developed by Charles D. Cranor and Washington University.
- This product includes software developed by Charles D. Cranor, Washington University, and the University of California, Berkeley and its contributors.
- This product includes software developed by Charles D. Cranor, Washington University, the University of California, Berkeley and its contributors.
- This product includes software developed by Charles D. Cranor.
- This product includes software developed by Charles Hannum.
- This product includes software developed by Charles M. Hannum, by the University of Vermont and State Agricultural College and Garrett A.Wollman, by William F. Jolitz, and by the University of California,Berkeley, Lawrence Berkeley Laboratory, and its contributors.
- This product includes software developed by Charles M. Hannum.
- This product includes software developed by Christian E. Hopps, Ezra Story, Kari Mettinen, Markus Wild, Lutz Vieweg and Michael Teske.
- This product includes software developed by Christian E. Hopps.
- This product includes software developed by Christian Limpach
- This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
- This product includes software developed by Christos Zoulas.
- This product includes software developed by Chuck Silvers.
- This product includes software developed by Colin Wood for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Colin Wood.

- This product includes software developed by Cybernet Corporation and Nan Yang Computer Services Limited
- This product includes software developed by Daishi Kato
- This product includes software developed by Dale Rahn.
- This product includes software developed by Daniel Widenfalk and Michael L. Hitch.
- This product includes software developed by Daniel Widenfalk for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Darrin B. Jewell
- This product includes software developed by David Miller.
- This product includes software developed by Dean Huxley.
- This product includes software developed by Eduardo Horvath.
- This product includes software developed by Eric S. Hvozda.
- This product includes software developed by Eric S. Raymond
- This product includes software developed by Eric Young (eay@@mincom.oz.au)
- This product includes software developed by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
- This product includes software developed by Eric Young (eay@mincom.oz.au)
- This product includes software developed by Ezra Story and by Kari Mettinen.
- This product includes software developed by Ezra Story, by Kari Mettinen and by Bernd Ernesti.
- This product includes software developed by Ezra Story, by Kari Mettinen, Michael Teske and by Bernd Ernesti.
- This product includes software developed by Ezra Story, by Kari Mettinen, and Michael Teske.
- This product includes software developed by Ezra Story.
- This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Gardner Buchanan.
- This product includes software developed by Gary Thomas.
- This product includes software developed by Gordon Ross
- This product includes software developed by Gordon W. Ross
- This product includes software developed by HAYAKAWA Koichi.
- This product includes software developed by Harvard University and its contributors.
- This product includes software developed by Harvard University.
- This product includes software developed by Herb Peyerl.
- This product includes software developed by Hubert Feyrer for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Iain Hibbert

- This product includes software developed by Ian F. Darwin and others.
- This product includes software developed by Ian W. Dall.
- This product includes software developed by Ichiro FUKUHARA.
- This product includes software developed by Ignatios Souvatzis for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Internet Initiative Japan Inc.
- This product includes software developed by James R. Maynard III.
- This product includes software developed by Jared D. McNeill.
- This product includes software developed by Jason L. Wright
- This product includes software developed by Jason R. Thorpe for And Communications, http://www.and.com/
- This product includes software developed by Joachim Koenig-Baltes.
- This product includes software developed by Jochen Pohl for The NetBSD Project.
- This product includes software developed by Joerg Wunsch
- This product includes software developed by John Birrell.
- This product includes software developed by John P. Wittkoski.
- This product includes software developed by John Polstra.
- This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Jonathan Stone.
- This product includes software developed by Jukka Marin.
- This product includes software developed by Julian Highfield.
- This product includes software developed by Kazuhisa Shimizu.
- This product includes software developed by Kazuki Sakamoto.
- This product includes software developed by Kenneth Stailey.
- This product includes software developed by Kiyoshi Ikehara.
- This product includes software developed by Klaus Burkert,by Bernd Ernesti, by Michael van Elst, and by the University of California, Berkeley and its contributors.
- This product includes software developed by LAN Media Corporation and its contributors.
- This product includes software developed by Leo Weppelman for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Leo Weppelman.
- This product includes software developed by Lloyd Parkes.
- This product includes software developed by Luke Mewburn.

- This product includes software developed by Lutz Vieweg.
- This product includes software developed by MINOURA Makoto, Takuya Harakawa.
- This product includes software developed by Manuel Bouyer.
- This product includes software developed by Marc Horowitz.
- This product includes software developed by Marcus Comstedt.
- This product includes software developed by Mark Brinicombe for the NetBSD project.
- This product includes software developed by Mark Brinicombe.
- This product includes software developed by Mark Murray
- This product includes software developed by Mark Tinguely and Jim Lowe
- This product includes software developed by Markus Wild.
- This product includes software developed by Martin Husemann and Wolfgang Solfrank.
- This product includes software developed by Masanobu Saitoh.
- This product includes software developed by Masaru Oki.
- This product includes software developed by Mats O Jansson and Charles D.Cranor.
- This product includes software developed by Mats O Jansson.
- This product includes software developed by Matt DeBergalis
- This product includes software developed by Matthew Fredette.
- This product includes software developed by Matthias Pfaller.
- This product includes software developed by Michael Graff for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Michael Graff.
- This product includes software developed by Michael L. Hitch.
- This product includes software developed by Michael Shalayeff.
- This product includes software developed by Michael Smith.
- This product includes software developed by Mike Glover and contributors.
- This product includes software developed by Mike Pritchard.
- This product includes software developed by Minoura Makoto.
- This product includes software developed by Nan Yang Computer Services Limited.
- This product includes software developed by Niels Provos.
- This product includes software developed by Niklas Hallqvist, Brandon Creighton and Job de Haas.
- This product includes software developed by Niklas Hallqvist.
- This product includes software developed by Onno van der Linden.
- This product includes software developed by Paul Kranenburg.
- This product includes software developed by Paul Mackerras.

- This product includes software developed by Per Fogelstrom
- This product includes software developed by Peter Galbavy.
- This product includes software developed by Phase One, Inc.
- This product includes software developed by Philip A. Nelson.
- This product includes software developed by Philip L. Budne.
- This product includes software developed by RiscBSD.
- This product includes software developed by Roar Thronaes.
- This product includes software developed by Rodney W. Grimes.
- This product includes software developed by Roger Hardiman
- This product includes software developed by Roland C. Dowdeswell.
- This product includes software developed by Rolf Grossmann.
- This product includes software developed by Ross Harvey for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Ross Harvey.
- This product includes software developed by Scott Bartram.
- This product includes software developed by Scott Stevens.
- This product includes software developed by Shingo WATANABE.
- This product includes software developed by Softweyr LLC, the University of California, Berkeley, and its contributors.
- This product includes software developed by Soren S. Jorvang.
- This product includes software developed by Stephan Thesing.
- This product includes software developed by Steve Woodford.
- This product includes software developed by Takashi Hamada
- This product includes software developed by Takumi Nakamura.
- This product includes software developed by Tatoku Ogaito for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Terrence R. Lambert.
- This product includes software developed by Tetsuya Isaki.
- This product includes software developed by Thomas Gerner
- This product includes software developed by Thomas Klausner for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Tobias Weingartner.
- This product includes software developed by Todd C. Miller.
- This product includes software developed by Tohru Nishimura and Reinoud Zandijk for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Tohru Nishimura for the NetBSD Project.
- This product includes software developed by Tohru Nishimura. for the NetBSD Project.

- This product includes software developed by TooLs GmbH.
- This product includes software developed by Toru Nishimura.
- This product includes software developed by Trimble Navigation, Ltd.
- This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
- This product includes software developed by Waldi Ravens.
- This product includes software developed by Wasabi Systems for Zembu Labs, Inc. http://www.zembu.com/
- This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.
- This product includes software developed by Wolfgang Solfrank.
- This product includes software developed by Yasushi Yamasaki
- This product includes software developed by Zembu Labs, Inc.
- This product includes software developed by the Alice Group.
- This product includes software developed by the Center for Software Science at the University of Utah.
- This product includes software developed by the Charles D. Cranor, Washington University, University of California, Berkeley and its contributors.
- This product includes software developed by the Computer Systems Engineering Group at Lawrence Berkeley Laboratory.
- This product includes software developed by the David Muir Sharnoff.
- This product includes software developed by the Harvard University and its contributors.
- This product includes software developed by the Kungliga Tekniska Hogskolan and its contributors.
- This product includes software developed by the Network Research Group at Lawrence Berkeley Laboratory.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.OpenSSL.org/)
- This product includes software developed by the PocketBSD project and its contributors.
- This product includes software developed by the RiscBSD kernel team
- This product includes software developed by the RiscBSD team.
- This product includes software developed by the SMCC Technology Development Group at Sun Microsystems, Inc.
- This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors, as well as the Trustees of Columbia University.

- This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
- This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
- This product includes software developed by the University of Illinois at Urbana and their contributors.
- This product includes software developed by the University of Vermont and State Agricultural College and Garrett A. Wollman.
- This product includes software developed by the University of Vermont and State Agricultural College and Garrett A. Wollman, by William F. Jolitz, and by the University of California, Berkeley, Lawrence Berkeley Laboratory, and its contributors.
- This product includes software developed for the FreeBSD project
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Bernd Ernesti.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Christopher G. Demetriou.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Christos Zoulas
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Emmanuel Dreyfus.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Ignatios Souvatzis.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by John M. Vinopal.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Michael L. Hitch.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Perry E. Metzger.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Scott Bartram and Frank van der Linden
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Allegro Networks, Inc., and Wasabi Systems, Inc.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Genetec Corporation.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Jonathan Stone.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Piermont Information Systems Inc.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by SUNET,Swedish University Computer Network.

- This product includes software developed for the NetBSD Project by Shigeyuki Fukushima.
- This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
- This product includes software developed under OpenBSD by Per Fogelstrom Opsycon AB for RTMX Inc, North Carolina, USA.
- This product includes software developed under OpenBSD by Per Fogelstrom.
- This software is a component of "386BSD" developed by William F. Jolitz,TeleMuse.
- This software was developed by Holger Veit and Brian Moore for use with "386BSD" and similar operating systems. "Similar operating systems" includes mainly non-profit oriented systems for research and education, including but not restricted to "NetBSD", "FreeBSD", "Mach" (by CMU).
- This software includes software developed by the Computer Systems Labora-tory at the University of Utah.
- This product includes software developed by Computing Services at Carnegie Mellon University (http://www.cmu.edu/computing/).
- This product includes software developed by Allen Briggs.
- In the following statement, "This software" refers to the Mitsumi CD-ROM driver:
- This software was developed by Holger Veit and Brian Moore for use with "386BSD" and similar operating systems. "Similar operating systems" includes mainly non-profit oriented systems for research and education, including but not restricted to "NetBSD" , "FreeBSD" , "Mach" (by CMU).
- In the following statement, "This software" refers to the parallel port driver:
- This software is a component of "386BSD" developed by William F. Jolitz, TeleMuse.



## Open LDAP

Copyright (c) 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

The OpenLDAP Public License Version 2.8, 17 August 2003.

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,
2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and
3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document.

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.



## Open SSH

The licences which components of this software fall under are as follows. First, we will summarize and say that all components are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

1)

Copyright (c) 1995 Tatu Ylonen <ylo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland All rights reserved

As far as I am concerned, the code I have written for this software can be used freely for any purpose. Any derived versions of this software must be clearly marked as such, and if the derived work is incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be called by a name other than "ssh" or "Secure Shell".

[Tatu continues]

However, I am not implying to give any licenses to any patents or copyrights held by third parties, and the software includes parts that are not under my direct control. As far as I know, all included source code is used in accordance with the relevant license agreements and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most restrictive); see below for details.

[However, none of that term is relevant at this point in time. All of these restrictively licenced software components which he talks about have been removed from OpenSSH, i.e.,

- RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
- IDEA is no longer included, its use is deprecated
- DES is now external, in the OpenSSL library
- GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
- Zlib is now external, in a library
- The make-ssh-known-hosts script is no longer included
- TSS has been removed
- MD5 is now external, in the OpenSSL library
- RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL
- Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this software are publicly available on the Internet and at any major bookstore, scientific library, and patent office worldwide. More information can be found e.g. at "http://www.cs.hut.fi/crypto".



The legal status of this program is some combination of all these permissions and restrictions. Use only at your own responsibility. You will be responsible for any legal consequences yourself; I am not making any claims whether possessing or using this is legal or not in your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.

NO WARRANTY

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

2)

The 32-bit CRC compensation attack detector in deattack.c was contributed by CORE SDI S.A. under a BSD-style license.

Cryptographic attack detector for ssh - source code



Ariel Futoransky <futo@core-sdi.com>

<http://www.core-sdi.com>

3)

One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license, held by the University of California, since we pulled these parts from original Berkeley code.



4)

Remaining components of the software are provided under a standard 2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

Markus Friedl

Theo de Raadt

Niels Provos

Dug Song

Kevin Steves

Daniel Kouril

Wesley Griffin

Per Allansson

Jason Downs

Solar Designer

Todd C. Miller

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

5)

Portable OpenSSH contains the following additional licenses:

c) Compatibility code (openbsd-compat)

Apart from the previously mentioned licenses, various pieces of code in the openbsd-compat/ subdirectory are licensed as follows:

Some code is licensed under a 3-term BSD license, to the following copyright holders:

Todd C. Miller

Theo de Raadt

Damien Miller

Eric P. Allman

The Regents of the University of California

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## Open SSL

OpenSSL ツールキットはデュアルライセンスとなっており、OpenSSL ライセンスとオリジナル SSLeay ライセンスの条件は、両方ともツールキットに適用されます。

実際のライセンスについては以下を参照してください。

ライセンスは両方とも BSD スタイルオープンソースライセンスです。 OpenSSL に関連するライセンスに問題がある場合は、openssl-core@openssl.org に連絡してください。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

   "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"



THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULARPURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)

ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

補足

- この製品には、Eric Young（eay@cryptsoft.com）によって書かれた暗号ソフトウェアが含まれています。
- この製品には、Tim Hudson（tjh@cryptsoft.com）によって作成されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- このコードのすべての公的に利用可能なバージョンまたは派生物のライセンスおよび配布条件は変更できません。すなわち、このコードを単にコピーし、別の配布ライセンスの下に置くことはできません[GNU 一般公衆利用許諾書を含む]。

## racoon

## RSA BSAFE®

- This product includes RSA BSAFE (c) cryptographic software from RSA Security Inc.
- RSA, BSAFE are either registered trademarks or trademarks of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- 

## Sablotron (Version 0.82)



a) The application software installed on this product includes the Sablotron software Version 0.82 (hereinafter, "Sablotron 0.82"), with modifications made by the product manufacturer. The original code of the Sablotron 0.82 is provided by Ginger Alliance Ltd., the initial developer, and the modified code of the Sablotron 0.82 has been derived from such original code provided by Ginger Alliance Ltd.

b) The product manufacturer provides warranty and support to the application software of this product including the Sablotron 0.82 as modified, and the product manufacturer makes Ginger Alliance Ltd., the initial developer of the Sablotron 0.82, free from these obligations.

c) The Sablotron 0.82 and the modifications thereof are made available under the terms of Mozilla Public License Version 1.1 (hereinafter, "MPL 1.1"), and the application software of this product constitutes the "Larger Work" as defined in MPL 1.1. The application software of this product except for the Sablotron 0.82 as modified is licensed by the product manufacturer under separate agreement (s).

d) The source code of the modified code of the Sablotron 0.82 is available at: http://support-download.com/services/device/sablot/notice082.html

e) The source code of the Sablotron software is available at: http://www.gingerall.com

f) MPL 1.1 is available at: http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html

## samba

本製品に搭載している SMB 送信機能では samba を使用しています。

For SMB transmission, this machine uses Samba. Copyright (c) Andrew Tridgell 1994-1998.

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 675 Mass Ave, Cambridge, MA 02139, USA.

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USAEveryone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software-- to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect

making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License.

The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty

(or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:



a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.) The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royaltyfree redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY



11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW . EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND /OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE . THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER , OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS ), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and a brief idea of what it does. Copyright (C)

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

- 本製品に搭載している SMB 送信機能に関するソースコードは次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://support-download.com/services/scbs

## SASL について

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "Carnegie Mellon University" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.

   For permission or any other legal details, please contact:

   Office of Technology Transfer

   Carnegie Mellon University

   5000 Forbes Avenue

   Pittsburgh, PA 15213-3890

   (412) 268-4387, fax: (412) 268-7395

   tech-transfer@andrew.cmu.edu
4. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by Computing Services at Carnegie Mellon University (http://www.cmu.edu/computing/)."

CARNEGIE MELLON UNIVERSITY DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CARNEGIE MELLON UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

## SHA1



This document and translations of it may be copied and furnished to others, and derivative works that comment on or otherwise explain it or assist in its implementation may be prepared, copied, published and distributed, in whole or in part, without restriction of any kind, provided that the above copyright notice and this paragraph are included on all such copies and derivative works. However, this document itself may not be modified in any way, such as by removing the copyright notice or references to the Internet Society or other Internet organizations, except as needed for the purpose of developing Internet standards in which case the procedures for copyrights defined in the Internet Standards process must be followed, or as required to translate it into languages other than English.

The limited permissions granted above are perpetual and will not be revoked by the Internet Society or its successors or assigns.

This document and the information contained herein is provided on an "AS IS" basis and THE INTERNET SOCIETY AND THE INTERNET ENGINEERING TASK FORCE DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

## SPX/IPX

Copyright (c) 1995, Mike Mitchell

Copyright (c) 1984, 1985, 1986, 1987, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## TinyScheme



## TrouSerS

where such changes and/or additions to the Program originate from and are distributed by that particular Contributor. A Contribution 'originates' from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor itself or anyone acting on such Contributor's behalf. Contributions do not include additions to the Program which: (i) are separate modules of software distributed in conjunction with the Program under their own license agreement, and (ii) are not derivative works of the Program.

"Contributor" means any person or entity that distributes the Program.

"Licensed Patents " mean patent claims licensable by a Contributor which are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or when combined with the Program.

"Program" means the Contributions distributed in accordance with this Agreement.

"Recipient" means anyone who receives the Program under this Agreement, including all Contributors.

2. GRANT OF RIGHTS

a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare derivative works of, publicly display, publicly perform, distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such derivative works, in source code and object code form.



b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in source code and object code form. This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder.

c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any. For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program.

d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement.

3. REQUIREMENTS

A Contributor may choose to distribute the Program in object code form under its own license agreement, provided that:

a) it complies with the terms and conditions of this Agreement; and

b) its license agreement:

i) effectively disclaims on behalf of all Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose;

ii) effectively excludes on behalf of all Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits;

iii) states that any provisions which differ from this Agreement are offered by that Contributor alone and not by any other party; and

iv) states that source code for the Program is available from such Contributor, and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange.

When the Program is made available in source code form:

a) it must be made available under this Agreement; and

b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program.

Contributors may not remove or alter any copyright notices contained within the Program.



Each Contributor must identify itself as the originator of its Contribution, if any, in a manner that reasonably allows subsequent Recipients to identify the originator of the Contribution.

4. COMMERCIAL DISTRIBUTION

Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering. The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense.

For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the

other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay those damages.

5. NO WARRANTY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations.

6. DISCLAIMER OF LIABILITY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

7. GENERAL

If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

If Recipient institutes patent litigation against a Contributor with respect to a patent applicable to software (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit), then any patent licenses granted by that Contributor to such Recipient under this Agreement shall terminate as of the date such litigation is filed. In addition, if Recipient institutes patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware) infringes such Recipient's patent(s), then such Recipient's rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such litigation is filed.

All Recipient's rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient's rights under this Agreement terminate, Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient's obligations under this

Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time. No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement. IBM is the initial Agreement Steward. IBM may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity. Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections 2(a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved.



This Agreement is governed by the laws of the State of New York and the intellectual property laws of the United States of America. No party to this Agreement will bring a legal action under this Agreement more than one year after the cause of action arose. Each party waives its rights to a jury trial in any resulting litigation.

- 本製品に搭載している TrouSerS（Version 0.27）に関するソースコードは、次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。
- http://www.ricoh.com/support/trousers/index.html
- TrouSerS は sourceforge の CVS でバージョン管理されています。ソースコードの入手方法については次の URL が示す WWW サイトでご確認ください。
- http://sourceforge.net/cvs/ ?group_id=126012

## WIDE-DHCP6



Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## WPA Supplicant

Copyright (c) 2003-2010, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and /or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name (s) of the above-listed copyright holder (s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## Zilb



Jean-loup Gailly

jloup@gzip.org

Mark Adler

madler@alumni.caltech.edu



## 商標

Adobe、Acrobat、PageMaker、PostScript、PostScript 3、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。

Apple、AppleTalk、Bonjour、Macintosh、Mac OS、Safari、および TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Citrix、Citrix Presentation Server、Citrix XenApp は Citrix Systems, Inc.の米国あるいはその他の国における登録商標または商標です。

EPSON、ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Firefox は Mozilla Foundation の商標です。

Intel および Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

IPS は、米国およびその他の国々で登録された Zoran Corporation とその各子会社の登録商標または商標です。

JAWS®は米国およびその他の国における Freedom Scientific BLV Group, LLC の登録商標です。

Monotype は、アメリカ合衆国の特許商標局で登録されている Monotype Imaging, Inc.の登録商標であり、そしてその他の管轄区域で登録されている場合があります。

NEC、PC-9821 シリーズは、日本電気株式会社の登録商標です。

HP-GL、HP-GL/2、HP RTL、DesignJet600、DesignJet700、HP7550A は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。

Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®、Internet Explorer®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

OpenLDAP は、OpenLDAP Foundation の登録商標です。

SD および SD のロゴは、SD-3C, LLC の商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

UPnP は UPnP Forum の登録商標です。

- Internet Explorer の正式名称は次のとおりです。

  Microsoft® Internet Explorer® 6

  Windows® Internet Explorer® 7

  Windows® Internet Explorer® 8

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® XP Professional

  Microsoft® Windows® XP Home Edition

  Microsoft® Windows® XP Media Center Edition

  Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Vista® Ultimate

  Microsoft® Windows Vista® Business

  Microsoft® Windows Vista® Home Premium

  Microsoft® Windows Vista® Home Basic

  Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows® 7 Home Premium

  Microsoft® Windows® 7 Professional

  Microsoft® Windows® 7 Ultimate

  Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server®2003 Standard Edition

  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

  Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。